HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	こがねむしニ關スル研究報告(第二)：我國ニ産スルこがねむし及ビ其分布(圖版第一乃至第七)
Author(s)	新島, 善直; 木下, 榮次郎
Citation	北海道帝國大學農學部演習林研究報告, 2(2), 1-253
Issue Date	1923-03
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/20607
Type	bulletin (article)
File Information	2(2)_P1-253.pdf

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

演習林研究報告第二卷第二號

こがねむしニ關スル研究報告(第二)

我國ニ產スルこがねむし及ビ其分布

(圖版第一乃至第七)

林學博士　新島善直

林學士　木下榮次郎

Die Untersuchungen über japanische Melolonthiden II.

Melolonthiden Japans und ihre Verbreitung.

(Taf. I.-VII.)

von

Prof. Yoshinao Niijima

und

Assist.-Prof. Eijiro Kinoshita.

第一節　緒言

大正六年本演習林報告ニ於テこがねむしノ被害及ビ驅除ニ關スル研究報告(第一)ヲ公ニシテヨリ以來更ニ今日ニ至ルマデ之ガ研究ヲ進メツツアリ。茲ニ第二回ノ報告ヲ公ニスルニ當リ之ガ表題ヲ改ムルノ必要ヲ認メ「こがねむしニ關スル研究」トナセリ。

本回ノ報告ハ我國全部ニ產スルこがねむしノ種類ヲ分類シ各個ノ昆蟲學上ノ性質ヲ記載シ更ニ其識別點ヲ明カニシテ主トシテ林業家ノ實

用ニ供セシメ且ツ各種ノ分布區域ヲ確カメンコトヲ期セリ。

前報告ニ於テこがねむしノ分布ト被害狀況ヲ定ムル目的ヲ以テ各地ヨリ一定ノ樣式ニヨレル報告ヲ得之レニヨリテ各種ノ產地ヲ揭記セリ。然ルニ予等ハ研究ヲ進ムルニ及ビこがねむしノ種類ヲ確實ニ定ムルコトノ甚ダ困難ナルヲ認メタリ。從テ前ニ各地ヨリ得タル報知ノこがねむし類ハ其和名及ビ學名ニ於テ如何ナル度マデ確實ナルヤヲ保ス能ハザルナリ。故ニ予等ハ先ヅ根本的ニ各種ノ分類上ノ性質ヲ研究シテ之ヲ發表シ林業家ヲシテ確實ニ種類ヲ檢知シ然ル後各種ノ被害狀況ヲ觀察報告セシムルノ急ナルヲ感ゼリ。玆ニ於テ之ガ研究ノ方法トシテ更ニ各地ヨリ材料ノ送附ヲ求メタリ。即チ大正十一年七月內地ハ勿論朝鮮臺灣樺太ニ亘リテ森林關係ノ官署學校等ニ書狀ヲ發シタルモノ凡ソ二百通而シテ今日ニ至リ之ニ由リテ標本ノ送附ヲ得タルモノ下記ノ如シ。但シ括弧內ハ採取者或ハ寄送者ナリ。

樺太

北樺太（今田敬一）

南樺太（江崎悌三）

北海道

千島國（沙那營林區分署）（原田眞幸）

天鹽國（天鹽營林區分署）（帝室林野管理局名寄出張所）

根室國（根室營林區分署）

日高國（安川杵太郎）

膽振國（室蘭營林區分署）（北海道帝國大學演習林派出所）（富本豐）（帝室林野管理局漁保護區員駐在所）

渡島國（函館營林區分署）

本州

青森縣（青森小林區署）（相內小林區署）（鰺ヶ澤小林區署）（大鰐小林區署）（野邊地小林區署）（三本木小林區署）（喜良市小林區署）

巖手縣（盛岡小林區署）

宮城縣（白石小林區署）（林業試驗場仙臺支場）（和田周造）

秋田縣（毛馬內小林區署）（大館小林區署）（上小阿仁小林區署）（荷上場小林區署）（能代小林區署）（本莊小林區署）（角館小林區署）（生保內小林區署）

山形縣（酒田小林區署）（鶴岡小林區署）（寒河江小林區署）（小國小林區署）

福島縣(棚倉小林區署)(福島小林區署)(原町小林區署)(浪江小林區署)
茨城縣(大子小林區署)(高萩小林區署)
群馬縣(大間々小林區署)(高崎小林區署)
栃木縣(帝室林野管理局宇都宮出張所)(今市小林區署)
新潟縣(新發田小林區署)
埼玉縣(秩父農林學校)
東京府(西島藏峯)(平山修次郎)
千葉縣(久留里小林區署)
神奈川縣(帝室林野管理局大磯出張所)(帝室林野管理局沼津出張所)
靜岡縣(帝室林野管理局氣田出張所)(帝室林野管理局天城出張所)
長野縣(長野小林區署)(上田小林區署)(臼田小林區署)(帝室林野管理局飯田出張所)(帝室林野管理局三殿出張所)
愛知縣(東加茂郡造林事務所)(帝室林野管理局豐橋出張所)
岐阜縣(岐阜公有林野官行造林署)(帝室林野官理局下呂出張所)
三重縣(龜山小林區署)
京都府(京都公有林野官行造林署)(京都小林區署)(井上乙五郎)(鈴木元次郎)
岡山縣(岡精二)(岡崎俊太郎)(守屋嚴三郎)
鳥取縣(鳥取公有林野官行造林署)
山口縣(山口公有林野官行造林署)(蝶野勝四郎)
廣島縣(廣島小林區署)(廣島縣官行造林可部苗圃)

四國

高知縣(高知大林區署)(安藝小林區署)(須崎小林區署)(窪川小林區署)(大栃小林區署)(本山小林區署)(宿毛小林區署)(竹內護文)

九州

佐賀縣(佐賀小林區署)(佐賀公有林野官行造林署)
長崎縣(對馬小林區署)
熊本縣(人吉小林區署)(多良木小林區署)(球磨農學校)(林業試驗場熊本支場)
宮崎縣(延岡小林區署)(都城小林區署)(宮城小林區署)(齋藤虎三郎)
鹿兒島縣(鹿兒島大林區署)(大根占小林區署)(鹿兒島小林區署)(鹿屋農學校)(鹿屋小林區署)(出水小林區署)(山野小林區署)(川內小林區署)

臺灣

臺　北(高橋良一)　臺中(北海道帝國大學演習林派出所)　臺南(石田昌人)

朝鮮

江　原(高橋廣平)　惠山鎭(齋藤良秀)　各地(內田登一)

琉球

(鈴木元次郎)(平山修次郎)

之等ノ各地ヨリ得タル標本數ハ甚ダ區々ニシテ多キハ一種ニシテ二百ヲ超ヘタルモノアリ。或ハ唯一個ヲ得タルモノアリ。我內地ノ種類ハ比較的多數ニ達シ既ニ記載セラレタル種類ノ大部ヲ充タシ得タルモ朝鮮臺灣ノ各地ヨリハ少クシテ研究材料尙ホ甚ダ欠乏シタルモノアリ。

更ニ他方ニ於テ研究上必要ナル文獻ノ蒐集ニ務メ千八百年代ニ於ケル Motschulsky, Waterhouse, Hope, Lewis, Blanchard, Bates, Kolbe, Reitter 等ノ記載ノ外 Arrow, Moser, Ohaus, Brenske, Bourgoin 等ノ諸氏ノ記載セルモノニ及ベリ。然レドモ多數ノ雜誌ニ散在セル論文ニ掲ゲラレタル全部ノ原記載ヲ得ルコトハ甚ダ困難ニシテ或ハ松村博士ノ手記セル所ノモノニ由リ或ハ江崎悌三氏ヲ煩ハシテ東京帝國大學ノ藏書ヨリ書寫セルモノアリテ略ボ各種ノ記載ヲ知ルヲ得タリ。

標本ノ研究ニ當リテ最モ本邦ノ學者ノ苦痛トスル處ハ基準標本ヲ見ル能ハザルコトナリ。我等ハ唯記載ニヨリテノミ種類ヲ判定セザル可ラズ。然ルニ動物ノ色彩形狀或ハ斑紋ノ狀態ノ如キ文字ヲ以テシテハ明カニ表シ難キモノ甚ダ多シ。又學者ニヨリ記載ノ要點同ジカラザルモノアリ。予等ハ忠實ニ記載ニヨリテ標本ヲ調査シ或ハ甲乙相比較シ誤リナキヲ務メタリ。然モ尙ホ燃犀ノ明ヲ得ザルモノナキニアラズ。殊ニ標本數ノ少ナキ者ニ於テ然リトス。予等ハ予等ノ得タル材料ト智識ニ於テ最良ヲ盡シタルモ更ニ今後多數ノ標本トこがねむし生態ノ研究ヲ進メ又幸ニ基準標本ヲ見ルヲ得バ之ガ訂正ヲナスベキモノアルヤヲ期セザルナリ。

本報告第一ニ於テ掲記セルこがねむし類ノ和名學名ニ於テ訂正ヲ要スベキ者ニ至リテハ蓋シ少ナシトセズ。之等ハ各種ノ記載ニ當リテ記述セントスルモノナリ。

予等ハ本論文ノ要點ト新種ノ記載ヲ獨逸文ヲ以テ附記スルコトヽセリ。之レ研究ノ結果ヲ廣ク學界ニ發表スベキ形式トシテ必要ナルヲ以テナリ。然レドモ各種ノ識別ト形體上ノ記載ニ至リテハ專門昆蟲學者以外ト雖モ容易ニ理解シ得ベキニ力ヲ用ヒタリ。唯分類上缺ク可ラザル者ニ至リテハ殊ニ專門學上ノ觀察點ヲ掲ゲタリ。例セバすじこがねノ類ニ對

シテ雄交尾器ノ構造ヲ示セル如シ。

こがねむしノ生態ト林業上ノ關係ニ到リテハ予等又研究ヲ進メツヽアリ之等ハ本報告ノ後續トシテ發表セラルヽ時アルヲ希フモノナリ。故ニ本報告ニハ既知ノ事實ト雖モ全ク林業上ノ關係ヲ除外セリ。

尙ホ新種トシテ記載セルモノヽ內新島及松村ノ名ヲ以テセルモノハ松村博士ノ蒐集標本ニシテ同氏ガ新種ト認メタルモ未ダ發表スルニ至ラザリシ種類ナリ。之ヲ今回共同研究ニヨリ本報告ニ於ケル發表ニ加ヘタルモノナリ。

本報告ヲ發表スルニ當リ多數ノ材料ヲ寄贈セラレタル各地ノ諸賢ニ對シ謝意ヲ表シ殊ニ貴重ナル採集材料ヲ提供セラレタル矢野宗幹,桑山覺,高橋良一,江崎悌三ノ諸氏ニ對シ其好意ヲ謝シ又本大學教授松村松年氏ノ好意ニ由リ其公私有ノ文献ト豐富ナル標本トヲ自由ニ使用シ研究ヲナシ得タルコトヲ深謝スルモノナリ。

1. こがねむし識別上ノ要點

こがねむし類ノ形態ニ就テ之ガ識別上ノ要點タルベキ外部ノ性質ヲ掲記シ且ツ予等ガ採用シタル用語ノ說明ヲ試ミントス。

こがねむし類ノ頭部ハ後頭前頭及ビ頭楯ノ區別ヲナシ得ベク頭楯(Clypeus)ハヨク發達スルヲ常トシ種類ニ由リ著シキ奇形ヲ呈スルコトアリ。眼緣ノ前角部ハ隆起シ時トシテ著シキ狀態ヲナス。即チ後方ニ伸長シ或ハ全ク眼ヲ上下ノ部分ニ中斷スルモノアリ。或ハ前方頭楯ト側方ニ連結ス。口器ハ其食物ニヨリ形質ヲ異ニス。即チだいこくこがねCoprinae及ビはなむぐりCetoniinaeノ如キハ其上顎柔軟ニシテ嚙嚼ニ適セズ。然レドモ他ノ種類ニテハ大形ニシテ堅硬ナリ。下顎ハ又銳クシテ嚙ムニ適スルモ屢々其部ニ毛群ヲ具ヘ以テ固形或ハ液狀ノ食物ヲ攝取スルノ用ヲナス。下顎鬚ハ四節下唇鬚ハ三節ヨリ成リ共ニ短カクシテ簡單ナリ。舌ハこがねむし類ニテハ一般ニ小形ニシテ肉質ナリ。

頭部ノ附器中著シキハ觸角ニシテ普通十節ヨリ成リ其先端ノ三節或

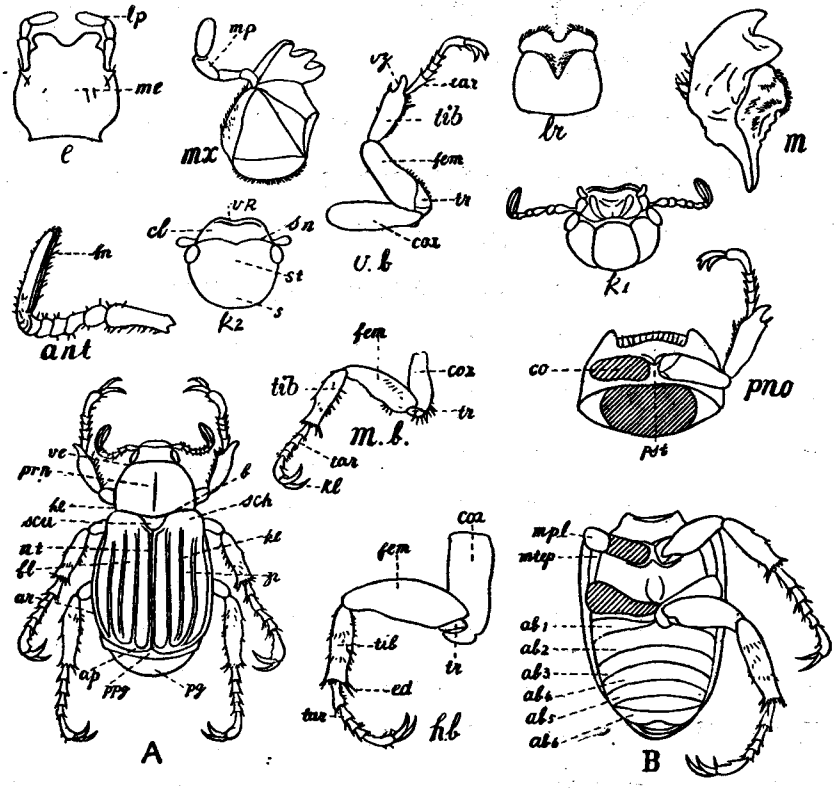
ハ種類ニヨリ三節以上ノモノ扁平ニシテ扇狀ニ開閉ス。其接合スル面ニハ感覺ノ用ヲナスト小點及毛ヲ有シ甲蟲ガ飛ビ又ハ運動スルトキニハ此片狀部ヲ開キ休止ノ時ハ閉合ス。基部ノ第一節ハ普通他ノモノヨリ大形ニシテ第二節ハ略ボ球形ナリ。之ト片狀節トノ間ノモノハ小形ニシテ或ハ其一二ヲ缺ク。觸角ノ位置ハ眼ヨリ離レヽモノ或ハ眼ノ前方ニ接シテ存スルモノ或ハ眼上ニ向ヘル突起部ノ下ニ位スルコトアリ。觸角ノ發達ハ雌雄ニ由リ異ナルモノアリ即チ此ノ如キ種類ニテハ雄ニ於テヨク發達シ片狀節ノ形狀大ナルカ或ハ節數多キヲ見ル。

前胸部ノ背片(Pronotum)即胸背板ハ其形狀多樣ナルモ前方ニ狹搾スルモノ多シ。其前緣ハ單ニ緣取ラルヽモノ或ハ短毛列ヲ有スルモノ或ハすじこがね屬ノ多クノ如ク細膜ヲ存スルモノアリ。後緣ハ直線狀ナルモノ弧線ヲナスモノ或ハ中央ニテ矢筈形ヲナスモノアリ。中胸部ノ腹片ハ種類ニ由リ特殊ノ形狀ヲナス。即チはなむぐりノ或者ノ如ク扁平或ハ圓筒狀ノ突起ヲナスアリこふきこがねノ如ク圓錐形ニ突出スルモノアリ。

脚ノ形狀ハ其種類又多クシテ跗節ハ四或ハ三節ノミナル僅少ナル例外アルモ我國產ノ者ハ殆ンド皆五節ナリ。脚端ノ爪ハ地上ニ生活スル種類ニテハ左右相稱ニシテ簡單ナルヲ常トスルモ樹上ニ棲息スルモノニハ種々ノ變化アリ。後者ニハ單ニ鉤狀ノモノ種々ノ形ノ齒ヲ有スルモノ自由ニ動カシ得ルモノ全ク動ク能ハザルモノ兩爪形ヲ異ニセルモノ單ニ一爪ノミノモノ等アリ。殊ニ雄ノ前脚ニアルモノハ變化多シ。脛節ノ形狀ハ種類ニヨル變化少ナク多クハ土ヲ穿ツニ適スル形狀ヲナス。前脛節ノ外緣ニハ齒狀ノ突起ヲ存スルヲ常トス。然レドモ雄ニアリテハ之ヲ缺キ或ハ變化セルモノアリ。又前脛節ノ先端ニ近ク一個後脛節ノ先端ニだいこくこがねノ外ハ皆二個ノ刺棘ヲ有ス。後者ヲ特ニ端棘ト名ク。基節ハ大形ニシテ前脚ニテハ大多數後脚ニテハ皆體ノ中央線ニ於テ相接ス。

稜狀板ハ一般ニ小形ニシテ三角形ヲナシ露出セラルヽヲ常トスルモはなむぐりノ或屬ノ如ク其一部或ハ大部ガ胸背板ノ後緣ノ伸長ニヨリテ被覆セラルヽモノアリ。

翅鞘ハ多クハ其面ニ點列或ハ縱隆線ヲ有ス。前者ハ點刻ニ由レル縱線ニシテ多クハ多少凹陷ス。其間ヲ中間帶ト名ケ少シク隆起スルヲ常トス。後者ハすじこがね類ニ多キモノニシテ縱ニ隆起セル線條ナリ其間ヲ間室ト名ク。肩部ニ瘤狀隆起アルコト最多クかなぶん類ハ肩ノ下ニテ緣部凹入ス。外國種ノ或者ハ其雌蟲後翅ヲ缺キ飛力ヲ有セザル者アルモ我國ノ種類ハ皆其後翅ヲ具フ。



第　一　圖

おほすじこがね(Anomala costata Hope. ♂)ノ解剖

A. 背面(上面)　B. 腹面(下面)　pro. 前胸部　k_1. 頭部腹面　k_2. 頭部背面　lr. 上唇　m. 上顎　mx. 下顎　l. 下唇　ant. 觸角　v b. 前脚　m b. 中脚　hb. 後脚　prn. 胸背板　ve. 前緣角　he. 後緣角　b. 後緣(胸背板基部)　scu. 楯狀板　fl. 翅鞘　sch. 肩　ar. 翅鞘外緣　ap. 先端部　nt. 會合線　kl. 縱隆條　zr. 中間室(中間帶)　pg. 尾節板　ppg. 尾節ノ前節　mpl. 中胸側板　mtep. 後胸側板　ab_1,—ab_6. 第一乃至六腹節　pst. 前胸腹板　co. 基節附着部　s. 後頭　st. 前頭(額)　sn. 會線　cl. 頭楯　vr. 前緣　mp. 下顎鬚　lp. 下唇鬚　me. 下鬚基部　fn. 片狀節　cox. 基節　tr. 轉節　fem. 腿節　tib. 脛節　tar. 跗節　kl. 爪　ed. 端棘　vz 脛節ノ外齒

腹部ノ末端ノ一節ヲ尾節ト稱シ其背片ヲ尾節板(Pygidium)ト云フ。尾節板ハ一般ニ翅鞘ノ外ニ現ハレ種類ニ由リ其形狀點刻等ヲ異ニス。腹部ノ環節ハ腹面即チ下面ニ於テ六節ヲ認ムルヲ常トス。然レドモ種類ニ由リテハ此全部ヲ見ル能ハザルモノアリ。氣門ハ胸部ニ二對腹部ニ七對ヲ存ス。此ノ腹部ノモノハ兩側ノ膜質部ニ存スルモノトきちん質上ニ開クモノトアリ。

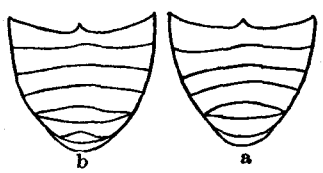
こがねむし類ノ解說ニ當リ我等ノ用ヒタル各部ノ名稱ヲ第一圖ヲ以テ圖示シ之ガ說明ヲ省略セントス。

次ニこがねむし類ノ識別上必要ナルハ其雌雄ノ別ナリトス。かぶとむしノ如ク雄ガ著シク大ナル角狀突起ヲ有シ雌ノ全ク之ヲ缺クノ例ハ普通ノこがねむし類ニ於テ見ル能ハザル處ナリ。唯はなむぐりの中ノつのかなぶん屬 Trigonophorus ノモノニテ頭部ニ角狀突起アリテ雌雄稍ヤ其形狀ヲ異ニスルモノアリ。兩性ノ區別ヲ屢々認メ得ベキハ其前脛節ナリ。之レ雌ハ必ズ其產卵ノタメ土中ニ穿入セザルベカラザルタメ前脛節ノ發達ヲ見ルモノナリ。即チ雌ハ其前脛節堅强ニシテ幅廣ク銳齒ヲ外緣ニ存スルヲ常トス。然レドモ兩性共ニ土中ニ穿入スル多クノ種類ニテハ其差違著シカラズ。體ノ上面ノ色又ハ點刻等ハ兩性相異ナルコト多シ。之レ雌ガ雄ヨリ顯著ニ認メラレザル爲メナルガ如シ。雄ノ色澤ガ雌ヨリ明カナルコト又光澤アルコト多シ。あしながこがねおよびひらたはなむぐりニハ雄ガ色澤强キ鱗毛ヲ有スルコトアリ。觸角ニヨリ雌雄ノ差ヲ認メ得ベキこふきこがねノ如キモノアルハ既述セル如シ。すじこがね類ニテハ雄ノ爪ノ特ニ發達スル者アリ。之ハ前脚ノ內爪ニ限ラルヽモノニシテ同時ニ爪ヲ有スル環節モ大形ヲナシ跗節ハ全體トシテ太ク短カキ形狀ヲ呈ス。

腹部ノ尾端ハ兩性ニ於テ明カナル差違ヲ示スモノ多シ。殊ニすじこがね屬ノモノハ最モ明カナル區別ヲ顯ハス。即チ雌ハ腹部ノ尾節ガ三角形或ハ半圓形ヲナシ中央ニ於テ最長ナルモ雄ハ其先端凹入シ滑カナル光澤アル膜狀物ニテ被覆セラル(第二圖)。之等ノ外體面ニ雌雄ニ由ル特殊ノ變化ヲ示スモノアリ例セバはなむぐりノ或者ハ其雄ノ腹面縱淺溝部

ノ存スルアルガ如シ。

こがねむし類ノ種類ヲ定ムルニ當リテ最緊要ナルハ雄ノ交尾器(Genitalia)ノ構造ナリトス。即チ識別上必要ナルハ其硬キきちん質ノ外鞘ノミニシテ一般ニ上面ニ一双ノ裂片 Paramera ヲ有シ下面ニモ又中庸ノ裂片アリテ屢々分枝ス。前者ヲ上鞘ト稱シ其先端ハ簡單ナルモノアルモ或ハ小ナル刺棘ヲ有シ或ハ上下ニ反張ス。本邦産ノすじこがね類或ハはなむぐり類ニハ其色ヲ以テハ全然異種ト思考セラル可キ變化アルモ雄交尾器ノ構造ニ由リ其同一種ナルヲ認メ得ベク反對ニ殆ンド同一種ノ如ク類似セルモノモ之ニ由リテ明カニ異種トナスヲ得ベキモノアリ。但シ種類ニ由リ雄交尾器ノ構造ニ僅少ノ差違ヲ同一種ニ認ムルコトアリアルロー氏ハ之ヲ地理的變化ニ歸セリ我國ノ種類ニテモ多少ノ差異ヲ見ルモ其ノ基礎的構造ヨリ考察シテ同一ナルヲ認ムルコト難カラザルナリ。然レドモ雄交尾器ノ觀察ハ乾燥セル標本ニヨリテ研究シ得ルモノニテ一般的ノ實用ニハ直チニ適スルコト難シトス。



第　二　圖

すじこがね雌雄ノ腹部

a 雌　　b 雄

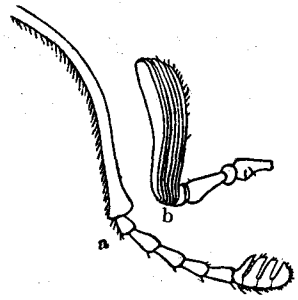
2. こがねむし科ノ分類

こがねむし科ノ分類ニ於テハ專門昆蟲學者間ニ說ヲ異ニシ種ハ勿論屬ニ於テモ意見ノ同一ナラザルモノアリ。例セバびらうどこがね亞科 Sericinae 中ノ屬ノ如キライター,ブレンスケ,モーゼルノ諸氏ニ由リ相同ジカラザル者アリ。予等ハ最モ林業家ノ實用ニ適シ且ツ昆蟲學上至當ト思考セル分類法ヲ採用シテ各種ノ決定ヲナサンコトヲ期セリ。故ニ林業家ガ野外森林ニ於テ得タル標本ヲ擴大鏡ヲ用ユルノミニテ認メ得ベキ要點ヲ擧ゲタル索引表ヲ造リテ大體ノ識別ニ便シ更ニ各種ノ記載ニ因リテ種類ノ確定ヲ計ルモノナリ。唯止ヲ得ザル場合ニ於テノミ純昆蟲學上ノ特質ヲ擧グルコトヽセリ。即チ前揭雄交尾器ノ構造ノ如キこがねむし

ノ各種ノ區別ニ必要ナリト雖モ特ニ之ニヨラザレバ確然タル區別ヲナシ得ザル種類ニ限リテ之ヲ掲記スルニ止メタリ。

こがねむし近似ノ甲蟲ハ片角類 Lamellicornia ナル一大部類ノ内ニ含マルヽ一科ニシテ片角類ノ觸角ノ構造ニ由リ次ノ二科ニ分タル。

I. 觸角肘狀ヲナス即チ基部ノ一節著シク長形ナリ。先端ノ數節薄片狀ヲナスコトナシ(第三圖a)　くはがたむし科 Lucanidae



第　三　圖

a くはがたむしノ觸角

b こふきこがねノ觸角

II. 觸角肘狀ヲナサズ。先端ノ數節薄片狀ヲナシ靜止ノトキ之ヲ相重疊ス(第三圖b)　こがねむし科 Scarabaeidae

こがねむし科ハ又二ニ大別セラル即チ次ノ如シ。

I. 觸角ノ先端節ノ全部或ハ少ナクトモ其前端ノ二節ガ光澤無ク霜狀白粉ノ附着シタル狀態ヲナス。　だいこくこがね類 Coprophagides

II. 觸角ノ先端節ハ他ノ節ノ如ク裸狀ナルカ或ハ僅カニ毛ヲ有ス。光澤ヲ有シ霜狀白粉ノ附着セル狀態ヲナスコトナシ。　こがねむし類 Melolonthides

上記二類中だいこくこがね類ハ直接森林ニ關係ヲ有スルモノ殆ンド無キヲ以テ本報文ニ於テ記載セントスルモノハ唯こがねむし類ニ止マルモノトス。

こがねむし類 Melolonthides 中我國ニ存在スル者ニ就テ亞科ヲ定ムルコト次ノ如シ。

I_1 胸背板ノ前緣平カニシテ上顎上面ヨリ見ルヲ得ズ。

II_1 前脛節ノ内側ニ存スル可動ノ刺棘ハ先端ノ前部ニ存ス。其前端ニ跗節ヲ關接ス(第四圖a)或ハ全ク刺棘ヲ缺クコトアリ。中及ビ後脚ノ脛節ハ先端鋭キ齒狀緣即チ掌狀ヲナサズ。

III_1 兩爪發達シ同長ヲナス。

IV_1 中後脚ノ脛節ノ端棘ハ内側ニアリテ相分離ス(第四圖b)脛節ニ存スル跗節ノ容溝ハ端棘ノ中間ニ存ス。即チ跗節ハ最モヨク内方ニ動カシ易シ。形體小ナリ。　　びろうどこがね亞科 Sericinae

IV_2 中後脚ノ脛節ノ二端棘ハ其基部ニ於テ相接シテ脛節ノ先端緣ノ下部ニ存ス(第四圖c)。跗節ノ容溝ハ端棘ノ前ニ存ス。其最モ動キ易キ方向ハ上方及ビ内方ナリ。　　こふきこがね亞科 Melolonthinae

III_2 爪ハ大サ不同ニシテ内部ノモノ屢々全ク消失ス(第四圖d)。外部ノモノハ可動ナリ。

V_1 後脛節ハ二ノ端棘ヲ有ス。其形狀こふきこがね亞科ト同ジ。胸背板ノ前緣ニ膜狀ノ狹緣アリ。體ニ毛ヲ有スルト然ラザルトアリ。

すじこがね亞科 Rutelinae

V_2 後脛節ニ端棘ヲ有セズ(第四圖e)。前脛節ノ内側又刺棘ナシ。胸背板ノ前緣膜狀緣ナシ。體ノ上面ニ鱗毛ヲ有ス。稀ニ毛ヲ具フ。

あしなが こがね亞科 Hoplinae

II_2 前脛節ノ内側ノ刺棘ハ跗節ノ附着部ノ後方ノ角ニ存ス(第四圖f)。中後脚ノ脛節ノ先端緣ハ鋭キ齒狀即チ掌狀ヲナス。

VI_1 翅鞘ノ側緣肩ノ後方ニ彎入セル部分ヲ有シ翅鞘ハ殆ンド閉ヂタル儘後翅ヲ此處ヨリ外ニ出シテ飛翔ス。胸背板ハ翅鞘ト淺ク接着ス(第四圖g)。　　はなむぐり亞科 Cetoniinae

VI_2 翅鞘ノ側方彎入セズ。

VII_1 後脚ノ基節廣ク相分離ス。第一跗節ハ著シク長形ナリ。

ひらたはなむぐり亞科 Valginae

VII_2 後脚ノ基節ハ相接觸ス。第一跗節ハ第二跗節ヨリ短カキカ或ハ僅カニ長シ。

VIII_1 尾節板著シク大形。後脛節ノ端棘ハ先端ニ存ス。

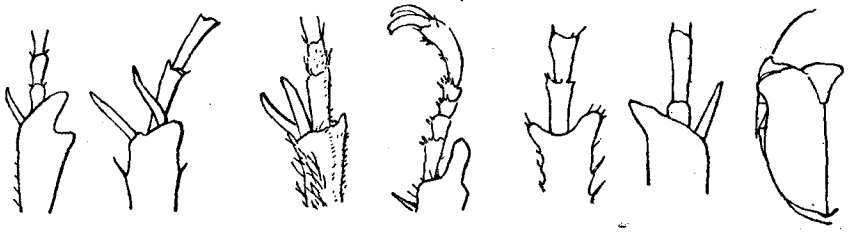
とらはなむぐり亞科 Trichinae

I_2 前胸部ノ腹片ノ前緣ハ中央ニ於テ隆起シ又ハ角狀ヲナシ密ニ長毛ヲ生ス(第四圖g)。上顎扁平ニシテ上反シ多クハ齒狀ヲナシ上面ヨリ見

得ベシ。　　かぶとむし亞科 Dynastinae

VIII. 尾節板普通ニシテ後脛節端棘ハ先端ヨリ少シク離レテ存ス。

ひげぶとはなむぐり亞科 Glaphyrinae



a　b　c　d　e　f　g

第　四　圖

a. ひめびらうどこがねノ前脛節
b. 同　上　ノ後脛節
c. おほこふきこがねノ後脛節
d. おほすじこがねノ爪
e. かばいろあしながこがねノ後脛節
f. かなぶんノ前脛節
g. 同　上　ノ翅鞘

第二節　びらうどこがね亞科

SERICINAE

上唇ハ頭楯ト癒着ス。後脚基節ハ大形ニシテ腹部ノ第一節ヲ被覆ス。頭楯ハ其他ノ體部ガ全ク光澤ナキ場合ト雖モ光澤ヲ有ス。世界ニ於ケルびらうどこがねハ八十三屬ニ分タルモ我國ニ產スルモノハ唯六個ノ屬ノミナリ。其檢索表ヲ記スレバ次ノ如シ。

I_1 觸角ノ片狀節ハ雌雄共ニ三節ナリ

II_1 脚ノ後腿節及ビ殊ニ後脛節細狹ニシテ扁平ナラズ(第四圖b)

びらうどこがね屬 Serica.

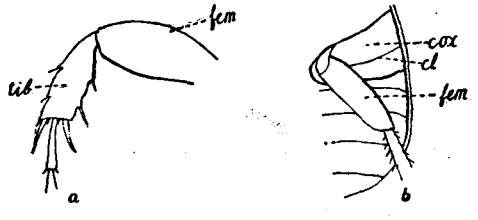
II_2 後腿節及ビ殊ニ後經節巾廣ク扁平ナリ(第五圖a)

あかびろうどこがね屬 Autoserica.

I_2 觸角ノ片狀節ハ雄四節雌三節ナリ。

III_1 後基節ノ中央ニ橫ノ凹線ヲ存ス(第五圖b)

ちやいろこがね屬 Sericania.



第　五　圖

a. あかびらうどこがね後脚ノ脛節
b. ちやいろこがね後脚ノ基節
cox. 基節　fem. 腿節　tib. 脛節　el. 後基節ノ橫線

III_2 後基節ニ橫凹線ヲ欠ク。

IV_1 胸背板ノ下面ニ於テ基部ニ沿ヒ前脛節ヲ橫フル溝狀部ヲ有ス。胸背板ノ前緣角ハ突出スルコトナシ。雌ノ觸角ハ四節ナルコトアリ。

しまびろうどこがね屬 Gastroserica.

IV_2 胸背板ノ下面ニ橫溝ナシ。

V_1 後脛節ノ巾著シク廣ク中基節ノ間分離ス。體大ナリ。

ねをせりか屬 Neoserica.

V_2 後脛節ノ巾狹ク中基節ノ間廣ク分離ス。體小ナリ。

こびらうどこがね屬 Microserica.

びろうどこがね屬

Serica M. 'Leay

觸角十及ビ九節片狀節雌雄共ニ三節ナリ。雄ノ片狀節ハ雌ヨリ短カキコト多キモ種類ニヨリ殆ンド區別シ難シ。前脚ノ脛節ハ二齒ヲ有シ爪ハ分岐ス。頭楯ハ長サヨリ幅廣ク胸背板ノ前緣角ハ稍ヤ突出ス。後腿節及ビ殊ニ後脛節ハ細シ。體ノ上面ハ光澤ナク一般ニ毛ヲ有セズ唯緣部其他ニ小數ノ刺毛ヲ存スルコトアリ光線ニヨリ絨毛狀光澤(びらうど樣)ヲ呈ス。體色ハ褐,紅褐,黑褐等ニシテ我國ノ種類ニハ上面ニ斑紋ヲ有スルモノ少ナシ。體卵形又ハ楕圓形ニシテ幅及長サニ於テ多樣ナリ。翅鞘ハ線條ヲ有シ中間帶ハ稍ヤ弓狀ニ隆起ス。眼ノ內緣ニ存スル刺毛點ハ明カナラザルヲ常トス。

我國ニ產スルびらうどこがね屬ノモノニシテ學名ヲ有スルモノ十種新ニ記載セルモノ一種アリ。其內二種ハ標本ヲ手ニスル能ハザルヲ以テ他ノ九種ニ對スル檢索表ヲ擧グレバ次ノ如シ。

I_1 體長形。雄ノ觸角ノ片狀節長シ

II_1 翅鞘ニ光澤ヲ有ス。 ひめちやいろこがね S. grisea.

II_2 翅鞘ニ光澤ヲ有セズ。

III_1 翅鞘ノ中間帶ニ黑色斑紋アリ。

IV_1 黑斑散點狀ニ分離シ胸背板ニ細鱗毛アリ。

ひげちやいろこがね S. boops.

IV_2 黑斑連絡スルコト多ク胸背板ニ細鱗毛ナシ。

からふとひげちやいろこがね S. karofutoensis. n. sp.

III_2 胸背板ヨリ翅鞘一樣ニ黃褐色ヲナス。

かばいろこがね S. similis.

I_2　體圓味ヲ帶ビ光澤ナク多クハ絨毛狀ノ反射光ヲ有ス

V_1　翅鞘濃キ樺色ニシテ黑色ノ緣ヲ有ス。

V_2　體色一樣ナリ。　くろほしびらうどこがね S. nigrovariata.

VI_1　觸角九節ヨリ成リ前脛節ニ第三齒ノ痕跡ナシ、

ひめびろうどこがね S. salebrosa.

VI_2　觸角十節ヨリ成ル。

VII_1　前脛節ニ第三齒ノ痕アリ。　びろうどこがね S. orientalis.

VII_2　前脛節ニ第三齒ノ痕跡ナシ。

VIII_1　形大ナラズ朝鮮產。　てうせんびろうどこがね S. Motschulskyi.

VIII_2　形大、內地產　おほびろうどこがね S. spissigrada.

ひめちやいろこがね

異名はいいろびらうどこがね

Serica grisea Motschulsky.

Taf. III. fig. 1.

Bull. Mose. 1866, 1. p. 171.

Waterhouse Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 101.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 392,

Brenske, Berl. Ent. Zeit. Uond. 1897, p. 424.

產地 Yokohama, Hiogo, Kiushiu (ろうま字ハ外國文献ノモノ。以下同ジ)

札幌,木曾,秋田,御嶽,青森,日光,上野(戸根),近江(伊吹)

體長 7—9　幅 4—4,5 mm.

體形稍ヤ細長雌ハ暗黃褐雄ハ黑色ヲ帶ブ。金屬光澤アリ。體ノ上下面ニ淡褐ノ短毛ヲ多ク生ズ。

頭部黑色。頭楯ハ前部平カ其兩側角圓形ヲナス。密ニ細點刻ヲ有ス。前頭ハ中央ニ縱隆起線アリ粗ニ細點刻ヲ有シ少シク細毛アリ。

胸背板ハ細點ヲ平等ニ密布シ細短毛ヲ有ス。側緣ハ稍ヤ圓形ニテ僅少ノ長毛ヲ存ス。

翅鞘ハ明カニ縱線ヲ有シ又細短毛アリ不規則ナル點刻ヲ條線上及ビ

中間帶ニ存ス。中間帶ニハ刺毛ヲ散生ス刺毛ハ側縁及ビ先端ニ稍ヤ多シ。尾節板ハ圓味ヲ有シ細點ヲ密布ス。雌ニハ小隆起部アリ。

腹部ハ黒味ヲ帶ビ細點及ビ細毛ヲ有シ明カナル刺毛ヲ列狀ニ生スルコトナシ。びろうどこがね屬ノ多クノ雄ニテハ尾節板ノ先端ガ腹面ニ向フ爲ニ腹部ノ最端節ハ少ナクモ中央ニテ短縮セラルヽノ觀ヲナスモ此ノ種ノミハ此ノ如キコトナシ。

後脚ノ腿節ハ扁平狀ヲナサズシテ先端ニ近ク狹細ス。又細點及ビ細毛ヲ存シ刺毛ヲ欠ク。後脛節ハ細ク粗ク掻傷ノ如キ點紋ヲ有ス四ノ棘毛群アリ。端棘ハ第一跗節ノ凡四分ノ三ニ達ス。

基節ハ胸節ト共ニ光澤アリ剛毛ヲ有セズ。中基節ハ互ニ相分離ス。中腹板ハ後縁ニ明カナル一列ノ刺毛ヲ密生ス。脚ノ鉤爪ハ同大ニシテ內歯ハ外歯ヨリ短カキコトナシ。觸角ハ九節ニシテ雄ノ片狀節ハ甚長ク柄部ノ略ボ二倍ナリ雌ハ柄部ヨリ短カシ。片狀節ノ色ハ雌雄共ニ黒色ナリ。

ひげちやいろこがね

異名ひげながちやいろこがね

Serica (Ophthalmoserica) **boops** Waterh.

Taf. III. fig. 4.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 101. t. 3. f. 3.

Brenske, Berl, Ent. Zeit. XLII, 1897, p. 425.

産地　(兵庫) Mayasan

京都(花園),木曾(御嶽,福島)日光,清澄山,御殿場,信州(戸隱山)米澤,十和田,岩手,樺太,

體長6—8　幅3—4 mm.

觸角九節雄ノ片狀節三箇ハ柄部ノ二倍ノ長サヲ有ス雌甚小ニシテ柄部ヨリ短カシ。體形細長黄褐稀ニ黒褐色ニシテ光澤ナシ。

頭部黒色眼大形ニシテ突出ス頭楯ハ光澤アル褐色ヲナシ前縁ヨリ兩側ニ沿フテ緣狀隆起ヲ有ス。上面密ニ細點刻ヲ在ス。前頭ハ全ク光澤無ク

細點ヲ存シ僅カノ細毛ヲ具フ。

胸背板ハ不規則ナル細點ヲ有シ黃色ノ細鱗毛ヲ略ボ双對的ノ位置ニ生ズ。基部ニ近ク不判明ナル中央線アリ。兩側ハ前方ニ於テ稍ヤ狹ク前緣角ハ突出セズ。後緣角ハ略ボ直角ヲナス。

翅鞘ハ明カナル條線ヲ具ヘ線上ニハ不規則ニ密布セル細點ヲ有ス。中間帶ハ黑色ノ不規則ナル斑紋ヲ有シ短カキ細鱗毛ヲ散布ス。尾節板ハ細點ヲ有シ中央ニ縱ノ隆起線ヲ存ス。雌ニテハ圓ク隆起ス。

腹節ニハ細點ヲ有シ短細毛ト稍ヤ列狀ノ刺毛トヲ具フ。ひめちやいろこがねニ似ル。

後腿節ニハ密ナル點刻ヲ有シ光澤アリテ僅カノ毛ヲ有ス。明カナル列狀ノ刺毛ヲ有セズ先端稍ヤ狹シ。外緣ノ刺毛群ハ弱ク後脛節ハ細長ニシテ內面ニ縱線狀ノ窪ミヲ存ス。端棘ハ第一跗節ノ半ナリ。前脛節ノ外齒ハ互ニ近ヅケリ。

ブレンスケ氏ハ此種ハ稀ナルモノトシテ記載セルモ調査セル標本ニ由ルトキハ九州ヨリ北海道ニ及ブヲ知レリ。殊ニ北海道ニテハ初夏ニ出ル最モ普通種ナリ。

からふとひげちやいろこがね(新種)

Serica karafutoensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. III. fig. 5.

產地　樺太

體長8—9,5　幅5—6 mm.

體黑褐翅鞘上ニ不規則ナル黑斑アリ眼ハ突出ス。頭部黑色頭楯ハ前方ニ殆ンド狹搾セズ前緣上方ニ隆起シ表面ニ皺狀ノ點刻ヲ存シ淡褐色ノ毛ヲ生ズ。前頭光澤アルモ後頭部ハ光澤無シ。前頭ト頭楯ノ會線明カナリ。

胸背板ハ黑色ニシテ僅カニ兩側緣及ビ基部ニ於テ濃黃褐色ヲ呈ス。形短ク幅廣ク細點刻及ビ甚微細ナル淡色毛ヲ存ス。側緣ニ僅少ノ刺毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ稍ヤ長形ニシテ鈍ク尖ル.微細ナル點ト毛ヲ有ス.翅鞘ハ濃黃褐ニシテ線條ニハ一列ノ細點アリ.中間帶ハ黑褐色ノ不規則ナル略ボ連續セル斑點ヲ有シ且ツ小數ノ細點刻ト短刺毛ヲ散生ス.側緣ニハ稍ヤ密ニ褐色刺毛ヲ存ス.

尾節板ハ黑褐ニシテ淡色ノ長毛ヲ生ズ.

觸角ハ九節ニシテ雄ノ片狀節甚長ク柄部ノ二倍アリ.雌ニテハ短カクシテ柄部ヨリ小ナリ.

後腿節ハ光澤アル僅少ノ褐色刺毛ヲ存ス.後脛節ノ外緣ノ刺群ハ甚ダ小ニシテ端棘ハ第一跗節ノ半ヨリ少シク長シ.

此種ハひげちやいろこがねニ最モヨク似ル.其區別點ハ後頭部ノ光澤ナキコト胸背板ニ細鱗毛ヲ欠クコト及ビ翅鞘ノ中間帶上ノ黑色斑紋密ナル等ナリ.

香港福州等ニ產スル *Serica nigrogutta* Brenske トハ彼ニ於テ翅鞘上ニ鱗毛ヲ有シ之ニ全ク無キトノ點ニ由リ區別シ得ベシ.今田氏ハ北樺太ニ於テ江崎氏ハ樺太南部ニ於テ採集セル外我國本土ニ於テ之ヲ得ズ.

かばいろこがね(新稱)

Serica similis Lewis

Taf. III. fig. 2.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 391.

Waterh., (*S. brunnea*) Trans. Ent. Soc. Lond, 1875, p. 101.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. XLII, 1897, p. 427.

產地 Nagasaki, Hitoyoshi, Nikko, Wadatoge, Higo, Yokohama

鎗ケ嶽,下野

體長 8—9, 5　幅 4—5 mm.

體樺色或ハ黃褐色ニシテ全ク光澤ナク少シク突出セル眼ハ濃褐色ヲ帶ブ.體面ニ毛ヲ有セズ.

頭光澤アリ.頭楯前部少シク巾狹ク側緣ヨリ前緣ニ隆起ス.前頭濃褐光

澤アリ。形短カク細點ヲ散布ス。

胸背板短カク巾廣シ前緣ノ中央ハ前方ニ向テ少シク弧線狀ヲナシ前緣角ハ鈍キ突出角ヲナス。後緣角ハ略ボ直角ナリ上面ノ點刻ハ微細ニシテ緣毛ハ之ヲ缺ク。

稜狀板ハ長形ニシテ先端尖ル。

翅鞘條線ノ數多クシテ其點刻著シク細小ナリ。會合線ヨリ第二ノ中間帶ハ巾廣シ。側緣ニ短カキ刺毛ヲ列生ス。中間帶ノ中央線ハ殆ンド點ナシ。

觸角ハ九節ニシテ三箇ノ片狀節甚ダ長ク巾狹ク彎曲ス。

前脚ノ雄ノ鉤爪ノ分歧ハ內方ノ一爪ニ於テ巾廣シ後脛節ノ端棘ハ第一跗節ノ半以上ニ達ス。

ウオーターハウス氏ガ最モ歐洲ニ普通ナル *S.brunnea* トセルモノハブレンスケ氏ニ由ルニ全ク此種ナルガ如シ。唯其區別點トシテブレンスケノ擧ゲタルモノノ內異ナレルハ本學ノ標本ハ雄ノ前脚ノ鉤爪略ボ片狀ニ分歧セルモノアリ然レドモ他ノ特性ヨリ此種ニ加フルモノトス。

くろほしびろうどこがね(新稱)

Serica nigrovariata Lew.

Taf. III. fig. 3.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895. p. 392,

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. XLII, 1897. p. 425.

産地 Maebashi

信州(四阿山)

體長 9　幅 5 mm.

體稍ヤ長形ニシテ黑色光澤ナク,翅鞘濃キ樺色ニシテ暗色ノ細點ヲ散布ス。

頭楯ハ光澤ヲ有シ其ノ周緣少シク上方ニ彎曲シ前緣略ボ波狀ヲ呈ス。表面ニ粗點刻アリ。前頭ハ光澤ナク細點刻ヲ存シ眼ハひげちやいろこがねノ如ク突出スルコトナシ,

觸角濃褐ニシテ九節ナリ.片狀節ハ柄部ヨリ短カシ.

胸背板ハ前頭ト同ジク黑色ニテ細點ヲ有シ細淡黃毛ヲ散布ス.側緣ニハ褐色ノ細刺毛ヲ列生ス前緣角稍ヤ突出ス.

稜狀板ハ長三角形黑色ニシテ黃色細短毛ヲ散生ス.

翅鞘ハ濃キ榛色ヲナシテ會合線及ビ側緣ヨリ外緣ニ沿ヒ黑色ヲナス.明カナル條線ヲ存シ中間帶上ニ不規明ナル暗色ノ點斑ヲ散布シ又細短黃毛ヲ散生ス.脚ハ濃褐ニシテ前脛節ニハ二齒ヲ有シ後脛節ノ端棘ハ第一跗節ノ略二分ノ一ナリ.

本種ハレウキス氏ガ前橋ニテ採集セシ唯一箇ノ標本ニヨリテ記載セルモノナルガ又同地ニ近キ四阿山ニテ明治二十八年七月ニ採集セラレタル標本二個ニ於テ調査スルニ其特質記載ト同ジキヲ以テ玆ニ之ヲ加フルコトトセリ.蓋シ稀ナル種類ナルガ如シ.

ひめびろうどこがね(新稱)

Serica salebrosa Brenske.

Taf. III. fig. 6.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. XLII, 1897, p. 428.

Reitter, Wiener Ent. Zeitschr. XV, 1896, p. 178.

Best.-Tab. (50), 1902, p. 145.

產地 Yokohama, Hakone, Echizen, Kiushiu

石狩 (札幌,鐵函,定山溪), 陸奥 (岩木山), 東京,伊豫 (松山), 土佐 熊本,臺灣,大連,金州

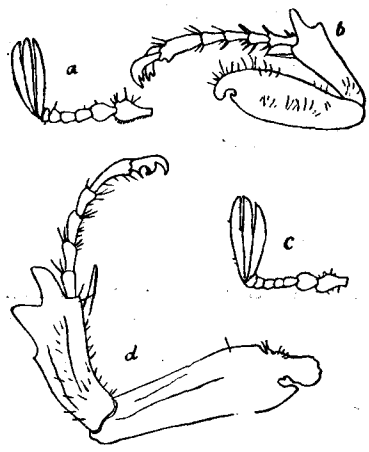
體長 6,5—9幅 3,5—5,5 mm.

體黑色ヨリ黑褐色稀ニ褐色(成熟セザルモノ)光澤ナキモ光線ニヨリ絨毛樣ノ光澤ヲ呈ス.

觸角ハ九節ニシテ片狀節三個ナリ.片狀節ハ雄少シク雌ヨリ長シ.

頭巾廣ク頭楯ハ光澤アリ前方ニ巾著シク狹シ.密ニ點刻ヲ有シ褐色毛アリ.前頭稍圓形ヲナス.粗點及ビ小數ノ褐色刺毛ヲ存ス.後頭平滑ナリ

胸背板ハ細短ノ淡色毛ヲ有スル粗點刻ヲ密布ス.中央ニ僅カニ窪メル



第 六 圖

a ひめびろうどこがねノ觸角
b 同　上　前脚
c びろうどこがねノ觸角
d 同　上　ノ前脚

縱線ヲ存ス。兩側緣ニ稍ヤ强キ褐色ノ刺毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ楯形ヲナシ先端尖ラズ。細點ヲ具フ。

翅鞘ノ線條ニハ一列ノ細點ヲ存ス。中間帶上ニハ細點刻ヲ散布シ胸背板ノ如ク細短ノ淡色毛ヲ生ス。

尾節板ハ細點刻ヲ密布シ先端ニ近ク褐色毛ヲ存ス。

腹節ハ細點ヲ密布シ尾節前ノ者ニ稍ヤ明カナル一列狀ノ褐色毛ヲ有ス。胸部ニ近ヅク節ニ從ヒ點刻不明ナリ。

本種ハ最ヨクびろうどこがねニ似ルモ之ハ觸角九節ナルコト,前脛節ニ全ク第三齒ノ痕跡ヲ有セザル事トニ由リテ區別シ得ベシ(第六圖a,b)。

此種ハ最モ廣ク我國ニ分布セラレ又最モ普通ナル者ナリ。恐ラク現今マデびろうどこがねトシテ考ヘラレタルモノヽ大多數ハ之ニ屬スルナルベシ。此種類ノ大サ色澤ニハ變化多ク北海道錢函ニ於テ採集セル多數ノ標本ハ形小(長サ 6—9,5 巾 3,5—5 mm)ニシテ色ハ黃褐濃褐ヨリ黑色ニ及ビ光澤又著シク其度ヲ異ニセリ。愛媛縣松山ニテ採集ノ一標本又之ニ類スルモノアリ。他地方ヨリ送附ヲ得タル標本ハ殆ド皆黑色ナリ。蓋シ黃褐ヨリ褐色ノモノハ未ダ充分ニ成熟セザル成蟲ナルガ如シ。

びろうどこがね

Serica (Maladera) orientalis Mots.

Taf. III. fig. 8.

Motsch., Etud. Ent. 1857, p. 33.

Fairm., Rev. d' Ent. 1888, p. 118.

Lewis., Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 395.

Reitt., Best.-Tab. (50) 1903, p. 145.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 427, u. 1902, p 49.

産地 Yokohama, Hakone, Kioto, Nagasaki

函館,輕川,安房(清澄),高知,朝鮮(京城)

體長 9—10 幅 5—6 mm.

體光澤無ク黑褐稀ニ褐色.觸角十節,片狀節雌雄共ニ短シ.

頭部巾廣ク頭楯光澤アリ粗點刻ヲ密布ス.殆ンド毛ヲ有セズ.前頭略ボ平カニシテ細點ヲ存ス.僅少ノ刺毛ヲ散生ス.

胸背板ハ點刻稍ヤ粗兩側緣ニ甚ダ僅少ノ毛ヲ存ス.

翅鞘ハ多數ノ條線ヲ有シ線上ニハ一列ノ細點ヲ存ス.中間帶上ニハ同樣ノ細點ヲ散布ス.

腹節ニ存スル褐色毛ハ明カナル一列ヲナサズ.

後基節ハ外緣小ナル刺毛點ヲ存ス.後腿節ハ光澤アリ.其ノ先方巾少ク狹ク外線ニ沿ヒテ細カキ刺毛ヲ生ズル點列アリ.僅カノ長刺毛ヲ表面ニ生ズ.後脛節ハ扁平ナラザルモ前端稍ヤ巾廣シ.端棘ハ明カニ第一跗節ヨリ短カシ.前脛節ニハ外齒ノ外第三齒ノ痕跡ヲ有ス(第六圖d).

此種ハ最モ普通ナルモノトシテ知ラレタル甲蟲ナルモ當林學教室ニ存スル標本ハ僅ニ九個(內五個ハ石狩國輕川產)ニシテ本年我國各地ヨリ寄送ヲ受ケタル多數ノ標本中一個ヲモ見ル能ハザリシハ採集時期ニモ關スルナランモ前種ノ如ク普通ナラザルコト明カナリトス.

てらせんびろうどこがね(新稱)

Serica Motschulskyi Brenske

Tab. III. fig. 9.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr, 1897, p. 371.

産地 Korea.

京城

體長 9 幅 5,5 mm.

體黑色僅カニ褐色ヲ帶ブ.上面全ク光澤ナク唯腹面少シク光澤ヲ有ス.

觸角ハ拾節ニシテ其ノ片狀節雄ニ於テ長ク柄部ヨリ大ナリ。

頭楯巾廣ク前方ニ向ヒテ細狹シ前緣僅カニ彎曲ス。前頭ノ後方ニハ密ナル點刻ヲ有ス。絨毛狀ヲナサズ。

胸背板ハ巾廣ク細點刻ヲ散布シ後緣角ハ略ボ直角ヲナス。兩緣線ハ前部僅カニ弓狀ヲナス。

翅鞘ハ側緣ニ黃色刺毛ヲ存ス。條線ハ明カニシテ粗點刻ヲ有スルモ規則正シキ點刻ヲ有セズ。中間帶ノ中央ニ細點刻ヲ缺ク。

前脛節ニハ第三齒ノ痕跡ヲ缺ク。後腿節ハ特ニ巾廣キコト無ク略ボ一樣ニ細點ヲ有ス。刺毛點弱シ。後脛節ハ著シク巾廣カラズ。二個ノ刺毛ヲ有ス。端棘ハ跗節ノ第一ト同長ナリ。

此種ハ最モヨクびろうどこがねニ似ル然モ後脛節ノ端刺ノ長キト雄ノ觸角片狀節ノ長キトニヨリ區別シ得ベシ。

おほびろうどこがね(新稱)

Serica spissigrada Brenske

Taf. III. fig. 7.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1898, p. 430.

產地 Japan.

鹿兒島,東京,京城,沖繩

體長 10　幅 5,5 mm.

體黑褐光澤ナシ。觸角十節。雄ノ片狀節ハ柄部ヨリ少シク長シ。

頭楯巾廣ク點刻ハ甚ダ密ナラズ前緣平カナリ。前頭ハ短カク巾廣シ僅少ノ刺毛ヲ散布ス。

胸背板ハ側緣前方ニ僅カニ圓味ヲ有シ僅少ノ刺毛ヲ存ス。點刻ハ稍ヤ密ナルモ甚ダ淺シ。

翅鞘ハ條線部ニ密ナル細點ヲ有スルモ列狀ヲナサズ。中間帶ニモ細點ト甚ダ微細ナル殆ンド注意シ得ザル毛ヲ散布ス。

後腿節ハ稍扁平ニシテ光澤ナク兩側ニ細キ刺毛ノ列ヲ存ス。後脛節ノ

先端ノ刺棘ハ跗節ノ第一ヨリ少シク長キカ略ボ同長ナリ。前脛節ニ第三歯ノ痕跡ヲ缺ク。

此種モ又びろうどこがねニ最ヨク似ル。形稍ヤ狭ク概シテ少シク大形前脛節ニ第三歯ノ跡ナク後脛節ノ刺棘長シ。てうせんびろうどこがねトハ唯其ノ記載ノミニテハ區別シ能ハザルモ此種ハ一般ニ彼ヨリ大形ナリ。

びろどうこがね屬ニテ標本ヲ檢定シ得ザルモノ次ノ二種アリ。

Serica famelica Brenske.

Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 331.

産地 China, Formosa.

Serica formosana Moser.

Deutsch, Ent. Zeitschr. 1915, p. 338.

産地 Formosa (臺南)

あかびろうどこがね屬

Autoserica Brenske.

觸角十節甚ダ稀ニ九節ノコトアリ。片狀節ハ雌雄共ニ三節ナリ。前脛節ハ二歯ヲ有ス。後腿節及ビ脛節ハ巾廣ク扁平ナリ(第五圖a)。跗節ノ鉤爪ハ明カニ分枝ス。中基節ノ中間ハ腹面ニ於テ廣ク分離ス。*Asrica* Lew. (Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p.394) 中あかびろうどこがねヲ含ム種類ハ觸角ガ十個ノ節ヲ有スルモノナルガ其特性ヨリ本屬ニ入ルモノトス。又同屬ニ入レラレタルびろうどこがねハ脚ノ構造ヨリびろうどこがね屬ニ移スベキモノナルコト明カナリ。

此屬中我國ニ存在スルモノトシテ記載セラレタルモノ十種アリ。其内標本ヲ手ニスルヲ得タルモノ僅カニ四種ニシテ他ノ朝鮮及ビ臺灣産ノ種類ハ未ダ之ヲ見ルヲ得ズ。檢定セル四種ノ檢索表次ノ如シ。

I$_1$　體長7 mm.以下紅褐色ニシテ前脛節ノ歯ハ同大ナリ。

たいわんひめびろうどこがね Auts. formosae.

I_2　體長7 mm.以上

II_1　胸部(腹面)ノ中央ニ縦ノ窪メル縦線アリ。

ざうてるびろうどこがね Auts. Sauteri.

II_2　胸部ニ縦凹線ヲ缺ク。

III_1　頭楯ノ中央ニ少シク隆起セル縦線アリ前頭ニ僅少ノ毛ヲ有ス。

あかびろうどこがね Auts. japonica.

III_2　頭楯ノ中央ニ小瘤狀部アリ前頭ニ毛ナシ。

まるがたびろうどこがね Auts. secreta.

まるがたびろうどこがね(新稱)

Autoserica secreta Brenske.

Taf. III. fig. 12.

Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 311.

産地, Tsuruga, Nagahama, Fushiki, Shimonoseki, Kiushiu, Hugi, Hiogo, Yokohama.

東京

體長 8—11　幅 5—7 mm.

體紅褐,暗褐ヨリ黑色ヲ帶ブ.光澤ナク少シク絨毛光澤アリ。

頭楯ハ前緣ニ近ク淺キ横ノ窪ミアリテ其後ニ少シク瘤狀ニ隆起セル部アリ.此部分ハ雄ニ著シク雌ニ低シ.前頭ニ散在スル點刻ハ微細ニシテ殆ンド點ナキガ如ク見ユ.眼ニ沿フテ僅カニ少數ノ刺毛ヲ存ス。

稜狀板ハ稍ヤ大形基部ノ巾廣シ。

翅鞘ノ線條ニハ不規則ニ密布セル細點ヲ有ス.中間帶ハ僅カノ細點刻アリテ恰モ點ナキガ如ク見ユ.尾節板ハ巾廣ク圓ミヲ有シ僅カニ細點ヲ存ス。

腹部ノ環節ニハ明カナル刺毛ノ列ヲ有ス。

後基節ノ後緣ヨリ外緣ニ刺毛ノ列ヲ存シ後腿節ハ巾廣ク光澤ナク僅少ノ刺毛ヲ存シ先端ノ緣ト外緣トガ略直角ヲナス.後脛節ハ巾廣ク其ノ

端棘ハ第一跗節ト略同長ナリ。

觸角拾節ニシテ片狀節ハ雄ハ柄部ト同長雌ハ少シク短カシ。

本種ハあかびろうどこがねヨリ大形ニシテ巾廣ク體稍ヤ圓味ヲ帶ブ。甚シク多カラザルガ如シ。本學ノ標本三個アリ。

あかびろうどこがね

異名とびいろびろうどこがね

Autoserica(Maladera) **japonica** Mots.

Taf. III. fig. 10.

Etud. Ent. 1860, p. 15.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 396.

Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 102.

Reitter, Wien. Ent. Zeitschr. 1896, p. 187.

Reitter, Best.-Tab. (50). 1902, p. 144.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 432.

新島等, 演習林報告第五號 P. 11.

産地 Nagasaki, Hiogo, Yokohama

石狩,青森,秋田,米澤,仙臺,栃木,清澄,信州,東京,伊豆,加賀,岐阜,京都,土佐高松,佐賀,熊本,宮崎,高鍋,鹿兒島,朝鮮,臺灣,

體長7—10 幅 4—6 mm.

體楕圓形稍ヤ長形紅褐色ニシテ光澤無ク絨毛光澤ヲ有ス。

頭楯ノ前緣少シク窪ミ中央ニ縱隆起線アリ。前頭ニ明カナル毛ヲ有ス。

翅鞘上ノ線ハ明カニシテ各一列ノ細點刻ヲ有ス。中間帶ハ緩ニ高マリ僅カノ散點刻アリ。尾節板ハ密ニ細點刻ヲ具ヘ先端ニ近ク少シク毛ヲ存ス。

腹節ニハ明カナル一列ノ刺毛ヲ存ス。

後腿節光澤ナク一列ノ刺毛ヲ存ス。內緣ト外緣トハ直角ヲナサズ圓味ヲ帶ブ。後脛節ハ滑カニシテ端棘ハ跗節ノ第一ト略ボ同長ナリ。後基節ノ列狀刺毛ハ稍ヤ短小ナリ。

觸角十節三箇ノ片狀節ハ雄狹ク柄部ト略ボ同長雌少シク雄ヨリ短カシ。

最モ普通ナル種類ニシテ色澤皆紅褐色ニシテひめびろうどこがねニ於ケル如キ變化ヲ見ルコトナシ。本種ハ我國ニ於ケル最モ廣ク分布セル種類ノ一ナリ。

たいわんひめびろうどこがね(新稱)

Autoserica formosae Brenske.

Taf. III. fig. 16.

Brenske, Berl. Ent. Zeit. 1898, p. 210.

産地 Formosa

臺灣,京城

體長 6—7　幅 4 mm.

黃褐或ハ黑褐ニシテ光澤無ク稍ミ絨毛光澤アリ。

頭楯短カク前方狹ク兩側前方ニ圓味ヲ帶ブ。細點刻ヲ散布ス。前頭ノ細點刻ハ密ナリ。表面ニハ毛ヲ有セズ唯眼ニ近ク僅少ノ刺毛ノ存スルアリ。眼ハ黑シ。

胸背板短カク前緣角ハ少シク前方ニ突出シ後緣角ハ略ボ直角ナリ。角點部ニ僅少ノ刺毛ヲ存ス。上面微細ナル點ヲ密ニ存在ス。

稜狀板ハ基部巾廣ク點ハ甚細カシ。

翅鞘ハ多クノ線條ヲ有ス。線溝部ニハ略ボ一列ノ點アリ。中間帶ハ弓狀ニ高マリ略ボ點刻ナシ。

尾節板ハ點紋殆ンド不明緣線ニ沿ヒテ列狀ニ長毛ヲ存ス。

腹部ノ環節ハ明ナル刺毛ヲ列狀ニ生ズ。

脚ノ前脛節ノ第一二齒間ノ切込ミ深シ後脛節ハ巾比較的ニ廣ク滑カニシテ點刻少ナシ二ノ刺毛群ヲ存ス。端棘ハ第一跗節ト同長ナリ。

觸角十節ニシテ其片狀節ハ雄ハ柄部ヨリ僅カニ長シ。

あかびろうどこがねニ似ルモ形ハ著シク小ニシテ前脛節ノ齒ノ切込深シ。本種ハ恐ラク素木博士ニ由リ新變種トシテ記サレタルひめちやい

ろこがね(*Serica grisea* var. *formosana* Shiraki. 臺灣農事試驗場報告第一號明治二十九年 p. 228. pl. 40, f. 6,) ト同一ナル可シ.唯同氏ノ記載ハ特質ヲ擧ゲザルヲ以テ之ヲ以テ確定シ難シ.京城ニ於テ採集セラレタル一個ノ標本ハ全ク臺灣產ノモノト同一ナリ.

さうてるびろうどこがね(新稱)

Autoserica Sauteri Moser.

Taf. III. fig. 11.

Stett. Ent. Zeitschr. 1918, p. 213.

產地 Formosa(Kosempo, Sokutsu)

臺灣 (嘉義)

體長 10 幅 6 mm.

頭楯ハ前方巾狹ク前緣少シク反曲ス.表面淺キ細點刻ヲ有ス.前頭ノ點紋モ又細淺ナリ.

胸背板ノ巾ハ長サノ略二倍ナリ後緣角ハ圓味ヲ帶ビタル直角ヲナシ前緣角ハ僅カニ前方ニ突出ス.上面ノ點ハ微細ナリ.

稜狀板ハ基部ノ巾廣ク細點ヲ散布ス.

翅鞘ノ線條ハ明カニシテ多數ナリ.中間帶ハ稍ヤ隆起シ細點ヲ散布ス.

胸部ノ中央ニ窪メル一縱線アリ其ノ兩側ニ强キ褐色ノ刺毛ヲ存ス.各腹節ニハ明カナル一列ノ刺毛ヲ存ス.

後基節ノ側緣ニ近ク强キ刺毛列ヲ具フ.後腿節ハ光澤ナク巾廣ク前後緣ニ近ク各一列ノ刺毛ヲ存ス.後脛節ハ巾廣ク短カシ.其端棘ハ第一跗節ト略同長ナリ.

觸角ハ十節ニシテ片狀節ハ雄ハ柄節ヨリ少シク長ク雌ハ短カシ.本學ノ標本ハ嘉義ニ於テ採集セラレタル者二個アリ.共ニブレンスケ氏ノ記載(11 mm.)ヨリ稍ヤ小ナルモ他ノ特性ヨク之ニ合スルヲ以テ此種ト認定セリ.

あかびろどこがね屬ニテ標本ヲ得ル能ハザリシ種類次ノ六種アリ.

Autoserica Koreana Moser.

Stett. Ent. Zeitschr. 1919, p. 330.

産地　Korea

Autoserica invenusta Moser.

Stett. Ent. Zeitschr. 1918, p. 212.

産地　Formosa

Autoserica infuscata Moser.

Deutsch. Ent. Zeitschr. 1915, p. 310.

産地　Korea, China

Autoserica cariniceqs Moser.

Deutsch. Ent, Zeitschr. 1915, p. 341.

産地　Korea

Autoserica opaciventris Moser.

Deutsch. Ent. Zeitschr. 1915, p. 355.

産地　Korea

Autoserica castanea Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 398.

産地　Kobe, N. China (Tientsin, Shanghei, Foochow)

ちやいろこがね屬

Sericania Reitter.

觸角ハ九節ニシテ片狀節ハ雄四節雌三節ナリモツチユルスキーハ柄部ノ最後ノ一節ガ稍ヤ延長シ短カキ片狀節ノ如キ形ヲナスモノアルヲ以テ之ヲ片狀節ニ數ヘタルモ之ハ明カニ柄部ニ入ルベキモノナリ。後脚ノ基節少シク短カク稍ヤ後方ニ偏シテ横ノ凹線ヲ存ス(第五圖b)。其爲ニ全基節ガ中間ニ向テ窪メル如キ觀ヲナス。中基節ハ相接シ後胸節ハ巾廣ク扁平ナルコトナシ。爪ハ雌雄共ニ分枝シ其内部ノ者巾廣ク鈍ク尖ル。

ちやいろこがね屬ニ屬スルモノニシテ我國ニ產スルモノ三種アリ今新ニ二種ヲ加フ。其檢索表次ノ如シ。

I_1 體褐色ヲ帶ビ光澤アリ。

II_1 雄ノ觸角ノ片狀節ニ次グ環節ハ小片狀ヲナサズ。

からふとちやいろこがね Serican. sachalinensis.

II_2 雄ノ觸角ノ片狀節ニ次グ環節ハ小片狀ヲナス。

III_1 翅鞘ノ線條明瞭ナリ。

IV_1 體著シク細長ナラズ。 なへどこちやいろこがね Serican. mimica.

IV_2 體著シク細長ナリ。 ひだちやいろこがね(新種) Serican. hidana n. sp.

III_2 翅鞘ノ線條著明ナラズ。 れうゐすちやいろこがね Serican. lewisi.

I_2 體黑色ヲ帶ビ光澤ナシ

くろちやいろこがね(新種) Serican. shinanoensis n. sp.

なへどこちやいろこがね

異名なへどこあかこがね

Sericania mimica Lewis.

Taf. III. fig. 15.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 390.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 381, 433, ♀

新島等, 演習林研究報告 第五號 p. 12

產地 Nikko, Hakone, Subashiri, Mitake, Yokohama,

札幌,膽振

體長9—11 幅 5—6 mm.

體長形ニシテ光澤アリ。褐色ニシテ僅カニ黃色ヲ帶ブ。翅鞘ノ條線深シ

頭楯ハ前方巾狹ク不規則ナル密點ヲ存ス。側緣ハ前緣ト圓ク連接ス。前頭ハ濃褐色ニシテ前方密ニ後方粗ニ細點刻ヲ存ス。

胸背板ハ粗點刻ヲ存シ前緣角少シク前方ニ突出ス。後緣ノ兩側及ビ側線ハ高キ緣線狀ヲナス中央ノ縱線部ハ少シク窪ムヲ常トス。

翅鞘ハ强キ條線ヲ有ス。條線ト溝部ニハ密ニ點刻ヲ存シ中間帶ハ狹ク滑カナリ。

尾節板ハ光澤ナク細點刻ヲ有ス。

腹節ノ上ニハ散點刻ヲ有シ列狀ノ刺毛ヲ缺ク後腿節ハ前方幅狹ク光澤アリ。點刻ヲ散布ス。後脛節ハ細長ニシテ先端ノ刺棘ハ二個共ニ略同大ニシテ第一跗節ヨリ短カシ。

觸角ノ片狀節ハ柄部ヨリ短カク雌ハ更ニ雄ヨリ短カシ。

からふとちやいろこがね

Sericania sachalinensis Matsumura.

Taf. III. fig. 14.

Matsumura, (*Serica*) Journ. Coll. Agri. Imp. Tohoku Univ. 1911, p. 118

産地 Sachalin.

樺太,沙那(千島)十勝,京都,越後

體長 8—11 幅 4,5—5,5 mm.

體光澤アル濃褐色稀ニ綠黑色ヲ帶ブ絨毛光澤又ハ毛ヲ存スル事ナシ。

頭楯ハ前緣角ニ圓味ヲ帶ビ前緣ハ波狀ヲナス。前緣ニ沿ヘル橫隆起線ハ著シ。表面ノ點刻ハ甚粗シ。前頭ノ點刻ハ不規則ニ排列シ中央ヨリ後頭ニ向テ縱ニ滑カナル部ヲ有ス。

胸背板ハ全面ニ細點刻ヲ存ス。然シ甚シク密布セズ。前緣角ハ少シク突出シ後緣角ハ稍ヤ圓味ヲ帶ブ。後緣ハ兩側ニ向テ緣狀ニ隆起ス。中央縱線狀ニ少シク窪ム側緣ニハ僅少ノ毛ヲ存スルノミ。

稜狀板ハ稍ヤ細長中央ニ滑カナル部ヲ殘シテ細小點刻ヲ密布ス。

翅鞘ハ多クハ褐色ヲ帶ブ。頭胸部ハ黑味ヲ帶ブルヲ常トス。條線深クシテ不規則ナル點刻ヲ存ス。中間帶ハ稍ヤ高ク略ボ滑カナリ。中間帶ハ光線ニヨリ綠黑色ヲ呈スルモノアリ。

腹節ハ不規則ナル點刻ヲ散布ス。刺毛點ナシ。

觸角ノ片狀節雄ハ四節ニシテ柄節部ノ全體ヨリ長ク雌ハ三節ニテ柄部ノ半ヨリ少シク長シ。雄ノ第五節即チ片狀節前ノ一節ハ全ク伸長スルコトナシ。

後脛節ノ端棘二個ハ同長ニシテ跗節ノ第一ヨリ僅カニ短小ナリ。其第

一第三跗節ハ略同長ナリ。

本種ハ樺太及ビ千島(擇捉)ニ於テ最モ普通ニシテ七八月ノ頃濶葉樹林ニ多ク採集サレタリ。京都越後產ノ小數ノ標本モ全ク差違ナク十勝產ノモノノ一個ハ形著シク小(體長 8 mm 他ハ皆 10 mm, 前後)ナリ。

松村博士ガ創定セル新亞屬 *Mesoserica* ハ全クブレンスケ氏ノ定メタル同名ノ屬トハ性質ヲ異ニシテ本屬ト區別ナキモノト認ム。

ひだちやいろこがね(新種)

Sericania hidana Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 9. 9a.

產地　飛彈

體長 11　幅 4,5—5 mm.

體著シク細長光澤アル黑褐色ニシテ翅鞘上ノ縱線强ク明カナリ。

頭楯ハ前方幅狹ク稍ヤ强キ點刻ヲ有ス。前緣ハ少シク彎入シ上反ス。前頭ハ又强キ點刻ヲ具ヘ中央ニ光澤アル隆線ヲ有ス。後頭部ハ滑カニシテ點刻ナシ。眼ハ少シク突出ス。

胸背板ハ短カクシテ幅長サノ二倍ヨリ大ナリ。光澤アル濃褐色ヲナシ兩側緣黃褐ナリ。中央縱ニ淺キ凹線ヲ有ス。點刻强ク側緣ニ小數ノ刺毛ヲ生ス。

稜狀板ハ少シク長形ニシテ中央ニ細縱線ヲ有シ小點刻ヲ具フ。

翅鞘ハ細長ニシテ條線ハ深キ細溝狀ヲナシ黃褐色ヲ呈ス。中間帶ハ隆起シ黑褐色ナリ。點刻ハ溝狀部ニ不規則ニ密布ス。第二中間帶ハ先端ニ向テ幅廣シ。

尾節板ハ光澤アル黑褐色ニシテ强キ隆狀ヲナシ小點刻ヲ有シ先端ニ近ク長黃色毛ヲ生ス。

胸部ノ腹面ハ黃褐ニシテ腹節ハ黑褐ナリ。腹節ハ一樣ニ稍ヤ强キ點刻ヲ有ス。明カナル刺毛ヲ缺ク。後基節ハ橫線ノ前方濃褐ニ後方黃色ヲ帶ブ。後脛節ノ端棘ハ第一跗節ヨリ短カク跗節ハ著シク細長ナリ。

觸角ハ黃褐ニシテ雄ノ片狀節長ク其前節ハ短片狀ニシテ片狀節ノ略三分ノ一ノ長サナリ。

本種ハヨクすじちやいろこがねニ似ルモ體狹長ナルト翅鞘ノ縱線深キトニ由リテ直チニ區別シ得ベシ。

予等ハ三個ノ標本ヲ有ス。何レモ飛彈產ナリ。

れうおすちやいろこがね(新稱)

Sericania lewisi Arrow.

Taf. III. fig. 13.

Ann. Mag, Nat. Hist. 1913, p. 397.

產地 Yokohama, Nikko.

中禪寺,秩父,鎗ケ嶽

體長 8—10 幅 4,5—5 mm.

金屬光澤ヲ有シ褐色黑色或ハ綠褐色ヲナス。

頭楯ハ粗點刻ヲ存シ兩側ヨリ前緣角ニ圓味ヲ帶ブ。前頭トノ接線ハ殆ンド不明,前頭ハ光澤アリテ不規則ニ粗點ヲ散布シ滑カナル縱線ヲ中央ニ存ス。

胸背板ハ明カニ然シ稍ヤ粗ナル點刻ヲ有ス。前緣角ハ稍ヤ前方ニ突出シ後緣角ハ少シク直角ヲナス。側緣ニ僅少ノ細毛ヲ存ス。中央ニ縱線狀ノ窪ミアリ。

稜狀板ハ先端尖リ點刻ヲ密布ス。

翅鞘ハ强キ條線ヲ有シ,不規則ニ密點ヲ有スル溝線ハ中間帶部ヨリ廣シ。尾節板ハ細點ヲ散布ス。

腹部ノ環節ニハ細點刻ヲ散布ス。明カナル刺毛ノ點ヲ有ス。

後腿節ハ滑カニシテ細點ヲ散布シ細長ナル刺毛ヲ列狀ニ存ス。後脛節ノ端棘ハ二個略同長ニシテ第一跗節ヨリ短カシ。

觸角ノ片狀節ハ柄部ヨリ短カク雌ハ殊ニ著シ。雄ノ柄部ノ片狀節ニ接スル一節ハ短カキ片狀ヲ成ス。

本種ハ滿州ニ產スル *Seric. fuscolineata* ト同一トシテ認メラレタルモノヲアルロウノ別種トナセルモノナリ。其區別點ハ本種ガ頭楯ノ前緣ニ近ク隆起ヲ有セズ觸角ノ第五節ガ甚ダ短カキ片狀ノ伸長ヲナスノミナルトノ點ニシテ尙ホ翅鞘上ニ濃色ノ標本ノ外特殊ノ縱線ナキコトヲ擧ゲタリ。余等ノ有スル標本ニテハ明カナル縱線ヲ具フルモ他ノ特質ヨリ玆ニ之ヲ加フルモノトス。

くろちやいろこがね(新種)

Sericania shinanoensis Niijima et Kinoshita, n. sp.

Taf. II. fg. 7.

產地　信濃(鎗ヶ嶽)福岡(英彥山)

體長 10,5—11 幅 6 mm.

體帶褐黑色光澤無ク稍ヤ眞珠色ノ反射ヲナス。

頭部黑色ニシテ光澤アリ。頭楯ハ前方ニ巾狹ク前緣少シク窪ミ上方ニ反曲ス。表面不規則ニ粗點ヲ有ス。褐色ノ刺毛略ボ一橫列ヲナシテ存ス。前頭トノ會合線ハ殆ンド不明ナリ。前頭ハ前方粗ニ後方微小ナル點ヲ有シ僅少ナル刺毛ヲ散生ス。眼ハ少シク突出ス。

胸背板ハ幅廣クシテ短カク長サハ凡ソ幅ノ半ナリ。黑褐色ヲナシ微細ナル點刻ヲ上面ニ散布ス。側緣ハ前方ニ向テ狹ク鈍ク突出セル前緣角ヲ有ス。前緣ハ中央前方ニ向ヒ弧線狀ヲナス後緣角ハ圓シ。稜狀板ハ長キ楯形ヲナシ先端尖ル甚ダ微細ナル點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ多數ノ條線ヲ有ス。各線上ニハ一列ノ細點アリ。中間帶ハ著シク隆起スルコトナク散在セル細點ト白色ノ細毛ヲ存ス。翅鞘ノ側緣ニ褐色ノ刺毛ヲ列生ス。

尾節板ハ强ク彎曲シ褐色刺毛ヲ有ス。腹部ハ光澤ナク小數ノ刺毛ヲ列生ス。

觸角ハ九節ニシテ雌ノ片狀節ハ柄部ヨリ短カシ。

前脚ノ基節ノ外緣ニ長キ刺毛ヲ生ズ。後基節ハ黃褐ニシテ此屬ニ共通

セル横凹線ヨリ上部ハ濃褐色ヲナス。後脛節ハ細長ニシテ外緣ニ二ノ棘毛群ヲ存ス。端棘ハ第一跗節ヨリ短カシ。

本種ハ未ダ其雄ヲ知ル能ハザルモ體ノ上面全ク光澤ナク黑色ヲ帶ブルヲ以テヨク本邦產ノ他種類ト區別シ得ベシ。

予等ノ調查シ得ザルモノ本屬中一種アリ。

Sericania fuscolineata Motsch.

Schrenck, Reise. II. 2, 1860, p. 136. t. 9, f. 10.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1902, p. 42.

產地 Ost-sibirien, Yokohama, Chiuzenji.

こびろうどこがね屬

Microserica Brenske.

觸角ノ片狀節ハ雄ニテ四節ヨリ成ルヲ普通トスルモ尙七節マデハ種々ノ變化アリ。雌ハ常ニ三節ナリ。前脛節ハ二齒ヲ有ス。後基節ハ甚シク大ニシテ横線ヲ有セズ。後脛節ハ一樣ニ狹クシテ多クハ滑カナリ。中基節ノ間ハ分離ス。頭楯ハ前後ノ幅同ジクシテ前部狹搾スルコトナシ。體形小ニシテ翅鞘上ニ斑紋ヲ有スルモノ多ク又眞珠光澤アリ。色澤多樣ナリ。

本屬中我國ニ記載セラレタルモノ次ノ四種アリ。然レドモ本學ノ標本トシテ得ラレタルモノナシ。

Microserica nikkoensis Brenske.

Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 435.

產地 Nikko.

Micros. (Serica) **brevicornis** Lewis.

(*Serica*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 303.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 435.

產地 Nikko, Shinano.

Micros. (Serica) **higonia** Lewis.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 394.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 433.

産地 Hitoyoshi, Konose, Yuyama.

Micros. Branskei Reitt.

Wien. Ent. Zeitschr. 1896, p. 186.

Best.-Tab. (50), 1902, p. 106.

Brenske, Berl,. Ent. Zeitschr. 1897, p. 436.

産地 Yokohama.

しまびろうどこがね屬

Gastroserica Brenske.

觸角ノ片狀節ハ雄ハ四雌ハ四及ビ三節ナリ。胸背板ハ前部幅狹ク前緣角突出セズ。後緣角ハ稍ヤ尖ル胸背板ノ腹面ニハ明カナル溝狀部後緣ニ沿フテ存在シ此處ニ前脛節ヲ横トウ。中基節ノ間ハ廣ク分離ス。上面ニ斜ニ發生セル刺毛ヲ散生ス。體形狹キ長楕圓形ヲナス。此屬ノ既ニ我國ニ存スルモノ唯一種アリ。

Gastroserica Herzi Heyden.

(*Serica*), Horae Soc. ent. Bossicae, 1887, p. 204.

Brenske, Mèm. Soc. Ent. Belg. 1894, p. 52.

Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 414.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 397.

産地 Korea (Fusan, Genzan, Kiukiang), Mandschurei (Chosan)

本種ノ標本ハ未ダ之ヲ見ルヲ得ズ。別ニ本屬ニ屬スベキ一新種アリ。

しまこびろうどこがね(新種)

Gastroserica bicolor Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. II. fig. 8.

産地　臺灣

體長 7　幅 3 mm.

體長形黑色ニ黃褐色ノ縱縞アリ。光澤ナク,柔キ絨毛光澤ヲ呈ス。

頭楯黃褐前緣少シク弧線狀ヲナシ僅カニ上反ス。微細ナル點刻ヲ不規

則ニ散布ス。小數ノ褐色刺毛アリ。前頭黑色前緣角ハ稍ヤ鋭ク前方ニ突出ス。上面ニ粗點ヲ散布シ刺毛ヲ存ス。僅カニ隆起セル中央線アリ。眼ハ濃褐色ニシテ突出ス。

胸背板ハ基部ノ幅廣ク前緣ト殆ンド半圓形ヲナス。中央及ビ兩側緣黃褐ニシテ他ハ黑色ナリ。上面ニ細點ト淡色細短毛トヲ生ズ。中央縱凹線ヲ有セズ。側緣ヨリ前緣ニ沿ヒ褐色刺毛ヲ具フ。

稜狀板ハ長形ニシテ先端尖リ黃褐ニシテ中央滑ニ兩側ニ細點ト細短毛ヲ生ズ。

翅鞘ハ黑色ニシテ各鞘上ニ縱ノ一黃色條ヲ具フ。條線ニハ一列ノ細點アリ中間帶ニハ細點ナク第一,三,五ノ中間帶上ニハ强キ褐色刺毛ヲ列生ス。殊ニ第一ノモノ多クシテ會合線ニ向フ。

尾節板ハ大形ニシテ暗黃褐ヲナシ細點ト稍ヤ長キ毛ヲ具フ。

腹節ハ黑色ニシテ明カナル一橫列ノ褐色刺毛ヲ存ス。

觸角ハ十節ニシテ雄ノ片狀節ハ四個濃褐ニシテ黃褐色ノ柄部ヨリ著シク長シ。

脚ノ後基節ハ著シク大,淡黃褐色ニシテ一樣ニ細點ト細毛ヲ存シ刺毛ヲ缺ク。後脛節ノ端棘ハ短カシ。

記載ニ由ルトキハ最モヨク朝鮮產ノ *Gastr. Herzi* Heyd.ニ似ル。然レドモ雄ノ片狀節著シク長クシテ柄部ヲ超ヘ胸背板ノ中央ニ縱凹線ナク翅鞘ニ强キ褐色ノ刺毛ヲ列生スル點ニ於テ區別シ得ベシ。

ねをせりか屬

Neoserica Brenske.

觸角ノ片狀節ハ雄ニ於テ四ヨリ五或ハ六節ニ至リ雌ハ三節ナリ。中基節ノ間ハ腹面中央ニテ廣ク離ル。後腿節及ビ後脛節ハ著シク幅廣キヲ常トス。頭楯幅廣ク眼ハ稍ヤ突出ス。胸背板ハ弓狀ヲナシ突出セル前緣角ヲ有ス。前脛節ハ二齒ヲ有シ,跗節ノ爪ハ先端ニ近ク分枝ス。體形大ナリ。此屬ニテ我國ニ知ラレタルモノ次ノ三種アリ。予等ノ蒐集ニハ全ク之ヲ缺ク。

Neoserica angulata Lewis.

(*Serica*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 392.

Brenske, Berl. Ent. zeitschr. 1897, p. 434.

産地 Oyayama

Neos. quadrifoliata Lewis.

(*Serica*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 393.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 434.

産地 Nikko

Neos. macrophthalma Moser.

Stett. Ent. Zeitschr. 1818, 219

産地 Formosa

第三節　こふきこがね亞科

Melolonthinæ.

本亞科ニ屬スルモノハ上顎ガ葉狀ヲナサズシテ上方ヨリ見ル能ハズ。頭楯ハ眼ノ前ニテ側緣ノ彎入スルコトナシ。爪ハ同長ニシテ前腿節及ビ胸背板ノ側緣ニ齒ヲ有セズ。胸背板ノ前緣隆起スルコトナシ。後脛節ノ端棘ハ互ニ相接近シ脛節ノ先端ニ明カナル跗節ヲ容ルヽ切込又ハ溝狀部ヲ存ス。腹節ハ尾節ノ外相着合シ中央ノ接合線消失スルモノ多シ。觸角ハ八乃至十節ヨリ成リ片狀節ハ大ニシテ雄ニテ葉片狀ヲナスヲ常トス。

本亞科ヲ大別シテ三トス。即チ次ノ如シ。

I_1　胸背板ノ前緣ニ膜狀緣ナシ。

II_1　上唇ノ形狀左右相稱ナリ。

III_1　觸角ノ片狀節雌雄共ニ三節ヨリ成ル。　くろこがね類 Rhizotrogina.

III_2　觸角ノ片狀節雄ハ三節ヨリ多シ。　こふきこがね類 Melolonthina.

II_2　上唇ノ形狀左右同ジカラズ體面ニ鱗毛ヲ具フ。

しろこがね類 Leucopholida.

I_2　胸背板ノ前緣ニ膜狀緣ヲ有ス。觸角ハ十節ニシテ片狀節三個ナリ。

かんしよこがね類 Diprotaxida.

くろこがね類

Rhizotrogina.

胸背板ノ前緣ニ膜質ノ細緣ナク上面毛ヲ有スルカ裸狀ニテ鱗毛ノ存スルコトナシ。觸角ノ環節ハ我國ニ產スルモノハ皆九乃至十個ニシテ片狀節ハ雌雄共ニ三節ナリ。之ニ屬ス可キ我國ノ屬ハ五個ニシテ其檢索表次ノ如シ。

I_1　爪ハ中央ノ直後ニ深キ切込ヲ有ス。或ハ下面ニ向テ直角ニ分枝スル大形ノ齒ヲ有ス。

II_1　觸角九節ニシテ爪ハ中央ヨリ後ニテ銳齒ヲ分ツ。頭部後緣一橫線ヲ

有ス。　　てうせんきこがね屬 Miridiva.

II$_2$ 觸角十節ナリ。

III$_1$ 爪ハ前端ニテ二分ス上面ニ毛ヲ有セズ。　きこがね屬 Pollaplonyx.

III$_2$ 爪ハ前端ニテ二分セズ。

IV$_1$ 上面ハ前頭部及ビ胸背板ノ緣毛ノ外ハ無毛又ハ甚ダ短小ナル毛ヲ有ス。爪ハ略中央ニ於テ分枝シ其齒ハ大形ニシテ彎曲シ尖銳ナリ。

V$_1$ 爪ノ分枝ハ直角ナリ。體形稍ヤ大　　くろこがね屬 Holotrichia.

V$_2$ 爪ノ分枝直角ヲナサズ。體形稍ヤ小　ひめくろこがね屬 Microtrichia.

IV$_2$ 上面殊ニ胸背板ハ上面セル毛ヲ有ス。爪ハ中央ノ後脚ニ切込ヲ有ス　　ぶらあみな屬 Brahmina.

I$_2$ 爪ハ基部ニ近ク又ハ中央ヨリ前部ニ一ノ直角ニ突出スル齒ヲ有ス翅鞘ハ毛ヲ有スルト然ラザルトアリ。胸背板ノ後緣無緣ナルコト稀ナリ。　　りぞとらうぐす屬 Rhizotrogus.

てうせんきこがね屬

Miridiva Reitter.

觸角九節ニシテ片狀節雌雄共ニ三個ナリ。頭部ノ後緣ニ近ク一橫隆線ヲ有ス。胸背板ノ後緣ハ兩側細ク緣取ラレ中央無緣ナリ。爪ニハ中央ヨリ後ニ直角ノ方向ニ出ル分齒ヲ有ス。

本屬ニハ唯一種支那ニ產スル *M. (Rhizotrogus) trichophorus* Fairm. アルノミナルガ次記ノ一種ハ上面無毛ナル點ニ於テ異ナルモ觸角ノ節數前胸節ノ構造等ニヨリテ此屬ニ入ルベキ者ナルヲ認メ新種トシテ記載セリ。

てうせんきこがね(新種)

Miridiva koreana Niijima et Kinoshita, n. sp.

Taf. IV. fig. 15. Taf. II. fig. 16.

產地　朝鮮(水原)

體長 13—14,5　幅 6,5—7,5 mm.

頭部黑色體黃色光澤アリ。長楕圓形ニシテ上面ニ毛ヲ有セズ。外形ながちやこがねニ似ル。跗節細長ナリ。

頭部稍大形頭楯黑褐前方ニ巾狹ク圓ミヲ帶ビ緣ハ上反ス。點刻ハ小ニシテ散在ス。會線ハ殆ンド直線的ニシテ明カナリ。前頭ハ不規則ナル窪ミヲ有シ細點ヲ散布ス。

胸背板ハ點刻ヲ散布ス。前緣角ハ少シク尖リ後緣角ハ略直角ニシテ稍圓味ヲ帶ブ。後緣ノ兩側部ハ狹ク緣取ラル。

稜狀板ハ又平等ニ點刻ヲ有ス。翅鞘ハ其色黃色ヲ帶ブルモノ多シ。一標本ニテハ全ク胸背板ト同色ナリ。點刻ハ胸背板ヨリ小ニシテ稍ヤ强シ。會合線ニ沿ヘル縱隆線ハ高クシテ前部ヨリ後方ニ向テ幅廣シ。第一ノ縱隆線ハ略滑カニシテ幅廣ク僅カニ隆起ス。

尾節板ハ密ナル細點刻ヲ有シ先端ニ近ク僅少ノ黃色毛ヲ生ズ。

下面ハ黃色ニシテ胸部ニ長キ黃色柔毛ヲ密ニ生ズ。腹節ハ光澤アリ。甚ダ細カキ點ヲ散布シ僅カノ細毛ヲ存ス。

觸角ハ九節ニシテ三個ノ片狀節ハ雄ニ於テ甚ダ長ク殆ンド柄部ト同長ナリ。

脚ノ前脛節ニハ三個ノ外齒アリ。刺棘ハ基部及ビ中央ノモノヽ中間ニ位置ス。

予等ノ標本ハ內田登一氏採收ノ朝鮮水原ノモノ及ビ京城附近產ノ一個ニシテ何レモ雄ノミナリ。

きこがね屬

Pollaplonyx Waterh.

體長形ヲナシ下顋鬚甚ダ長クシテ第二節最長ク第三ハ幅廣ク先端節ハ雄ニテ斧形ヲナシ雌ニテハ前節ヨリ三倍長ク稍ヤ肥大シ末端截形ナリ。觸角十節片狀節ハ三個ニシテ雄長形雌卵形ナリ。前脛節ニハ略二個ノ外齒ヲ有シ雌ハ其先端二分ス。爪ハ先端ニテ二分シ基部ニ齒狀部アリ。

本屬ノ昆蟲ハ我國ニ產スル唯一種アルノミナリ。

きこがね

Pollaplonyx flavidus Waterh.

Trans. Ent. Soc. Lond, 1876, p. 105, Pl. III. f. 6.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 395.

産地 Japan, Kumamoto

熊本

體長 16—18 幅 8—9 mm.

長楕圓形ニシテ黃色光澤アリ。上面ニ毛ヲ有セズ。眼黑色ナリ。

頭楯半月形前緣上反シ中央ニ於テ强ク彎入ス。上面前緣ニ近ク粗ニ會線ニ近ク密ニ點刻ヲ有ス。前頭略ホ平カニシテ散在セル點刻ヲ有ス。後頭ハ平滑ナリ。

胸背板ハ幅廣ク前緣角僅カニ鈍ク突出ス。後緣角ハ圓形ナリ。側緣ニ一列ノ細黃褐毛ヲ存ス。點刻大ナラズ。稍ヤ强ク一樣ニ散布ス。

稜狀板ハ半圓形ニシテ平滑兩側ニ僅少ノ細點刻ヲ具フ。

翅鞘ハ後方ニ幅少シク廣ク四個ノ縱隆線アリ。外部ノ二線ハ幅甚ダ狹シ。中間室ハ稍ヤ强ク密ナル點刻アリ。

下面黃褐色ニシテ胸部ニ黃色ノ軟毛ヲ多ク生ズ。腹節ノ面ニハ密ナル點刻ト細短毛ヲ具フ。

觸角ハ第三ヨリ第五節長形ニシテ其第四五兩節ハ殆ンド連結ス。第六七兩節ハ最モ短カシ。雄ノ片狀節稍ヤ長シ。前脛節外齒ハ二個ニシテ其下方ノモノ著シク小ナリ。

本種ハ我國ニ於テモ甚ダ多カラザルガ如ク本學ニ於テハ昆蟲學敎室ニ於テ唯九州產ノ三個ノ標本アルノミナリ。

くろこがね屬

Holotrichia Hope.

觸角十節ヨリ成リ片狀節ハ三個ナリ。頭楯ハ前部多ク彎入シ眼ノ內緣

及ビ後緣被覆セラルヽコトナシ。胸背板ノ後緣ハ多クハ緣取ラル。爪ニハ中央或ハ基部ニ於テ直角ニ出ルヲ常トセル稍ヤ彎曲シテ尖リタル大ナル分歯ヲ有ス。上部ニ毛ヲ有セズ。下面胸部ニ細毛ヲ具フルモノ多シ。

此屬ノモノハ形狀多クハ大ニシテ支那東部シベリア日本ニ多シ。予等ノ調査セル本屬ノ種類ニ對スル檢索表次ノ如シ。

I_1 體面溷濁セズ。光澤ヲ有ス。

II_1 翅鞘上ニ縱隆線ヲ存セズ。

III_1 上面ニ全ク毛ヲ有セズ。 くりいろこがね H. castanea.

III_2 上面ニ細短毛ヲ有ス。

IV_1 翅鞘ノ基部ニ稍ヤ長キ黃色毛ヲ生ズ。形小(18 mm. 以下)

たいわんくりいろこがね H. formosana.

IV_2 翅鞘面ハ一樣ノ短刺毛ヲ生ズ形稍大(18 mm. 以上)

たいわんくろこがね H. sinensis.

II_2 翅鞘上ニ縱隆線ヲ有ス。

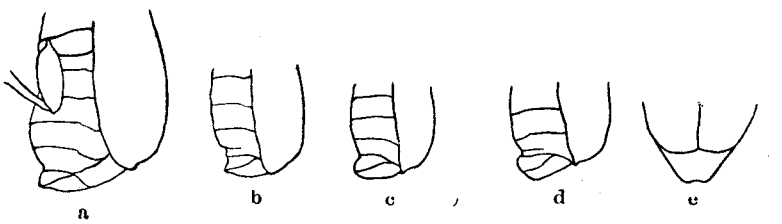
V_1 尾節板著シク隆起セズ。

VI_1 雄ノ腹部ノ末節ノ前節ハ橫溝狀ノ窪ミヲ有ス(第七圖b)

くろこがね H. kiotoensis.

VI_2 雄腹部ノ末節ノ前ニ橫溝狀ノ窪ミナシ(第七圖c)

VII_1 胸背板ノ點刻大ニシテ稍ヤ相聯絡ス。腹部ノ尾節前ノ兩側溷濁著シク大ナリ。 こくろこがね H. picea.



第 七 圖

くろこがね屬ノモノノ腹部

a たいわんおほくろこがね
b くろこがね
c こくろこがね
d まるをくろこがね
e てうせんくろこがね(背面)

VII_2 胸背板ノ點刻楕圓形ニシテ明カニ散布ス。腹部ノ尾節前ノ兩側溷濁部小ナリ。　ざうてるくろこがね H. Sauteli.

V_2 尾節板先端ニ近ク著シク隆起ス。

VIII_1 尾節ノ隆起部圓キ囊狀ヲナス。(第七圖d)

まるをくろこがね H. convexopyga.

VIII_2 尾節ノ隆起兩側ニ著シク中央窪ム。(第七圖e)

てうせんくろこがね H. diomphalia.

I_2 體面溷濁ス即チ霜樣白紛物質ヲ附ス。

IX_1 雌ノ腹部著シク肥大セズ。

X_1 胸背板ノ點刻淺クシテ粗ナリ。尾節板ノ霜白部著シカラズ。

おほくろこがね H. morosa.

X_2 胸背板ノ點刻深クシテ密布ス。尾節板ノ霜白部著シ。

ほりしやくろこがね H. horishana. n. sp.

IX_2 雌ノ腹部著シク肥大ス(第七圖a)

たいわんおほくろこがね H. pruinosa. n. sp.

くりいろこがね

Holotrichia (Subg. Pledina) **castanea** Waterh.

Taf. IV. fig. 1.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 101.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1903, p. 174.

産地　Japan, Korea.

山口,京都

體長 18—22　幅 10—11,5 mm.

體ハ濃キ栗色ニテ光澤アリ。上面ニ全ク毛ヲ有セズ翅鞘ノ上面ニ線條ナシ。

頭部ハ比較的小形ニシテ頭楯ハ幅廣ク短カク前緣ノ中央內方ニ窪ム。點刻ハ大ニシテ稍ヤ密ナリ。會線ハ又中央窪ミテ波狀ヲナス。前頭ハ眼ノ

間ニ横ニ存スル明カナル隆線アリテ此部マデ胸背板ニ引込ムヲ得ル。

胸背板ハ前縁角突出セズ後縁角ハ緩波狀ヲナス。點刻ハ稍ヤ密ナリ上面ニ毛ヲ有セズ。

翅鞘ハ會合線ニ沿フテ一線條ヲ有スルノミニテ其他ハ全ク之ヲ缺キ全面ニ胸背板ノ者ノ二倍大ノ點刻ヲ存ス。

尾節板ハ光澤アル黑褐色ニシテ翅鞘ト同ジク點刻ヲ有ス。

觸角ハ雄十節雌九節ニテ共ニ三個ノ片狀節ヲ有ス。雄ノ片狀節ハ雌ノモノヨリ長キモ柄部ヨリ短カシ。脚ノ前脛節內面ノ刺棘ハ外齒ノ最下ノモノノ反對ニ近ク存ス。後脛節ノ端棘ハ第一跗節ヨリ長シ。

觸角ノ數ニ於テライターハ其標本ノ九節ノモノヲ恐ラク不完全ナルモノナル可シトセルモ雌ハ總テ九節ナルヲ見ル。

たいわんくろこがね

Holotrichia sinensis Hope.

Taf. IV. fig. 2.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1845, p. 8.

Burm., Handb. Ent. IV, 2, 1855, p. 316.

Reitter, Best.-Tab. (50) p. 174.

新島等, 演習林研究報告第五號 P. 13.

產地 China,

臺灣

體長 18—21　幅 9—10 mm.

前種ニ最モヨク似ル。此ノ種ノ上面ニ細短毛ヲ存シ。其ノ色稍ヤ濃ク殊ニ胸背板及ビ翅鞘ノ基部少シク黑味ヲ帶ブ。但シ標本ニヨリくりいろこがねヨリモ淡キモノアリ。

頭部ノ會線ハ稍ヤ大ナル波狀ヲナシ前頭ノ點刻强シ。橫隆起線ハ著シ。

胸背板ノ兩側緣ニ細カキ切込ヲ有ス。此切込ノ距離ハ後部ノモノハ二倍ナリ。上面ノ點刻上ニ各褐色ノ細毛ヲ存ス。前緣角稍ヤ突出シ前緣ノ中央部著シク緣取ラル。

こくろこがね

Holotrichia picea Waterh.

Taf. IV. fig. 11.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 103.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 35.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1903, p. 176 nota.

産地 Nagasaki, Hakodate.

宮崎,山口,大阪,京都,北海道(七重,輕川,札幌,漁,苫小牧)

體長15—19　幅7—9 mm.

體多クハ黑褐ナルモ暗黃褐ニ至ルマデ濃淡アリ。最ヨクくろこがねニ似ル上下面光澤アリ。胸背板ノ點刻くろこがねヨリ小ナリ。

頭部ノ點刻稍ヤくろこがねヨリ密ナリ。後頭部ハ全ク平滑ナリ。

胸背板ハ前緣及ビ側緣ニ點刻ヲ有シ其上ニ長キ褐色ノ刺毛ヲ生ズ。點刻ハくろこがねヨリ小ナリ。

稜狀板ハ扁平ナル三角形ニテ稍ヤ多クノ細點ヲ兩側ニ存ス。

翅鞘ノ點刻くろこがねヨリ小ニシテ密ナリ。

腹面ノ尾節前ノ節ニハ兩側面ノ大部ニ溷濁セル斑紋狀ヲ存ス。胸部ノ黃色毛ハ密ニシテ長シ。

予等ノ標本ニテハくろこがねガ本邦ノ南部ニ多キニ反シ本種ハ北部ニ普通ナルガ如シ。前報告(演習林研究報告第五號)ニ *L. picea Waterh.* トシテ記セルモノハくろこがねヲ誤認セルモノナリ。

ざうてるくろこがね(新稱)

Holotrichia Sauteri Moser.

Taf. IV. fig. 7.

Ann. Soc, Ent. Belg. 1912, p. 436.

産地 Formosa,

臺南

體長19　幅10 mm.

又くろこがねニ最モヨク似黑褐ニシテ少シク光澤アリ。胸背板ノ點刻

くろこがね

Holotrichia kiotoensis Brenske.

Taf. IV. fig. 6.

Mém. Soc, Ent. Belg. 1894, p. 19 et 68.

(*Lachnosterna inelegans*) Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 396.

新島等, 演習林研究報告第五號 p. 13.

(*H. inelegans*) Reitter, Best.-Tab. (50) 1903, p. 176.

松村松年. 千虫圖解第三 p. 92. pl. 43. fig. 5.

(*H. parallela*) Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875. p. 103.

産地 Shanghai, Formosa, Japan.

熊本,高知,京都,東京,仙臺,秋田

體長 18—20 幅 9—11 mm.

體色黑色ヨリ濃褐色ニシテ上下面共ニ光澤アリ。胸背板ノ點刻粗大ナリ。

頭楯幅廣ク粗大ナル點刻ヲ有ス。前緣ハ上反シ中央部少シク彎曲ス。會線ハ綏波狀ヲナスモ不明ナリ。前頭ハ强キ粗點ヲ有ス。

背胸板ハ短カクシテ幅廣ク。大形ノ點刻ヲ散布ス。後緣角ハ略ボ直角ヲナシ側緣ニ僅少ノ毛ヲ有ス。

稜狀部ハ稍ヤ扁平ニシテ滑カナリ。基部ニ近ク僅少ノ細點ヲ存ス。

翅鞘ハ會合線ニ沿ヘルモノヽ外一個ノ縱隆線ヲ明カニ認メ得ベシ。側方ノモノハ甚ダ不明ナリ。全面ニ粗大ナル點刻ヲ具フ。

尾節板ハ著シキ隆形ヲナサズ淺キ點刻ヲ散布ス。

腹面ハ胸部ニ細褐色毛ヲ存ス。雄ノ腹部ノ末節ハ稍ヤ窪ミ其前節ハ後緣ノ中央ニ於テ强キ橫溝狀ノ窪ミヲ有ス(第七圖b)。

本種ニ對シテハ普通 *L. inelegans* Lew. ノ學名ヲ用ヒ來リシガ *H. kiotoensis* Brenske ト同一ナルヲ以テモーゼルノ說ニ從ヒ (Ann. Soc. Ent. Belg. 1912 p. 437) 最初ノ記載ニ由リ此學名ヲ取ルコトヽセリ。

こくろこがね

Holotrichia picea Waterh.

Taf. IV. fig. 11.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 103.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 35.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1903, p. 176 nota.

産地 Nagasaki, Hakodate.

宮崎,山口,大阪,京都,北海道(七重,輕川,札幌,漁,苫小牧)

體長15—19　幅7—9 mm.

體多クハ黑褐ナルモ暗黃褐ニ至ルマデ濃淡アリ。最ヨクくろこがねニ似ル上下面光澤アリ。胸背板ノ點刻くろこがねヨリ小ナリ。

頭部ノ點刻稍ヤくろこがねヨリ密ナリ。後頭部ハ全ク平滑ナリ。

胸背板ハ前緣及ビ側緣ニ點刻ヲ有シ其上ニ長キ褐色ノ刺毛ヲ生ズ。點刻ハくろこがねヨリ小ナリ。

稜狀板ハ扁平ナル三角形ニテ稍ヤ多クノ細點ヲ兩側ニ存ス。

翅鞘ノ點刻くろこがねヨリ小ニシテ密ナリ。

腹面ノ尾節前ノ節ニハ兩側面ノ大部ニ溷濁セル斑紋狀ヲ存ス。胸部ノ黃色毛ハ密ニシテ長シ。

予等ノ標本ニテハくろこがねガ本邦ノ南部ニ多キニ反シ本種ハ北部ニ普通ナルガ如シ。前報告(演習林研究報告第五號)ニ *L. picea Waterh.* トシテ記セルモノハくろこがねヲ誤認セルモノナリ。

さうてるくろこがね(新稱)

Holotrichia Sauteri Moser.

Taf. IV. fig. 7.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1912, p. 436.

産地 Formosa,

臺南

體長19　幅10 mm.

又くろこがねニ最モヨク似黑褐ニシテ少シク光澤アリ。胸背板ノ點刻

著シク大ニシテ散布ス。

頭楯ハ甚ダ短カク略ボ半月形ヲナシ前縁ノ中央少シク窪ム。頭部ノ點刻相密着セズ。

胸背板ハ前縁ニ全ク毛ナク側縁ニ僅少ノ短刺毛ヲ存ス。點刻楕圓形ニシテ大ナリ。全面ニ不規則ニ散布ス。唯前縁ニ接シタル部ノミ稍ヤ細カキ點刻ヲ密ニ排置ス。

翅鞘ハ殆ンドくろこがねト同ジ。

尾節板ハ稍ヤ平カニシテ粗點ヲ散布ス。腹面ハ雄ノ尾節少シク窪ムモ其前節後緣中央ニハくろこがねノ如キ横溝狀ノ窪ミナシ。前節ノ溷濁部ハくろこがねヨリ小ニシテ前方ニ偏ス。

予等ハ石田昌人氏採集ノ臺南產標本一個ヲ有スルノミナリ。

おほくろこがね(新稱)

異名おほびろうどこがね

Holotrichia morosa Waterh.

Taf. IV. fig. 8.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 104.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. (6) XVI, 1895, p. 36.

Reitt., Best.-Tab. 50, p. 176.

新島等, 演習林研究報告第五號, p. 13.

產地 Sachalin, Japan, China, Korea, Shanghai.

高知,大阪,岡山,山口,鹿兒島,山口縣,熊本,朝鮮

體長 19,5—20　幅 9—11 mm.

黑色背腹面共ニ光澤無ク光線ニヨリ灰色ノ絨毛光澤ヲ呈ス。

頭楯ノ前緣ハ內方ニ窪ミ著シク上反ス。點刻ハ大形ニシテ密集シ相着合ス。前頭部ハ平カニシテ密ニ粗點刻ヲ有ス。

胸背板ハ短カクシテ幅廣ク點刻ハ大ナラザルモ深クシテ不規則ニ散在ス。中央ノ縱線部滑カニシテ前方少シク不明ナリ。側緣ニ甚ダ僅少ノ褐色毛ヲ存ス。

稜狀部ニハ僅少ノ微細ナル點刻ヲ有ス。

翅鞘ノ縱隆線ハ明カナラザルモ會合線ニ接スルモノヽ外三線ヲ認メ得ベシ。間室部ハ稍ヤ密ニ點刻アリ。

尾節板ハ光澤ヲ有シ僅カニ隆起シ不規則ナル點刻アリ。

腹面ハ尾節ノミ光澤アリ其前節ノ兩側面ニハ略ボ斑紋狀ニ褐色毛ヲ生ズ。觸角ノ片狀節ハ著シク短カシ。

本種ハおほびろうどこがねト稱セラルヽもびろうどこがね屬ト混シ易キヲ以テ此新稱ヲ與ヘタリ。

てうせんくろこがね(新稱)

Holotrichia diomphalia Bates.

Taf. IV. fig. 12.

Proc. Zool. Soc. Lond. 1888, p. 373.

Brenske, Mem. Soc. Ent. Belg. 1894, p. 69 nota.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895. p. 36.

Reitter. Best.-Tab. 1902, p. 176.

産地 Ostsibirien, Ussuri, Mongolei, Korea, Japan.

朝鮮

體長 17—20 幅 10—11 mm.

黑色光澤アリ。くろこがねニ最ヨク似ル。尾節板中央窪ミ兩側隆起ス。

頭楯ノ點刻深クシテ互ニ分離ス。會線ハ明カニシテ波狀ヲナス。前頭部強キ點刻ヲ粗ニ存シ後頭稍ヤ密ナリ。

胸背板ノ點刻ハくろこがねヨリ稍ヤ小ニシテ不規則ニ散布ス。側緣ノ毛ハ僅少ナリ。

翅鞘ノ點刻ハくろこがねヨリ著シク小ナリ。

尾節板ハ後方ニ向テ著シク隆起シ。其中央部縱ニ弱キ窪ミアリテ隆起部ヲ左右ニ分ツ(第七圖e)。基部ノ兩側ハ狹溝狀ヲナス。全面ニ淺キ點刻ヲ存ス。

朝鮮以外ノ標本ハ未ダ之ヲ得ズ。

たいわんおほくろこがね(新種)

Holotrichia pruinosa Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. IV. fig. 4, 10,

産地　臺灣(補里社.臺北)

體長 21♂—27♀　幅 10,5—13 mm.

體黑褐又ハ赤褐色ニシテ上面白粉ヲツケタル狀態ヲナス。雌ハ甚大ナル腹部ヲ有ス。

頭ハ弱キ光澤ヲ有シ頭楯ハ幅廣クシテ短カク前緣角ハ圓シ。前緣ハ上反シ雌ハ中央ニ於テ明カナル彎入ヲナス。密ニ强キ點刻ヲ有ス。前頭ノ會合線ハ中央ニ於テ彎入ス。前頭ハ稍ヤ弱ク粗ナル點刻ヲ存シ兩眼ノ間ニ强キ橫隆線アリ。

胸背板ハ幅廣ク細點刻ヲ粗布ス。中央ニ縱ノ滑カナル線アリ。側緣ハ中央ヨリ上方小鋸齒ヲ有シ僅少ノ褐色刺毛ヲ存ス。

稜狀板ハ扁平ニシテ中央ノ縱線ノ外細點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ赤褐色ヲ帶ブルモノ多ク縱隆線ハ弱クシテ僅カニ認ムルヲ得ベシ。弱キ點刻ヲ散布ス。縱隆線ハ點刻少ナシ。

尾節板ハ雄ハ平カニシテ點刻ハ粗ク稍ヤ搔傷狀ヲナス。雌ハ先端ノ前部弱ク高マリ點刻小ナリ。

中胸節ノ腹面ニハ長キ黃白ノ毛ヲ密生ス。腹部ハ黑褐又ハ赤褐色ヲナシ。溷濁シ細點刻ヲ有ス。雌ハ腹著シク肥大ニシテ尾節板ノ前節ノ全部翅鞘ノ外ニ出デズ。雌ノ前脛節ノ三個ノ外齒ハ大ナリ。雄ハ後端ノ一齒小形ナリ。後脚ノ基節ニハ長毛ヲ生ズ。

觸角ノ片狀節ハ雌甚短カク雄稍ヤ長シ。

本種ハ其外形おほくろこがねニ似ルモ體面ノ白粉狀物强ク且ツ雌ノ腹部著シク大ナルヲ以テ區別シ得ベシ。

予等ハ補里社及ビ臺北ニ於テ採取セラレタル標本雄二個雌二個ヲ有ス。此種ハ臺灣ニ稀ナラザルガ如シ。

まるをくろこがね(新稱)

Holotrichia convexopyga Moser.

Taf IV. fig. 5.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1912, p. 435.

産地 China(Kiukiang), Japan(Kobbe).

熊本,仙臺,秋田.

體長 18—20 幅 10—11 mm.

黑褐色ヲナシ最モヨクくろこがねニ似ル。唯其尾節板ガ前端ニ近ク圓味ヲ有スルヲ以テ區別シ得ベシ。

頭楯ノ點刻ハ前頭部ヨリ密ニシテ殆ンドくろこがねト同ジ。

胸背板ノ形狀點刻又くろこがねニ似ル。原記載ニ因ルトキハ點刻くろこがねヨリ强カラズ。稍ヤ密ニ散布スト稱スルモ標本ニヨリ殆ンド區別シ難シ。

稜狀板ハ滑カナルカ或ハ僅カノ細點刻ヲ具フ。

翅鞘ハくろこがねト同ジ。

尾節板ノ點刻大ナルモ淺ク粗ク散布ス。先端ニ近ク稍ヤ强ク圓味ヲ有シ瘤狀ニ隆起ス(第七圖d)。

下面ノ胸部ニ黃色毛ヲ有シ腹節ノ中央ハ滑カニシテ兩側ニ點刻ヲ有ス。尾節ノ前節ニハ他ノくろこがね類ノ如ク溷濁セル部アリ毛ヲ生ズ。

ほりしやくろこがね(新種)

Holotrichia horishana Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. IV. fig. 9. Taf. fig. 30.

産地 臺灣(補里社)

體長 ♂16—17 ♀19 幅 ♂8—8,5 ♀9,5 mm.

くろこがねニ似ルモ著シク小ナリ。前脚ノ跗節ハ脛節ノ第二第三齒ノ中間ノ位置ヨリ生ズ。黑色ニシテ上面光澤アリ。下面ハ尾節ノ外溷濁ナリ。

頭部粗大ナル點刻ヲ一樣ニ密布ス。頭楯ハ前緣上反シ中央ニ於テ彎入ス殊ニ雄ハ其內部明カニ鈍角狀ヲナス。

胸背板ハ幅廣ク略ボ中央ノ長サノ二倍ナリ。後緣ハ中央部ノ外ハ緣取ラル。前緣角ハ殆ンド直角ニテ突出セズ。後緣角ハ圓味ヲ帶ブ。點刻ハ頭部ヨリ小ニシテ稍ヤ分離シ一樣ニ散布セラル。

稜狀板ハ扁平ナル三角狀ニシテ少シク褐色ヲ帶ビ中央ノ縱線平滑ニテ兩側ニ稍ヤ粗大ナル點刻アリ。

翅鞘ノ會合線ノ外明カニ三個ノ縱隆線ヲ有ス。其會合線ニ沿ヘルモノ最モ太ク外方ノ二個ハ稍ヤ細シ。間室ノ點刻ハ胸背板ノ者ヨリ少シク大ニシテ更ニ粗ニ不規則ニ散布ス。

尾節板ハ少シク球形ヲナシ淺キ點刻ヲ有シ先端ノ緣ニ沿ヒ黃褐毛ヲ列生ス。其基部ニ沿ヒ帶狀ニ溷濁部アリ。尾節板ノ前節又溷濁シ其前節ニ褐色ノ短毛アリ。

下面ハ尾節板ト同ジク點刻ヲ有シ腹部ノ尾節ノ外白霜狀ノ溷濁ヲナス。尾節ノ前節ハ中央橫ニ凹入シ僅少ノ黃褐毛ヲ有ス。

脚ハ濃褐ニシテ前脚ノ脛節ノ外緣ニ三齒ヲ有ス。跗節ハ其第二第三齒ノ中間ニ位置シテ內緣ヨリ生ズ。刺棘ハ略第三齒ニ對ス。(第八圖)

第八圖

ほりしやくろこがねノ前脛節

爪ハ中央ヨリ直角ノ方向ニ分枝ス。

觸角ノ片狀節ハ雄雌共ニ短カシ。

予等ノ有スル標本ハ補里社ニ於テ採取セル雄二個及ビ明カナル採取所記載ナキモ恐ラク石田昌人ニ由リテ臺南ヨリ採取セラレタル雌一個ナリ。

くろこがねノ屬ノモノニシテ既ニ記載セラレタル種類ノ標本ハ予等殆ンド之ヲ手ニスルコトヲ得タリ。唯一種最モ古クレウヰスニ由リテ記サレタル次ノ種類ハ之ヲ見ル能ハザリキ。

Holotrichia(Lachnosterna)**niponensis** Lewis.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 398.

産地 Nagasaki, Goto Island, Korea(Fusan).

記載ニ由ルトキハ最モヨクこくろこがねニ似ルモ我國ニ產スル最モ大形ノモノナリト云フ。暖地產ノモノナルガ如シ。

尙予等ノ所有スル標本中ニ九州延岡產ノ一種ニシテ新種ト認ムル可キモノアルモ唯雌一個ノミナルヲ以テ將來ノ採集ヲ俟チテ研究ヲ進ムルコトトセリ。

ひめくろこがね屬

Microtrichia Brensk.

胸部ハ無毛ナルカ或ハ短カキ毛ヲ生ズ。胸腹部ノ側方尾節板ノ前緣ノ大部或ハ小部溷濁ヲナス。胸背板ハ網狀ノ點刻ヲ有スルモノ多シ。形ハくろこがね屬ニ比スレバ小ナリ。

本屬ニハ我國ニ臺灣產ノ一種知ラルヽノミナリ。

ひめくろこがね(新稱)

Microtrichia formosana Moser.

Taf. IV. fig. 13.

Deutsch. Ent. Zeitschr. 1913, p. 273.

產地 Formosa.

臺南,臺北

體長 15—16　幅 7,5 mm.

體長形黑褐色ニシテ上面光澤アリ。下面腹部ヨリ胸部ノ中央光澤アリ。

前頭及ビ頭楯强キ密ナル點刻ヲ有ス。頭楯略半月形ニシテ前緣ノ中央ノ小部强ク凹入シ上反ス。中央線ハ一波狀ヲ呈ス。

後頭部ハ平滑光澤アリ。

胸背板ハ短カクシテ幅ハ長サノ二倍ナリ。密ニ細點刻ヲ有シ側緣ニ僅

少ノ毛ヲ有ス。

稜狀板ハ滑カナル緣及ビ中央線部ヲ除キ胸背板ノ如キ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ稍ヤ光澤アリ。縱隆線ハ會合線ニ沿ヘルモノ第一及ビ緣線ニ近キモノ明カニシテ他ハ稍ヤ不明ナリ。全面淺キ相聯合セル點刻ヲ有ス。

尾節板ハ少シク隆起シ稍ヤ强キ點刻ヲ有シ後緣ヨリ兩側ノ一部ニ沿ヒ溷濁部ヲ有ス。

下面及脚ハ赤褐色ヲ帶ビ中央ノ光澤アル部分ヲ除キ胸部ヨリ腹部ノ兩側面ノ大部溷濁ス。前胸部ノ溷濁部ニ黃褐色ノ短毛アリ。尾節ノ前節ノ溷濁部ニモ淡褐細毛ヲ具フ。

予等ハ高橋、石田兩氏採取ノ臺北及ビ臺南ノ標本ヲ有ス。此內一個ハ其色少シク黃褐ヲナス。

ぶらあみな屬

Brahmina Blanch.

觸角ハ十節ニシテ三個ノ片狀節ヲ有ス。頭楯ハ普通ノ形ニテ眼ノ後方內側ハ被ハルヽコトナクシテ表ハル。胸背板ノ後緣ハ緣取ラルヽコトナク唯側緣ノミ之ヲ有スルコトアリ。多クハ側線ガ線狀ニ一列ノ點刻ヲ存スルニ止マル。爪ハ中央ノ後部ニ深キ切込ヲ有ス。上面殊ニ胸背板ハ上向セル毛ヲ有ス。本屬ニハ朝鮮產三種アリ予等ノ標本ハ全ク之ヲ欠ク。

Brahmina crenicollis Motsch.

Etud. Ent. III. 1854, p. 64.

Brenske, Berl. Ent Zeitschr. 1892, p. 116.

產地 China, Korea.

Brahmina intermedia Mannerh. var. **sibirica** Brenske.

Berl. Ent. Zeitschr. 1892, p. 39.

產地 Ostsibirien, Korea.

Brahmina excisiceps Moser.

Deutsche. Ent. Zeitschr. 1915, p. 137.

産地 Korea.

りぞとろうぐす屬

Rhizotrogus Latr.

觸角十節片狀節三個ナリ。頭楯ハ普通形ニシテ前頭ニ横線ナシ。體面ニ白色粉狀物ヲ附スルコトナシ。翅鞘上ニ毛ヲ存セザルコト多シ。後胸節ハ多少長形ヲナシ雌ニテモ明カニ後基節ヨリ長シ。第一ノ後跗節ハ多ク第二ヨリ短カシ。爪ハ中央ヨリ前部ニ一齒ヲ存ス。

此屬ノ我國ニ記載セラレタルモノ次記唯一種アリ予等ハ之ヲ得ル能ハザリキ。

Rhizotrogus niponicus Lewis.

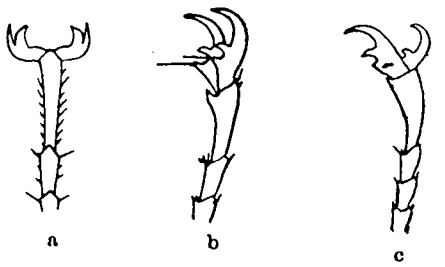
Ann. Mag. Nat. Hist, 1895, p. 309.

産地 Nipon, Gotoshima

こふきこがね類

Melolonthina

胸背板ノ前緣ニ膜狀緣ナシ上面ニ毛ヲ有スルカ或ハ鱗毛ヲ具フ觸角ハ十節ヨリ成リ片狀節ハ雄四乃至七節ニシテ第三節ハ長形ヲナスヲ常トス。我國ニ產スル此類ノ屬ノ檢索表次ノ如シ。



第　九　圖

こふきこがね類ノ爪

a. ながちやこがね　b. ひげこがね　c. こふきこがね

I$_1$　爪ハ先端ニ於テ二分ス(第九圖a)

II$_1$　觸角ノ片狀節著シク長クシテ細シ體細長形ナリ。

ほそこがね屬 Gymogaster.

II_2 觸角ノ片狀節著シク細長ナラズ。

III_1 觸角ノ片狀節ハ六又ハ五節ナリ。片狀節ノ前節ハ延長スルコトナシ

かばいろこがね屬 Hilyotrogus.

III_2 觸角ノ片狀節ハ雄六節ナリ。片狀節ノ前節延長ス。

ながちやこがね屬 Heptophylla.

I_2 爪ハ基部ニ一銳齒ヲ分ツ

IV_1 觸角ノ片狀節雄ハ七節ニシテ長ク雌ハ六節ニシテ短カシ。腹節ノ兩側ニ白斑アリ兩側部ノ爪ノ發達少シク異ナル。(第九圖c)。

こふきこがね屬 Melolontha.

IV_2 觸角ノ片狀節雄ハ七節雌ハ五節ナリ爪ノ兩側部同形ナリ。(第九圖b)

V_1 雄ノ觸角ノ片狀節著シク長ク翅鞘ノ斑紋不規則ナリ。

ひげながこがね屬 Polyphylla.

V_2 雄ノ觸角ノ片狀節著シク長カラズ翅鞘ノ斑紋線狀ナリ。

しろすじこがね屬 Granida.

ながちやこがね屬

Heptophylla Motsch.

觸角ハ十節ナリ。觸角ノ片狀節雄ハ六節ニシテ長ク雌ハ五節ニシテ短カシ。脚ノ爪ハ雌雄共ニ內側ニ於テ深キ切込ヲナス。前脛節ノ內側ニハ雌雄共ニ普通ノ刺棘一個ヲ存ス。

我國ニ存スル此屬ノモノハ次ノ唯一種ノミナリ。

ながちやこがね

異名きこがね

Heptophylla picea Motsch.

Taf. IV. fig. 14.

Etud. Ent. VI, 1857, p. 33.
Brenske, Ent. Nachr. 1892, p. 155.
Reitter, Best.-Tab. (50) 1902. p. 258.
新島等，演習林研究報告第五號(1917) P. 15.

松村松年, 日本千蟲圖解第三卷, P. 99. Pl. 4. 17.
(*Holotrichia transversa*) Motschulsky, Etud. Ent. 1860, p. 15.
Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond, 1875, p. 105.

産地 Japan: Jedo, Jesso, Yokohama, Nagasaki.

松山,高知,東京,長野,大和,近江,伊賀,日光,岩手,仙臺,札幌,膽振,

體長 11—14 幅 5—7 mm.

長形ニシテ後方ニ幅少シク廣ク黃褐色ニシテ光澤アリ。翅鞘ノ縱線ハ不明ナリ。

頭楯ハ短カクシテ幅廣ク前緣中央ニ於テ少シク彎入シ上反ス。點刻粗大ナリ。前頭トノ會線ニ近ク橫線狀ノ隆起アリ。前頭ハ又粗大ナル點刻ヲ有シ上向セル黃褐色毛ヲ存ス。

胸背板ハ幅廣クシテ中央ノ長サノ二倍以上ナリ。光澤アル赤褐色ヲナシ不規則ナル粗點刻ヲ散布ス。側緣ヨリ前緣ニ稍ヤ長キ黃褐色ノ刺毛ヲ列生ス。上面ニモ同樣ノ毛ヲ散生ス。後緣ノ中央稜狀板ノ上ニ黃白色ノ短毛ヲ存ス。

稜狀板ハ扁平ニシテ點刻小ナリ。

翅鞘ハ稍ヤ黃色ヲ帶ビ四個ノ縱隆線甚不明ナリ點刻粗大ニシテ一樣ニ存在ス。側緣ニ沿フテ長黃褐毛ヲ生ズ。

下面黃褐色ニシテ後胸部ニ長キ黃色毛ヲ生ス。

觸角ノ片狀節ハ雄長形ニシテ六節ヨリ成ル。片狀節ノ前一節ハ稍ヤ長クシテ片狀ニ近キモ柄部ニ加フルヲ可トスベキヲ以テ六節トセリ雌ハ五節ヨリ成リ短カシ。脚ハ赤褐色ニシテ光澤アリ。

前脚ノ脛節ハ三個ノ外齒ト一個ノ內緣刺棘ヲ有ス。

かばいろこがね屬

Hilyotrogus Fairm.

脚ノ爪ノ先端ニ於テ深キ切込ヲ有ス。前脛節ノ外齒ハ三個ニシテ雌雄共ニ內側ニ普通ノ棘刺ヲ具フ。下顎鬚ノ末端節ハ細長形ナリ。觸角十節雄ノ片狀節ハ五個ヨリ成ル。

本種ニ屬スルモノニシテ記載セラレタルモノ七種アリ皆印度及ビ東洋ノ產ニシテ我國ニ產スルモノハ朝鮮ニ存スル次ノ一種ナリ。

てうせんかばいろこがね(新稱)

Hilyotrogus bicoloreus Heyden.

Taf. IV. fg. 16.

(*Holotrichia*) Horae, Soc. Ent. Ross. 1887, p. 265.

Brenske, Ent. Nachr. 1892, p. 154.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1902, p. 253.

產地 Sibirien, Mandschurei, Korea.

朝鮮(釋王寺)

體長 16 幅 8 mm.

體赤褐ニシテ稍ヤながちやこがねニ似テ光澤無ク僅カニ溷濁ス觸角ノ片狀節雄ニ於テ五節アリ。

頭楯短カク前側圓形ヲナシ前頭部ニハ强クシテ密ナル點刻ヲ有ス。會線明カニシテ前頭ニ小數ノ黃褐毛ヲ具フ。

胸背板ハ頭部ト同シク濃赤褐色ヲナシ幅廣クシテ短カク點刻小ニシテ密ナラズ前緣及ビ側緣ニ黃褐毛ヲ列生ス。後緣ハ緣取ラルルコトナシ。

翅鞘上ニ稍ヤ接近シテ存セル二縱隆線ヲ認メ得ベシ。點刻ハ胸背板ニ於ケルヨリ更ニ細カク稍ヤ密ニ存ス。

下面黃褐ニシテ胸部ニ黃色毛アリ。尾節及ビ其前節ニハ黃色刺毛ヲ具フ。

觸角及ビ脚ハ黃褐ナリ。雄ノ觸角ノ片狀節ハ長クシテ柄部ヨリ僅カニ短カシ。前脚ノ脛節ハ三齒アリテ刺棘ハ第二齒ニ對シテ存ス。

予等ノ標本ハ內田登一氏採取ノ雄一個ナリ。

こふきこがね屬

Melolontha Fabr.

脚ノ爪ハ基部ニ於テ一個ノ齒ヲ有ス。前脛節ハ其內緣ニ一個ノ刺棘ヲ

具フ。後胸部ノ前緣中央部ハ毬果狀ニ中脚ノ基節ノ間ニ突出ス。其大サニハ大小アリテ先端裸出シ光澤ヲ有ス。腹部ノ兩側ニハ白色ノ毛斑ヲ存ス。尾節板ハ略ホ三角形ヲナシ尾節ノ下面ニ聯ルコトナシ。

こふきこがね屬ニ對シおほこふきこがね屬 *Holostermus* Guér. ヲ區別シタルモ其區別點ノ主トスル處ハ胸部ノ毬果狀突起ニシテおほこふきこがね屬ハ突起甚ダ大,圓錐形ヲナシテ裸出シ之ニ由リ中脚ノ基節ヲ分チこふきこがね屬ハ之ガ小ニシテ細ク中基節ノ間ニ超出スルコトナシトセルモ其ノ間ノ區別甚ダ明了ヲ缺クモノアリ。又前脛節ノ內部ニ強キ刺棘ガおほこふきこがね屬ニテハ雄ニ存セズこふきこがね屬ニハ雌雄共ニ存スト稱スルモ前屬中ノおほこふきこがねハ明カニ雄ニ刺棘ヲ具フルヲ認ム。故ニ予等ハアルロー<u>ン</u>ノ主張ニ從ヒ (Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 401.) おほこふきこがね屬ノ名ヲ省除シ。こふきこがね屬ニ合セリ。

予等ノ調査シ得タル本屬ノ種類ハ五個ナリ。其內一ハ新種ニ屬ス。其檢索表次ノ如シ。

I$_1$ 腹側ニ白色毛斑ヲ有ス。

II$_1$ 背面ノ毛ハ明カナル黃色ヲナス。

III$_1$ 腹面ノ後胸中央ノ突起短カク裸出部少ナシ。

こふきこがね M. japonica.

III$_2$ 腹面ノ後胸中央ノ突起細長ニシテ裸出ス。

さつまこふきこがね M. satsumaensis. n. sp.

II$_2$ 背面ノ毛ハ灰白又ハ僅カニ黃色ヲ帶ブ。

IV$_1$ 尾節板長形ヲナサズ。 おほこふきこがね M. frater.

IV$_2$ 尾節板長形ナリ。 たいわんこふきこがね M. insulana.

I$_2$ 腹側ニ白色毛斑ナク雄ノ片狀節著シク長シ。

てうせんこふきこがね M. incana.

こふきこがね

異名かきこがね　おほすぎむし

Melolontha japonica Burm.

Taf. IV. fg. 18., Taf. VII. fig. 12.

Handb. Ent. IV.2 1855, p. 420. ♂.

Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 106.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913. p. 395.

新島等, 演習林研究報告第五號. P. 13.

産地 Hiogo, Nagasaki, Yokohama.

鹿兒島,熊本,宮崎,高知,岡山,播磨,栃木,御殿場,安房,下總,東京,越中,仙臺,福島

體長 25—31 幅 13—15 mm.

體色濃褐ニシテ黄色ノ短毛ヲ密生ス.

頭部ハ細點ヲ密布スルモ黄色毛ノタメニ認メ難シ.頭楯ハ略四角形ヲナス.雌ハ前緣少シク凹入シ雄ハ稍ヤ弧線狀ヲナシテ上反シ頭楯ノ表面ハ窪メル有樣ヲナス.會線ハ少シク內方ニ凹入ス.

觸角ハ雄ノ片狀部七節ニシテ凡ソ4 mmアリ.柄部ヨリ長シ.雌ハ短カク柄部ノ略ボ半ナリ.

前胸板ハ又密ニ細毛ヲ生ジ後緣ハ中央少シク後方ニ向ヒ波狀ニ突出シ側緣滑カナラズ.中央ヨリ前緣ニ著シク傾斜ス.地色ハ種々ニシテ赤褐ヨリ濃褐ニ至ル.

稜狀部略半圓形ニシテ又細毛ヲ密布ス.

翅鞘赤褐縱隆線ハ上面ノ三個ヲ認ムルヲ得ベシ.先端ニ近ク隆起部アリ.

前脚ノ脛節外緣ニ鋭キ二齒ト一痕跡ヲ有スルモ雄ニテハ先端ノモノノミ著シク第二ハ甚小ナリ.第三ノ痕跡ノ如キ全ク消失シタルモノアリ.鹿兒島ニテ得タル一個ノ如キ唯先端ノ一齒ヲ存スルノミナリ.內面ノ刺棘ハ雌雄略同形ナリ.跗節ノ爪ノ基部ノ枝爪モ雌ニ一般ニ大ニシテ雄ニ小ナリ.

中胸突起ハ短カキモ光澤アル裸狀ニシテ明カニ認メ得ベシ.

腹部環節ノ兩側ノ毛斑著シク大ナラズ.

レウキスガ多數ニ採取セル標本ニ由リテ我國ノ此種ニ付キ近似セル二種ノ學名ノモノ記載セラレタリ。即チ上記ノモノト *Hoplosternus Japonicus* Harold. ナリ。之ヲ同一屬ニ改訂スルニハ同種名ヲナスヲ以テモーゼルハ後種ニ *haroldi* ナル名ヲ與ヘンコトヲ記載セリ。然ルニハロールドハ其命名セル種ハ前種ト同一ナルモノナルヲ承認シ居タルヲ以テ之等ハ當然一個ノ種名トナルベキモノナリ。然ルニ實際ニ於テハ明カニ二種ノ異ナリタルモノアルヲ認メラレタル事實ニシテ玆ニ無名ノ一種ヲ出シタルコトトナレリ。アルローハ之ニ *frater* ノ學名ヲ附シテ發表セリ。即チ後ニ記載セル如シ。

別ニ本種ノ一變種ト認ムベキモノアリ。即チ次ノ如シ。

變種ごてんばこふきこがね

Melolontha japonica Burm. var. **Gotenbaensis** N. et. K. n. var.

頭部胸背板及ビ稜狀板濃褐色ナリ。翅鞘ハ黃褐色ニシテ淡キ黃色毛ヲ具フ。腹側ノ白毛斑ハ小形ナリ。雄交尾器ノ齒狀突起著シク銳シ。前脛節ノ齒ハ雌雄共ニ二個ナリ。體比較的小 24—26 mm ナリ。

予等ハ靜岡縣御殿場ニテ採取セル標本雄三雌一個ヲ有ス。此內二個ハ殆ンド腹側ノ白斑ヲ缺ク。

さつまこふきこがね(新種)

Melolontha satsumænsis. Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 5. Taf. IV. fig. 19., Taf. VII. fig. 13.

産地 鹿兒島,宮崎,高知

體長 27—33　幅 13—15 mm

こふきこがねニ似テ形稍ヤ大。頭,胸背板,稜狀板及び脚眞黑僅カニ褐色ヲ帶ブルモノアリ。後胸前緣ノ突起細長ナリ。

頭部密ナル細點刻ト黃色毛ヲ存ス。毛ハこふきこがねノ者ヨリ太シ。頭楯ハ雄ハ殆ンドこふきこがねト同ジキモ雌ハ前方稍ヤ强ク狹搾シ前緣

ノ中央緩ニ内方ニ凹入ス。

胸背板ハ雌ノ後緣角稍ヤ強ク突出ス。

翅鞘ノ縦隆線ハこふきこがねヨリ高クシテ著シ。

尾節板ハ長形ニシテ先端一般ニ鈍ク尖ル。

中胸突起ハ細長ニシテ裸出シ短カキこふきこがねノ者ト全ク異ナリ。

前脛節ハ先端ニ一歯ト第二歯ノ痕跡ヲ存スルノミニテ明カナル二歯ヲ有セズ。雌ハ二歯ヲ具フ。

下面ハ黒色ナリ。腹側ノ白色毛斑ハ狭長ニシテ各節ノモノ相聯ナリ殆ンド一直線條ヲナス。

雄交尾器ノ形狀ハこふきこがねト全ク異ニシテ先端ニ近ク背面ニ向ヘル鋭キ一歯ヲ有スルノミ。高知本山産ノ一ハ其形少シク異ナルモノアルモ體ノ形質ニ於テ相似ルヲ以テ恐ラクハ地方的變化ニ屬スルモノナラン。

本種ハ最初こふきこがねト合置シタルモ其形質異ナルヲ以テ更ニ雄交尾器ヲ檢シ別種ト定メタリ。標本ハ薩摩國鹿兒島産(望月氏採收)雄二雌八個及ビ宮崎富高産雄一個高知本山産雄一個ナリ。

てうせんこふきこがね(新稱)

Melolontha incana Motsch.

Taf. IV. fig. 20.

(*Hoplosternus*) Etud. Ent. I. 1853, p. 46.

Reitt., Best-Tab. (50) 1902, 260.

産地 China, Korea,

朝鮮(水原,花山)

體長 28　幅 15 mm (20—30 mm. L. nach Reitter)

外形體色及ビ細毛最モヨクこふきこがねニ似ルモ腹節ノ兩側ニ白色毛斑ヲ有セズ。

頭楯ハ四角形ニテ前緣略ボ平ラカニ少シク上反ス。前頭ノ前緣ハ弱キ

凹線ヲナス。

胸背板ハこふきこがねニ似ルモ幅廣ク側緣明カニ緣取ラル。前緣角モ稍ヤ前方ニ突出ス。

稜狀板ハ前種ヨリ少シク長形ナリ。

翅鞘ハ微細ナル點刻ト黃色毛ヲ有ス。縱隆線ハ其中間室部ノ凹ミ前種ヨリ著カラザル爲メ明了ヲ欠クモノアリ。

雄ノ觸角片狀節ハ甚ダ長ク凡ソ6mmニシテ前種ヨリモ著シ。前脛節ノ外齒ハ三個ナルモ雄ニハ最後ノ一ヲ欠除スルモノアリ。

腹部ノ兩側ニハ白色毛ノ斑紋ヲ有セズ。後胸部ノ前緣突起ハ長クシテ前基節ニ達ス。

予等ノ標本ハ京城ノ附近花山水原ニ於テ內田氏採集ノモノナリ。

たいわんこふきこがね(新稱)

Melolontha insulana Moser.

Taf. IV. fig. 23.

(*Hoplo ternus*) Stett. Ent. Zeitschr. 1918, p. 246.

產地 Formosa(Karapin)

臺北

體長 29—30　幅 14—15 mm

こふきこがねニヨク似ルモ長形ヲナスヲ以テ區別シ得ベシ。

さつまこふきこがねニ比スレバ體毛白色ヲ帶ビ短小ナリ。

頭部ノ點刻ハ大ニシテ粗ナリ。灰色毛ハ略ボ臥生ス。頭楯ハ前緣ハ上反ス。

胸背板ハ兩側淺キ鋸齒狀ヲナシ短細毛ヲ列生ス。點刻ハ細密ナリ。

稜狀板ハ半圓形ニシテ細點ヲ平等ニ散布シ短毛ヲ生ズ。

翅鞘ハ縱隆線三個アリ。著シク隆起セズ。側方ノ一個ハ不明ナリ。間室ノ點刻細密ナリ。

尾節板ハ其先端ニテこふきこがねヨリ幅廣ク圓形ヲナス。兩側密ニ灰

色毛ヲ生ズ。

下面ハ腹節ノ中央部ヲ除キ密ニ灰色ノ短毛ヲ生ス。各腹節ノ兩側ニハ白色毛斑ヲ存ス。

中胸部ノ中央突起ハこふきこがねハ點ナク細クシテ長シ。

前脛節ハ三歯ヲ有ス然シ其最端ノモノ甚ダ小形ナリ。

予等ノ所有スル之ニ近似セル標本三個アリ。何レモ雄ニシテ臺北産ナリ尾節板ノ構造ヲ除キ他ノ性質全ク記載ニ合スルヲ以テ之ガ變種トナスコトヽセリ即チ次ノ如シ。

變種　たいほくこふきこがね

Melolontha insulana Moser. var. **taihokuensis** N. et. K. n. var.

尾節ノ先端幅廣キ圓形ニアラズシテ細長形ヲナス。他ハ全ク基種ノ記載ト同ジ。雄交尾器ノ構造ハ全然こふきこがねト異ナリ。

おほこふきこがね

Melolontha frater Arrow.

Taf. IV. fig. 17.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913. p. 400.

(*Hoplosternus Japonicus*) Harold, Abh. Nat.ver. Brem. 1875, p. 291.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond 1875. p. 106.

Bates, Proc. Zool. Soc. Lond. 1888, p. 373.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1902, p. 259.

松村松年, 千蟲圖解第三, P. 90. Pl. 48. Fig. 3.

産地 Nara, Kioto, Kii Wada, Kobe, Osaka, China.

岡山,高知(本山),鹿兒島

體長 25—32　幅 14—15 mm.

體赤褐色ニシテ灰白色ノ細毛ヲ密附ス。此細毛ハ摩擦等ニヨリ脫落スルコトこふきこがねヨリ著シ。

こふきこがねニ最モヨク似ルモ其區別點ハ此種ニ於テハ體色赤褐ヨリ濃褐ニ傾キ細毛ヲ失ヒタル標本ニテハ著シキ光澤ヲ見ル。

翅鞘ノ基色ハ前胸板ト同ジ。

頭部密ニ細點刻ヲ有ス。細毛ハこふきこがねヨリ粗ナリ。頭楯ハ前緣ノ中央內方ニ少シク窪ミ雄ハ稍ヤ强ク上反ス。

胸背板ハ光澤アリテ細カキ灰白毛ヲ生ジ細點刻ヲ有ス。後緣角ハ銳ク後方ニ向フ。

翅鞘ハ各面ニ明カナル三縱隆線ヲ存ス。灰白毛ハこふきこがねヨリ細短ナリ。

尾節板ハ三角形ニシテ全面ニ細毛ヲ有ス。其中央縱線狀ニ僅カニ薄キ部分アリテ線狀ノ光澤ヲ呈ス。

腹節ノ兩側ニハ白色三角形ノ毛斑ヲ有ス。雌ノ尾節ハ平カニシテ先端緣取ラルヽコトナシ。前脛節ニハ雄二齒雌三齒ヲ有ス。雄ノ片狀節ハ4,5—5mmナリ。

中胸前緣ノ毬果狀突起ハ短カク尖ル。

本種ハ普通 *Hoplosternus japonicus* Harold ノ學名ニテ知ラレタルモノナルガアルロー ニ由テこふきこがね屬ニ移シ此名ヲ採ルコトヽセルハ前ニ記セル如シ。予等ノ標本ハ岡崎俊太郎氏採集ノ岡山產ノモノヲ最多トス。主トシテ暖地ニ普通ナルガ如シ。

しろすじこがね屬

Granida Motsch.

脚ノ爪ハ基部ニ近ク略ホ同形ノ分枝ヲナス。前脛節ニハ二齒ヲ有ス。內側ニハ一個ノ刺棘アリ。後脛節ノ末端ニハ二刺棘ヲ具フ。胸背板ノ兩側ハ弧線ヲナシ。角度ヲナスコトナシ。雄ノ觸角ノ片狀節ハ七節ニシテ長キモ彎曲スルコトナシ。雌ハ五節ニシテ短カシ。

此屬ハ元來其數多カラズ我國ニ存スルモノ亦一種ノミ。

しろすじこがね

Granida albolineata Motsch.

Taf. IV. fig. 27.

Etud. Ent. 1861. p. 8.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 106, t. 3. f. 7.

Brenske, Ent. Nachr. 1890, p. 197 nota.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1902, p. 270, nota.

(*Polyphylla Schönfeldti*) Brenske, Ent. Nachr. 1890, p. 198.

松村松年，千虫圖解第三，P. 96. Pl. 48. Fig. 12.

新島等，演習林研究報告第五號 P. 15.

産地 Hiogo, Nagasaki, Tokio, Liu-Kiu.

北海道(苫小牧,日高),岩手,播磨,丹後,沖繩

體長 27—31 幅 13—16 mm.

頭胸黑褐ニシテ翅鞘ハ濃赤褐ナリ。體ノ上面ニ白色ノ縦條アリ。

頭楯ハ前緣凹入シ上反ス。頭楯ヨリ前頭ニ大形ノ淺キ點刻ト短カキ淡黃鱗毛ヲ存ス。眼ニ近ク稍ヤ長キ鱗毛ヲ斑紋狀ニ生ズ。後頭ハ平滑ニシテ光澤アリ。

胸背板ハ兩側緣圓味ヲ帶ビ小數ノ小刺毛ヲ列生ス。上面ハ光澤ヲ有シ大形ノ點刻ヲ散布ス。中央及ビ兩側ニ邊シテ白色鱗毛ヨリ成ル條斑アリ。

稜狀部ハ半圓形ニシテ中央縦ニ少シク巾廣ク裸出シ光澤アリ。兩側ニ白色短鱗毛ノ斑紋ヲ存ス。

翅鞘上ニ白色ノ縦條アリ其會合線ニ近キ二條ト兩側緣ニ近キモノ太クシテ明カナリ。

尾節板ハ圓錐形ニシテ中央縦ニ褐色裸出部アリ。兩側面ニ白色鱗毛ヲ存ス。

下面ハ胸節ニ黃色長毛ヲ密生シ。腹節ニ白色鱗毛アリ。

前脛節ノ外齒ノ先端ノモノハ彎曲セズ。雌ノ觸角片狀節ハ著シク長カラズ。

ひげこがね屬

Polyphylla Harris.

脚ノ爪ハ基部ニ於テ殆ント同形ノ分歯ヲ有ス。前脛節ハ二或ハ三歯ヲ有シ。内側ニ雌雄共ニ普通ノ刺棘ヲ存ス。後脛節雄ニテハ狹ク雌ニテハ下方ニ擴マレリ。外側ニ鋭歯ヲ具フ。中胸部ノ前緣長形ノ毬果狀突起ヲナサズ。腹節ノ最後ノモノハ其前緣ニテ尾節板ヲ圍繞ス。雄ノ觸角片狀部ハ七節ヨリ成リ長クシテ彎曲シ柄部ヨリ長シ。雌ハ五節ニシテ短カシ。

此屬中我國ニ存スルモノ既記一種及ビ新種一アリ。次ノ如シ。

I_1 前頭部ニ上向セル長毛ヲ存ス。形大ナラズ。

ひげこがね P. laticollis.

I_2 前頭部ハ長毛ヲ存セズ。形著シク大ナリ。

たいわんひげこがね P. formosana n. sp.

ひげこがね

Polyphylla laticollis Lew.

Taf. IV. fig. 21.

Ent. Monthly Mag. 1887, p. 231. ♂.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 399.

Semen, Horae Soc. Ent. Ross. 1900, p. 312.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1902, p. 271.

松村松年, 千虫圖解第三, p. 83, pl. 47. fig. 8.

新島等, 演習林研究報告第五號 p. 16.

産地 Sagami.

伊賀,播磨,岐阜,朝鮮(平壤)

體長 33—36　幅 17—18 mm.

體濃褐色ニシテ白色ノ斑紋ヲ有ス。雄ノ片狀節著シク長ク彎曲ス。

頭部黃褐色毛ヲ有ス。頭楯ハ前部少シク巾廣ク前緣內方ニ弧線狀ニ窪ム。前頭ノ後方ニハ鱗毛ヲ交ユ。

胸背板ハ巾廣クシテ短カク中央ニ細ク裸出セル縱線部アリ。點刻淺クシテ密ナリ。淡黃色ノ細毛ヲ生ズ。兩側緣ハ稍ヤ角狀ニ突出シ。小數ノ刺毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ先端及ビ中縱線ヲ除キ密ニ白色短毛ヲ生ス。

翅鞘ハ濃キ黃褐色ニシテ三個ノ縱隆線ハ不明ナリ。點刻淺ク不規則ナル橫皺ト共ニ存ス。全面ニ白色毛ヨリ成ル斑紋アリ。

尾節板ハ鈍頭ノ三角形ヲナシ短毛ヲ密生ス。

下面ハ胸節ニ黃色ノ長毛ヲ存シ。腹節ニハ白色短毛ヲ密生ス。

脛節ノ外齒ハ雄二雌三個ナリ。

たいわんひげこがね(新種)

Polyphylla formosana Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. IV. fig. 22.

產地　臺灣(補里社)

體長 41　幅 20 mm.

大形濃褐色ニシテ翅鞘ひげこがねニ似テ尙ホ密ナル白斑ヲ有ス。前頭部ニ上向セル毛ヲ有スルコトナシ。

頭楯ハ短カクシテ巾廣ク略ボ四角形ヲナス前緣僅カニ波狀ヲナシ上面前頭ノ會線ニ近ク平滑ナリ。側緣ヨリ前緣ニ沿ヒ淡黃色鱗毛ヲ存ス。前頭部ニ上向セル毛ヲ存セズ。強キ大ナル點刻ヲ有ス。眼ニ近ク帶狀ノ淡黃色鱗毛アリ。

胸背板ハ後緣明カニ緣取ラレ側緣ハ中央ニテ角狀ニ彎曲ス。上面稍ヤ密ニ點刻ヲ有シ中央及ビ兩側ニ淡黃ノ縱條アリ。其ノ兩側ノモノハ中央ニテ分離ス。側緣ノ角狀部ニ近ク斑紋狀ニ平滑ナル部分アリ。

稜狀板ハ中央ヨリ先端ニ平滑光澤アリ。基部ニ近キ兩側ニ淡黃ノ鱗毛斑アリ。

翅鞘ハ點刻淺ク不規則ニ白色鱗毛ヨリ成ル大理石紋ヲ有ス。

尾節板ハ光澤アリ密ニ細刺毛ヲ生ス。先端ハ截斷狀ヲナシ稍ヤ長キ褐色毛ヲ生ズ。

下面ハ光澤アル褐色ニシテ胸部及ビ後基節ニハ長キ細白毛ヲ密生シ腹節ニハ掻傷狀ノ點刻ニ細カキ刺毛ヲ生ス。脚ノ前脛節ノ外齒雄唯一個

ナリ。觸角ノ片狀節ハ長形ニシテ其基部靜止ノトキ稍ヤ銳角ヲナス。

本種ハひげこがねニ最モヨク似ルモ形大ニシテ密ナル翅鞘上ノ斑紋ヲ有シ且ツ頭部ニ立毛ヲ有セザルヲ以テ明カニ區別シ得ベシ。

予等ハ補里社ニテ採取セル標本一個ヲ有シ本學昆蟲學教室又一個ヲ具フ。共ニ雄ノミナリ。

ほそこがね屬

Gymogaster Blanch.

體長圓筒形ニシテ眼突出ス。觸角十節ニシテ片狀節雄ハ六或ハ五個ニシテ長形ナルモ巾狹シ脚ハ長クシテ稍ヤ細ク前脛節ノ外齒ハ二個ニシテ銳尖セズ跗節ハ甚長ク中央ニ近ク分齒セル大形ノ鉤爪ヲ有ス。

本屬ノ種類ハ唯二種ノ知ラレタルモノアルノミナリ。次記新種ハ本屬ニ入ルベキモノナルヲ認ム。

ほそこがね(新種)

Gymogaster Ezakii Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 1., 11.

産地　臺灣(烏來)

體長 9,5　幅 4,5 mm.

體濃褐光澤アリ細長ニシテ胸背板ハ强キ點刻アリ。觸角ノ片狀節六節ニシテ著シク長シ。

頭部幅廣キモ短カシ。大ナル深キ點刻ヲ有ス。頭楯ハ前部ニ巾狹ク前緣角ハ圓味ヲ帶ビ前緣ハ中央ニ彎入ス。雄觸角ハ黃褐色ニシテ片狀節六節ヨリ成ル其內方ヨリ第三ノ一節小ニシテ幅狹ク中央ニ達セズ。

胸背節ハ幅廣ク稍ヤ圓ク隆起シ大形ノ少シク相連レル點刻ヲ密ニ有シ中央ニ弱キ凹線ヲ具フ。側緣ハ中央强ク彎曲ス。

稜狀板ハ小形ニシテ强キ光澤アリ點刻無ク平滑ナリ。

翅鞘ハ濃褐色ナルモ稜狀板ト肩トノ間ニ淡褐色ヲナス。

會合線ノ緣線ハ廣キ隆線狀ヲナシ各翅鞘面ニハ明カナル二縱隆線アリ中間室ハ幅廣ク平カニシテ大ナル點刻ヲ稍ヤ連續的ニ存ス。會合線ノ先端ニ近ク短カキ刺毛ヲ列狀ニ存ス。尾節板ハ光澤アリ稍大ナル點刻ヲ有シ先端ノ緣ニ一列ノ長黃褐刺毛ヲ存ス。

下面ハ胸部脚ト共ニ赤褐色ニシテ腹節ハ淡黃褐色ヲナス。胸部ニハ粗點刻ヲ存シ。後基節ハ光澤ヲ欠キ點刻上ニ褐色ノ細短毛ヲ存ス。腹節ハ細點ヲ散布シ尾節ノ前節ハ兩側霜狀斑ヲ有ス。前脛節ノ外齒ハ三個ニシテ後方ノ一ハ小ナリ。

本種ハ江崎悌三氏ガ臺灣ヨリ採收セル雄一個ノ標本ニ由ツテ記載セルモノナリ。屬ノ性質ト比スレバ其前脛節ノ外齒ノ數ニ差アルモ他ノ點ニ於テ同一ナルヲ以テ此屬ニ加フルモノナリ。

かんしよこがね類

Diprotaxida

胸背板ノ前緣ハ膜狀緣ヲ有ス。頭楯ノ後端延長シテ殆ンド眼ノ全部ヲ橫斷ス。胸背板ノ後緣ハ緣取ラルヽコトナシ。

此內ニテ我國ニ產スルモノハ唯次ノ一屬アルノミナリ。

かんしよこがね屬

Apogonia Kirby.

體短カク球形又ハ短カキ楕圓形ニシテ頭部幅廣ク前胸ニ深ク引入ルコトヲ得。頭楯ハ短カク略ボ半圓形ニシテ其外緣角ハ伸長シテ眼ノ中央ニ達ス。觸角ハ甚ダ小形十節ニシテ片狀節三個ナリ。胸背板ハ幅廣ク兩側緣弧線狀ヲナス。稜狀板ハ心臟形ヲナス。中胸突起ハ存スルコトナシ。前脛節ニ三外齒ヲ有シ跗節ノ下面ニハ毛ヲ生ズ。後跗節ノ第一ハ短カク爪ノ先端ニテ分岐ス。

予等ノ調查シ得タル本邦產三種ノ檢索表次ノ如シ。

I, 體ノ下面ニ短小ナル淡黃毛ヲ生ゼズ。

ひめかんしよこがね Ap. amida.

I_2　體ノ下面ニ短小ナル淡黄毛ヲ存ス。

II_1　上面胸背板ト翅鞘ト全ク一樣ノ色彩ヲナス(琉球產)

りうきうかんしよこがね Ap. bicavata.

II_2　胸背板ト翅鞘トノ色少シク異ナリ(朝鮮產)

てうせんかんしよこがね Ap. cupreoviridis.

ひめかんしよこがね

Apogonia amida Lewis.

Taf. III. fig. 18.

Ann. Mag. Nat. Hist, 1896, p. 332.

(*Apogonia splendida*) Waterh. (nec Bohem) Trans. Ent. Soc. London, 1875. p. 102.

新島等, 演習林研究報告第五號 p. 14.

產地 Japan.

高知,熊本

體長 9—9,5　幅 5—6 mm.

體黑色ニシテ鐵色ヲ帶ビ著シキ光澤アリ。

頭楯ハ幅廣ク著シク短カシ。點刻ハ大ニシテ深ク稍ヤ密ナリ。前頭トノ會合線ハ波狀ヲナス。前頭ハ平カニシテ點刻頭楯ヨリ小ナリ。

胸背板ハ强キ圓味ヲ有シ上面甚微ニ兩側ニ稍ヤ粗大ナル點刻ヲ有ス。

稜狀板ハ略ボ滑カナリ。

翅鞘ハ滑カナル三縱條ノ外稍ヤ强キ密ナル點刻ヲ有ス。尾節板ハ小ニシテ楕圓形ヲナシ粗點刻ヲ有ス。

下面黑色ニシテ毛ナク點刻粗ナリ。

前脛節ノ外齒ハ銳尖ヲナスコトナク後方ノ一個ハ甚ダ小ナリ。

予等ノ有スル多數ノ標本ハ總テ高知附近ニ於テ採取セラレタルモノナリ。然レドモ原記載ノナサレタル<u>レウキス</u>ノ採取ハ四國ニ及バザリシヲ以テ恐ラク本州ニ於テモ繁布スルモノナル可シ。

本報告第五號ニ臺灣產ヲ記シタルモ其標本ヲ檢シタルニアラザルヲ

以テ暫ラク之ヲ除クモノトス。

りうきうかんしよこがね(新稱)

Apogonia bicavata Arrow.

Taf. III. fig. 17.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 399.

産地 Loochoo Is: Okinawa.

琉球

體長 10,5 幅 6 mm.

黑色ニシテ僅カニ藍色ヲ帶ビ光澤甚强カラズ。長楕圓形ヲナシ後方ニ幅少シク廣シ。

頭楯新月形ニシテ强キ密ナル點刻アリ。緣上ニ微細ナル白毛ヲ存シ前緣ハ上反ス。會線ハ中央ニ於テ前頭ニ急ニ彎入ス。前頭ノ點刻ハ强クシテ大ナリ。

胸背板ハ上部前頭ヨリ稍小ニシテ側方ニ大ナル點刻アリ。前緣角ハ稍ヤ前方ニ突出ス。

稜狀板ハ光澤强カラズシテ微細ナル僅少ノ點刻アリ。

翅鞘ハ大ナル點刻ヲ稍ヤ密ニ存ス。會合線及ビ上面ノ二縱隆條ハ先端ニ於テ幅少シク廣ク互ニ接近ス。

尾節板モ又點刻粗大ニシテ微細ナル白毛ヲ存ス。

下面ハ黑色ニシテ散在セル粗點刻アリ。其上ニ短キ淡黃色毛ヲ生ズ。

前脛節ハ唯二外齒ヲ有ス其先端ハ尖ルコトナシ。

予等ハ琉球產唯一個雄ノ標本ヲ有ス。

てうせんかんしよこがね(新稱)

Apogonia cupreoviridis Kolbe.

Taf. III. fig. 19.

Arch. f. Nat. LII. 1886 p. L. p. 193.

Bates, Proc. Zool. Soc. London, 1888, p.373.

Lewis, Ann. Mag, Nat. Hist. 1896, p, 334.

産地 Korea, Goto Is.

朝鮮(水原,京城)

體長 10 幅 5,5 mm.

長楕圓形黒色ニシテ光澤アリ。頭及ビ胸背板ハ少シク銅色ヲ帶ビ翅鞘ハ光線ニヨリ綠色光澤ヲ呈ス。

頭楯ハ前緣僅カニ上反シ殆ント注意シ得ザル如キ細短毛ヲ生ス。點刻甚密ナリ。前頭ノ點刻モ亦强クシテ密ナリ。

胸背板ノ點刻粗ク前緣角明カニ前方ニ突出ス。

稜狀板ハ黒銅色ニシテ光澤ヲ有シ微細ノ點刻アリ。

翅鞘ハ胸背板ヨリモ强キ然シ密ナラザル點刻ヲ有ス。縱隆線ノ翅鞘面上ニアルモノハ幅比較的廣クシテ明カナル隆線狀ヲナス。

前脛節ノ先端ノ二外齒ハ明カニ尖リ後方ノ一齒ハ唯痕跡ヲ殘スノミニ止マル。

下面ハ粗點刻ニ明カナル淡黄ノ短毛ヲ生ズ。

予等ハ朝鮮產三個ノ標本ヲ有ス其內二個雌雄ハ水原及ビ京城產ニテ其色ハ變種 var. *fusana* Kolbe ニ當ル。翅鞘銅赤色ヲ帶ブルモ形ハ大ナラズ。

以上記載セルモノヽ外予等ノ調査ヲ逸シタル次ノ三種アリ。

Apogonia major Waterh.

Trans. Ent. Soc. London 1875, p. 103.

産地 Nagasaki.

Apogonia bicarinata Lewis.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1896 p. 333.

産地 Japan.

Apogonia niponica Lewis.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1895. p. 395.

産地 Japan.

以上ノ外臺灣ニハ尙ホ他ノ數種ヲ產スルガ如キモ標本不充分ナルガ

爲メ今回ハ其調査ヲナスヲ得ザリキ.

しろこがね類
Leucopholida.

胸背板ノ前緣ニ膜狀緣ヲ有セズ.體ノ上面厚ク鱗毛ヲ有ス.上唇ハ左右ノ形狀著シク異ニシテ右側部大形ヲナシ片狀ナリ.觸角ハ十節ニシテ片狀節ハ雌雄共三個ナリ.

此類ニ屬スル種類ハ熱帶地方ニ產スルモノノ外南支那ニ小數ノ知ラレタルモノアリタリ.我國ニテハ全ク記載セラレタルモノ無カリシモ本學昆蟲學敎室所藏一個ノ臺灣產標本アリ之ヲ新種トシテ次ニ記載セントス.

しろこがね(新種)

Lepidota cratacea Niijima et Matsumura. n. sp.

Taf. I. fig. 16. Taf. II. fig. 12, 13.

產地　臺灣(補里社)

體長 21　幅 11 mm.

上面全部甚密ニ白色ノ鱗毛ヲ有シ全ク地色ヲ見ル能ハズ.下面ハ光澤アル黑褐色ニシテ又小ナル鱗毛ヲ存ス然レドモ上面ノ如ク密ナラズ.上唇ノ右側ハ甚大ナルモ左側ハ殆ンド其形ヲ存セズ (Taf. II. f. 12). 觸角ハ黃褐色ニシテ片狀節小ナリ.

頭大形頭楯ハ幅廣クシテ短カク側緣ヨリ前緣圓味ヲ帶ブ.前頭ハ中央會線ニ近ク窪ミアリ後頭ニ鱗毛ノ「つむじ」ヲナセル部アリ.

胸背板ハ幅廣ク短カクシテ前緣角ニ僅少ノ長毛ヲ存シ後緣角ノ鱗毛ハ稍ヤ翅鞘ヲ被フ.側緣ハ中央角狀ニ曲ル.

翅鞘ハ少シク黃色ヲ帶ベル鱗毛ヲ以テ被覆セラル.外緣ヨリ先端マデ溝狀ノ白色緣ヲ有ス.

尾節板ハ平カニシテ黑褐色ヲナシ細形ノ鱗毛ヲ生ズ.

下面ハ又黒褐ニシテ胸部ニ長白毛ノ間ニ鱗毛ヲ散生ス。腹節ニモ白色細鱗毛アルモ中央ハ殆ント之ヲ缺ク中胸突起ハ甚小ナリ脚ハ黄褐色ニシテ白鱗毛ヲ存ス。前脛節ノ外歯ハ明カニ三個ナリ。

本種ハ記載ニ由ルニジャバスマトラ産ノ *L. stigma* Fabr. ニ最モヨク似ル。然レトモ本種ガ翅鞘縁ニ白色溝狀部ヲ有スルモ後種ニ於テ之ヲ缺キ又尾節板ガ本種ニテ滑カナルニ彼ニ於テ二ノ隆起ヲ存スルコトニ於テ區別シ得ベシ。予等ノ調査セル標本ハ松村博士蒐集補里社産雌一個ナリ。

第四節　あしながこがね亞科

Hoplinae.

後跗節ハ唯一個ノ爪ヲ有ス。他ノ脚ノ爪ハ長サヲ異ニス。觸角ハ九或ハ十節ニシテ三節ノ片狀部ヲ具フ。脚ハ長形ニシテ脛節ハ其先端ニ刺棘ヲ有セズ。前脚ノ脛節ニモ內側ニ可動ノ刺棘ナシ。

胸背板ノ前緣ニ膜狀緣ヲ缺ク。腹部ノ尾節ハ短カク第一節ハ普通ノ長サヲ見得ベシ。上面鱗毛アルヲ常トシ稀ニ毛ヲ存ス。小形ノモノ多シ。

我國ニ產スル此亞科ノ屬ハ二ナリ。

I_1　前中各脚ノ二爪ハ形大サニ於テ大差ナク前端ニ巾廣シ。兩爪共ニ分割セラル。

ひめはなむぐり屬 Ectinohoplia.

I_2　前中各脚ノ二爪ハ形狀大サ著シク異ナリ。前端幅廣カラズシテ外側ノ長爪ノミ分割セラル。

あしながこがね屬 Hoplia.

あしながこがね屬

Hoplia Illiger.

前中脚跗節ノ二爪ハ著シク其形ヲ異ニシ大サ又不同ナリ。其先端ニ向テ肥大スルコトナク外側ノ大形ノ一爪ハ常ニ分割セラル。觸角ハ九節或十節ナリ。尾節板ト其前節ハ翅鞘ノ外ニ現ハレ翅鞘ノ會合線ノ先端ニ刺毛群ヲ存セズ。

本屬中我國ニ知ラレタルモノ六種アリ。

あしながこがね

異名あをいろはなむぐり

Hoplia communis Waterh.

Taf. VI. fig. 24.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 100.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1908, p. 119.

松村松年, 千島圖説第三, p. 60. pl. 47. f 2(♀)

新島等, 演習林報告 第五號 p. 14

産地 Nagasaki, Yokohama.

越後,東京,播磨,豊後

體長 6—7 幅 4 mm.

小形ニシテ黄綠色鱗毛ヲ存シ黒色或ハ褐色ナリ長形ノ脚ヲ有ス.

頭楯ハ前緣略ホ直線的ニシテ上反ス.面上ニ褐色細毛ト小鱗毛ヲ存ス.頭部ハ稍ヤ綠色强キ鱗毛ヲ密生ス.

胸背板ハ前緣角鈍ク前方ニ突出シ.兩側緣中央ヨリ外方ニ張出ス.側緣ニハ一列ノ刺毛ヲ存ス.中央ニハ上部ニ小ナル無鱗點アリ.短刺毛ヲ生ズ

稜狀板ハ小形ニシテ鈍ク尖リ鱗毛ヲ密生ス.

翅鞘ハ肩ヨリ少シク後ニ幅廣ク黄色鱗毛ヲ密生スルモ不明ナル列狀ニ小無鱗點アリテ短刺毛ヲ具フ.縱隆線明カナラズ.合合線ノ兩側先端ニ近ク窪ム.

尾節板ハ略平カニシテ下向シ鱗毛ヲ密布ス.

後脚長ク脛節太シ.其爪ハ一個ニシテ長形ナリ.

下面ヲ被覆セル黄綠色ノ鱗毛ハ上面ノモノヨリ大ニシテ美光澤アリ.

本屬中予等ノ調査シ得ザリシモノ五種アリ即チ次ノ如シ.

Hoplia moerens Waterh.

Trans. Ent. Soc. London. 1875, p, 100.

産地 Hiogo, Maiyasan,

H. maculata Bates.

Ent. Mo. Mag. 1889, p. 298.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 389. f.7.

産地 Satsuma, Mitsudake, Hitoyoshi.

H. Reinii Heyden.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1897, p 339.

産地 Kiushiu.

H. gracilipes Lewis

Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 389.

産地 Oshima.

H. koreana Moser.

Stett. Ent. Zeit. 1920, p. 27.

産地 Korea.

ひめはなむぐり屬

Ectinohoplia Reitenbacher.

前中脚跗節ノ爪ハ其大サト形狀ニ於テ大差無ク先端少シク大ニシテ兩爪共ニ先端ニ分烈セラル。觸角ハ十節ナリ。尾節板ト其前節ハ翅鞘ノ外ニ表ハレ翅鞘會合線ノ先端ニ刺毛群ヲ存ス。稜狀板ハ細長ナリ。前脛節ノ三外齒ハ先端ニ相接近ス。

本屬ニハ我國ニ二種ノ知ラレタルモノアリ。次ノ如シ。

I$_1$ 後脚ノ爪ハ先端ニテ分割セラレ上面黃色ヲナス。

ひめはなむぐり Ec. obducta.

I$_2$ 後脚ノ爪ハ分割セラルヽコトナシ上面栗色ヲナス。

かばいろあしながこがね Ec. rufipes.

ひめはなむぐり

Ectinohoplia obducta Motsch.

Taf. VI. fig. 18.

Etud. Ent. 1857, p. 33.

(♀ *sublicola*) Mots. Etud. Ent. 1875, p. 34.

Waterhouse(*Ectinohoplia variolosa*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 388.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 109.

Matsumura (*Hoplia*) Journ, Coll. Agr- Tohoku. Imp. Univ. 1911, p. 118.

松村松年, 千歳圖譜 第 三. p. 83. pl. 47. f. 7. (♀)

新島等, 演習林報告 第 五 號 p. 14.

産地 Hitoyoshi, Nikko, Simoda, Sachalin.

高知,信州,淺間,白根,赤城,秋田,日光,東京,北海道

體長 7—10 幅 4—5,5 mm.

體ノ地色ハ黑色ナルモ褐色ヲ帶ブルモノアリテ黃色ノ鱗毛ヲ有ス。外見ハ上面黃色ニシテ胸背ニ黑色ノ二條翅鞘上ニ中斷セル三双ノ黑色ヲ表ハス。

頭楯黑色或ハ黑褐色ニシテ鱗毛ナク細毛ヲ具フ。略ボ新月形ニシテ前緣上反シ細點刻ヲ密附ス。前頭ニハ黃色鱗毛及ビ細毛ヲ生ズ。鱗毛ハ標本ニヨリ綠色光澤ヲ呈シ密ナラズ。

胸背板ハ兩側緣ノ中央ニテ角狀ヲナス。其前部ニハ長刺毛ヲ列生ス。上面ハ二條ノ太キ黑色ノ地色ノ細短線ヲ少シク側方ニ邊シテ殘スノミニテ黃色鱗ニテ被覆セラル。

稜狀板ハ稍ヤ長形ニシテ全ク鱗毛ニテ被覆セラル。

翅鞘ハ又黃色鱗ニテ條狀ヲナシ略ボ兩側各三條ノ太キ黑色線條ヲ殘シ其中央及ビ少シク先端ニ邊シテ黃色ノ橫線ニテ切斷セラル。

尾節板及ビ其前節ハ翅鞘ノ外ニ出ヅ。密ニ鱗毛及ビ短毛ヲ有ス。

下面ハ密ニ鱗毛ヲ有スルモ其色上面ヨリ淡ナリ。

脚ハ赤褐色ニシテ跗節ノ上ニハ僅少ノ綠色光澤アル鱗毛ヲ存ス。後脚ノ爪ハ僅カニ先端ノ前部ニテ切込ヲ有ス。

此種類ハ其色澤ニ於テ變化多シ其上面一樣ニ黃色ヲナスモノヲ變種 var. *sabulicola* Motsch. ト稱シ稀ニ下面黃色ニシテ上面黑色ナルモノアルヲ變種 var. *caminaria* Reitter. ト稱セラル。

かばいろあしながこがね

Ectinohoplia rufipes Motsch.

Taf. VI. fig. 19.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 110.

産地 Ostsibirien, Daurien, Gensan.

樺太

體長 8—10　幅 4,5—5 mm.

體栗茶色ニシテ翅鞘中央ヨリ稍ヤ後方ニ濃色ヘ字形ノ斑紋アリ。

頭楯ハ黑色ニシテ鱗毛ヲ有セズ。側緣ヨリ前緣ニ明カニ緣取ラル。前頭

ハ平カニシテ密ニ鱗毛ヲ有シ上向セル短刺毛ヲ交ユ。

胸背板モ頭部ト同様ノ鱗毛ヲ有ス。前縁角ハ突出シ側縁ハ中央ニテ角狀ヲナス稜狀板ハ甚小ニシテ尖リ小數ノ鱗毛アリ。

翅鞘ハ又全部鱗毛ニテ被覆セラル鱗毛ハ淡色ノ者ニ稍ヤ濃色ノモノヲ交ユ。中央ヨリ少シク先端ニ偏シテ横ニヘ字形ヲナセル濃栗色ノ鱗毛斑アリ。

尾節板及ビ其前節ハ下面ト同ジク淡黃ノ鱗毛ニテ被ハル。

脚ハ黃赤色ヲナシ後脚ノ爪ハ大ニシテ簡單ナリ。

本種ハシベリヤヨリ朝鮮ノ產トシテ知ラレタルモノナルガ予等ノ標本ハ皆樺太ニ於テ採取セラレタルモノナリ。

第五節　すじこがね亞科

Rutelinæ.

跗節ハ不同ナル鈎爪ヲ有ス。觸角ハ九或ハ十節ニシテ三個ノ片狀節ヲ有ス。後脛節ノ端棘ハ相近ク排列ス。胸背板ノ前緣ニ膜質ノ細緣ヲ具フ。

此類ニ屬スル昆蟲ノ大多數ハ次記ノ二類ニ屬スルモノニシテ我國ニハ之ヨリ以外ニ存スルモノナシ。

I　上唇水平ニシテ下方ニ彎曲スルコトナシ。觸角ハ九節ヨリ成ル。翅鞘ハ其先端ニ明カナル膜質細緣ヲ有ス　すじこがね類 Rutelina.

II　上唇下方ニ伸長ス。觸角ハ十節ヨリ成ル。翅鞘ノ先端ニ膜質細緣ヲ有スルコトナシ　こいちやこがね類 Adretina.

すじこがね類

Rutelina.

すじこがね亞科中ノ多數ハ此類ニ屬シ美麗ナル綠色又ハ藍色ノモノ多シ。觸角ハ九節ヨリ成リ頭楯ハ前緣上反シ一般ニ幅廣ク圓味ヲ帶ビ又ハ半圓形ヲナス。稀ニ長形ヲナスモノアリ。翅鞘ハ外緣ニ毛ヲ有ス。又無色ノ膜質緣ヲ具フ。脚ノ形狀ニハ變化多シ。前脛節ノ外緣ハ多クハ二個ナリ。爪ハ後脚ノモノハ常ニ分岐スルコトナク中脚ニテハ多ク前脚ニテハ殆ンド全部ノモノヽ長キ側方ノ一爪分岐ス。時トシテ雄ノ爪ガ總テ分岐セザルコトアリ。雄ハ脛節ノ先端齒ガ雌ヨリモ短カクシテ銳キヲ常トス。

我國ニ產スルすじこがねノ屬ハ四アリ次ノ如シ。

I.　胸背板ノ後緣ハ圓味ヲ帶ビ稜狀板ノ前部ニテ矢筈形ヲナスカ或ハ平カナリ。　すめこがね屬 Popillia.

I_2　胸背板ノ後緣一樣ノ弧線ヲナス。

II_1　雄ノ前跗節ノ先端節即チ爪ヲ有スル節ハ中側ノ基部ニ齒ヲ有セズシテ一般ニ中央ニ近ク齒ヲ存ス。前脛節ノ內緣ニ雌雄共ニ可動ノ一刺棘ヲ有ス。

III$_1$ 前胸部ノ腹面ノ中央前基節ノ中間部縦ニ扁平ナル突起ヲナス。

こがねむし屬 Mimela.

III$_2$ 前胸部ノ腹面ニ著シキ突起ヲ有セズ。 すじこがね屬 Anomala.

II$_2$ 雄ノ前跗節ノ爪ヲ有スル節ハ基部ニ近ク小歯ヲ有ス(ならのちやいろこがね亞屬 Proagopertha. ノモノハ前脛節ノ内縁ニ雌ハ普通ノ刺棘ヲ有スルモ雄ハ之ヲ缺ク。中胸節ノ腹面ハ基節ノ間ニ短カキ毬果狀ヲナシ突出ス。體長毛ヲ有スルモ翅鞘ハ之ヲ缺ク。)

うすちやいろこがね屬 Phyllopertha.

すじこがね屬

Anomala Samouelle.

外形ハ楕圓形ヲナスヲ常トスルモ長短種々ノ變化アリ。上面滑カニシテ光澤アルモノ多キモ僅カノ種類ハ毛ヲ有セリ。翅鞘ノ細縁膜ハ明カニ認ムルヲ得ベク胸背板ハ上面稍圓味ヲ帶ビ稜狀板ノ前部矢筈形ヲナスコトナシ。前胸ノ腹板ハ中央基節ノ後方ニテ僅カニ隆起ス。小數ノ例ニテハ稍ヤ突起狀ヲナスアルモこがねむし屬ノ如ク前基節ノ間ニ延長シテ彎曲狀ヲナスコトナシ。脚ノ形ニハ變化多ク前脛節ハ一二又ハ三個ノ外歯ヲ具ヘ跗節ノ基部ニ一刺棘ヲ存ス。中後兩脚ノ脛節ノ先端歯狀ニシテ二個ノ端棘ヲ有ス。前中脚ノ爪ハ長キ一側ノモノ分岐スルカ或ハ全脚ノモノ單簡ナリ。

此屬中我國ニ產スルモノ甚多ク單簡ニ分類スルコト甚困難ナルモ調査シ得タル二十四種ニ就テ次ニ檢索表ヲ作成セリ。

I$_1$ 體ノ上面ニ毛ヲ有ス。

II$_1$ 翅鞘上ノ縦隆線强クシテ明カナリ。胸背板ノ毛ハ少シ。

ひらたあをこがね A. octiescostata.

II$_2$ 翅鞘上ノ條線强カラズ胸背板ノ毛ハ多クシテ太シ。

てうせんひらたあをこがね A. Sieversi.

I$_2$ 體ノ上面ニ毛ヲ有セズ。

III$_1$ 翅鞘上ニ明カナル縦隆線ヲ有ス。

IV$_1$ 翅鞘上ニ小數ノ縦隆線ヲ有ス。

V$_1$ 上面ノ縦隆線ハ第一ノミ明カニシテ他ハ不明ナリ。中間室ハ強ク密ナル點刻アリ。 きんすじこがね A. holosericea.

V$_2$ 上面ノ縦隆線ハ會合線ノモノト共ニ五個ヲ有ス。

VI$_1$ 中間室ハ強キ光澤アリ。 おほすじこがね A. costata.

VI$_2$ 中間室ハ光澤ナシ。 すじこがね A. testaceipes.

IV$_2$ 翅鞘上ニ多數ノ條線ヲ有ス。

VII$_1$ 胸背板褐色ニシテ綠色ノ斑紋アリ。

じよなすひめこがね A. Jonasi.

VII$_2$ 胸背板綠色ヲナス。

VIII$_1$ 翅鞘ノ中間帶略ボ一樣ニ隆起ス。 ほそすじこがね A. auracoides.

VIII$_2$ 翅鞘ノ會合線ニ近キ一中間帶ハ幅廣ク他ヨリ低シ。

てうせんひめすじこがね A. costifera.

III$_2$ 翅鞘上ノ縦隆線不明ナリ。

IX$_1$ 翅鞘ノ側緣ノ中央ヨリ先端ニ向テ稍ヤ廣キ褐色緣膜アリ。

X$_1$ 緣膜一樣ノ幅ヲ以テ翅鞘端ニ及ブ翅鞘ニ著シク突起セル側緣隆線ナシ。

XI$_1$ 體綠色ヲナス。

XII$_1$ 大形ナリ。胸背板ノ中央ニ縦線ナシ。 あをどうがね A. albopilosa.

XII$_2$ 大形ナラズ(20 mm) 胸背板ノ中央ニ縦ノ細キ滑線アリ。

ひめどうがね A. viridana.

XI$_2$ 體銅鉦色ヲナス。 どうがねぶいぶい A. cuprea.

X$_2$ 膜緣一樣ノ幅ヲ以テ翅鞘ノ先端ニ達セズ側緣隆線ハ外緣角ニ於テ著シク突出ス。 たいわんあをどうがね A. expansa.

IX$_2$ 翅鞘ノ側緣ノ中央ヨリ先端ニ向テ幅廣キ膜緣ナシ。

XIII$_1$ 胸背板ハ著シク強キ點刻ヲ有ス。 はんのひめこがね A.multistriata.

XIII$_2$ 胸背板ハ著シク強キ點刻ヲ有セズ。

XIV$_1$ 翅鞘ノ側緣隆線ハ翅ノ彎曲部ニ達ス。

XV$_1$ 翅鞘緣ニ明カナル長キ毛ヲ有ス。翅鞘黃褐色ナリ。

ちやいろすじこがね A. corpulenta.

XV$_2$ 翅鞘緣ニ長毛ナシ。

XVI$_1$ 體稍ヤ大形(15—19 mm.) 胸背板ノ點刻甚微細ナラズ。

さくらこがね A. daimiana.

XVI$_2$ 體稍ヤ小形(14 mm.)胸背板ノ點刻微細ナリ。

てうせんひめこがね A. pleurimago.

XIV$_2$ 翅鞘ノ側緣隆線ハ翅ノ中央部ノ後ニテ終ル。

XVII$_1$ 翅鞘上ニ強キ光澤ナシ。

XVIII$_1$ 翅鞘緣色ニシテ黃色緣ヲ有ス。

たいわんひめすじこがね A. limbifera.

XVIII$_2$ 翅鞘褐色ニシテ僅カニ綠色ヲ帶ブ

てうせんはんのきこがね A. luculenta.

XVII$_2$ 翅鞘上ニ強キ光澤アリ。

XIX$_1$ 體細長ニシテ頭大ナリ。黃色ヲナス。 れんちこがね A. Lenzi.

XIX$_2$ 體細長ナラズ。

XX$_1$ 胸背板上ニ溷濁部ヲ存ス。 ひめこがね A. rufocuprea.

XX$_2$ 胸背板ニ溷濁部ヲ存セズ。

XXI$_1$ 胸背板ノ點刻著シク微細ナリ。 ひめさくらこがね A. geniculata.

XXI$_2$ 胸背板ノ點刻微細ナラズ。

XXII$_1$ 頭部ヨリ翅鞘同色黃褐ニシテ美淡綠光澤ヲ呈ス。

とうきようこがね A. tokioensis. n. sp.

XXII$_2$ 胸背板ト翅鞘ト同色ナラザルコト多シ。

XXIII$_1$ 胸背板ノ中央ニ短カキ縱凹線アリ點刻甚小ナリ。

つやこがね A. lucens.

XXIII$_2$ 胸背板ノ中央凹線ナシ點刻稍ヤ大ナリ

はんのきこがね A. Motschulskyi.

きんすじこがね

Anomala holosericea Fabr.

Taf. II. fig. 10, Taf. VII. fig. 1.

(*Melolontha*) Mant, Ins. I. 21.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 401.

Dönitz, Berl. Ent. Zeit. Sitzungs-Ber. 1888.

Burmeister (*Rhombonyx*), Handb. Ent. IV. 1, 1844, p. 214.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 233.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1856. p. 269; 1895, p. 56.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 56.

Ohaus, (*Mimela*, Subg. *Paramimela*) Deutsche Ent. Zeitschr. 1908, p. 635.

Matsumura, Journ. Coll. Agr. Tohoku Imp. Univ. IV. 1911, p. 119.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist, 1913, p. 396.

産地 Japan: Chiuzenji, Süd-Yezo, Nikko, Sibirien(Ural bis Wladiostock) Sachalin.

東京,北海道(定山渓,苫小牧)朝鮮(悪山鎮)樺太

體長 16—19 幅 9—12 mm.

全體美純綠色ニテ光澤アルモ翅鞘ノ縱隆線及稜狀板ノ外ハ點刻ノ爲メ光澤ナク見ユ。

頭楯ニハ一部相附着セル點刻ヲ密布ス.前緣ハ少ク紫黑色ヲ帶ブ.前頭モ頭楯ト同ジク密ナル點刻ヲ有シ眼ニ近ク白色毛ヲ散生ス。

胸背板ハ强キ圓形ノ點刻ヲ稍ヤ不規則ニ存ス。稜狀板ハ略ボ半圓形ヲナシ小數ノ點刻ヲ具フ。

翅鞘ハ會合線及第一ノ縱隆線明カニシテ光澤アルモ外緣ニ近キ三線ハ細クシテ殆ド不明ナリ.間室ハ不規則ニ密布セル强キ點刻ヲ有ス。

腹面及脚ハ銅紫色ニシテ白色ノ長細毛ヲ存ス。

脚ノ前跗節先端ノ鈎爪ノ大形ノモノハ單形ニシテ切込ヲ有セズ。

雄ノ交尾器ハ鞘部幅廣ク先端略圓形ヲナス。

本種ハ主トシテ北地ニ產スル種類ニシテオーハウスハ二ノ變種ヲ記載セリ (Ohaus,Stett. Ent. Zeitschr. 1915, p. 92.)。

var. *holocypria* 平等ニ銅赤色ヲナシ腹面ノミ暗青銅色ヲナス

♀ウラジホストツク産。

var. *carbonaria*上下面純黒色ナリ産地ロシア,ウラル南西地方ウフワ兩變種共我國ニテハ未ダ之ヲ發見セズ。

すじこがね

Anomala testaceipes Motsch.

Taf. I. fig. 2. Taf. VII. fig. 2.

Et. Ent. 1860. p. 14.

Waterh., Trans. Ent. Soc. London, 1875, p. 110.

Harold, Deutsche Ent. Zeitschr. 1877, p. 356.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p. 344.

(*A. costata*) Harold (nec Hope), Abh, Bum. 1876, p. 126.

Reitter. Best-Tab. (52) 1903, p. 56.

Ohaus, (*Mimela*, subg. *Paramimela*,) Deutsche Ent. Zeitschr. 1908 p. 635.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

新島等, 演習林報告第五號 p. 8

産地 Ostsibirien, Korea, Japan: Hiogo, Kioto, Kiushiu, Hakodate, Nagasaki.

北海道(定山渓幌別,栗山,札幌,函館,壽都,十勝),東京,京都,愛媛,高知,熊本

體長 14—16 幅 9—11 mm.

綠色ヨリ藍黒色ニシテ翅鞘ハ明ナル縦隆線ヲ有ス。間室ハ光澤ナシ。

頭楯綠色ニシテ側緣ニ沿ヒ黄褐色ヲナシ。前緣少シク上反ス。密ニ點刻アリ。前頭密ニ點刻ヲ有シ。後頭光澤アリテ粗細點ヲ具フ。

胸背板光澤アル深綠色ヨリ銅赤色ニシテ側緣黄色ヲナス。側緣ハ中央ニ於テ少シク鈍角ヲナシ。前緣角ハ稍ヤ突出ス。上面細點ヲ一様ニ散布ス。中央ニ明カナル縦溝狀ノ窪ミヲ存シ兩側面ニ不明ノ窪ミアリ。稜狀板ハ半圓形ニシテ前胸部ト同様ナル點刻ヲ緣ニ近ク密ニ內部粗ニ存在ス。

翅鞘ハ明カナル縦隆線ヲ有シ。間室ハ光澤ナク細點ヲ密ニ不規則ニ細網狀ニ存ス。綠色ヨリ稍ヤ銅赤色ヲ帶ブルモノニ至ル。腹面黄褐ヲ基色トシテ腹節黒藍色ヲ帶ビ光澤アリ。

脚及ビ觸角ハ黄褐色ヲ帶ブ。

雄ノ交尾器ハ先端前方ニ向テ相離レ滑カニ伸長ス。

變種すじちやいろこがね(新稱)

Anomala testaceipes Mots. var. **ochroptera** Ohaus.

Taf. I. fig. 2a.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 91.

産地 Hatima, Yokohama, Mukoda, Manchurei.

鹿兒島,高鍋,宮崎,愛知,三重,御殿場,福島,秋田,青森,北海道(栗山,漁,苫小牧,名寄),朝鮮.

基種すじこがねト同樣ノ形體ヲ有ス。

色ハ上面全部黃褐色ヲ帶ブルモノヨリ頭,胸背板,綠色ヲ帶ビ翅鞘ノ一部綠黑色ヲ帶ブルモノニ至ル。下面及脚ハ黃褐ヲナシ少ク綠色光澤ヲ呈スルモノアリ。

オーハウスハ翅鞘ノ黃褐色ヲ帶ブルモノニ於テ二種ノ變種ヲ設定セリ即チ次ノ如シ。

var. *ochrochalcea* Ohaus.

上面美淡黃色ニシテ弱キ綠色金屬光澤ヲ有ス。下面脚及ビ尾節板黃褐色ヲナス。

var. *ochroptera* Ohaus.

頭,胸背板,稜狀板金屬綠色,頭楯ノ前緣,胸背板ノ側緣,及ビ翅鞘ハ淡黃ニシテ綠黑金屬光澤ヲ有ス。腹部及ビ後胸褐色ニシテ青銅光澤ヲ有ス。脚及ビ其基節淡黃ニシテ金屬綠色ノ光澤ヲ有ス。

予等ハ多數ノ標本ヲ檢シテオーハウスノ此兩變種ノ間ニハ中間ノ色澤ヲ著ハスモノ多キヲ見タリ。例セバ胸背板ト稜狀板ノ如キ綠色ヨリ黃色ニ至ル種々ノ變化アリ。然レドモ何レモ其翅鞘ノ基色ハ黃褐色ナルヲ以テ後ノ學名ヲ採リ合セテ一變種トシ。*ochrochalcea* ハ之ヲ削除セリ。

變種　あいいろすじこがね(新稱)

Anomala testaceipes Motsch. var. **anocypria** Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 91-

産地　高知.豐前,秋田,北海道(上川)

上面美赤色胸背板ノ側緣ノミ黃色ナリ。下面靑銅色ニシテ黃色ヲナセル脚部ニ暗色ノ長線アリ。

上記オーハウスノ記載ニ當ルモノ四箇アリ三箇ハ高知產ニシテ一箇ハ秋田產ナリ。前者ハ全體溷濁調ヲ帶ビ後者ハ光澤强ク美ナリ。而シテ基種中稍ヤ赤銅色ヲ帶ビテ此ノ變種トノ中間ニアルモノナキニアラザルモ基色トシテ綠色ヲ有セザル者ヲ此內ニ置クモノナリ。

オーハウスハ尙ホ綠色種ニ於テ一ノ變種ヲ設ケタリ卽チ

var. *cyprioptera* Ohaus.

上面銅綠色翅鞘銅赤色ナリ。胸背板ノ側緣,尾節板,後側板,前側板ハ黃色ヲナス。脚ハ黃色ニシテ暗金屬綠色ノ長線ヲ有ス。

予等ハ百三十八箇ノ綠色ヨリ銅赤色種ヲ檢シタルニ極端ナル色ノ標本ニ於テハ上面全ク綠色ニシテ此基種ニ相當スルモノト上面綠色ニシテ翅鞘ノミ銅赤色ノ上揭ノ變種ニ當ルモノヲ區別シ得ベシ。然レドモ是等ノ間ニ種々ノ中間ノ色彩ヲ示スモノアリテ變化著シク其間明カナル區別ヲナス能ハズ故ニ予等ハ獨立セル變種トシテ之ヲ認定セズ。

おほすじこがね

異名　すぎこがね, すぎむし

Anomala costata Hope.

Taf. I. fig. 1. Taf. VII. fig. 3.

Proc. Zool. Soc, Lond. 1839, p. 73.

Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875. p. 109.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p. 233.

Harold, Abh. Brem. 1876 p. 126.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1877. p. 356.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p. 344.

Reitter, Best.-Tab. (52) 1903, p. 56.

Ohaus, Stett. Ent. Zt. 195, p. 90.

松村松年, 千蟲圖解 第三. p. 80. pl. 47. f. 3

新島等, 演習林研究報告第五. p. 8.

産地 Japan: Hiogo etc.

北海道(札幌,漁,栗山,苫小牧,白老)秩父,付知,熊本,中禪寺,高知(安藝),愛知,御殿場,神奈川,新潟,福島

體長 17—20 幅 11—12 mm.

體綠色ニシテ强キ光澤アリ。翅鞘ノ縱隆線著シク間室光澤アリ。

頭楯幅廣クシテ短カク前緣彎入シ上方ニ反曲ス。著シク密ニ點刻ヲ有ス。前頭ハ粗點刻ヲ存シ後頭ハ滑カニシテ細點刻ヲ有ス。

胸背板ハ前緣角僅カニ突出シ,上面ノ中央ニ縱ノ强キ窪ミアリ。左右ニモ亦不定ノ窪ミヲ存ス。點刻ハ小ナルモ後頭ヨリ粗ナリ。標本ニヨリ上面ノ兩側光澤ヲ缺クモノアリ。

稜狀板短カクシテ半圓形ヲナス。點刻著シク微細ナリ。

翅鞘ハ銅藍色ヨリ綠色ヲ帶ビ縱隆線ハ明カナリ。中間室ハ光澤アリ。其第一ノモノノ幅最モ廣シ。

尾節板ハ深綠色ナルモ不規則ナル帶黃褐色ノ斑紋ヲ存ス。此前節ノ後緣ニ沿ヒテモ亦黃褐色部アリ。

腹面ハ藍黑色ニシテ光澤アリ。少シク綠色又ハ褐色ヲ帶ブルモノアリ

本種ノ內ニハ翅鞘綠色ニシテ殆ンド銅藍色ヲ缺クモノアルモ其中間ノ色彩ヲ呈スルモノアルヲ以テ別ニ之ヲ變種トナスコトナシ。

オーハウスハ特ニ銅藍色ノ强キ一個ノ雌標本ニヨリ變種 *incuprata* ヲ設定シタリ(Stett. Ent. Zeit. 1915, p.91.) 然レドモ此色ノ變化ハ固定的ノモノニアラズシテ著シク近似セル變化ヲ呈スルモノナルヲ以テ予等ハ本變種ノ成立ヲ認メズ。

變種　ちやいろおほすじこがね(新稱)

A. costata Hope var. **flavipennis** Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 90.

產地　愛知,御殿場,神奈川,千葉,福島,山形,秋田,北海道(野幌,白老,苫小牧)

翅鞘淡黃褐ニシテ會合線ニ近キ中間室及側緣ニ近ク藍綠或ハ銅藍色ヲ帶ブ。胸背板ハおほすじこがねト同色ナルモ稀ニ其兩側緣ニ近ク黃色ヲ帶ブルモノアリ。

本種ハホープガ不熟ナル標本トシタルモノヲオーハウスガ變種トシテ定メタルモノナリ。翅鞘上ノ銅藍色部ハ多キハ全面ニ及ビ少キハ殆ンド之ヲ缺クモ翅鞘ノ基色黃褐ナルヲ以テ明カニ變種ノ特質ヲ定メ得ベシ。胸背板ハ光澤アルモノト兩側面ニ之ヲ缺クモノトアリ。

元來おほすじこがねハ最モ普通ナル種類ニシテ予等ノ標本甚ダ豐富ナルガ此變種モ亦多クシテ予等ハ基種ト殆ンド同數ノ標本ヲ有ス。

ひらたあをこがね

Anomala octiescostata Burm.

Taf. I. fig. 5.

(*Phyllopertha octiescostata*) Burm. Handb. IV. I. 1844, p. 243.

Waterh., Trans. Ent. Soc. 1875. p 108

(Subg. *Chrysoplethisa*) Reitt., Best.-Tab. 1903, p. 57.

Arrow, Trans. Ent. Soc. London 1899, p. 273.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 403,

(*A. octocostata*) Motschulsky, Etud. Ent. 1860, p. 14.

Bull. Mosc. 1866, p. 170.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. London. 1875, p. 108.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 57.

新島等, 演習林研究報告第五號 p. 9.

產地 Korea, Japan.

高知,福岡,山口,鹿兒島,朝鮮

體長 11—12　幅 5,5—7,5 mm.

綠色ニシテ體面ニ白毛ヲ生ズ。翅鞘ニハ毛ナク明ナル縱隆線アリ。

頭楯稍ヤ銅色光澤ヲ帶ビ甚ダ細密ナル點刻ヲ有ス。前頭トノ會線不明ナリ。前頭ニハ密ナル細點ノ間ニ強キ粗大ナル點刻ヲ有シ。略三角形狀ノ刻斑ヲ呈ス。後頭ハ細點ノミヲ中庸度ニ散布ス。白毛ハ少ナシ。

胸背板ハ稍ヤ光澤アル綠色ニシテ側緣ニ沿ヒ銅紫色ノ光澤アリ。長白色毛ヲ生ズ。點刻ハ不規則ニシテ中央ニ滑カナル縱線ヲ有ス。

稜狀部ハ光澤アル半圓形ヲナシ僅數ノ細點ヲ存ス。

翅鞘ハ毛ヲ有セズ綠色ニシテ側緣紫銅色ヲ呈ス。縱隆線明カニシテ細點刻ヲ散布ス。間室ニハ淺キ粗點刻ヲ不規則ニ存ス。

腹面及ビ尾節板ハ黑味ヲ帶ブル紫銅色ニシテ又長キ白色細毛ヲ有ス

つしますじこがね

Anomala Sieversi Heyden.

Hor. Soc. Ent. Ross. 1887, p. 226.
H. Bates, Proc. Zool. Soc. London. 1887, p. 374.
Lewis, Ann. Mag. Nat Hist. 1895, p. 401.
(Subg *Euporomala*) Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 63.
(*A. octocostata*) Fairm. (nec. Burm.) Ann. Soc. Ent. Belg. 1891, C. R. (4) X. VIII, p. CC IV.
新島等, 演習林報告第五號 p. 9.

產地 Korea, Japan(Tsushima).

朝鮮

體長 13 幅 8 mm.

ひらたあをこがねニ似ル。體綠色ニシテ白色毛アリ。光澤弱ク翅鞘ノ縱隆線著シカラズ。

頭楯綠色ニシテ殆ンド光澤ナク密ナル細點ヲ有ス。前頭部ハ頭楯ヨリ稍ヤ粗大ナル點刻ヲ密布ス。

胸背板ハ稍ヤ密ニ點刻ヲ有シ白色毛ヲ存ス。中央ニ縱線ヲ缺ク。側緣ノ銅紫色部著シク狹シ。

翅鞘ハ縱隆線ヲ有スルモ著シク明カナラズ。中間室ハ大小ノ點刻ヲ不規則ニ存ス。側緣ノ銅紫色部狹シ。

尾節板ハ濃銅紫色ニシテ白色毛ヲ存

ス。

ライター ニ由ルトキハ屢々體銅赤色ニシテ下面黒色金屬光澤アリ體側黒色ヲナスモノアリ。之ヲ變種 var. *subpurpurea* (朝鮮産)トシ又全體黒青色ノモノヲ變種 var. *atrocoerulea*. (朝鮮産)トセリ。

じよなすひめこがね(新稱)

Anomala Jonasi Ohaus,

Taf. VI. fig. 14.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 326.

Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 4.

産地 Formosa.

臺灣

體長 13 幅 7 mm.

體稍長形ニシテ後方ニ少シク巾廣シ。上面淡褐色ヲナシ光澤ヲ有ス。頭上ニ小形ナル綠色斑紋二個胸背板ニ大形ノ同色斑紋二個ヲ有ス。

頭楯ハ略半圓形ニ近キ形ヲナシ前頭部ハ共ニ密ナル强キ點刻ヲ有ス。前頭部ハ光澤アリ。

胸背板ハ淡褐色ニシテ上面ノ左右ニ不規則ナル輪劃ヲ有スル綠褐色ノ斑紋アリ。點刻ハ强クシテ中央ニ縦ノ溝狀線ヲ有ス前緣角ハ突出ス。

稜狀板ハ淡褐色ニシテ兩側ニ稍ヤ細點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ深キ溝狀ヲナセル線條ヲ有ス。溝底ニハ稍ヤ强キ點刻ヲ有ス。隆線及ビ中間帶ハ共ニ一樣ニ隆起シ三個ノ中間帶ハ各二個ノ隆線狀ヲナス。此ノ二隆線間ノ線ハ會合線ニ接スル中間帶ニ於テ基部ニ近ク二重ノ點刻ヲ有ス。

尾節板ハ圓味ヲ帶ビテ隆起シ强キ點刻ト先端ニ近ク僅少ノ褐色毛ヲ存ス。

下面ハ褐色ニシテ胸部ニ稍ヤ密ニ腹部ニ甚ダ僅少ノ毛ヲ生ズ。前脛節ノ二外齒ハ大ナリ。雄ノ觸角片狀節ハ柄部ト略同長ナリ。

本種ハオーハウスニヨリ臺灣産雄ノ記載アルモノナルガ予等ノ標本モ又雄一個ナリ。

ほそすじこがね(新稱)

Anomala auracoides Ohaus.

Taf. VI. fig. 9. Taf. VII. fig. 5.

Stett. Ent. Zeitschr. 1915, p. 327.

Archiv f. Naturg. 1916. A. 4. P. 5.

産地 Formosa.

臺灣(臺北)

體長 15,5 幅 9 mm.

體長卵形綠色ニシテ翅鞘ニ多ク縱隆線アリ。

頭楯ハ黃褐色ニシテ綠色光澤アリ。稍上反セル緣線ハ細ク黑紫色ヲ帶ブ。密ニ錯綜セル點刻アリ。頭ハ綠色ニシテ頭楯ノ會線明カナリ。前頭密ニ後頭粗ニ强キ點刻ヲ有ス。

胸背板ハ綠色ニシテ光澤アリ。側緣ニ沿ヒ黃色ヲ帶ブ。側緣ハ中央ヨリ前後ニ同樣ナル弧線狀ヲナス。側方ノ窪ミト中央ノ縱凹線ハ稍ヤ明カニ認メ得ベシ。點刻ハ稍ヤ强クシテ中央ヨリ側方ニ相附着スルモノ多シ。

翅鞘ハ上部ヨリ見ルトキハ淺キ綠色ヲ呈スルモ後方ヨリ見ル時ハ紫銅色ノ光澤ヲナス。深キ溝線ヲ有シ縱隆線ト間室トハ同樣ニ隆起ス。即チ第一ノ間室ニハ二,他ニハ各一ノ隆線ヲ有シ。翅鞘面ガ一樣ニ密接セル隆線アル如ク見ユ。

下面尾節板腿節等ハ黃褐色ヲナシ少シク暗色ヲ帶ブ。

てうせんひめすじこがね(新稱)

Anomala costifera Reitter.

Taf. VI. fig. 13.

Wien. Ent. Zeit. 1895, p. 209.

(*Idiocnema*) Best.-Tab. (51) 1903, p. 61.

産地 Korea, Wladiwostock.

朝鮮

體長 11—12 幅 6—7 mm.

體稍細長ニシテ上面綠色ヲナシ光線ニヨリ稍銅色ノ金屬光澤ヲ呈ス。翅鞘ニハ稍ヤ强キ縱線ヲ存ス。

頭部綠色ニシテ强キ光澤アリ。點刻强ク密ナリ。頭楯ハ前緣角丸味ヲ帶ビ前緣明カニ上反ス。會線ハ少シク隆起ス。

胸背板ハ幅廣ク密ニ强キ點刻ヲ有ス。側緣ハ圓味ヲ帶ビ前緣角ハ少シク突出シ中央ニ縱溝狀線ヲ具フ。

稜狀板ハ胸背板ト同色ニシテ同樣ノ點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ綠色ナルモ光線ニヨリ銅赤色或ハ金色ノ光澤ヲ呈ス。上面ニ密ナル細點刻ヲ一樣ニ存ス。隆條ハ略中間帶ト同ジ高サヲ有ス。唯會合線ニ近キモノノミ幅廣クシテ低シ。翅鞘ノ側緣隆起ハ先端ノ彎曲部マデニ及ブ。

尾節板ハ光澤アル褐色ニシテ上面ノ大部ハ綠色ヲ帶ブ。基部兩側ニ窪ミヲ有ス。先端ニ近ク僅少ナル毛ヲ生ズ。

下面ハ綠褐色ニシテ金屬光澤アリ。前脛節ノ外齒ハ先端ノモノ著シク大ナリ。

予等ノ標本ハ內田氏採取ノ朝鮮產ノモノナリ。

ちやいろすじこがね

Anomala corpulenta Motsch.

Etud. Ent. II. 1853, p. 28; 47.

Ohaus. Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 317.

(*Anomala Gottschei*) Kolbe, Arch. f. Natrg. 1897, p. 190. Taf. XI. f. 28.

Reitt. Best.-Tab. (51) 1903, p. 71.

産地 Nordchina, Mongolei, Korea, Japan.

岡山

體長 15 幅 9 mm.

黄褐色ニシテ頭及胸背緑色ヲ帯ブ。翅鞘ノ周縁ニ毛ヲ有ス。

頭楯黄褐色ニシテ少シク銅紫色ノ光澤アリ。點刻密ナリ。頭部ハ緑色ナルモ前頭ハ銅紫色ヲ帯ブ。點刻前頭ニ密ニ後頭小ニシテ粗ナリ。

胸背板ハ幅廣クシテ長サノ二倍ナリ。側縁ノ中央外部ニ凸出シ底部ニ幅少シク狹シ。上面光澤アリ。緑紫色ヲ帯ビ兩側ハ黄褐色ヲ呈ス。點刻細小ニシテ前縁ノ中央ヨリ短カキ縦ニ窪メル細線アリ。

稜狀板ハ小ニシテ稍ヤ密ニ點刻ヲ有ス。

翅鞘黄褐色ニシテ稍ヤ明カナル縦隆線ヲ有ス。其側縁隆線ハ先端ニ及ビ之ニ黄褐色ノ毛ヲ列狀ニ存ス。尾節板ハ光澤ナク淺キ細點ヲ密布ス。下面ハ又黄褐ニシテ僅少ノ毛ヲ生ズ。

雄交尾器ハ先端ノ兩片短カクシテ幅廣ク先端ハ下面ニ鉤曲ス。

予等ノ標本中ニハ此原記載ニ當ルモノ唯一個岡山產雄アルノミ。其翅鞘ハ光線ニ由リ少シク銅紫色ノ光澤ヲ顯ハセリ。恐ラク此種ニモ色彩的變化ヲ呈スルモノ多カルガ如シ。

さくらこがね

Anomala daimiana Har.

Taf. I. fig. 3. 3a.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1877. p. 354.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p 346.

Reitt., (*Anomala geniculata* Mots.) Best.-Tab. (51) 1903, p. 72.

Ohaus, Stett. Ent. Zeitschr. 1915, p. 321.

松村松年, 千蟲圖解第三(*A. geniculata*) p, 89, Pl, 47, f. 17. ♀

產地 Kiushiu, Nagasaki, Hiogo, Hakone, Hakodate.

秋田,青森,土佐,栃木,岡山,東京,北海道(十勝,天鹽,日高)

體長 15—19 幅 8—11 mm.

稍ヤ大形ノこがねむしニシテ黄褐色ヲナシ上面緑色ノ光澤アリ。

頭楯黄褐ニシテ緑色ノ光澤アリ。前方狹搾シテ少シク圓味ヲ帯ブ。點刻細カクシテ相分離ス。前頭ハ前縁ニ近ク黄褐色ヲ帯ビ標本ニヨリ上面緑

色ノモヨリ全部黄褐色ニ至ル變化アリ。後種ト雖モ光線ニヨリ綠色光澤ヲ顯ハス。點刻稍ヤ粗ナリ。

胸背板ハ稜狀板ノ上部ヲ除ケル後綠側綠及ビ前綠明カニ綠取ラレ全面光澤アリ。稍ヤ細カキ點刻アリ。普通兩側綠前綠ニ沿ヘル狹キ部ト中央ノ縱線ト黃褐色ヲナシ他ハ綠色ヲ呈スルモ淡色ノモノハ殆ンド全部黃褐色ニシテ濃色種ハ側綠ノ狹小部ノ外濃キ綠色ヲナス。中間種ニハ斑紋三角形ノモノアリ。稜狀板ハ何レモ黃褐色ニシテ中央ニ縱凹細線アリ。微細ナル點刻ヲ散布ス。

翅鞘ハ其側綠隆線先端ノ彎曲部ニ達ス。色ハ黃褐ニシテ綠色光澤ヲ帶ブ。屢々淡キ金綠色ノ不規則ナル斑紋ヲ表ハスモノアリ。

下面及ビ脚ハ又黃褐色ニシテ金屬光澤ヲ有ス。脛節及ビ跗節ハ濃褐色ニシテ銅光澤アリ。黑銅色ヲ呈スルコトナシ。

雄交尾器ノ鞘部ハ短カクシテ左右兩片鈍ク尖リ先端ノミ相離ル。

本種ハライターニ由ツテ *A. geniculata* Mots. ノ異名トセラレタルモ其腹面ノ色ノ黑色ヲ帶ブルモノナキト體形ノ大ナルニ由リオーハウスニ從ヒ之ヲ分ツコトヽセリ。

ライターガ *A. geniculata* ニ對シテ設ケタル變種 var. *impressibasis* モ亦此種ニ屬スベキモノニシテ體黃色ヲ呈スルモノナリ。然ルニ此種ノ標本五拾個ニ就テ見ルニ全面黃色ノモノヨリ胸背板以上ノ綠色ノモノニ種々ノ變化アリ。其全面黃色ニテモ綠色光澤ヲ有シ僅カニ斑紋狀ニ綠色部ヲ胸背上ニ表ハスモノヨリ次第ニ殆ンド全胸背面ノ綠色ヲナスモノニ及ビ特ニ此變種ヲ區別シ能ハザルヲ以テ之ヲ省クモノトス。尙ホ松村博士ガ千蟲圖解ニ揭ゲタル *A. geniculata* ノ圖及ビ同記載ノ材料ヲ見ルトキハ又本種ナルヲ認ム。

てうせんひめこがね(新稱)

Ancmala pleurimargo Reitter.

Taf. VI. fig. 10. Taf. VII. fig. 4.

Best.—Tab. (51) 1903. p, 72.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

産地 Korea, Peking, Japan(Kiushiu)

朝鮮(京城)

體長 14　幅 9 mm.

ひめこがね或ハはんのきこがねニ似ル。其翅鞘側緣ノ隆起ガ先端彎曲部ニマデ發達スルヲ以テ區別シ得ベシ。全體黃色ニシテ頭部ヨリ胸背板ノ大部綠色ヲ呈ス。

頭楯ハ前方幅狹ク前緣略平カニシテ上反ス。上面黃色ニシテ金色光澤アリ。甚ダ細密ナル點刻ヲ有ス。前頭部ノ大部ハ後頭ト共ニ綠色ヲナシ光澤アリ。頭楯トノ會線ニ近ク强キ點刻ヲ有シ後頭部ニ向ツテ小ナル點刻ヲ散布ス。

胸背板ハ基部ニ於テ幅最廣ク前緣ニ狹搾シ前緣角ハ强キ突出ヲナシ上面綠色周圍黃色ヲ呈ス。中央ニ縱ノ溝線アリ點刻ハ微細ニシテ散在ス。

稜狀板ハ綠色ヲ帶ビ略平滑ナリ。

翅鞘ハ黃色ニシテ弱キ綠色ノ光澤ヲ有ス。上面ノ線條ハ隆起セズ。中間帶ニ平等ニ稍ヤ密附セル點刻ヲ有ス。側緣ノ隆線ハ著シク高カラザルモ先端ノ彎曲部ニ達ス。

尾節板ハ光澤アル綠色ニシテ不規則ナル點刻ヲ散布ス。先端ニ近ク兩側ニ窪ミヲ有ス。

下面ハ濃褐色ニシテ又綠色ノ光澤アリ。胸部ニハ細長ノ白毛ヲ細點刻上ニ生ズ。腹節ノ毛ハ甚ダ少シ。

予等ハ朝鮮產二個ノ標本ヲ驗スルヲ得タリ。共ニ胸背板及ビ頭部ニ綠色部ヲ存ス。其他ノ點ハ全ク原記載ニ一致ス。

たいわんひめすじこがね(新稱)

Anomala limbifera Ohaus.

Taf. VI. fig. 16

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 330.

産地 Formosa: Lamleh.

臺灣

體長 13　幅 8 mm.

綠色ニシテ光澤薄シ。翅鞘ニハ稍明ナル縱隆線ヲ有ス。

頭部ハ頭楯ヨリ前頭ニ一樣ニ細密ナル點刻ヲ有ス。頭楯ハ黃褐色ヲ帶ビ前緣少シク上反ス。

胸背板ハ綠色ニシテ側緣ニ黃色ノ部分ヲ有ス。點刻ハ稍ヤ粗ニシテ頭部ノ者ヨリ大ナリ。

稜狀板ハ略胸背板ト同樣ノ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ綠色ナルモ側緣ヨリ先端ニ沿ヒテ黃色ノ狹キ緣狀部ヲ有ス。上面ハ不規則ニ凹ミタル大形ノ點刻ト最小ナル點刻トヲ交フ。

尾節板ハ圓ク隆起シ大部分ハ黃褐色ヲナシ細毛ヲ散布ス。

下面ハ褐色ニシテ綠色ヲ帶ビ長キ黃褐色ノ毛ヲ生ズ。

脚ハ褐色ニシテ雄ノ觸角ノ片狀節ハ柄部ト略同長ナリ。

予等ノ調査シタル標本ハ唯一個ナリ。

てうせんはんのきこがね(新稱)

Anomala luculenta Erichson.

Taf. VI. fig. 15.

Naturg. Ins. Deutschl. III. 1847, p. 620.

Burmeister, Handb. Ent. IV. 2, 1855, p. 501.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit, 1915. p. 316.

(*A. dahurica*) Mannerh. Bull. Mosc. 1849, p. 236.

Motschulsky, Schrencks Reis. Amur. II.2, 1860, p. 135.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 233.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 74.

(*A. Mongolica*) Motsch. Etud. Ent. II. 1853, p. 28; V. 1856, p. 81.

産地 Ostsibirien(Wladiwostock), Usuri, Korea(Gensan), China(Peking).

朝鮮(水原)

體長 13—15　幅 7—8 mm.

はんのきこがねニ似ル。體色ニ變化多シ。

頭部綠色ナルモ頭楯ハ稍ヤ黃色ヲ帶ビ前部ニ圓味ヲ帶ブ會線ハ不明ニシテ前頭ハ頭楯ト同樣ニ點刻ヲ有ス。

胸背板ハ黃褐色ヲ基調トシテ綠色ヲ帶ブ。明ナル點刻ヲ散布ス。中央ニ僅カニ窪メル縱線アリ。稜狀板ハ略半圓形ニシテ胸背板ト同樣ノ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ又黃褐色ヲ基調トシテ綠色ヲ呈シ或ハ全ク綠色ナルモノアリ。縱隆線明カニシテ中間室ハ不規則ナル稍ヤ馬蹄形ニ見ユル點刻ヲ存ス。

下面ハ黑紫色ヲ帶ビ光澤アリ。脚ハ腿節マデ黃褐色ヲナシ脛節ハ光澤アル綠褐色ヲナス。

雄ノ交尾器ハすじこがねトはんのきこがねノ中間ニアル如キ形狀ヲナス。

新變種　むらさきてうせんはんのきこがね

Anomala luculenta Er. var. **purpurea** Niijima et Kinoshita. n. var.

體色黑紫色翅鞘赤褐ニシテ脚ハ黑褐色ナリ。

此變種ハ色澤著シク異ナルヲ以テ之レヲ分テリ。水原產雄雌各一個ノ標本アリ。var. *rufofemorata* Reitt. ハ之ヲ缺ク。

れんちこがね(新稱)

Anomala Lenzi Ohaus.

Taf. VI. fig. 11. Taf. VII. fig. 6.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 323.

產地 Yokohama.

仙臺

體長 12—13,5 幅 6—7 mm.

體細長ニテ頭部大ニ突出セル眼ヲ有ス。上面黃褐色ニシテ强キ綠色ノ光澤アリ。翅鞘又黃褐縱線淺シ。

頭部ハ綠色ヲ帶ビ體ニ比シテ大形ナリ。頭楯ハ黃褐色ヲ帶ビ幅ハ長サノ二倍ナリ。前緣上反シ上面密ニ細點刻ヲ有ス。前頭部ト額ノ會線ハ明カニシテ中央ニ於テ內方ニ稍ヤ彎曲ス。前頭ハ稍大ナル點刻ヲ有シ其ノ前部密ニ後頭ニ向ツテ散布ス。

胸背板又幅廣ク長サノ略二倍ナリ。周圍ハ完全ニ緣取ラル。前緣角及後緣角ハ稍ヤ突出ス。點刻ハ小ニシテ散在ス中央ニ短カキ縱溝狀ノ凹線アリ。色ハ黃褐ヲ基調トスルモ標本ニヨリ上面ノ左右大部綠色ヲナス。

稜狀板ハ略半圓形ヲナス。黃褐色ニシテ僅少ノ微細ナル點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ黃褐色ニシテ稍綠色ノ光澤ヲ呈ス。線條ハ淺クシテ稍強キ點刻ヲ列狀ニ存ス第一ノ隆線ハ中間室ヨリ強ク隆起ス。第一間室ニハ上部不規則ナル二列狀ニ配列セル點刻アリ。前面ニ甚シク微細ノ點刻ヲ有ス。

尾節板ハ稍密ナル環狀ノ細點刻ヲ有シ上向セル長毛ヲ具フ。

下面ハ胸及ビ腹部ノ大部黑褐色ヲ帶ビ細點刻及ビ淡黃毛ヲ存ス。脚ハ黃褐ニシテ前脛節ノ外齒ハ短クシテ銳シ。

ひめこがね

Anomala rufocuprea Motsch.

Taf. VII. fig. 7.

Et, Ent. 1860, p. 14.

Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875. p. 109.

Harold, Verh. Nat. Ver. Bremen V. 1876, p. 125.

Deutsche Ent Zeitschr. 1877, p. 350.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 343.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 401.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 320.

Arrow, Anu. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 403.

Reitt., Best.-Tab. (51) 1903, p. 73.

Matsumura, Journ. Coll. Agr. Tohoku. Imp. Univ. IV. 1911, p. 119.

松村松年, 千蟲圖解 第三 p. 86. p. pl XLVII. f. 13.

新島等, 演習林報告 第五號 p. 8.

產地 Hiogo, Kioto, Echizen, Mino etc.

木曾,仙臺,東京,栃木,北海道(札幌,苫小牧,野幌,七重,栗山,十勝,天鹽,旭川,

漁,音威子府,沙那)

體長 12—16　幅 7,5—10. mm.

體上下面共ニ濃キ銅赤色ヲ帶ビ全面金屬光澤アリ。胸背板ノ大部光澤ヲ缺ク。

頭部光澤アリ。頭楯前部稍ヤ幅狹ク圓味ヲ帶ブ。點刻ハ甚ダ密ナリ。前緣上反ス。前頭ハ頭楯ト等シク密ナル點刻ヲ有ス。

胸背板ハ中央ノ縱線及ビ兩側面ノ窪ミ著シカラズ。上面ノ大部ハ光澤ヲ缺キ點刻ハ微小ニシテ密ニ存在セズ。側緣ニ僅少ノ細毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ半圓形ニシテ又微細ナル點刻アリ。

翅鞘ハ縱隆線著シカラズシテ線狀ニ細點刻ヲ存ス。間室ニハ皺狀ノ凹凸ヲ存シ大サヲ異ニセル點刻ヲ具フ。

觸角ハ濃褐色ニシテ雄ノ片狀節ハ柄部ヨリ短カシ。前腿節ニハ二列ノ褐色刺毛ヲ具フ。

雄ノ交尾器ハ鞘部太キモ先端ニ向テ稍ヤ狹搾シ左右ニ短銳ナル突出部ヲ有ス。

此種ニ次ノ變種アリ。

變種　みどりひめこがね

Anomala rufocuprea Mots. var. **viridicuprea** Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 320.

産地　高知,福島,仙臺,山形,秋田,北海道(七飯,札幌,栗山,苫小牧,旭川,十勝,天鹽,沙那),樺太

オーハウスノ記載ニ由ルニ本變種ハ基色トシテ金屬綠色ヲナシ弱キ銅色光澤ヲ有ストシ別ニ變種 var. *viridiaenea* ヲ記載シ體ハ基色トシテ純然タル金屬綠色ヲナシ胸背板ニ光澤ナキ溷濁部ヲ有ストセリ。然ルニ此兩變種ハ基種ガ全ク綠色ノ基調ヲ帶ビザルモノト區別スルヲ得ルモノナルガ此兩個ノ變種間ニハ著シク其色彩ニ變化アリ。即チ *viridicuprea* ニ入ルベキモノモ其銅色光澤ノ强キモノハ基種ニ近ク之ニ反シテ弱キモ

ノハ變種 *viridiaenea* ニ似ル。オーハウスハ *viridiaenea* ニ對シテ其ノ特徴トシテ胸背板ニきちん板ヨリノ分泌ニヨリ生ズル臘質物ニヨリ溷濁セル黒色ヲ呈スルコトヲ記セリ。此ノ性質ハ本變種ノ大部ト他ノ變種及ビ基種ニ通有スル處ナルガ此變種ニ屬スベキ標本中ニハ僅カニ其痕跡ヲ止ムルノミナルモノアリ。又著シク强キ光澤ヲ有スルモノアリ。此光澤アル種類ハ色澤綠色ノモノヨリ銅色ヲ帶ブルモノニ至レリ。即チ千島產ノ標本ノ如キ皆光澤ヲ有セリ。之等ハ一見 *A. Motschulskyi* ニ似ルモ其雄交尾器ノ構造ニ由リ明カニ區別シ得ベシ。故ニ總テ綠色ヲ基調トセルモノヲ合シテ一變種トシ上記ノ學名ヲ採用シ *viridiaenea* ハ之ヲ除ケリ。此變種ハひめこがね中最多ニシテ普通ナル色澤ノモノナリ。

變種 あをいろひめこがね

Anomala rufocuprea Motsch. var. **violacea** Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 320.

產地　別府,高知,御殿場,長野,東京,栃木,福島,山形,秋田,青森,北海道(七飯,羊蹄山,札幌,野幌,伊達,栗山,漁,苫小牧,旭川,天鹽,枝幸,十勝)

上下面共ニ一樣ノ菫青色ヲナス。

オーハウスハ其調査セル標本五箇ノ雄ハ 12,5—14 mm 五箇ノ雌ハ 16—17 mm. ナルヲ記セリ。

予等ノ凡ソ百個ニ近キ此變種ノ標本ニ於テ見ルモ雌雄甚シキ大サノ變化ナク之ヲ通シテ 13—16 mm. ナリ。尙本變種ノ色彩ハ菫青黒色ト稱スルヲ以テ識別上便ナルヲ認ム。

變種 くりいろひめこがね

Anomala rufocuprea Motsch. var. **castanipennis** Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 320.

產地　鹿兒島,日向,佐賀,高知,岐阜,長野,豊橋,靜岡,栃木,福島,盛岡,山形,青森,

北海道(札幌,天鹽,音威子府,根室,沙那)

上下面暗青色ヲナシ翅鞘栗色ニシテ側緣黑褐色ヲナス。本變種ハオーハウスガ唯一個ノ雄標本(横濱産)ニテ區別シタルモノナルガ予等ノ標本モ前變種ニ比スレバ其數少ナシ。

ひめさくらこがね(新稱)

Anomala geniculata Motsch.

Taf. I. fig. 10.

Bull. Mosc. 1866. p. 3.

Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 109.

産地 Japan.

鹿兒島(大根占小林區,岡山,北海道(天鹽,後志)

體長 13—15　幅 7—8 mm.

體ノ上面淡黃褐色ニシテ光澤アリ。頭及ビ胸背部ノ一部綠色ヲナス。下面ハ黑紫色ナリ。

頭部光澤アル綠色ニシテ稍ヤ銅色光澤ヲ帶ブ。頭楯幅廣ク前緣角ハ圓味ヲ帶ビ前緣狹ク上反ス。點刻細密ナリ。界線不明ニシテ前頭又密ニ點刻アリ。後頭ハ僅少ノ點刻アリテ光澤アリ。

胸背板ハ光澤ヲ有シ幅廣クシテ短カシ。微細ナル點刻ヲ散布ス。上面ノ側緣ニ近ク窪ミアリ。綠褐色部ハ斑紋狀ニ左右ニ存スルモ標本ニヨリ不明ナリ。全體光線ニヨリ綠色ヲ呈ス。

稜狀板ハ胸背板ト同色ヲナシ鈍ク尖リ。微細ナル點刻ヲ散布ス。

翅鞘ハ淡黃褐色ニシテ縱隆線ハ密ナル點列ト弱キ隆起ニヨリ僅カニ之ヲ認メ得ベシ。間室ハ淺キ大小ノ點刻ト不規則ナル弱キ皺狀ノ窪ミヲ有ス。尾節板ハ黑紫色ニ綠色ヲ帶ブ。

腹面ハ黑紫色ニシテ各節僅少ノ細毛ヲ列生ス。

脚ハ黃褐色ヲ基調トシ黑紫色ヲ帶ブ。脛節跗節ハ殊ニ著シク又光線ニヨリ少シク綠色ヲ呈ス。

雄交尾器ハさくらこがねニ似ルモ鞘部長クシテ全ク下面ニ彎曲スルコトナシ。

本種ノ學名 *A. geniculata* ハ通常さくらこがねニ用ヰラレタリ(松村博士千蟲圖解第三 p. 89, 新島森林昆蟲學 p. 168)。然レドモ元來此學名ノモノハさくらこがねヨリ小形ニシテ且ツ腹面黒味ヲ帶ブルモノナリ。今次ニモツチヨルキーノ原記載ノ全文ヲ譯出セン。

形狀及ビ色澤 *Anomala Frischii* ニ類似スルモ幅廣シ。卵形凸圓狀ニシテ光澤アリ。點刻ヲ有ス。上面淡黃褐色,頭胸部,稜狀板多少綠色ナリ。體ノ下面黒藍色,脚黒綠色,環節部淡黃褐色ナリ。翅鞘ハ密ナル點列ヲ存ス。中間部交互ニ幅少シク廣シ。

然ルニさくらこがねノ和名アルモノハ形狀大ニシテ下面黒色調ヲ帶ブルモノナク *A. daimiana* ノ記載ニ合スルヲ以テレウキス及ビライターガ之ヲ *A. geniculata* ノ異名トセルモオーハウス (Stett. Ent. Zeit. 1915, p.325.) ニ從ヒ之ヲ分チタルナリ。(松村博士ノ千蟲圖解第三ニ記載セルモノモ大形ニシテ且ツ其ノ材料ヲ檢スルニ明カニ *A. daimiana* ナリ。但シ記載ニハ下面黒藍色トアルモ標本ハ黒調甚淡シ。)

大サニ於テハ原文ニハ長サ 6 lin. 幅 $3\frac{1}{2}$ lin (オーハウスハ $13\frac{1}{2}$ 乃至 7 mm. トセルモ誤譯ナルハ明カナリ) トシウオーターハウスハ其標本ヲ 6 乃至 8 lines 即チ凡ソ 13—17 mm. ト記セリ。予等ノ標本ハ雌八個雄二個ニシテ此ノ中鹿兒島及ビ岡山ノモノハ下面鞘ヤ淡色ナルモ他ハ明カニ黒調ナリ。他ノ性質ニ於テ原記載ニ合スルモノト認メ此ノ學名ヲ充當シ和名ヲひめさくらこがねと命ゼリ。雄交尾器ハさくらこがねト形ニ於テ全ク異ナレリトス。アルローノ日本ノ金龜子類ヲ記セルモノ (Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, pp. 396-408) ニハ此學名ノモノヲ省除シアリ。

とうきようこがね(新種)

Anomala tokioensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 8. Taf. VII. fig. 11.

産地　東京(駒場,目黒)

體長 15—16　幅 7—7,5 mm.

體稍ヤ長形黄褐色ニシテ强キ綠色ヲ帶ベル金屬光澤アリ。頭胸背板ハ點刻細カクシテ密ナリ。翅鞘上ノ點刻ハ之ヨリ僅カニ小ナリ。

頭部鞘ヤ大形頭楯ハ前方幅狹ク前緣强ク上反ス。點刻ハ淺ク密ニシテ少シク網狀ヲナス。前頭ハ界線ニ近ク大ニシテ密ナル點刻ヲ存シ後頭部ハ小ニシテ少シク粗ナリ。

胸背板ハ幅長サノ一倍半ナリ。側緣ニ僅少ノ細毛ヲ有シ前緣角ハ突出ス。中央ニ强ク窪メル縱線アリ。上面兩側及ビ後緣ノ稜狀板ニ近キ部分ニ窪ミヲ有ス。點刻ハ後頭部ト同ジクシテ稍ヤ密ナリ。

稜狀板ハ胸背板ヨリ密ニ細カキ點刻ヲ存ス。中央縱ニ窪ム。

翅鞘ハ上面ニ明カナル三個ノ縱隆線ヲ有ス。會合線ニ沿ヘル中間帶ハ平カニシテ幅廣ク他ハ狹クシテ少シク隆起ス。肩ノ內部ニ於テ壓セラレタル部アリ。一樣ニ胸背板ヨリ更ニ細カキ點刻ヲ有ス。側緣隆起ハ中央ヨリ少シク先方ニ達ス。

尾節板ハ細カキ網狀ノ點刻ヲ有シ僅少ノ褐色刺毛ヲ先端ニ近ク存ス。

下面ハ黄褐ニシテ胸節ノ毛ハ短カク少ナシ。腹節ニハ甚ダ僅少ナル刺毛ヲ散生ス。

雄交尾器ハ上鞘部ノ兩片細狹ニシテ相分レ先端急ニ擴張ス。

本種ハはんのひめこがねニ外形似ルモ體稍ヤ細ク胸背板ノ點刻著シク小ニシテ雄交尾器ノ形狀又全ク異レリ。

つやこがね(新稱)

Anomala lucens Ballion.

Taf. VII. fig. 9.

Bull. Mosc. 1871, p. 155.

Harold, Deutsche Ent. Zeitschr, 1877, p. 353.

Heyden. Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 344.

Arrow, Ann. Mag. Nat, Hist. 1913, p. 306.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 321.

(*Rhombonyx lucidula*) Motsch. Bull. Moscou. 1861, p. 171.

(*A. rufocuprea*) Waterhouse (nec Motsch.)Trans, Ent. Soc. London, 1875, p. 100,

Lewis. Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 401.

Reitter, Best.-Tab. (51), 1903, p. 72.

産地 Hiogo, Echizen, Mino, Kioto, Nagasaki, Moheji.

熊本,鹿兒島,岡山,高知,北海道(函館,七飯,野幌,旭川,栗山,根室,十勝)

體長 14—17, 幅 8—9,5 mm.

頭ヨリ胸背板綠色ニシテ强キ光澤アリ。翅鞘黃褐色ニシテ綠色又ハ銅色ノ光澤アリ。色澤變化多シ。

頭部大形,頭楯前方ニ狹搾シ點刻ハ密ナルモ相聯絡スルコトナシ。前頭ノ點刻大ニシテ不規則ニ密集ス。後頭ハ滑カニシテ點刻小ナリ。

胸背板ハ短カクシテ幅廣ク大約長サノ二倍ナリ。中央ニ細キ凹線アリ。點刻ハ頭部ノモノヨリ細小ニシテ稍密ニ一樣ニ散布ス。側緣ニ沿ヒ黃色ノ緣ヲ有ス。

稜狀板ハ楯形ヲナシ微細ナル點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ一樣ニ微細ナル點刻ヲ有シ會合線ニ沿ヘル中間帶ハ幅廣クシテ平カナリ。第一ノ隆條ハ稍ヤ高クシテ殊ニ先端ニ近ク著シク隆起ス。尾節板ハ綠黑色ヲナシ網狀ノ細點刻ヲ有シ先端ニ近ク褐色ノ刺毛ヲ存ス。

下面ハ黑色ニシテ稍ヤ綠色ヲ帶ブ。前及ビ中脚ノ爪ノ大ナル一側ノモノ弱ク分岐ス。

本種ハ我國ニ甚ダ普通ナル種類ニシテ其ノ色澤又著シキ變化アリ。即チ頭及ビ胸背板綠色ニシテ翅鞘黃褐色ヲナスコト普通ナルモ翅鞘ノ一部綠色ヲ帶ブルモノヨリ全體綠黑色ヲナスモノニ至ル。飛彈ニ於テ得タル三個ノ標本ハ紫色ヲ帶ブ。然レドモ雄交尾器ノ構造ハ總テ同一ナリ。

はんのきこがね(新稱)

Anomala Motschulskyi Harold.

Taf. I. fig. 7. Taf. VII. fig. 10.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1877. p. 351.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 321.

Reitt., Best.-Tab. (51) 1903, p. 73.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913. p. 403.

産地 Japan.

鹿兒島,宮崎,日向,別府,長崎,佐賀,高知,三重,愛知,長野,豊橋,靜岡,御殿場,茨城高萩,栃木,仙臺,福島,山形,秋田,青森,北海道(七飯,野幌,伊達村,苫小牧,枝幸),朝鮮

體長 13—17　幅 8—9,5 mm,

ひめこがねニ最モヨク似ル。胸背板光澤アリ體綠色ヲ基色トシテ少シク黃褐色ヲ帶ブ。

頭楯ノ前緣平カニシテ少シク上反ス。點刻密ニシテ相聯合ス。前頭ノ點刻ハ前緣ニ近ク密ナリ。

胸背板ハ强キ光澤アリ。點刻ハ圓形ニシテ細カク中庸ニ密布ス。側緣毛ヲ生ズルコトナシ。

翅鞘ノ縱隆線著シカラズ。間室ノ點刻ハ大サ一樣ニシテ凹點又少ナシ故ニひめこがねニ比シ滑カニ見ユ。

前腿節ニハ一列ノ褐色毛ヲ供フ。

雄交尾器ハ鞘部狹クシテ先端ノ左右ニ突出スル部ひめこがねヨリ長シ。我國ニ於ケル最モ普通種ナリ其色彩ニ著シキ變化アリ。之ニ由リテ次ノ變種ヲ區別ス。

變種　あをいろはんのきこがね

Anomala Motschulskyi Har. var. **viridicuprea** Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 321.

産地　薩摩,長野,高知,朝鮮.

金屬綠色ヲ基調トシテ强キ銅赤色ヲナス。

此變種ハ基種ニ最モ近キ變種ニテ胸背板ノ光澤ノ如キ全ク異ナラザルモノアリ。然レドモ翅鞘ニ銅紫色ノ光澤ヲ有スルヲ以テ此變種ヲ區別シ得ベシ。

變種　ちやばねはんのきこがね

Anomala Motschulskyi Har. var. **aptena** Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 321.

産地　伊豆,三重,愛知,長野,北海道(野幌,膽振,伊達村)

體金屬綠色ニシテ翅鞘ハ淡黃或ハ黃褐色ヲ帶ビ少シク金屬綠色ノ光澤ヲ有ス。

本變種ニハ基種ノ稍ヤ淡色ノモノニ似タル標本アルモ其翅鞘ハ明カニ黃褐ノ基色ヲ顯ハスヲ以テ區別シ得ベシ。

變種　あいいろはんのきこがね

Anomala Motschulskyi Har. var. **violacea** Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 321.

産地　別府,球磨,愛知,御殿場,秋田北海道(苫小牧,枝幸)

上下面美菫色ヲ呈ス。濃キ藍黑種ヲ此內ニ屬サシム。此變種ハ最モ明カニ他ト區別シ得ベシ。

變種　あをちやはんのきこがね

Anomala Motschulskyi Har. var. **rufoviolacea** Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 321.

産地　鹿兒島,宮崎,佐賀,高知,屋島,丹波,京都,福島,北海道(七飯)

上面頭胸背板及ビ稜狀板ハ濃キ菫青色ヲナシ翅鞘赤褐色ニテ青ノ色澤ヲ呈ス。下面尾節板及ビ脚ハ青色ニシテ綠色光澤ヲ帶ブ。

本變種ニ屬スベキモノハ甚少ナシ。主トシテ九州産ナリ。

はんのひめこがね

Anomala multistriata Motsch.

Taf. I. fig. 11. Taf. VII. fig. 8.

(*Euchlora*) Et. Ent. 1861, p. 7.

Waterh., Trans. Ent. Soc. London. 1875. p. 112.

Reitt, Best.-Tab. (51) 1903, p. 70,

(*Anomala punctiollis*) Harold, Deutsche Ent. Zeitschr. 1877. p. 351.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p. 344.

新島等, 演習林報告 第五號 p. 7.

産地 Mino, Kiushiu, Tsushima(not common).

秋田,青森,北海道(旭川,天鹽,苫小牧)

體長 15—18　幅 8—10 mm.

體純綠色,翅ノ基色少シク黃色ヲ帶ブ。

頭楯前方少シク幅狹ク綠色ナルモ僅カニ黃色ノ基調ヲ有ス。密ニ相附着セル點刻ヲ具フ。前頭トノ會合線ハ明カナリ。前頭ニハ强キ粗ナル點刻ヲ有シ後頭ニ向テ散布ス。

胸背板ハ綠色ナルモ側緣ニ沿ヒ黃色ヲ呈ス。前緣角ハ突出ス。上面ニ著シク大ナル深キ點刻ヲ密ニ存ス。

稜狀板ハ略半圓形ニシテ鈍ク尖リ胸背板ヨリ小ナル點刻ヲ散布ス。

翅鞘ハ側緣隆線ヲ先端マデ存ス。基調トシテ赤褐色ヲ帶ビタル綠色ヲナス。殊ニ光線ニヨリ美ナル草色ノ光澤ヲ表ハス。間室ニ皺狀ノ凹ミト不規則ナル小點刻ヲ具フ。

下面黃褐ニ銅赤色ヲ帶ビ,僅少ノ細毛ヲ生ズ。

雄交尾器ノ鞘部ハ長形ニシテ先端下面ニ向ヒ彎曲ス。

あをどうがね

Anomala(Euchlora) **albopilosa** Hope.

Taf. IV. fig. 25.

Proc. Zool. Soc. London. 1839, p. 70.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1840, p. 347.

Burmeister, Handb. Ent. IV. 1844, p. 278.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 112.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 343.

Reitter (*Euchronomala*), Best.-Tab. (51) 1903, p. 65.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist 1913, p. 492.

産地 Kiushiu, Hiogo,

大阪,高知,佐賀,對馬

體長 19—23　幅 11,5—12,5 mm.

大形ノ綠色種ニシテ腹側ニ白色ノ毛斑ヲ有ス。翅鞘ニハ著シキ膜緣ヲ有ス。

頭楯ノ前緣ハ平カニシテ側緣ニ向テ圓味ヲ帶ビ粗點ヲ密布ス。中央部ハ少シク隆起ス。會線ハ細キモ明カナリ。

胸背板ハ全面稍ヤ强キ點刻ヲ存ス。後緣ハ兩側ニ於テ細キ緣ヲ有スルカ或ハ之ヲ缺ク。側緣上ニ細長毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ先端ニ沿ヒテ銅色光澤ヲ有シ,細カキ點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ多數ノ小點刻ヲ有ス。其形ハ半圓又ハ馬蹄狀ノモノ多シ。點列ハ甚不明ナリ。側緣隆起ハ中央ヨリ少シク先方ニテ消失シ其部ヨリ翅鞘ノ先端ニ黃褐色ノ膜緣ヲ有ス。

尾節板ハ濃綠色ナルモ少シク銅色ヲ帶ビ細網狀ヲナシ僅少ノ白色毛ヲ生ス。其前節モ後緣ニ近ク列狀ノ白毛アリ。

腹面ハ脚ト共ニ黑味アル銅紫色ヲナス。各腹節ノ兩側ニハ白色ノ毛群ヲ存ス。

ライターハ胸背板ノ後緣ガ緣狀ヲナサズ前緣モ廣ク緣線ヲ有セザルモノヲ *alb. pilosa immarginata* トセルモ此間ニハ多クノ移行ノ變化アルヲ以テ明カニ區別スルコト難シトス。

ひめどうがね(新稱)

Anomala viridana Kolbe.

Arch. Naturg. 1886, p. 192.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903; p. 64.

Ohaus, Stett, Ent. Zeit, 1915, p. 319.

(*A. japonica*) Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. p. 401.

産地 Korea, Japan.

朝鮮(水原)

體長 20 幅　11 mm.

體綠色ニシテ光澤薄ク最モ良クどうがねぶいぶいニ似ルモ體面ノ點刻强クシテ密ナリ。

頭部光澤ヲ有シ强キ點刻ヲ密附シ頭楯ハ前緣角圓味ヲ帶ビ側緣ヨリ前緣ニ上反ス。

胸背板ハ前緣ニ明カナル膜狀緣ヲ有シ前緣角稍ヤ突出ス。中央ニ細キ縱ノ滑ナル線狀部ヲ殘スノミニテ强キ點刻ヲ密付ス。側緣ニ白色ノ長毛ヲ散生ス。

稜狀板ハ胸背板ト同色ヲナシ點刻少シク小ナリ。

翅鞘ハ綠色ニシテ一樣ニ密ナル稍ヤ强キ點刻ヲ有ス。線條ハ會合線ニ沿フテ一個ヲ認ムルノミニテ他ハ不明ナリ。側緣ノ中央ヨリ先端ニ沿ヒ幅廣キ膜質緣ヲ在ス。

尾節板ハ相連レル點刻ヲ密ニ存在シ白色ノ毛ヲ散生ス。

下面ハ又綠色ニシテ强キ光澤アリ胸部ニ長キ白色毛ヲ存シ腹節ニハ短線形ノ點刻ト列狀ノ棘毛ヲ有ス。腹側ノ兩節ニハ白色長毛ヨリ成レル小斑紋アリ。

予等ノ驗シタル標本ハ內田氏ノ水原ニテ採取セルモノナリ。

どうがねぶいぶい

Anomala cuprea Hope.

Taf. IV. fig. 26.

(*Euchlora*) Proc. Zool. Soc. London. 1839, p. 72.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1840, p. 350.

Burm.. Handb. Ent. IV, 1, 1844, p. 278.

Motsch., Etud. Ent. 1860, p. 15.

Bull. Moscou XXXIX, 1866, p. 171.

Waterh., Trans. Ent. Soc. London. 1875, p. 111.

Har., Abh. Nat. Ver. Bremen IV 1875, p. 292.

Heyd., Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 342.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 64.

Arrow. Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

産地 Mino, Hiogo, Echizen, Kioto, Kiushiu.

高知,熊本,岡山,鹿兒島,京都,東京,清澄,秋田,高鍋,福島,宮崎,山形,北海道(札幌,余市,天鹽)

體長 20—24. 幅 11—13 mm.

體楕圓形ニシテ大,銅鉦色ヲナス翅鞘ノ縦隆線全ク不明ナリ。

頭楯ノ前緣ハ稍ヤ緩ナル弧線ヲナス。全面ヨリ前頭ニ稍ヤ大ナル點刻ヲ密布ス。後頭部ハ點刻粗ナリ。

胸背板ハ光澤ヲ缺キ全面稍ヤ强キ楕圓形ノ點刻ヲ有ス。

稜狀板ハ楯形ヲナシ僅數ノ點刻ヲ具フ。

翅鞘ハ略一樣ニ不規則ニ點刻ヲ有ス。縦隆線ハ之ヲ缺キ唯僅カニ其位置ヲ認ムルニ止マル。側緣ノ後方ヨリ先端ニ黃褐ノ膜質緣ヲ明カニ存ス。

下面ハ黑銅色ニテ紫光澤アリ。胸部ニ白色ノ細毛ヲ多ク生ズ。

此種類ニハ綠色ノ强キモノ紺色或ハ銅赤色ヲ帶ブルモノアリ

たいわんあをどうがね

Anomala(*Euchlora*) **expansa** Bates.

Taf. IV. fig. 24.

Proc. Zool. Soc. Lond. 1866, p. 339.
Ohaus, Archiv. f. Naturg. 1916 A. 4, p. 8.
素木得一，臺灣農事試驗場特別報告第八號 p. 653.

産地 Formosa, China.

臺灣(臺南,補里社,臺北)

體長 24—26 幅 14—16 mm.

光澤アル綠色ニシテ光線ニヨリ黃色ヲ表ハス。翅鞘ノ側緣隆線特殊ノ形狀ヲナシテ著シク伸長ス。

頭楯ハ前緣略ホ一直線ニシテ黑色ノ緣線ハ少シク上反ス。前頭部マデ少シク黃色ノ光澤アリ。點刻ハ前頭密ニ後頭粗ナリ。

胸背板ハ後緣ノ兩側ヨリ周圍ニ明カニ緣取ラル。中央ニ細キ不明ノ縦

線アル外細點刻ヲ有ス。

稜狀板ハ楯形ニシテ純綠色ヲナシ微細ナル點刻ヲ有ス。

翅鞘ニ縱隆線ヲ缺クモ點列ニ由リ之ノ位置ヲ認メ得ベシ。全面ニ小點刻ヲ具フ。側緣隆線ハ外緣角ニ至ツテ幅廣ク伸長突出シテ終ル。此部雌ハ雄ヨリ狹シ。

腹面及ビ脚ハ黑藍色ヲナシ綠色光澤アリ。腹節ニハ不規則ナル列狀ノ刺毛ヲ具フ。

すじこがね屬ニシテ予等ノ調査シ得ザリシモノ次ノ如シ。

Anomala Schönfeldti Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 322.

産地 Yokohama, Nagasaki.

Anomala ignicolor Reitter.

Best.-Tab. (51) 1903, p. 73.

産地 Korea.

Anomala corrugata Bates.

Proc. Zool. Soc. London, 1866, p. 343.

産地 Korea.

Anomala inconcinua Bates.

Proc. Zool. Soc. London, 1866, p. 343.

産地 Formosa.

Anomala difficilis Waterhouse.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 111.

産地 Japan.

Anomala chamæleon Fairm.

Rev. d' Ent. VI. 1887, p. 317,

Heyd. Hor. Soc. Ent. Ross. 1889, p. 662

産地 Korea, Nordchina, Amur.

Anomala triangularis Schönf.

Ent, Nachr. 1890, p. 171.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p, 396.

産地 Japan.

Anomala poecilochalcea Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 328.

産地 Formosa.

Anomala streptopyga Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 329.

産地 Formosa.

Anomala libidinosa Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1816. A. 4, p. 5.

産地 Formosa.

Anomala polianor Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1816, A. 4, p. 4.

産地 Formosa.

Anomala sagax Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1816. A. 4, p. 6.

産地 Formosa.

Anomala Sauteri Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 329.

Archiv f. Naturg. 1916. A. 4. p. 7.

産地 Formosa.

Anomala siniopyga Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1916. A. 4. p. 8.

産地 Formosa.

Anomala(*Euchlora*) **chloroderma** Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist, 1913, p. 403.

産地 Oshima.

Anomala xanthopleura Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 402.

産地 Liukiu.

Anomala castaneoventris Bates.

Proc. Zool. Soc. London. 1866, p. 344.

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1916, A. 4. p. 7.

産地 Formosa.

Anomala cupripes Hope.

Proc. Zool. Soc. London. 1839, P. 68.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 331.

産地 Formosa, Südchina.

Anomala trachypyga Bates.

Proc. Zool. Soc. London. 1866, p. 344,

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 7.

産地 Formosa.

Anomala(*Spilota*)**plagiicollis** Fairm

Ann. Soc. Ent. Fance, 1886, p. 329,

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 51.

産地 Korea, Ostsibirien, China.

こがねむし屬

Mimela Kirby.

卵形ニシテ上部圓味ヲ帶ブ。頭部ハ其幅稍ヤ廣クシテ短カク前緣モ圓味アリテ上反スル頭楯ヲ有ス。胸背板ハ其後緣完全ニ緣取ラルルコトナシ。翅鞘ハ細キ緣狀膜ヲ有ス。下面ノ前胸片ハ前脚ノ基節ノ後方ニテ片狀ノ隆起ヲナシ基節ノ相接スル部分ヲ超ヘ角狀ニ曲リテ突起ス。觸角ハ九節ヨリ成ル。脚ハ短カクシテ丈夫ナリ。前脚ノ脛節ハ一或ハ二齒ヲ有ス。

此屬ハすぎこがね屬ニ最モヨク類スルモ前胸片ノ突起ニヨリテ之ト區別セラル。此屬ハライター ニ由リテ種々ノ亞屬ニ分タルヽモ我國ノ種類ニ於テハ其數少ナキヲ以テ此ノ要ナシ。予等ノ調査シ得タル此屬ノ種類ハ次ノ如シ。

I_1 翅鞘ノ縱隆線高カラズ胸背板ハ全ク黃色部ナシ

こがねむし M. lucidula.

I_2 翅鞘ノ縱隆線明カナリ胸背板ノ側緣ニ沿ヒ黃色部アリ

ひめすじこがね　M. fravilabris.

こがねむし

Mimela lucidula Hope.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1835, p. 113.
Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 112.
Harold, Abh, Brem. 1876, p. 127.
(*Gaschkewitchi*) Motsch., Et. Ent. 1857, p. 32.
Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 112.
Harold, Abh. Brem. 1875, p. 292.
Deutsche Ent. Zeitschr. 1878. p. 72.
Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p. 315.
Reitt., Best.-Tab. 52, 1903, p. 53.
松村松年, 千蟲圖解第三. p. 82. pl. 47. fig. 6.
新島等, 演習林報告第五號 P. 11.

産地 Mino, Hiogo, Kyoto.

東京,京都,岐阜,伊賀,鹿兒島,別府,御嶽,朝鮮(水原),臺灣(補里社)

體長 17—19　幅 10—11 mm.

著シク光澤アル綠黑色ニシテ翅鞘ノ縱線特ニ隆起スルコトナシ。

頭楯ハ前緣黑紫色ヲナシテ上反シ上面ニハ細點ヲ密布ス。頭部ハ滑カニシテ稍ヤ深キ細點刻ヲ散布ス。

胸背板ハ全周明カニ緣取ラル。表面微細點刻ヲ散布シ兩側ニ不規則ナル壓凹部及ビ中央ニ細縱線ヲ存ス。

翅鞘ハ細點列ニ由テ僅カニ縱隆線ノ位置ヲ認メ得ルモ特ニ隆起スルコトナシ。間室ニハ弱キ凹凸ヲ有ス。點刻ハ細小ナリ。翅鞘ノ側緣隆線ハ中央ニ於テ稍ヤ强シ。

下面ハ黑色ニシテ少シク銅紫色ヲ呈ス。

雄交尾器ノ先端部ハ鋏狀ヲナシ。殆ンド彎曲セズ。

之ガ變種トシテ知ラレタル側面ニ紫紅色ヲ帶ブル var. *splendens* Gyll. 及ビ全上面紫紅色ヲ呈スル var. *corsca* Heyd. ハ未ダ之ヲ得ズ。臺灣產ノ標本一個雌ハ小形(體長 17 幅 10 mm)ナルモ他ノ特性ニ變化ヲ見ズ。

ひめすじこがね

Mimela flavilabris Waterh.

(*Anomala*) Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 110.

松村松年, 千蟲圖解第三 p. 91. pl. 48. fig. 4.

産地 Japan.

高知,東京,清澄,御嶽,仙臺,秋田,山形,北海道(小樽,野幌,漁)

體長 15—20　幅 8,5—11 mm.

強キ綠色ニシテ光澤アリ。翅鞘ノ間室ハ平滑ナラズ。脚ハ黃褐色ナリ。

頭楯前緣ハ僅カニ彎入シ上反ス。強ク密着セル點刻ヲ有ス。前頭ノ中央部モ密ニ錯綜セル點刻アリ。後頭ハ滑カニシテ點刻小ナリ。

胸背板ハ光澤アル綠色ナルモ側線ニ沿ヒ黃褐部ヲ有ス。中央縱線及ビ側面上ノ凹壓部明カナリ。點刻小ナリ。側緣ヨリ底緣ニ明カニ緣リ取ラル。

稜狀板ハ稍ヤ扁平ナル三角形ヲナシ先端略ホ直角ナリ。

翅鞘ハ綠色ナルモ稀ニ紫銅色ノ光澤ヲ帶ブルモノアリ。縱隆線上ニ細點ヲ有ス。間室ニハ不規則ナル皺狀斑點形ノ凹ミアリ細點ヲ其ノ上ニ散布ス。

下面ハ黃褐色ヲ基調トシテ銅紫色ノ光澤アリ。前脚基節間ノ突起ハ著シク彎曲セズ。

雄ノ交尾器ハ先端鈍ク尖ル。

本種ハ其大サニ於テ著シキ變化アリ。色澤ニ於テ綠色ヲナスコトハ同一ナルモ胸背板ニ全ク黃褐ノ緣ヲ有セザルモノ上面溷濁セルモノ或ハ稀ニ著シク强キ皺ヲ存スルモノアリ。

本邦ニ產スルトシテ知ラレタル此屬ノ種類尙ホ三種アルモ未ダ其標本ヲ得ル能ハズ。

Mimela testaceoviridis Blanchard.

Cat. Coll. Mus. Paris, 1850, p. 197.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 112.

Reitter, Best.-Tab. 52, 1903, p. 54.

産地 China; Peking, Shanghai, Japan.

Mimela fusania Bates.

Ohaus, Stett. Ent. Zeitschr. 1915, p. 95.

産地 Korea: Fusan, Gensan.

Mimela splendens Gyll. var. **cyanicollis** Ohaus.

Stett. Ent. Zeitschr. 1915, p. 96.

産地 Korea, Chemulpo.

うすちやこがね屬

Phyllopertha Stephen.

頭楯ハ前緣圓味ヲ帶ブルカ或ハ平カナリ。前緣角ハ圓シ。胸背板ハ翅鞘ヨリ幅狹ク後緣ハ緣取ラル。翅鞘ノ先端ニ近キ緣ニハ細膜緣ヲ有ス。後胸節ノ中央ハ中基節ノ間ニ毬果狀ニ突出ス。脚ハ稍ヤ細ク後腿節ハ肥大セズ。前脛節ニ二外齒ヲ有シ一ノ端棘ヲ存ス。大形ノ爪部ハ前兩脚又ハ全脚ニ於テ先端分岐ス。觸角ハ皆九節ニシテ片狀節雄ニ於テ少シク雌ヨリ大ナリ。

我國ニ知ラレタル種類ハ五種ニシテ新ニ三種ヲ加フ。其索引次ノ如シ

I_1 體面ニ毛ヲ有ス。

II_1 胸背板ノ毛著シクシテ直チニ認メ得ベシ。

III_1 翅鞘ノ毛ハ殆ンド無キガ如ク見ユ。

IV_1 翅鞘滑カナル黃色ヲナス。 うすちやこがね Ph. diversa.

IV_2 翅鞘黑褐色ヲナス。 あかちやこがね Ph. kiotoensis n. sp.

III_2 翅鞘ノ毛ハ明カニ認ムルコトヲ得ル。

V_1 翅鞘黃色ニシテ綠色ノ緣ヲ有ス。 きすじこがね Ph. irregularis.

V_2 翅鞘黃色ニシテ綠色緣ナシ。 あをうすちやこがね Ph. intermixta.

II_2 胸背板ノ毛少ナシ。

VI_1 胸背板ノ毛少ナキモ側邊ノモノ長シ。翅鞘黃褐色ナリ。

VII$_1$ 翅鞘少シク扁平ニシテ縦隆線明カナリ。

かたもんこがね Ph. conspurcata.

VII$_2$ 翅鞘圓味ヲ帶ビ縦隆線不明ニシテ平滑ナル觀ヲナス。

ならのちやいろこがね Ph. pubicollis.

VI$_2$ 胸背板ノ毛甚薄ク殆ンド認メ難シ翅鞘黑色。

I$_2$ 體面ニ毛ヲ有セズ。 くろひめこがね Ph. fuscata n sp.

VIII$_1$ 翅鞘黃色ヲ帶ブ。

IX$_1$ 翅鞘上ニ褐色ノ斑紋アリ。 せまだらこがね Ph. orientalis

IX$_2$ 翅鞘ニ全ク斑紋ナシ。 うすきいろこがね Ph. pallidipennis.

VIII$_2$ 翅鞘黑色體小形ナリ。 たんばひめこがね Ph. tanbaensis n. sp.

かたもんこがね

Phyllopertha conspurcata Har.

Taf. III. fig. 28.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1878, p. 71.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 342.

Waterhouse (*Ph. arenaria*), Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 108.

Reitter, Ent. Nachr. 1888, p. 292.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 400.

Reitter (*Blitopertha*), Best.-Tab. (51) 1903, p. 87.

松村松年, 千蟲圖解第三 p. 92. pl. 43. f. 8.

新島等. 演習林研究報告第五號 p. 9.

産地 Japan, Nagasaki, Ussuri, Peking, Tokio, Hiogo, Hagi.

京都,東京,札幌,朝鮮,

體長 8—10 幅 4—5,5 mm.

體黑色,翅鞘淡黃褐色,胸背板ニハ僅カノ毛ヲ有ス。

頭楯ハ略ボ扁平ナル四角形ヲナシ前緣ハ明カニ上反ス。前頭部ト共ニ密ニ細點刻ヲ有ス。會線ハ不明ナリ。

胸背板ハ黑色ニテ銅色光澤アリ。點刻ハ稍ヤ密ニシテ不規則ニ聯合ス。長キ白色毛ヲ全面ニ生ズ。

稜狀板ハ黑色ニシテ密ニ點刻ヲ有シ少シク綠色光澤アリ又細白毛ヲ存ス。

翅鞘ハ上面少シク平タク淡黃褐色ニシテ會合線側綠黑色ヲナス肩及ビ全面ニ黑色ノ不規則ナル斑紋ヲ呈スルモノアリ細短ナル微白色毛ヲ生ズルモ殆ンド無毛ノ如ク見ユ。

×下面及ビ脚ハ黑色ニシテ銅色光澤アリ胸部及ビ腹側ニ長白毛ヲ存ス。

×中脚ノ爪外側ノ大ナルモノハ先端ニテ分割シ後脚ノ者ハ單一ナリ觸角ハ黑色ニシテ雄ノ片狀節ハ僅カニ柄部ヨリ長シ。

ならのちやいろこがね

Phyllopertha pubicollis Waterh.

Taf. III. fig. 25. 35,

(*Anomala*) Trans. Ent. Soc. London. 1875, p. 111.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 402.

Trans. Ent. Soc. London,1899, p, 273.

Reitter (Subg, *Proagopertha*), Best.-Tab. (51) 1903, p. 51.

Arrow (*Anomala*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

新島等　演習林研究報告第五號 p. 8.

産地 Nagasaki, Hiogo.

仙臺,東京,熊本

體長 10　幅 6,5 mm.

體銅黑色ニシテ翅鞘淡黃色腹面ニ白色毛ヲ多ク生ズ。

頭楯幅廣ク扁平ナル四角形ヲナシ前綠稍ヤ強ク上反ス銅紫色ニシテ密ナル點刻ヲ有ス前頭トノ界線不明ナリ前頭ハ頭楯ト同樣ノ色彩ト點刻ヲ有スルモ後頭ニ綠色ヲ加ヘ點刻離散ス僅少ノ白色毛ヲ具フ。

胸背板ハ暗綠色ニシテ兩側ニ向テ銅紫色ヲ呈ス側綠ニ沿ヒ黃褐色ヲナス前綠角ハ鈍ク突出シ側綠中央部ニテ彎曲ス點刻上面ニ粗ニシテ兩側銅紫色部ニ强ク密ナリ中央ニ細キ縱線アリ上面ニ僅少ノ長毛ト側綠ニ列狀ノ白色毛ヲ存ス。

稜狀板ハ銅紫色ニシテ細點ヲ散布ス。

翅鞘ハ縱隆線明ナラザルモ細カキ點列ヲ存ス。肩部ノ內方ニ不明ナル窪ミヲ存ス。淡黃褐色ニシテ會合線及ビ側緣黑紫色ヲナス。

下面ハ黑紫色ヲナシ長キ白色毛ヲ生ズ。中胸部ハ基節ノ中間ニテ毬果狀ニ突出ス。

うすちやこがね

Phyllopertha diversa Waterh.

Taf. III. fig. 30.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 106. t. III. f. 5.

Reitter. Best.-Tab. (51) 1903, p. 84.

(*Ph. maculicollis*) Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 84.

Arrow (*Anomala*) Ann. Soc. Nat. Hist. 1913, p. 396.

新島等, 演習林研究報告第五號, p.9.

產地 Nagasaki.

東京,宮崎,熊本,播磨,靜岡

體長 9—10　幅 5—5,5 mm

體長橢圓形黑色ニシテ毛ヲ有シ翅鞘ハ淡黃褐色ニシテ會合線ト側緣黑色ナリ。

頭部ハ長キ白毛ヲ有スルモ頭楯ハ殆ンド之ヲ缺ク。頭楯ハ光澤アリテ網狀點刻ヲ有ス。會線ハ明カニシテ前頭ハ粗點ヲ密布ス。

胸背板ハ黑色ニシテ强キ粗點ヲ密布シ長キ稍ヤ橫タハレル長毛アリ。前緣角ハ僅カニ突出シ後緣角ハ略直角ナリ。

稜狀板ハ略ボ半圓形ヲナシ光澤アル黑色ニシテ僅少ノ毛ト細點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ胸背板ヨリ幅少シク狹ク兩側平行ス。淡黃褐色滑澤アリテ會合線及ビ側緣時トシテハ肩部黑色ヲナス。明カナル細點列ト中間帶ニ僅少ノ點刻アリ。毛ハ僅カニ基部ニ近ク存スルコトアルノミ。

下面及ビ脚ハ黑色ニシテ長白毛ヲ具フ。觸角モ黑色ヲ帶ビ雄ノ片狀節

ハ柄部ヨリ長シ。

あをうすちやこがね(新稱)

Phyllopertha intermixta Arrow.

Taf. III. fig. 31.

(*Anomala*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 403.
(*Phyllopertha horticola*) Waterhouse, (nec. Linn.) Trans. Ent. Soc. London 1875. p. 106.

産地 Nikko, Chiuzenji, Sapporo, Hakodate.

丹波

體長 10　幅 6 mm.

上面藍綠色翅鞘黑褐色ニシテ上面ノ毛甚少ナク翅鞘ノ上面殆ンド無毛ノ如ク見ユ。

頭楯ハ前緣略ボ直線狀ニテ上反ス。前頭ハ强キ點刻ヲ稍ヤ粗ニ存在ス。

胸背板ハ形狀前種ニ似綠黑色ニシテ上面及ビ側緣ニ僅少ノ白色細毛ヲ存ス。周緣及ビ中央部ハ少シク黃褐色ヲ帶ブ。

稜狀板ハ半圓形ニシテ無毛僅カノ點刻アリ。黃褐ニ少シク綠色光澤アリ。

翅鞘ハ黃褐色ニシテ上面殆ンド毛ヲ有セズ。僅カニ緣ニ沿フテ短細毛ノ列狀ニ生ズルヲ認メ得ベシ。條線ハ稍ヤ深クシテ中間帶ニ强キ皺狀ノ凹ミト細點刻ヲ存ス。尾節板ハ黃褐色ニシテ淺キ網狀ヲナシ稍ヤ長キ毛ヲ具フ。

下面黃褐ニ銅黑色ヲ交ヘ白キ細毛ヲ生ズ。

前脛節ノ第二齒ハ雄ニ銳ク雌ニ鈍シ。

本種ハウオーターハウスガ *Ph. horticola* ニ當テタルモノニシテレウキスガきすじこがねノ變種トセルモノナリ。原記載ニアルロウノ附記セル所ニ由レバ粗ナル刻斑,翅鞘ノ金屬光澤ナキコト,頭楯ノ眞直ナルコト等ニヨリきすじこがねト明カニ區別シ得又稍ヤ幅廣キ形態,毛ノ少ナキ體,殊ニ胸背板ガ少シク短クシテ幅廣ク稍ヤ强ク明カナル點刻ヲ有スルコ

トニ由リ *Ph. horticola* ト分チ得ベシト。予等ノ所有スル標本ニシテ此記載ニ當ルモノ三個アリ其内二個ハ採取地不明ナリ。

前報告ニ *Ph. horticola* L. ノ學名ニテくろひらたこがねトセル者(演習林研究報告第五號 p. 9)此種ト異ナルガ如キヲ以テ暫ラク之ヲ當充セザルモノトス。

きすじこがね

Phyllopertha irregularis Waterh.

Taf. I. fig. 18, Tab. III. fig. 29.

Trans. Ent. Soc. London, 1875, p. 107. t. III. f. 4.

Arrow (*Anomala*), Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 400.

産地 Nagasaki, Kawachi.

京都,大阪

體長 9—10　幅 5 mm.

光澤アル綠色ニシテ翅鞘ハ會合線及ビ周緣綠黑色中央縱ニ黃褐色ヲナス。

頭部綠色淡褐ノ立毛アリ。頭楯ヨリ前頭ニ一樣ニ粗點ヲ密布ス。會線ハ殆ンド不明ナリ。

胸背板ハ綠色ニシテ金屬光澤アリ。形ハあをうすちやこがねニ似ル。毛ハ稍ヤ黃色ヲ帶ビ細長ナリ。點刻密ナラズ。

稜狀板ハ半圓形ニシテ細毛ト細カキ點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ長形ニシテ黃褐色ヲナシ會合線及ビ周緣綠黑色ヲナス。全面ニ毛ヲ有シ線條ノ間ニ不規則ナル皺紋ト細點刻ヲ存ス。會合線ニ沿ヘル線條ハ深クシテ明カナルモ第二第三ハ唯先端ニ近クノミ深ク窪ム。

下面及ビ脚ハ綠黑色ニシテ白キ長毛ヲ有ス。脚ハ金屬光澤アリ。

觸角ノ片狀節ハ雄ニアリテ著シク長ク柄部ヨリ大ナリ。雌ハ之ヨリ短カシ。

ウオーターハウスハ頭楯胸背板ノ側邊及ビ脚ハ雌ニアリテ黃褐ヲ呈スルモノアルヲ記シタルモ予等ノ有スル八個ノ標本ハ何レモ綠色ニシテ黃褐部ヲ存セズ。

せまだらこがね

Phyllopertha orientalis Waterh.

Taf. I. fig, 4.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 108.
Harold, Abh. Brem. 1876. p. 126.
Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p. 345.
Reitter (*Anomala*), Ent. Nachr. 1888, p. 293.
Arrow (*Anomala*), Ann. mag. Nat. Hist. 1913, p, 396.
新島等, 演習林報告第五號 P. 8.

産地 Hakodate, Kawachi, Hiogo, Nagasaki.

高知,飛彈京都,大阪,紀伊,丹後,清澄,日光,信濃,東京,御殿場,秋田,岩手,青森,福島,北海道(定山溪,野幌,小樽)

體長 9—13　幅 5—8 mm.

翅鞘ノ色彩ニ變化多ク黃褐色ニ褐色ノ斑紋ヲ有スルモノヨリ黑色ニ黃褐紋ヲ有スルモノニ及ブ。胸背板モ黃褐ニ褐色斑紋ヲ有スルモノヨリ全部綠黑色ノモノニ至ル。

頭楯黃褐前緣稍ヤ圓味ヲ帶ビ黑色ヲナシ少シク上反ス。點刻淺クシテ密ナリ。頭部ハ銅黑色ニシテ光澤ヲ有シ前部ノミ少シク黃褐色ヲナスモノアリ。前頭ノ點刻ハ粗大ニシテ相聯絡シ後頭部ハ少シク散在ス。

胸背板ハ毛ヲ有セズ點刻粗大ニシテ深シ。前緣角ハ稍ヤ突出シ周緣明カニ緣取ラル。側緣及ビ中央縱線部黃褐色ヲナシ上面ノ左右ハ銅黑色ノ斑紋狀ヲナス。

稜狀板ハ鈍ク尖リ。細點刻ヲ有ス。色ハ黃褐ナリ。

翅鞘ハ明カニ窪メル多數ノ線條ヲ有ス。黃褐色ニシテ矢箐形ニ排列セル三段ノ斑紋ヲ有ス。

下面ハ黃褐ニシテ黑銅色ヲ交ウルモノト全部黑銅色ノモノトアリ。黃

褐ノ刺毛ヲ各腹節ニ列生ス。

觸角ハ濃褐色ニシテ雄ノ片狀節ハ柄部ヨリ長シ。脛節及ビ跗節ハ後脚ニテハ濃褐色ヲ呈シ前中脚ハ少シク黃褐色ヲ帶ブ。

本種ハ其大サ及ビ色彩ニ於テ變化多キモ雄交尾器ノ形狀ニ由ルトキハ明カニ同一種類ノモノタルヲ認メ得ベシ。胸背板ノ色澤ハ黃褐色ニシテ帶黑色ノ斑紋殆ンド認メ難キモノヨリ全部黃褐色ヲ存セザルモノニ至リ。其帶黑色部モ綠色ヨリ銅紫色ニ至リ種々ノ變化アリ。翅鞘モ殆ンド黃褐ノモノヨリ上記ノモノニ及ビ更ニ濃色部ヲ加ヘ黑色ヲ基調トシテ褐色ノ矢筈形ヲ止ムルモノニ至レリ。予等ノ標本五拾箇中最モ黑色調ノモノハ飛彈,日光,定山溪,野幌產ノモノニシテ京都,大阪ノモノハ黑調ニ綠色ヲ加フ。四國產ノモノハ主トシテ黃褐調ナリ。

ウオーターハウスハ之ニ三個ノ變種ヲ記載セリ。即チ次ノ如シ。

var. a. 黃褐色,胸背ノ前緣ト二斑紋ハ銅色ヲナス。跗節ハ黑色ナリ。

var. b. 黃褐色ニシテ胸背ノ前緣部ト翅鞘上ノ不規則ナル二帶狀部銅色ヲナス。

var. c. 銅色ニシテ翅鞘黑褐色ヲナシ黃色ヲ有ス。然レトモ之等三變種ト認ムベキモノヽ間ニハ中間ノ色彩アルコト前述ノ如シ。

あかちやこがね(新種)

Phyllopertha kiotoensis Niijima et Kinoshia n. sp,

Taf. VI. fig. 17.

產地　京都

體長 9—10,5　幅 5—6 mm.

上面眞黑,翅鞘黑褐ナリ。上面ニハ毛ヲ有ス。

頭楯ハ側緣部前緣ヨリ著シク上反ス。密ニ相接著セル點刻ヲ有ス。會線ハ明カナリ。前頭部ハ頭楯ト同ジク密ニ點刻アリ。後頭ハ光澤ヲ有シ點刻粗ナリ。

胸背板ハ短カクシテ幅廣ク幅ハ長サノ二倍ナリ。基部ハ明カニ緣取ラ

レ後緣角雄ニテハ稍ヤ外方ニ突出シ雌ハ圓味ヲ帶ブ。光澤アル黑色ニテ綠色金屬光澤ヲ帶ビ上面ニ强キ點刻ヲ稍ヤ不規則ニ存ス。雄ノ中央縱線部ハ少シク溝狀ニ窪ム。上向セル淡黃褐ノ毛ヲ有ス。

稜狀部ハ略ホ半圓形ヲナシ黑色ニシテ光澤アリ僅少ノ點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ上面稍ヤ平カニシテ光澤アル黑褐色ヲナシ明カナル線條ヲ有ス。第一ノ中間帶ニハ粗キ一列ノ不規則ナル點刻アリテ中部ノ後ニ達ス。側緣ニ近ク之ト並行シテ溝狀ノ窪ミアリ。甚ダ短カキ褐色毛ヲ存スルモ殆ンド無毛ノ觀ヲナス。

尾節板ハ黑色ニシテ金屬光澤アリ。淡褐色ノ毛ヲ生ズ。

下面及ビ脚ハ黑色ニシテ光澤アリ長キ黃色毛ヲ有ス。毛ハ胸部ニ密ニ腹節ニ散生ス。腹節ノ兩側ニハ淡キ斑紋狀ニ長毛アリ。

觸角ノ片狀節ハ雄ニ於テ柄部ヨリ長ク雌ハ短カシ。雌ノ前脛節外齒ノ先端ノモノハ雄ノ者ヨリ長ク銳シ。

本種ハ其形狀ニ於テかたもんこがねニ似ルモ色澤及ビ翅鞘ノ線條ノ深キコトヲ以テ明カニ區別シ得ベシ。予等ノ標本ハ京都產雄一雌三個ナリ。

うすきいろこがね(新稱)

Phyllopertha pallidipennis Reitter.

Taf. III. fig. 33.

Best.-Tab. (51) 1903, p. 89.

產地 Ostsibirien: Wladiwostock, Ussuri, Korea.

東京,高知,宮崎

體長 10—11,5 幅 5—6 mm.

體淡黃色ニシテ胸背板ノ上ニ毛ヲ有セズ黑色斑紋ヲ有ス。頭部稍ヤ黑色ヲ帶ブ。

頭楯ハ黃色ニシテ略ボ四角形ヲナシ幅廣シ。密ニ點刻ヲ有ス。

前緣角ハ圓味ヲ帶ビ前緣ハ上反ス。前頭又密ナル點刻ヲ有シ後頭ニ近ク黑色ノ斑紋アリ或ハ略ホ全部黑色ヲナシ紫色ノ光澤ヲ帶ブ。

胸背板ハ短クシテ巾廣ク前緣角著シク突出シ後緣角ハ略ボ直角ヲナス。上面ニ散點狀ノ點刻ヲ有シ左右ニ大ナル黑色ノ斑紋ヲ存ス。此部ハ光線ニヨリ綠色ヲ呈ス。

稜狀板ハ小ニシテ半圓形ヲ成ス。點刻著シク微小ナリ。

翅鞘ハ强ク凹入セル多數ノ條線ヲ具ヘ中間帶ハ細點刻ヲ有ス。

尾節板ハ微細ナル點刻ヲ密布シ先端ニ近ク少數ノ黃色毛ヲ有ス。

下面ハ又黃色ヲ成ス。標本ニヨリ稍ヤ褐色ヲ帶ブル者アリ。胸部ニハ細黃毛ヲ存ス。腹節ニハ列狀ニ淡黃ノ刺毛ヲ生ズ。

觸角ハ濃褐色ヲナシ雄ノ片狀節ハ柄部ヨリ少シク長ク雌ニテハ前四節ト略同長ナリ。前脛節ノ外齒ハ雄雌共ニ二個ナリ。

本種ハ朝鮮，シベリヤ地方ニ知ラレタル種類ナルガ。予等ノ標本ハ總ベテ我國ノ稍ヤ暖地ニ邊シタル九州四國及東京ノモノナリ。ラヰターノ變種トシタル var. *nigrata* ナル黑色種ハ未ダ之ヲ得ズ。

たんばひめこがね(新種)

Phyllopertha tanbæensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. VI. fig. 21.

産地　丹波，高知

體長 9—10　幅 5,5—6 mm.

體小形ニシテ上面圓味ヲ帶ビ黑色ニシテ光澤アリ。頭及胸背板綠色ヲ帶ブ上面ニ毛ヲ有セズ。

頭楯ハ綠黑色ニシテ前緣上反シ前緣角圓味ヲ帶ブ。上面ハ甚密ナル點刻ヲ有ス。前頭部ハ頭楯ヨリ粗ナル細點ヲ有ス。

胸背板ハ光澤アル綠黑色ニシテ一樣ニ明カナル點刻ヲ有シ稜狀板ノ前ニ滑カナル縱線ヲ存ス。上面ニ全ク毛ヲ缺キ側緣及後緣ハ明カニ緣取ラル。前緣角ハ突出シ後緣角ハ略ホ直角ヲナス。

稜狀板半圓形ニシテ細點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ黑色ニシテ條線明ナル細溝ヲナス。中間帶ハ細小ナル點刻ヲ具

フ。

尾節板ハ密ニ網狀ノ點刻ヲ具ヘ先端ニ褐色ノ長毛ヲ生ズ。

下面ハ光澤アル黑褐色ニシテ胸部ニ白色ノ細毛ヲ生ジ腹節ニハ同樣ノ長毛ヲ散生ス。前脛節ハ二個ノ外齒ヲ有シ其ノ後方ノ者ハ甚ダ小ナリ。雄ノ觸角ノ片狀節ハ柄部ト略ボ同長ニシテ雌ハ僅カニ短カシ。

本種ハ既ニ記載セラレタル日本產ノ同屬ノ者中之レニ當ルベキ性質ヲ有セルモノナシ。無毛黑色ナル點ニ於テ他ノ種類ト區別シ得ベシ。予等ハ丹波產ノ標本雄三個,高知產雄一個雌一個ヲ有ス。

くろひめこがね(新種)

Phyllopertha fuscata Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. VI. fig. 22.

產地　北海道(苫小牧)

體長 10—11　幅 5,5—6 mm.

體黑色ニシテ長形上面稍ヤ平カナリ。細白色毛ヲ生ズ。胸背板ハ綠色光澤アリ。

頭楯ハ前部幅狹ク前緣平カニシテ上反ス。前緣角圓味ヲ帶ブ。密ニ細點刻ヲ具フ。前頭ハ粗ナル點刻ヲ有シ細長ナル白色毛ヲ散生ス。

胸背板ハ綠色ノ光澤强クたんぱひめこがねニ似ルモ中央ノ縱ノ平滑線ナク白色細長毛ヲ生ズ。

稜狀板ハ胸背板ト同色ヲナシ細點刻ヲ密布ス。

翅鞘ハ黑色ニシテ光澤弱ク細短毛ヲ生ズ。縱條線ハたんぱくろこがねヨリ淺ク點刻ハ强シ。

尾節板ハ黑色ニシテ少シク綠色ヲ帶ビ白色毛ヲ密生ス。

下面ハ黑色ニシテ光澤强ク又少シク綠色アリ。胸部ニ白色毛ヲ具フ。腹節ノ白毛ハ更ニ細シ。

前脛節ノ外齒ハ雌雄共ニ二ナリ。觸角ノ片狀節ハ其大サ雌雄ノ差著シカラズ共ニ柄部ヨリ短カシ。

本種ハたんばくろこがねニ似ルモ體長形ニシテ稍ヤ扁平體面ニ毛アルヲ以テ區別シ得ベシ。

予等ハ本學苫小牧演習林ヨリ採取セル多數ノ標本ヲ有ス。

うすちやこがね屬ノモノニシテ予等ノ標本ヲ手ニシ得ザルモノ一種アリ即チ次ノ如シ。

Phyllopertha maculicollis Reitt.

Best.-Tab. (51) 1903. p. 84.

產地　Südjapan

但シライターガウキン博物館所有ノ雌ノ標本二個ニ由リ記載シタルモノニシテ最モうすちやこがねニ近似スルモノナリ。

まめこがね屬

Popillia Serville.

まめこがね屬ノ昆蟲ハ中庸ヨリ小形ニシテ體ノ幅稍ヤ廣シ。頭部ハ一般ニ大ナラズ。頭楯幅廣ク前部圓味ヲ帶ブ。胸背板ハ前方幅狹ク後緣ハ稜狀板ノ前ニ於テ凹弧線ヲナス。基部ノ幅ハ翅鞘ノ肩ノ部ヨリ幅狹シ。翅鞘ハ短カクシテ外緣ニ細キ緣狀膜ヲ具フ。

尾節板ハ其前節ノ一部ト共ニ翅鞘外ニ裸出ス。尾節板上ニハ一双ノ毛斑ヲ存スルヲ常トス。中胸突起ハ圓錐形ヲナシ基節間ニ伸長ス。前脚ノ脛節ハ外側ニ二齒ヲ有シ跗節ハ長形ナラズ。中脚ノ爪ハ其大ナル一側先端ニテ分岐ス。觸角ハ九節ニシテ短カシ。

我國ニ於テ記載セラレタル此屬ノ種類十二種及ビ新種二種アリ予等ノ調査シ得タル此內九種ノ檢索表次ノ如シ。

I_1　腹節ノ白色毛一列ニ排置セラル。

II_1　翅鞘ニ黃色ノ斑紋ナシ。

III_1　腹節ノ兩側ニ明カナル白色斑アリ體稍ヤ大形。

IV_1　翅鞘ノ全部黑色ナリ。　　るりまめこがね P. indigonacea.

IV$_2$ 翅鞘ノ一部又ハ全部褐色ヲ帯ブ。

V$_1$ 體綠色ヲ帯ビズ尾節板ノ白色毛斑著シク小ナリ。

てうせんまめこがね P. atrocoerulea.

V$_2$ 體少シク綠色又ハ紫色ヲ帯ビ尾節板ノ白色毛斑稍ヤ大ナリ。

VI$_1$ 翅鞘ノ外側ヨリ先端ニ沿ヒテ明カナル綠黒色部ヲ存ス。

まめこがね P. japonica.

VI$_2$ 翅鞘ノ外側ヨリ先端ニ綠黒色部ナシ。

ちやばねまめこがね P. histeroidea.

III$_2$ 腹節ノ兩側ノ白色毛斑ハ列毛ト連ナリ殆ンド區別シ難シ體小形。

うちだまめこがね P. Uchidai. n. sp.

II$_2$ 翅鞘上ニ新月形ノ黄色斑紋ヲ有ス。

つきがたまめこがね P. comma. n. sp.

I$_2$ 腹節ノ白色毛ハ二列ニ排置セラル。

VII$_1$ 中胸突起小形ナリ。

VIII$_1$ 胸背板ノ後緣強ク緣取ラレ脚赤色ヲ帯ブ。

たいわんまめこがね P. taiwana.

VIII$_2$ 胸背板ノ後緣弱ク緣取ラレ脚濃色ニシテ紫色光澤アリ。

おきなはまめこがね P. lewisi.

VII$_2$ 大形ニシテ中胸突起大ナリ　きばねまめこがね P. quadrigutta.

まめこがね

Popillia japonica Newm.

Taf. III. fig. 26.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1838, p. 337.

Trans. Ent. Soc Lond. 1841. p. 43.

Burmeister, Handb. Ent. IV. 1844, p. 301.

Motschulsky, Etud. Ent. 1860, p.14.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 112.

Harold, Abh. Brem. 1876, p. 127.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 345.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 403.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 48.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist, 1913, p. 396.

松村松年, 日本千虫圖解第三 p. 87, pl. 6

新島等, 演習林研究報告第五號 P, 10

産地 Hiogo, Kawachi, Echizen.

青森,長野,靜岡,秋田,鹿兒島,札幌,天鹽,岐阜,福島,山形,大和,岡山,東京

體長 9—12　幅 5—7 mm.

體光澤アル綠黑色ニシテ翅鞘ノ大部黃褐色ナリ。翅鞘ノ外ニ出ル尾節板ニ二個ノ白色毛ヨリ成レル斑紋ヲ存ス。

頭楯ハ短カクシテ幅廣ク前緣稍ヤ上反シ兩角ハ圓味ヲ帶ブ。上面細點ヲ密布ス。前頭ハ頭楯ト略ボ不明ノ界線ヲ有シ。又細點ヲ密布シ小數ノ毛ヲ具フ。

胸背板ハ圓味ヲ帶ビ下面粗點刻ヲ有ス。其側邊ニ近キモノ强クシテ不規則ニ相聯合ス。前緣角ハ突出シ後緣角ハ圓味ヲ帶ブ。側緣ニ短カキ白色毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ小形ニシテ細點刻基部ニ密ニシテ先端ニ少ナシ。

翅鞘ハ大部黃褐色ヲナシ會合線及ビ側緣綠黑色ヲナス。或ハ全部黃褐ノモノ (var. *plicatipennis* Burm.) アリ。條線ニハ一列ノ明カナル點刻ヲ存ス。第二第三ノ中間帶ハ先端ニ近ク相合ス。

尾節板ハ綠色光澤アリテ背面ニ二個ノ斑紋狀ノ白色毛塊ヲ存ス。各腹節ノ側部ニモ又白色ノ毛塊アリ。之ニ連ナリテ白色毛ヲ生ジ列狀ニ中央ニ向テ一橫線ヲナス。

前脛節ニハ外側ニ二齒ヲ有ス先端ノモノ著シク大ナリ。後脛節ハ外緣ニ一ノ斜ナル刺群ヲ有ス。端棘ハ短カシ。

本種ハ上記ノ如ク我國ニ固有スルモノニシテ北海道ヨリ九州ニ及ビ最モ普通ナルガ又數年前ヨリ北米合衆國ニ移入セラレ同地ニ於テ旺盛ナル繁殖ヲナシ產業上ノ恐ルベキ害蟲ノ一トナリツヽアリ。

おきなはまめこがね(新稱)

Popillia lewisi Arrow.

Taf. III. fig. 22.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 45.

産地 Okinawa Is.

琉球

體長 8,5　幅 5 mm.

體著シク光澤アル綠黑色翅鞘ハ黃褐ナリ。

頭部毛ヲ有セズ。頭楯小形基部ノ幅廣クシテ急ニ狹搾シ前緣ハ平カナリ。藍色ヲ帶ビ密ナル細點刻ヲ具フ。前頭ハ前部密ニ後頭粗ナル點刻ヲ存ス。

胸背板ハ球形ニ彎曲シ上面綠黑側緣ニ沿ヒ黃色ヲ帶ブ。前部幅狹ク前緣角突出ス。上面小ニ側方粗ナル點刻ヲ有ス。

稜狀板藍色ヲ帶ビ略ボ半圓形ニ近ク基部ニ接シテノミ僅カニ細點ヲ存ス。

翅鞘ハ黃褐ニシテ上部ノ五線條明カニ窪ミテ各一列ノ點刻ヲ有ス。外側ニ沿ヘル部ノ點列ハ不規則ニシテ粗大ナリ。

尾節板黑藍色ニシテ密ニ網狀ノ點刻ヲ存シ白色毛ノ斑紋ハ前部太ク後端狹クシテ'狀ヲナス。

腹節ハ中央裸出シ左右ニ白色ノ稍ヤ長キ毛ヲ列生ス。

胸部ノ突起ハ明カナルモ幅廣ク鈍形ナリ。

まめこがね中最小ナルモノニテ本學ニハ標本二個アリ。

てうせんまめこがね

Popillia atrocœrulea Bates.

Taf. III. fig. 23.

Proc. Zool. Soc. Lond. 1888, p. 376.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1892, p. 245.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 46.

産地 China, Korea.

朝鮮

體長 12—13　幅 7,5—8 mm.

黑色ニシテ少シク藍色ヲ帶ビ光澤アリ翅鞘ノ中央部褐色ヲ帶ブ。

頭楯短カクシテ幅廣ク前緣略ボ平カニシテ短カキ褐色毛ヲ列生ス。表面密ニ點刻ヲ存ス。前頭ハ頭楯ト同ジク點刻密ナリ。

胸背板ハ粗點ヲ有シ側緣圓味ヲ帶ビ前緣角鈍ク突出ス。小數ノ白色毛ヲ側緣ニ列生ス。

稜狀板ハ稍ヤ扁平ナル三角形ヲナシ不規則ニ細點ヲ散生ス。

翅鞘ハ會合線及ビ周緣黑色中央部ハ褐色ナリ。前部ニ淺キ斜ナル窪ミヲ有ス。第二中間帶ハ幅著シク廣ク他ノ二倍ニシテ前部ニ不規則ナル强キ皺狀ノ窪ミノ刻點アリ。

尾節板ハ大ニシテ稍ヤ密ニ淺キ細點ヲ有ス。白色毛斑ハまめこがねヨリ小ナリ。

るりまめこがね

Popillia indigonacea Motsch.

Taf. III. fig. 24.

Etud. Ent. 1853, p. 47.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1892, p. 245.

H, Bates, Proc. Zool. Soc. London, 1888, p. 376.

Reitt., Best.-Tab. (51) 1903, p. 46.

素木得一, 臺灣農事試驗場特別報告第八號大正二年 p. 657

新島等, 演習林研究報告第五號 p. 10.

產地 China, Amur.

朝鮮, 臺灣

體長 11　幅 7 mm.

體藍黑色光澤アリ翅鞘上ニ一双ノ窪ミヲ有ス。尾節板ニ白色毛斑ナシ。

頭楯略ボ半圓形ニシテ密ニ網狀點刻ヲ有ス。前頭密ニ後頭粗ニ點刻アリ。殆ンド無毛ナリ。

胸背板ハ圓味ヲ帶ビ點刻ハ上面微細ニシテ散在シ前緣角ニ近ク大ニ

シテ密ナリ。後緣ハ殆ンド緣線ナク兩側ハ並行シ前部急ニ狹搾ス。前緣角ハ突出ス。

稜狀板ハ先端鈍ク尖リ微細ナル僅少ノ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ體ト同色ニシテ線條ハ一列ノ點ヲ有シ窪ムコトナシ。中間帶略ボ平カナリ。稜狀板ニ近ク斜ニ新月形ノ窪ミアリ。

尾節板ハ淺キ點刻ヲ有シ全ク白色毛斑ヲ缺ク。腹節ニ稍ヤ長キ白色毛ヲ一列ニ存ス。

本種ハ支那ニ產スルトシテ知ラレタルモノナルガ素木博士ニ由レバ臺灣ニ於ケル棉ノ害蟲ナリ。本學ノ標本ハ朝鮮及臺灣ノモノナリ。

たいわんまめこがね

Popillia taiwana Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 41.

產地 Taikokan.

臺灣(臺北)

體長 7—11　幅 4—6 mm.

頭胸部光澤アル綠色又ハ銅赤色,翅鞘黃褐色ナリ。腹面ノ各節ニハ二列ノ白毛アリ。

頭楯ノ前緣ハ黑色ヲナシ稍ヤ上反ス。點刻ハ淺ク密ニ網狀ヲナス。殆ンド光澤ヲ缺ク。前頭ヨリ後頭ニ强キ光澤アリ。會線ハ明カニシテ前頭密ニ後頭粗ニ點刻ヲ存ス。

胸背板ハ圓味ヲ帶ビ强キ光澤アリ前緣ヨリ側緣ニ近ク細點ヲ有ス。上面殆ンド滑カナリ。側緣ニ近ク一ノ强キ凹點アリ。側緣ニ沿ヒ黃褐色ヲ帶ブ。

稜狀板ハ略ボ心臟形ニシテ僅カニ點刻アリ。

翅鞘ハ黃褐色ニシテ强ク窪ミタル點刻ヲ有ス中間帶ハ隆起ス。會合線ハ少シク綠色ヲ帶ブ。

尾節板ハ綠色又ハ銅赤色ヲナシ。明カナル三角形ノ白毛刺毛ヲ有ス。

腹面ハ黒銅色ニシテ或ハ綠色ヲ帶ブ.中胸部ノ腹片ハ前方ニ突出ス.腹部ノ各節ニハ中央ニ横線ヲ有シテ明カニ二重ノ白色毛列ヲ有ス.

此種ハ外形おきなはまめこがねニ似ルモ腹面ノ毛ノ位置ヨリ明カニ分チ得ベシ.

本標本ハ松村博士採收ノ九個ニシテ總テ本學昆蟲學敎室ニ屬スルモノナリ.

きばねまめこがね

Popillia quadriguttata Fabr.

Taf. III. fig. 27.

(*Trichius*) Mant. Ins. II. 1787, Append. p. 377.

Burmeister, Handb. Ent. IV, 1. 1844, p. 541, V, 2, 1855, p. 509.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1892, p, 253.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 49.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 39.

(*Trichius bidentata*) Fabr., Ent. Syst. IV. 1794, Append. p. 449.

(*P. Straminipennis*) Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1892, p. 258.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 49.

(*P. castanoptera*) Hope, Ann, Mag. Nat. Hist. XI. 1843, p. 63.

Burmeister, Handb. Ent. IV. 1. 1844. p. 310.

栗木得一 臺灣農事試驗場特別報告第八大正二年 p. 655. pl. 43. f. 12.

新島善, 演習林研究報告第五號 p. 10.

産地 China(Chusan, Peking, Shanghai, Ta-Tschia-Sy).

臺灣,琉球

體長 9—11　幅 6—7 mm.

强キ光澤アル美黄色ヲナス.脚ハ銅色光澤アリ.

頭楯ハ前綠ニ向テ幅狹ク上面細點ヲ密布シ略ボ細網狀ヲナス.前頭部ハ滑カニシテ綠色ヲ帶ビ頭楯ヨリハ大ナル點刻ヲ散布ス.雄ハ前頭ノ會線ニ近ク中央ニ僅カニ窪ミタル部アリ雌ハ會線ニ近ク點刻密ナリ.

胸背板ハ强キ光澤アリ.濃綠或ハ黄褐ニ綠色ヲ帶ビ兩側ニ近ク黄色ヲ呈ス.此側綠ニ近キ中央部ニ不明ノ小褐色斑ト其上部ニ楕圓形ノ小凹點

アリ。前緣角ハ稍ヤ鋭ク突出シ後緣ハ稜狀板マデ緣取ラル。上面微細ナル點ヲ一樣ニ散布ス。

稜狀板ハ鈍ク尖リ胸背板ト同色光澤アリ。點刻ハ基部ニ近ク胸背板ヨリ大ナリ。

翅鞘黃褐ニシテ光澤アリ。規則正シク八個ノ條線アリ。線上ニハ一列ノ點刻ヲ有ス。中間帶ハ著シク隆狀ヲナスコトナク甚ダ微細ナル點ヲ散布シ殆ンド滑カナルガ如ク見ユ。會合線第四及ビ第六ノ中央間帶上ニ不規則ニ濃褐色ヲ呈スルモノアリ。

尾節板上ノ白色毛斑ハ略ボ三角形ニシテ尙之ヨリ先方ニ僅少ノ白色毛ヲ生ズ。

下面ハ濃褐色ニ綠色ヲ帶ビ腹節ハ各其側邊ニ向テ白色毛ヲ二橫列ニ存ス。中胸突起ハ大形ニシテ前端圓錐狀ニシテ圓シ。

本種ハ臺灣ノ各地ニ普通ナルガ如シ。

ちやばねまめこがね

Popillia histeroidea Gyll.

Schön., Syn. Ins. I, 3, 1817, Append. p. 66.

Burmeister, Hand. Ent. IV. Z. 1844, p. 297.

Kraatz, Deutsch Ent. Zeitschr. 1892, p. 211.

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 2.

產地 Ostindien, Formosa.

臺灣(補里社)

體長 11　幅 7 mm.

體光澤アル黑色ニシテ銅紫色ヲ帶ブ。翅鞘ハ黃褐色ニシテ唯會合線ノミ綠黑色ヲ帶ブ。

頭部ハ綠黑色ニシテ中央ハ銅紫色ヲ呈ス。頭楯ハ密ナル點刻ヲ有シ前緣平カニシテ上反シ前緣角圓味ヲ帶ブ。前頭部ニハ稍ヤ强キ點刻アリ眼ニ近ク白色ノ細毛ヲ生ズ。

胸背板ハ側緣ニ向テ稍ヤ强キ密ナル點刻アリ。周圍ニ僅少ノ白色細毛ヲ散生ス。

稜狀板ハ略正三角形ヲナシ僅少ノ細點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ黃褐色ニシテ會合線ノミ綠黑色ヲナシ兩側緣稍ヤ濃褐ナリ。條線ハ上面肩部マデ六本アリ其第二ハ强ク窪マズ不規則ニ大形ノ點刻ヲ具フ。側方ニ尙ホ密接セル不規則ノ點刻アル五個ノ條線ヲ有ス。

尾節板ハ圓ク隆起シ細點刻アリ。固有ノ白色毛斑ハ小ナリ。

下面ハ黑色ニシテ綠色ヲ帶ビ光澤アリ。胸部及ビ腹節ノ兩側ニ白色毛ヲ生ズ。

予等ハ此種ノ標本唯一個ヲ有ス。

うちだまめこがね(新種)

Popillia Uchidai Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. III. fig. 36.

產地　朝鮮

體長 9　幅 5 mm.

小形ニシテ體黑色,綠色ノ金屬光澤アリ。翅鞘淡黃褐色ヲナシ尾節板上ノ白色毛斑ハ甚ダ小ナリ。

頭部ハ稍黑紫色ヲ帶ビ頭楯前方ニ幅狹ク甚密ナル細點刻ヲ有シ前緣平カニシテ上反ス。前頭トノ會線ハ不明ナリ。前頭ハ前部少シク密ニ後頭部ニハ粗ナル點刻ヲ具フ。

胸背板ハ圓味ヲ帶ビ光澤アリ。側緣ハ强キ弧線ヲナシ前緣角ハ突出ス後緣ハ强ク稜狀板ニ傾キ兩側明カニ緣取ラル。上面粗ニ側方ニ强ク密ナル點刻アリ。

稜狀板ハ光澤アリ。鈍ク尖リ中央ニ滑カナル縱線アリ。基部ニ細點刻ヲ具フ。

翅鞘ハ淡黑褐色ニシテ明カナル條線ト一列ノ點刻ヲ有ス。中間帶ハ點刻甚ダ細微ニシテ殆ンド滑カナリ。其第二ハ幅廣クシテ基部ヨリ中央マ

デ大ナル點刻アリ。

尾節板ハ黑紫色ニシテ散布セル點刻ヲ有ス。白色毛斑ハ小ニシテ淡シ。

下面ハ又黑紫色ニシテ胸部ニハ白色ノ毛ヲ生ジ腹節ノ兩側ニハ一列ノ白色毛ヲ生ズ。中胸突起ハ稍大ナル圓錐形ニシテ先端鈍ク尖ル。

脚及ビ觸角ハ黑褐色ナリ。

本種ハ外形稍ヤおきなはまめこがねニ似ルモ彼ニアリテハ中胸突起小ニシテ腹節ノ白毛二列ヲナスモ此種ハ中胸突起大ニシテ腹節毛ハ一列ナリ。

予等ノ標本ハ二個ニシテ共ニ水原產ナリ。

つきがたまめこがね (新種)

Popillia comma Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 9.

產地　臺灣

體長 10—12　幅 6—7 mm.

體黑綠又ハ黑銅色翅鞘上ニ新月形ノ黃褐色斑紋ヲ有ス。

頭部黑綠又ハ銅色。頭楯密ニ網狀ノ點刻ヲ有ス。會線不明前頭又稍ヤ密ニ點刻ヲ具フ。後頭部ノ點刻ハ粗ナリ。

胸背板ハ强キ光澤アリ圓ミヲ有シ稜狀板ノ前部ニ緣ヲ有セズ點刻ハ明カニシテ前部及ビ兩側ニ密ナリ。

稜狀板ハ稍ヤ扁平ニシテ鈍ク尖ル。

翅鞘ハ體ト同色ヲナシ强ク窪ミタル點刻ヲ有ス。肩ノ內部ヨリ稜狀部ノ少シク下部ニ達スル黃褐色ノ彎曲セル斑紋ヲ有ス。但シ標本ニ由リ不明ナルモノアリ。

尾節板ハ光澤アリテ細カキ點刻ヲ有ス。先端ニ僅少ノ細毛ヲ有ス。毛斑ハ大ナラズ淡褐色ヲナス。

下面ハ黑綠色ヨリ銅色光澤アリ。中胸突起ハ銳尖ナルモ短カシ腹節ヨリ一列ノ淡褐毛ヲ生ズ。

本種はるりまめこがねニ似ルモ翅鞘上ノ斑紋ニ由リ明ニ區別シ得ベシ。

本標本ハ松村氏採收ノ臺灣産十個ニ由ル。

我國ニ産スルトシテ記載セラレタルモノニシテ予等ノ調査シ得ザル種類次ノ如シ。

Popillia formosana Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913. p. 45. f 7.

産地 Formosa: Tainan.

Popillia insularis. Lew.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1895. P. 403.

産地 Oshima.

Popillia chlorion Newm.

Mag. Nat. Hist. II. 1838, p. 337.

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1916, A. 4. p. 2.

産地 Formosa.

Popillia mongolica Arrow.

Aun. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 40. u. 43.

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1816, A. 4. p. 2.

産地 Formosa.

Popillia Sauteri Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1816, A. 4. p. 2.

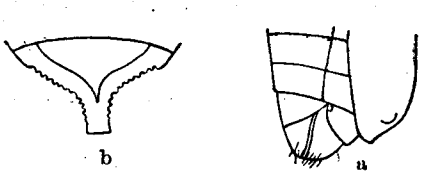
産地 Formosa.

こいちやこがね類

Adoretina.

觸角ハ十節ヲ常トスルモ種類ニ由リテハ雌ガ九節ヨリナルコトアリ。背面ノ尾節板前ノ一節ガ腹面ノ同位置ノ環節ト體側ニ於テ鋭角ヲ以テ相合ス(第10圖a)。上唇ハ伸長シテ其先端下方ニ向フ(第10圖b)。翅鞘先端ニハ明カナル膜狀ノ細緣ヲ有セズ。

之ニ屬スル我國ニ存スルモノ唯ちやい



第十圖

a ちやいろこがね類の腹部

b 同 上 の 上 唇

ろこがね屬 *Adoretus* ニ屬スル一種アルノミナリ。

ちやいろこがね屬

Adoretus Laporte

觸角ハ雌雄共ニ十節ニシテ片狀節ハ三個ナリ。頭楯ハ幅廣クシテ基部ヨリ眼ヲ覆フ。上唇ハ中央ニ於テ狹ク長シ。脚ハ前脛節ニ三個ノ外齒ヲ有ス。爪ノ大形ノ一側ハ强大ニシテ前中兩脚ノモノハ其先端ニ近ク切込ヲ有ス。翅鞘上ニハ少ナクトモ弱キ縱隆線ヲ有ス。

ちやいろこがね

Adretus tenuimaculatus Waterh.

Taf. III. fig. 20.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 112.

Harold, Abh. Brem. 1876, p. 127.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1877. p. 356.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 346.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 30.

Kolbe. Archiv f. Naturg. 1886, p. 192.

松村松年, 日本千蟲圖解第三. P. 100. Pl. 48. f. 19.

新島等, 演習林報告第五號 p. 11.

產地 Hiogo, Tokio, Echizen, Mino.

京都,東京,山城,高知,熊本,熱海,信濃,朝鮮

體長 10—10,5　幅 5—5,5 mm.

長楕圓形濃褐色ヲ帶ブ上面ニ白色ノ鱗毛ヲ生ズ。

頭部稍ヤ大形,頭楯ハ略ボ半圓形ヲナシ緣邊黑褐色ニシテ少シク上反ス。鱗毛ハ緣ニ沿ヒ密ニ列狀ニ排列ス。前頭部ハ强ク弧線狀ヲナサズ。又外部ヨリ中心ニ向ヘル毛ヲ有ス。

胸背板短カク幅廣シ。側緣ハ前方ニ少シク弧線狀ヲナシ。前緣角稍ヤ突出ス。後緣角ハ稍ヤ鈍角ナリ。上面ニ粗點ト白色鱗毛ヲ有シ其中央ニアルモノ一斑紋狀ヲ呈ス。

稜狀板ハ基部ノ幅廣クシテ少シク扁平ナル三角形ヲナシ細鱗毛ヲ密生ス。

翅鞘上ニハ四個ノ縱隆線ヲ有ス。前面ニ白色鱗毛ヲ有ス。其會合線ニ沿ヘルモノヽ外ノ三隆線上ニハ列狀ニ斑紋狀ヲナス。先端ニ近ク瘤狀隆起部アリ其上ト之ニ並ビテ著シキ鱗毛斑アリ。

觸角ハ雌雄殆ンド同ジ。

前胸節ノ齒狀部ハ多クハ著シク發達セズシテ等距離ニ存ス。後胸節ハ中央ヨリ少シク先方ニテ狹搾シ其部ニ一個ノ斜狀隆起線ヲ存シ一列ノ小刺ヲ生ズ。

前胸節ノ齒狀部ハ標本ニヨリ甚シク發育ノ不良ナルモノアリ。老熟セル者ニテハ上面ノ鱗毛剝離シテ唯翅鞘先端ノ斑紋ノ外方ナルモノノミナルアリ。

松村博士採取產地不明ノ標本二個ハ略黑色ヲナス。

第六節　はなむぐり亞科

Cetoniinæ.

體ノきちん質厚クシテ堅硬ナリ。體面ニ白色又ハ黃色ノ小斑ヲ有スルコトアリ。此小斑ハ毛又ハ鱗毛ト同性質ノ物質ニシテ上皮ノ少シク窪メル處ニ存ス。頭楯ハヨク發達シテ多クハ幅廣キ十能形ヲナス。稀ニ頭部ニ雌雄共ニ角狀附器ヲ有スルモノアリ。口器ハ柔軟ナル物質或ハ液體ヲ採ルニ適ス。上顎ハ僅少ノ例外ヲ除キ薄クシテ嚙ム能ハズ。下顎ハヨク發達シ丈夫ニシテ齒ヲ有ス。觸鬚ハ三節ニシテ細シ。胸背板ハ體ノ後部トヨク着合シ稜狀板ノ前部ニ於テ矢筈形ノ切込ミヲ有シ或ハ其部ガ襞狀ヲナシテ稜狀板ノ一部或ハ全部ヲ被フ。翅鞘ハ其兩側肩部ノ後方ヨリ彎入セル切込ミヲ有シ飛翔ノトキ後翅ヲ此部ヨリ外ニ出シ翅鞘ヲ他ノ亞科ノモノノ如ク開キテ高ムルコトナシ。脚ノ前基節略ホ直角ニ並ビテ相合ス其後方ニ前胸片ノ隆起スルコトナシ。中基節ハ一橫線ニヨッテ中胸片ノ中央其中間ニ突出ス。即チ後胸片ノ中央ガ前ニ突出シ前方ニ於テ中胸片ト合シ共ニ中胸突起ヲ形成ス。其會合線ハ全ク癒合シテ見ル能ハザルモノアリ。中胸突起ハ圓錐狀ノモノヨリ扁平ニシテ前部幅廣キモノニ至ルマデ種々ノ變化アリ。後基節ハ大形ニシテ體ノ上面ヨリ其一端ヲ見得ルヲ常トス。前脛節ハ三個以下ノ外齒ヲ有スルヲ常トシ殊ニ雌ハ必ズ之ヲ存ス。爪ハ動カズシテ形簡單ナリ。觸角ハ十節ニシテ片狀節ハ三個ナリ。其形狀ハ種類ニ由リ大ナル變化ナシ。雌雄又殆ンド同形ナリ。

雌雄ノ變化ハ其前脚ノ脛節ニ於テ屢々ヨク認ムルヲ得即チ雌ハ三齒ヲ有シ丈夫ナルニ雄ハ齒ノ數少ナク或ハ全ク之ヲ缺クモノアリ。種類ニヨリテハ後脛節ノ端棘ガ雄ニ短カクシテ銳ク雌ニ長クシテ鈍シ。腹部ノ末節ハ雄ニ於テ其先端稍ヤ凹入セル緣線ヲ形成スルモノ多シ。色澤ノ差違ヲ雌雄ニ於テ認ムベキモノ又アリ。即チ雄ガ光澤アル著シキ色ヲ有スルニ雌ガ全ク溷濁ナル色彩ノモノアリ。はなむぐり亞科ハ二ニ大別セラル即チ次ノ如シ。

I$_1$　上顎薄クシテ鋭ク尖ラズ又噛ムニ適セズ内部ニ膜狀ノ襞ヲ有ス。

はなむぐり區 Cetoniina.

I$_2$　上顎強健ニテ鋭ク膜狀ノ襞ヲ有セズ。

ほそはなむぐり區 Cremastochilina.

我國ノ種類ハ殆ンド皆前區ニ含マレ後區ニハ唯一種記載セラレタルモノアルノミナリ。

はなむぐり區

Centoniina.

此內ニ屬スル者ハ甚ダ多ク我國ニ產スル種類ノ大多數ハ之ニ含有セラル。四ニ類別スルコト次ノ如シ。

I$_1$　後脚ノ基節及腹節ハ全ク翅鞘ニテ被覆セラル。

つのこがね類 Goliathides.

I$_2$　後脚ノ基節及ビ腹節ハ一部上面ニ表ハル。

II$_1$　胸背板ノ後緣中央ニ於テ襞狀ニ延長ス。

えぐりこがね類 Macronotides.

II$_2$　胸背板ノ後緣ハ中央ニ於テ襞狀ヲナサズ。

かなぶん類 Heterorrhinides.

III$_1$　胸背板ノ後緣直線狀ヲナス。

III$_2$　胸背板ノ後緣直線狀ヲナサズ。　はなむぐり類 Cetoniides.

つのこがね類

Goliathides.

此類中ニ含マルヽ屬ハ甚少ナク我國ニハ唯一屬アルノミナリ。

つのこがね屬

Dicranocephalus Westwood.

體形稍短カク胸背板略ボ半球狀ヲナス。中央ノ幅最モ廣ク後緣角圓味ヲ帶ブ。中胸側板ハ明カニ上部ヨリ見得ルモ背面ニハ達スルコトナシ。稜狀板ハ其先端稍ヤ鋭シ翅鞘ハ腹背ノ全部ヲ被覆シ側緣直線的ニシテ先

端ノ角度尖ルコトナシ。中脚ノ基節ハ細キ中胸突起ニ由リテ分タル。此突起ハ短カクシテ尖リ先端稍ヤ下方ニ向フ。雄ノ頭楯ノ兩側縁ハ延長シテ長角狀ヲナシ。先端弓狀ニ彎曲ス。前脚ノ脛節ト總テノ跗節ハ細長ナリ。雌ハ頭楯幅廣ク前縁角鋭クシテ稍ヤ上反ス。前脛節幅廣シ。其外歯ハ雌雄共ニ三個ナルモ雌ニ於テ鋭シ。跗節ハ殆ンド雄ノ長サノ半ナリ。

本屬ニハ臺灣及朝鮮ニ産スル者下記三種アリ。予等ハ此屬ノ標本一種ヲ有スルモ原記載ヲ得ル能ハザルヲ以テ之ヲ確定スル能ハザルヲ遺憾トス。

Dicranocephalus Adamsi Pasc.

Journ, Ent. II, 1863—66 (1863), p. 25.

産地 Korea.

Dicranocephalus Bourgoini Pouillande.

Insecta IV, 1914, p. 273.

産地 Formosa.

Dicranocephalus Bowringi Pasc.

Journ. Ent. II, 1863—66 (1863), p. 25,

産地 Nordchina, Formosa.

えぐりこがね類

Macronotides.

此類ニ屬スル既ニ記載セラレタル我國ノ種類ハ三屬五種アリテ皆臺灣産ナリ。此内予等ハ唯一屬えぐりこがねノ標本ヲ得タルノミナリキ故ニ他ノ二屬ニ於テハ他日材料ヲ得テ之ヲ研究セントス。三屬ノ區別點ヲ擧グレバ次ノ如シ。

I_1　胸背板ノ中央延長シテ稜狀板ヲ覆フ。　くりんてりあ屬 Clinteria.

I_2　稜狀板ハ被覆セラルヽコトナシ。

II_1　腹部ノ背面兩側ハ翅鞘ノ外ニ表ハル。　えぐりこがね屬 Macronota.

II_2　腹部ノ背面ハ兩側翅鞘ノ外ニ出デズ　こえろうでら屬 Coelodera.

えぐりこがね屬

Macronota Hoffmannsegg.

體長形ニシテ腹部ノ兩側及ビ後端ハ上面ヨリ見ルコトヲ得ル。頭楯長形ニシテ多クハ其前部二分ス。胸背板ハ其幅翅鞘ノ肩部ヨリ狹ク後緣ノ中央短カク延長ス然シ稜狀板ヲ被覆スルコトナシ。稜狀板ハ稍ヤ長形ナリ。翅鞘ハ肩部ヨリ後ニテ切込アリ。先端ニ向テ狹搾ス。中胸突起ハ兩基節ノ間ニ僅カニ突出ス。前脛節ハ銳キモ短カキ三齒ヲ有ス。但種類ニ由リ一或ハ二ナルコトアリ。上面ハ概シテ絹絲狀又ハ絨毛狀光澤ヲ有ス。

本屬ニハ臺灣產三種アルモ之ヲ得ズ。予等ノ標本五種ハ皆新種ナリ。

I_1　翅鞘上ニ赤色ノ線條アリ。

II_1　胸背板上ニ四黃條ヲ有ス形稍大ナリ。

よつすじえぐりこがね M. formosana. n. sp.

II_2　胸背板上ニ四條線ナシ形小ナリ。

かぎえぐりこがね M. kagiensis. n. sp.

I_2　翅鞘上ニ赤色ノ線條ヲ有セズ。

III_1　翅鞘綠色ヲ帶ビ其中央ヨリ後方ニ三個ノ小白斑アリ。

あをえぐりこがね M. viridula. n. sp.

III_2　翅鞘黑褐ニシテ中央ヨリ後ニ大ナル楕圓形ト圓形ノ斑紋アリ。

ちやいろえぐりこがね M. fuscomaculata. n. sp.

III_3　翅鞘光澤アル眞黑色ニシテ黃色ノ斑紋アリ。

ほつぽえぐりこがね M. hopponus. n. sp.

よつすじえぐりこがね(新種)

Macronota formosana Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 13.

產地　臺灣(タツパン)

體長 21　幅 9,5 mm.

最モヨク *Macronota quadrivittata* Schaum. ニ似ル。然シ形大ニシテ細ク翅鞘ノ斑紋又少シク異ナリ。體黑色頭楯脚及ビ觸角赤色ヲ帶ブ。胸背板ニ四條ノ

黃色線アリ。翅鞘ハ赤色ニシテ黑紋及ビ黃色ノ點斑アリ。腹背ノ翅鞘ノ外ニ現ハルヽ部甚少ナシ。

頭黑色ニシテ二條ノ黃色帶アリ頭楯ノ中央ニ達ス。頭楯ハ赤色ニシテ前緣明カニ二片狀ヲナス。稍ヤ强キ點刻ト黃色ノ毛ヲ有ス。

胸背板ハ稍ヤ長形,黑色ナルモ兩側緣ハ少シク赤色ヲ帶ビ上面ニ四黃色條ヲ有ス。側緣ハ細鋸齒狀ヲナシテ中央ノ少シク前方ヨリ前緣ニ傾ク。淺キ半圓形ノ點刻アリ。黃色條ノ部分ハ凹壓セラレ內部ノ二條ハ前方幅廣ク後方細シ。

稜狀板ハ黑色長形ニシテ尖ル,然シ先端甚シク銳ナラズ。兩側緣ハ黃色ニ細ク色取ラル。

翅鞘ハ赤色ニシテ三個ノ黑斑アリ。二ハL形ヲナシテ會合線ノ近クヨリ肩ニ向ヒ一ハ翅端ニ近ク存ス。此外五双ノ小黃點斑ヲ有ス。

尾節板ハ黑色ニシテ側緣ヨリ先端ニ沿ヒ赤色ヲ帶ビ中央ニハ一個ノ長方形ノ斑紋アリ。短カキ黃色ノ毛ヲ有ス。腹節ノ背面翅鞘ノ外ニ出ルコト少ナシ。

下面黑色光澤アリ。中胸側板ノ後側緣黃色ヲナシ中胸板ト二腹節ノ兩側ニ二又ハ一ノ黃色斑アリ。但シ尾節及ビ其前節ハ之ヲ缺ク。腹節ノ兩側ハ稍ヤ角狀ヲナス。前脛節ノ外齒ハ三個ナルモ先端ニ近キ二ハ大ニシテ他ノ一ハ甚小ナリ。中脛節ノ一外齒ハ銳シ。

本種ハ松村博士ノ蒐集ニ由ル本學標本一個ニ由リ記載セルモノナリ。之ニ最モヨク似テ支那ニ於テ採取セラレレタルモノアルモ稍ヤ小形ニシテ斑紋ノ位置全ク異ナリ然シ *M. quadrivittata* トハ又同ジカラズ。

ちやいろふぐりこがね(新種)

Macronota fuscomaculata Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fg. 2.

産地　臺灣(嘉義)

體長 23　幅 10 mm.

體黑褐色ニシテ光澤アリ.前胸部ニ四條翅鞘ノ中央ニ橢圓形及ビ圓形褐色斑紋アリ.

頭部强キ點刻ヲ有シ後頭ヨリ前頭部マデ中央ニ縱ノ隆起ヲ存ス.此隆線ノ兩側頭楯ノ中央マデ褐色條ヲ存ス.頭楯前緣ニ深キ切込ヲ有シ明カニ二片狀ヲ呈ス.

胸背板ハ側緣ノ中央ヨリ前緣ニ圓形ヲナシ四ノ縱ノ褐色條ヲ有ス.外部ノ二ハ側緣ニ接シテ細ク內部ノ二ハ太クシテ相接近ス.强キ點刻ヲ有シ褐色條上ニ密ニ短刺毛ヲ存ス.

稜狀板ハ長形ニシテ尖リ側線ハ弧線ヲナス.全部褐色ノ被物ヲ有シ褐色短刺毛ヲ存ス.

翅鞘ハ光澤アリ.中央ヨリ先端ニ會合線ノ兩側ニ連ナリテ楕圓形及ビ圓形ノ褐色斑紋アリ.此兩斑ノ間ニ位シ側緣ニ近ク一個及ビ肩ノ下ニ於テ一個ノ小斑アリ.總テ斑上ニハ密ニ褐色毛ヲ存ス.

尾節板ハ全體褐色被物ト褐色刺毛ヲ密生ス.

下面及ビ脚ハ黑色ニシテ光澤アリ.腹節ノ兩側ハ隆線ヲ有シ各節ノ側緣ニ近ク褐色斑及ビ褐色毛ヲ有ス.前脛節ノ三外齒ハ銳ク中脛節ノ中央ノ一齒モ亦銳シ.

予等ノ調査シ得タル標本三個アリ.一ハ嘉義ニテ採取セラレタルモノニシテ二ハ本學昆蟲室標本ナリ.

かぎおぐりこがね(新種)

Macronota kagiensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 15.

產地　臺灣(嘉義)

體長 13　幅 6 mm.

黑色小形ニシテ體面ニ美ナル赤色ノ縱線アリ.其他翅鞘上ニ二ノ橫黃褐色帶ヲ有ス.

頭部ハ黑褐色ニシテ光澤アリ.密ニ點刻ヲ有シ.黃褐色ノ短毛ヲ存ス.頭

楯ハ前部圓味ヲ帶ビ前緣ノ中央彎入シテ二片狀ヲナス。後頭ノ中央ニハ短カキ光澤アル隆線ヲ存ス。

胸背板ハ稍ヤ長形黑褐ニシテ中央ニ於テ幅廣ク前緣角圓ク後緣角略ボ直角ナリ。後緣ハ中央ニ於テ强ク稜狀板ノ方ニ延長ス。上面ハ密ニ點刻アリテ黃褐色ノ短毛ヲ生ズ。後緣ニ近キ中央ニ黃褐色ノ鱗毛ニテ成レル縱線アリ。

稜狀板黑色中央ノ縱線及ビ先端ニ黃褐色ノ鱗毛アリ。

翅鞘ハ長キ連續セル掻傷狀ノ點ヲ有シ褐色ノ細毛ヲ存ス。

稜狀板ノ兩側ト翅鞘ノ中央ニ點刻及ビ毛ヲ有セザル縱ノ隆條アリ。前者ハ短カシ。色ハ黑色ニシテ稜狀板ノ兩側ニ於テ環狀ヲナシ。縱隆線ノ中央ニ及ビテ橫ニ會合線ニ達スル赤線ト外側緣ニ沿ヒ先端ニ近ク橫ニ會合線ニ達スル赤線トヲ有ス。其他翅鞘ノ中央及ビ其肩トノ間ニ黃褐色ノ鱗毛ヨリ成レル橫條ヲ存ス。

尾節板ハ黑色ニシテ强キ點刻アリ。後緣ニ沿ヒ其中央ヨリ縱ノ黃褐色鱗毛斑ヲ具フ。

下面黑色ニシテ黃褐色毛ヲ生ズ。尾節及ビ其前節ニ於テ殊ニ長シ。腹部ニハ半圓形ノ粗キ點刻アリ。中央三節ハ兩側後緣ニ黃褐鱗毛ヨリ成ル長形ノ斑紋ヲ有ス。脚ハ赤褐ニシテ前脛節ハ銳キ三齒ヲ有ス。其前端ノ者ノ外ハ短カシ。

予等ハ嘉義ニテ採取セラレタル雌一個ノ標本ヲ有ス。

本種ハ *M. quadrivittata* Schaum ニ似ルモ形狀小ニシテ翅鞘ノ赤線ノ位置ヲ異ニス。

あをゑぐりこがね(新種)

Macronota viridula Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 6.

産地　臺灣(大坪)

體長 16　幅 8 mm.

上面暗綠色翅鞘ノ中央ニ點狀ノ小斑ヲ有ス。腹節ノ背面ニ表ハルル部分ニ又小白斑ヲ有ス。下面ハ紫黑色ヲ呈ス。

頭部ハ光澤アル黑色ニシテ綠紫色ヲ帶ブ。中央ニ於テ明カニ縱隆線ヲ有ス。强キ點刻ヲ有シ前頭部ニ白色ノ毛ヲ存ス。頭楯ハ前緣二片狀ニシテ上反セズ。細毛ヲ有ス。

胸背板ハ略ボ七角形ヲナス。側緣ハ中央ヨリ少シク前方ニテ角狀ヲナス。光澤ナク一樣ニ細點ヲ有シ白色短毛ヲ具フ。

稜狀板ハ長形ニシテ銳ク尖ラズ。先端ノミ僅少ノ白色短毛ヲ有ス。

翅鞘ハ幅狹ク會合線ノ兩側窪ミテ廣キ溝形ヲナス。左右面上ニ存スル縱隆線ハ略平行シ唯肩部ニ於テ分岐ス。會合線ニ沿ヒテ一及ビ溝狀部ノ中央以下ニ三ノ紫黑色ノ細隆線ヲ有ス。點刻ハ强カラズ。先端ニ白色毛ヲ存ス。溝狀部ノ中央ヨリ先方ニ四個ノ群狀ニ排列セル小斑アリ。

尾節板ハ前緣ノ近クマデ隆起シ搔傷狀ノ刻線ヲ密ニ存シ僅少ノ白色毛ヲ具フ。腹部ハ幅廣ク翅鞘ノ外ニ出ヅル背面ニ於テ各節ノ後緣ニ白色線狀ノ斑紋アリ。

下面ハ紫黑色ヲナシ光澤アリ。胸部ニハ白色長毛ヲ生ジ中胸突起ハ短カクシテ先端球狀ヲナス。腹部ハ側緣隆線狀ヲナサズ中央ニ於テ溝狀ノ窪ミヲ存ス。後基節ニ近キ腹節ノ兩側ニ白色ノ斑紋ヲ有ス。腹節ノ內緣ニハ長毛ヲ存ス。前脛節ノ三齒ハ銳ク中脛節ノ外緣ノ中央ノ一齒ハ棘狀ヲナス。

本學昆虫學敎室松村博士蒐集標本雄一個ニヨリ記載ス。

ほつぽえぐりこがね(種新)

Macronota hopponus Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 12.

產地　臺灣(北埔)

體長 22—24　幅 11—12 mm.

美ナル甲蟲ニテ體漆黑ヲナシ光澤アリ。胸背板ノ殆ンド全部ト翅鞘上

ノ斑紋黄色又ハ橡色ヲナス。

頭部ハ黒色ニシテ少シク紫色ヲ帯ブ。中央ニ縦隆線アリ。其兩側ニ長キ黄色ノ斑紋アリ。頭楯ハ眼前縁明カニ二片狀ヲナス。斑紋上ニ黄色ノ毛ヲ密生ス。黒色部ニハ點刻及ビ細毛ヲ存ス。

胸背板ハ側縁ノ中央稍ヤ角狀ヲナシ之ヨリ上部ハ圓形ヲナス。後縁角ハ稍ヤ鋭角ナリ。前縁ヨリ後縁ノ兩側ニ向テ山形ノ黒色隆線アリ。其中央ハ強ク窪ミテ兩側ト共ニ黄色ノ斑紋ヲナス。其上ニ黄色毛ヲ密生ス。

黄斑外ノ部ハ光澤アル黒色ニシテ點刻ナシ。稜狀板ノ前方黄斑トノ間ニ小縦凹線ヲ有ス。

稜狀板ハ小ニシテ先端鋭尖シ中央縦ニ窪ミ僅少ノ黄色毛ヲ存ス。

翅鞘ハ幅廣ク肩ヨリ先端ニ向テ隆起シ稜狀板ヨリ會合線ニ沿ヒテ窪ム。中央ヨリ少シク先方ニ於テ會合線ノ兩側ニ楕圓形及ビ之ト翅先トノ間ニX形ノ黄色斑アリ此兩斑ノ間ノ外縁ニ近ク及ビ肩ノ後ニ於テ各一ノ黄斑ヲ存ス。斑上ニハ黄色毛ヲ生ズ。殊ニ翅端ニ多シ。

尾節板ノ中央ノ大部ハ黄斑ヲ有シ黄色毛ヲ具フ。此ノ黄色毛ハ雄ニ於テ殊ニ長シ。

下面ハ光澤アル黒色ニシテ腹節ノ兩側ニ黄斑及ビ黄色毛ヲ有ス。前脛節ノ外縁ニハ雌雄共ニ鋭キ三歯ヲ有ス。腿節ニハ總テ多クノ黄色毛ヲ存ス。脛節ニモ列狀ノ刺毛アリ。後基節ノ外側ハ鋭キ棘狀ヲナシテ後方ニ突出ス。

本種ノ記載ハ本學松村博士蒐集標本雌三雄一ニ由ル。

本屬ノ種類ハ本邦ニ於テ二種ト一亜種ノ記載セラレタルモノアリ何レモ臺灣産ナルガ予等ハ今回之等ノ標本ヲ一モ見ル能ハザリシヲ遺憾トス。即チ次ノ如シ。

Macronota proxima Bourgoin.

Bull. Soc. Ent. France 1915, p. 156.

Macr. lata Bourgoin.

Bull. Soc. Ent. France 1915, p. 138.

Macr. procera Bourgoin.

Bull. Soc. Ent. France 1915, p. 160.

Macr. flavofasciata Mos. subsp. **formosana** Mos.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1910, p. 298.

くりんてりあ屬

Clinteria Burmeister.

頭楯四角形ニシテ前緣僅カニ二片狀ヲナス.眼ハ稍ヤ突出ス.胸背板ノ基部ハ銳キ片狀ニ延長シ殆ンド稜狀板ヲ被フ.兩側緣ハ一樣ノ弧線ヲ以テ前緣ノ中央ニ達ス.稜狀板ハ其銳尖セル先端ノミ外ニ現ハル.翅鞘ハ兩側ノ切込ミ深クシテ先端ノ角度ハ銳カラズ中胸突起ハ尖リテ種類ニ由リ長短アリ.中後胸部ノ會線ハ全ク消失ス.前脛節ハ三齒ヲ有ス.體ハ一般ニ短形ヲナス.

本屬中ニハ唯一種臺灣產ノモノアルモ予等ノ標本ニハ之ヲ缺ク.即チ次ノ如シ.

Clinteria aeneofusca Bourgoin.

Bull. Soc. Ent. France, 1914, p. 467.

產地 Formosa.

こそろうでら屬

Cœlodera Hope.

前胸板梯形ニシテ其兩側緣中庸ノ弧線ヲナス.下面ハ稍ヤ強ク毛ヲ有ス.又腿節及ビ脛節ニモ毛ヲ有ス.中胸突起ハ幅廣ク前端圓形ヲナス.前脛節ハ雌雄共ニ三齒ヲ有スルモ雄ハ少シク弱シ.

本屬ノ種類ハ唯一亞種ノ我國ニ知ラレタルモノアリ即チ臺灣產ニシテ予等ハ未ダ之ヲ有セズ.

Cœlodera nigroscutellaris Moser, subsp. **formosana** Moser.

Berl. Ent. Zeitschr. 1901, p. 527.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1901, p. 297.

産地 Formosa.

但シ基種ハ Tonkin Mausonberge 産ナリ。

かなぶん類

Heterorrhides.

此類ハ頭部長形ニシテ或ハ角狀突起ヲ有ス。此角狀突起ハ其形狀種々ニシテ屢々雌雄ニ由リ少シク異ナリ。前脚ノ脛節ハ歯狀突起ヲ雌ニノミ有シ。雄ハ之ヲ缺クモノ多シ。體滑カニシテ光澤ヲ有シ美綠色ヲナスモノヲ普通トス。

我國ニハ四屬アルモ其二屬ハ全ク檢スルヲ得ザリキ。予等ノ標本ハつのかなぶん屬 *Trigonophorus* 及ビかなぶん屬 *Rhomborrhina* ノミニシテ前種ハ皆頭部ニ角狀附器ヲ有シ後種ハ之ヲ缺ク。

I_1 頭楯ハ前端急ニ兩側ニ突出ス。 いんぐりすさ屬 Ingrisma.

I_2 頭楯ハ前端マデ同樣ノ幅ヲ有ス。

II_1 頭楯ノ前部ニ角狀突起ヲ有ス。 つのかなぶん屬 Trigonophorus.

II_2 頭楯ノ前端ニ角狀突起ナシ。

III_1 中胸突起稍ヤ長シ。 かなぶん屬 Rhomborrhina

III_2 中胸突起短カクシテ太シ。 こすみをもるふあ屬 Cosmiomorpha.

つのかなぶん屬

Trigonophorus (Hope) Westwood.

體ハ長形ニシテ少シク扁平體面ニ毛ヲ有セズ。脚ハ稍ヤ細長ナリ。頭部ニ平カニ前方ニ突出スル角狀突起ヲ有シ。頭楯ノ前緣中央ニ長三角形ノ著シキ角狀突起ヲ存ス。此ノ突起ハ前方ヨリ上方ニ彎曲シ基部ニ細ク先端ニ幅廣シ。頭楯ノ兩側ハ殆ンド直線的ニシテ前緣角ハ圓味ヲ帶ブ。胸背板ノ兩側ハ弧線狀ヲナシ後緣ハ中央矢筈形ヲナス。稜狀板ハ先端銳尖ス。

翅鞘ハ兩側ニ明カナル切込ミヲ有シ上面平カナリ。中胸突起ハ長形ナリ。體色綠ナルヲ常トス。

此屬ノ種類ニシテ我國ニ知ラレタルモノ臺灣產二種アリ。

つのかなぶん

Trigonophorus dilutus Bourgoin.

Taf. V. fig. 13.

Bull. Soc. Ent. France, 1914, p. 438.

產地　臺灣(霧社)

體長 18 (角狀部ヲ除ク)幅 14 mm.

體綠色ニシテ光澤アリあをかなぶんニ似テ稍ヤ長形ナリ。頭楯ニ大形ノ角狀附器ヲ有ス。

頭部略四角形ニシテ上面窪ミ顆粒狀ノ細黑點ヲ有ス。頭楯ノ前緣ニ存スル角狀附器ハ略4 mm.ノ長サヲ有シ黑色ニシテ先端廣銀杏葉形ヲナス後頭ヨリ水平ニ出ル突起ハ平タクシテ先端銳尖ス。

胸背板ハ點刻ナク先端尖ル。

翅鞘ハ淺キ點列ヲ有シ稜狀板ニ近ク横皺狀ノ淺キ壓凹部アリ。下面ハ綠色ニシテ少シク黃色ヲ帶ブ。

腹部ノ點刻ハ少ク略半圓形ヲナス。中胸突起ハ前端肥厚シ圓味ヲ帶ブ。

下記臺灣產ノ一種ハ予等ノ標本ニ之ヲ缺ク。

Trigonophorus varians Bourgoin.

Bull. Soc. Ent. France, 1914, p. 37

いんぐりすま屬

Ingrisma Fairm.

頭楯ハ長形ニシテ前緣圓味ヲ帶ビテ上反シ其兩側左右ニ角狀ヲナシテ突出ス。胸背板ハ多少三角形ヲナシ稜狀板ノ前部ニ於テ僅カニ矢筈形ヲナス。稜狀板ハ短カキモ銳尖ス。中胸突起ハ稍ヤ細クシテ強ク下方ニ曲リ平タク圓味ヲ帶ブ。體長形ニシテ扁平ナリ。

本屬ニ屬スルモノハ臺灣ニ産スル次ノ二種アルモ予等ハ未ダ其標本ヲ得ル能ハズ。

Ingrisma parallelicеps Bourgoin.

Bull. Soc. Ent. France, 1914, p. 446,

Ingrisma insulana Moser.

Stett. Ent. Zeitschr. 1916, p. 141.

こすみをもるふあ屬

Cosmiomorpha Saund.

頭楯略ホ四角形ニシテ脚細長ナリ。其中胸突起ハ前部圓ク兩側並行ス。我國ニ産スルモノハ唯次ノ臺灣産一種ノミ。予等ノ標本ハ之ヲ缺ク。

Cosmiomorpha similis Fairm.

Ann. Soc. Ent. France, 1899, P. 621.

かなぶん屬

Rhomborrhina Hope.

體稍ヤ長形上面平カニシテ多クハ平滑光澤アリ。頭楯長形前緣直線ナリ。胸背板ハ三角形ニ近ク稜狀板ニ接スル處ハ矢筈狀ヲナス。稜狀板ハ稍長クシテ鋭ク尖ル。中胸ノ突起ハ幅ヨリハ長クシテ先端尖ルカ鈍形ヲナス。前脛節ハ雄ハ細クシテ外齒一個雌ハ幅廣ク外齒二個ナリ。

本屬中我國ニ知ラレタルモノ八種アルモ予等ノ調査シ得タルハ唯四種ノミニシテ他ノ四種ハ其標本ヲ得ル能ハザリキ。

I_1　體青銅色ヲナス。　かなぶん R. japonica.

I_2　强キ光澤アル綠色ヲナス。

II_1　全體綠色ナリ。　あをかなぶん R. unicolor.

II_2　肩ニ黑斑アリ體少シク長形。　たいわんあをかなぶん R. formosana.

I_3　體黑色ヲナス。　くろかなぶん R. polita.

かなぶん

Rhomborrina japonica Hope.

Taf. V. fig. 16.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1841, p. 61.

Westwood, Arc. Ent. 1842, p. 118. t. 30, f. 4.

Westwood, Trans. Ent. Soc. Lond. 1845, p. 90.

Burmeister, Hand. Ent. III. 1842, p. 199, 778.

Schaum, Ann. Soc. Ent. France, 1844, p. 350; 1849, p. 246.

Harold, Abh. Nat. Ver. Brem. 1876, p. 127.

Kolbe, Arch. f. Natg. 1886, p. 194.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 118.

Reitter, Best.-Tab. (38) 1888, p. 78.

Heyne, Taschenb. Exot. Kaf. 1908, p. 107, t. 19, f. 41.

(*R. glauca*) J. Thomson Typi Cet. 1878, p. 9.

(*R. squamuligera*) J. Thomson, Typi Cet. 1878, p. 9.

Arrow (*Torynorrhina*) Ann Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

松村松年, 千蟲圖解第三. p. 81. pl. 47. f. 5.

産地 China, Korea (Fusan—Söul), Japan (very common in all the islands)

熊本,東京,熱海,秩父,京都,播磨

體長 24—25　幅 13—14 mm.

青銅色ニシテ褐色ノ光澤ヲ呈ス.形少シク扁平長方形ニ近キ外形ヲナス.稜狀板ハ尖銳ナリ。

頭楯ハ眼ノ基部ヨリ前緣ニ向テ側緣少シク圓味ヲ帶ビ前緣僅カニ上反ス.點刻ハ淺クシテ密ナリ.頭部ノ中央ハ眼ノ間ニ於テ縱ニ隆起ス.

胸背板ノ點刻ハ中央ニ於テ著シク小ニシテ殆ント認メ難キモ兩側ニ至ルニ從ヒ大ニシテ半圓形ヲナス.

翅鞘ハ平滑ニシテ不規則ニ多クハ短弧線狀ヲナセル點刻ヲ有ス.僅カニ薄キ二個ノ縱隆線ノ痕ヲ認メ得ベシ先端ニ近キ會合線ノ兩側ニ鈍キ窪ミヲ存ス.

中胸突起ハ先端略ボ圓形ヲナス.脚ハ綠色ニシテ中後脛節ニ黃褐色ノ

毛アリ.

本種ハ最モ普通種ナルモ北海道ニ産セズ。

本種ニ一變種ノ記載セラレタルモノアリ即チ var. *clypeata* Burm. (Hand. Ent. III. 1842. p. 199) ニシテ其形短ク幅廣キモノナリ.然レ共予等ノ標本ニテハ形狀色澤ニ於テ多少ノ變化ヲ認ムルモ特ニ此區別ヲナシ難シトス。

あをかなぶん

Rhomborrhina unicolor Mots.

Taf. V. fig. 15.

Etud, Ent. 1861, p. 8.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 197.

Arrow, (*Torynorrhina*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

松村松年, 日本千島圖解第三 p. 79. pl. XI. VII. 1.

産地 Japan.

北海道(札幌,輕川,苫小牧,天鹽),青森,伊賀,京都,熊本,長野

體長29　幅13—13,5 mm.

美綠色ヲナシ强キ光澤アリ.形ハかなぶんト略同ジ。

頭楯ハ兩側圓味ヲ帶ビズ.幅前方ニ向テ少シク廣シ.前緣殆ンド上反セズ.點刻小ナルモ强シ前頭部ノ點刻ハ淺クシテ大ニ後頭ハ平滑ナリ。

胸背板ノ中央ハ縱ニ點刻ヲ缺キ之ヨリ兩側ニ向テ次第ニ大ナル點刻ヲ有ス.兩側ハ中央ヨリ後方ニ少シク凹入ス。

稜狀部ハ銳ク尖リ甚ダ微細ナル點刻ヲ僅カニ散布ス。

翅鞘ハ縱隆線ナキモ僅カニ細點ノ列狀ニ存スルヲ認メ得ベシ.全面ニ小ナル點刻ヲ不規則ニ散布シ翅端ニ網狀ヲナスヲ見ル.先端近ク左右ニ隆起部ヲ存ス.

下面ハ又光澤アル綠色ヲナシ尾節ノ先端ニ褐色毛ヲ存ス。

たいわんあをかなぶん

Rhomborrhina formosana Moser.

Taf. V. fig. 12.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1909, p. 313, 1913. p. 156.

産地 Formosa.

臺灣(補里社,霧社,恒春,臺南)

體長 24,5—27　幅 13—14 mm.

最モヨクあをかなぶんニ似ル。上面ノ點刻ヤヽ強ク肩及ビ會合線黑色ヲナシ頭楯ノ前緣彎入ス。

本種ハモーゼルニヨリ最初あをかなぶんノ一種トシテ記載セラレ後多クノ標本ニヨリテ獨立セル種トセラレタルモノナリ。予等ノ所有スル六個ノ標本ニテハ明カニ肩ニ黑斑ヲ有スルモノ一個ニシテ他ハ僅カニ黑色ヲ認ムルニ止マルモノナリ。臺灣ニ於ケル普通種ナルガ如シ。

くろかなぶん

Rhomborrhina polita Waterh.

Taf. V. fig. 19.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 113.
Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 197.
Arrow, (*Torynorrhina*), Ann. Mag. Nat. Hist, 1913, p, 396.
松村松年　日本千蟲圖解第三 p84. pl XL vll 10.

産地 Yokohama.

東京,山形,秩父,熱海,鹿兒島,秋田。

體長 22,5—28　幅 12—14 mm.

體長形ニシテ黑色光澤アリ。形狀ハあをかなぶんニ似ル。

頭部狹長中央稍ヤ幅廣キ縱ノ隆起ヲ有ス。頭楯ハ密ナル點刻及ビ顆粒ヲ有ス。

胸背板及ビ翅鞘ハ殆ンドあをかなぶんト同ジク唯色ノ黑キト僅カニ點刻ノ多キヲ以テ異ナレリトス。翅鞘ハ先端ニ向テ狹細ナリ。稜狀板ハ長形ニシテ先端銳尖シ。其面平滑ナリ。

前基節及ビ中後脛節ノ內面ニ稍ヤ長キ褐色毛ヲ存ス。

中胸突起ハ幅廣ク先端圓味ヲ帶ビ黃褐色ノ毛ヲ有ス。

本種ハ北海道ニ於テ未ダ之ヲ見ズ。

以上記載セルモノヽ外予等ノ調査ヲ逸シタル種類ハ次ノ如シ。

Rhomborrhina insularis Moser.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1910, p. 293. ♀

Ann. Soc. Ent. Belg. 1911, p. 121. ♂

産地 Formosa.

Rhomborrhina splendida Moser.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1913, p. 156.

産地 Formosa.

本種ハ記載ニ由ルトキハ著シキ大形ノモノ(35mm)ナリ

Rhomborrhina aurora Bourgoin.

Bull. Soc. Ent. France 1914, p. 447.

産地 Formosa.

Rhomborrhina pilifera Moser.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1914, p. 573.

(*Rh. fulvopilosa Formosana* Moser) Deutsche Ent. Zeitschr. 1912, p. 562.

産地 Formosa.

はなむぐり類

Cetoniides.

此類ノモノハ亜科中最モ多數ノ種類ヲ有シ代表的ノ形態ヲ備フ。稍ヤ扁平ナルモノ多ク體面ニ溷濁セル白色又ハ黄色物質ヲ有スルコトアリ。小ナル白色ノ短毛ヨリ成ル斑點ヲ存スルヲ普通トス。胸背板ノ後緣ハ僅カノ例外ヲ除キテ中央ニ於テ矢筈形ヲナス。雌雄ハ殆ンド同形ナリ。本類中我國ニ産スル屬ハ次ノ八ナリ。

I$_1$ 翅鞘ノ側緣明カナル彎曲狀ノ切込ヲ有セズ。中胸突起體ノ下面ト同色ヲナサズ。 あかまだらこがね屬 Anthracophora.

I$_2$ 翅鞘ノ側緣明カニ彎曲狀ノ切込ヲ存ス。中胸突起ハ體ノ下面ト同色ナリ。

II$_1$　胸背板ノ後緣中央ニテ明カナル矢筈形ヲナサズ.稜狀板ノ先端尖ラズ.跗節短カシ。　くろはなむぐり屬 Glycyphana.

II$_2$　胸背板ノ後緣中央ニテ明カナル矢筈形ヲナス。

III$_1$　中胸突起ハ先端圓味ヲ帶ビ下方ニ曲ル.雄ハ下面腹部ノ中央ニ縱ノ溝狀ノ窪ミヲ有ス。　はなむぐり屬 Cetonia.

III$_2$　中胸突起ハ扁平ニシテ前端幅廣シ。

IV$_1$　雄ハ腹面ニ溝狀ノ窪ミヲ有ス。　しらほしはなむぐり屬 Liocola.

IV$_2$　雄ハ腹面ニ溝狀ノ窪ミヲ有セズ.

V$_1$　翅鞘ノ先端ノ角度即チ會合線ノ先端部銳ク突出セズ。

VI$_1$　前脛節ハ雌雄共ニ三齒ヲ有ス。　しろてんはなむぐり屬 Potosia.

VI$_2$　前脛節ハ雌三個雄二個ノ齒ヲ有ス。

りうきうはなむぐり屬 Pyropotosia.

V$_2$　翅鞘ノ先端ノ角度即會合線ノ先端銳ク突出ス。

はいいろはなむぐり屬 Protactia.

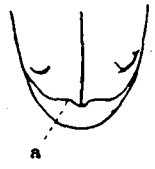
III$_3$　中胸突起ハ短カクシテ前端球形ヲナス。

こあをはなむぐり屬 Oxycetonia.

はなむぐり屬

Cetonia Fabricius.

第十一圖



a

はなむぐりの翅鞘

頭楯ハ先端二片狀ヲナス.頭部ニハ中央ノ縱隆線ニ境セラレテ眼ノ間ノ部ニ窪ミヲ有ス.稜狀板ハ先端鈍ク尖リ前脛節ニハ外緣ニ三齒ヲ有シ.後脛節ハ二ノ端棘ヲ有シ跗節ノ各節ハ簡單ナリ.中胸突起ハ圓味ヲ帶ビテ前方ニ稍ヤ長ク突出シ少シク下方ニ彎曲ス.中胸板トハ全ク界線ヲ有セザルカ或ハ强ク曲リタル無毛ノ線ニテ分タル.雄ハ腹部ニ平タキ然シ明カナル縱溝線ヲ有ス.翅鞘ノ先端會合線ニ近キ翅緣ニ彎曲セル切込ヲ有ス(第十一圖a).

本屬中予等ノ調査シ得タルモノ次ノ如シ.

I_1　上面ニ細毛ヲ有ス。　はなむぐり C. pilifera

I_2　上面ニ細毛ヲ有セズ。

II_1　光澤ヲ有セズ翅鞘上ノ點刻淺シ。　あをはなむぐり C. Roelofsi.

II_2　光澤ヲ有ス翅鞘上ノ點刻强シ。

變種つやあをはなむぐり C. Roelofsi var. nitidula.

はなむぐり

Cetonia pilifera Motsch.

Taf. V. fig. 8.

(*Glycyphana*) Etud. Ent. 1860, p. 15.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 114.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 250.

Harold, Bull. Soc. Ent. Belg. 1880, p. 4.

Reitter, (Subg, *Eucetonia*) Best.-Tab. (38) 1898, p. 38.

松村松年 (*Glycyphana*), 千蟲圖解第三 p. 87. pl. 47. f. 14.

産地 Japan: Hiogo, Kiushiu.

京都,東京,札幌。

體長 16　幅 10 mm.

上面綠色ニシテ上下面共ニ白色ノ細毛ヲ密生ス。翅鞘上ニ細カキ白色ノ斑紋アリ。

頭部光澤アル綠色ニシテ中央ノ縱隆線明カナリ。頭楯ハ赤銅色ニシテ前緣僅カニ上反シ中央彎入ス。點刻密ナリ。前頭ニハ多クノ毛ヲ生ズ。

胸背板ハ兩側緣ニ沿ヒ赤銅色ヲ呈シ上面一双ノ白小斑ヲ存ス。其他ニ三對ノ白點アルモ多クハ之ヲ缺ク。

稜狀板ハ長形ニシテ平滑中央ニ白毛ヲ存ス。

翅鞘ハ光澤ナク又ハ淡黃ノ細毛ヲ有シ點刻ハ多ク淺キ搔傷狀ヲナス。上面ニ二個ノ縱隆線ヲ稍ヤ明カニ認メ得ベシ。白斑ハ横ニ長形ヲナシ兩側緣ノ彎入部ノ先方ニ存スルモノ最大ニシテ其他ニ二三ノ白色斑ヲ有ス。

下面ハ黑紫色ニシテ胸部ノ全面ヨリ腹部ノ兩側ニ淡黃又ハ白色ノ長毛ヲ生ズ中胸突起ハ圓筒形ニテ先端圓味ヲ帶ビ少シク下方ニ向フ脚ニモ長毛アリテ前脛節ノ外齒ハ銳シ。

あをはなむぐり

Cetonia Rœlofsi Harold.

Taf. V. fig. 11.

Bull. Soc. Ent. Belg. 1880, p. V.

Reitter, Best.-Tab. (33) 1898, p. 37.

産地 Japan(Hakodate)

大阪,東京,名古屋,青森,北海道(釧路,天鹽,旭川,札幌)

體長 15—18　幅 8—10 mm.

綠色ニシテ光澤無ク下面黑紫色ニシテ光澤アリ上面ニ著シキ毛ヲ有セズ。

頭楯赤銅色ヲ帶ビ前緣上反セズ。其中央著シク彎入ス。點刻密ナリ。前頭中央ノ縱隆線ノ兩側ニ著シキ搔傷狀ノ刻斑アリ。

胸背板ハ光澤ナク側緣弧線狀ニ前緣ニ狹搾シ。側緣帶狀ニ黑紫色ヲ帶ビ其部ニ搔傷狀ノ刻斑ヲ存ス。二ノ白點ヲ存スルモノト之ガ消失セルモノトアリ。

稜狀板ハ長形ニシテ基部ニノミ小點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ綠色ニシテ光澤無ク最モヨクはなむぐりニ似同樣ニシテ小形ナル白色斑ヲ有ス。然レドモ多クノ標本ニテハ之ヲ缺除ス。會合線ハ翅先ニ於テ稍ヤ尖ルモ棘狀ヲナスコトナシ。尾節板ハ兩側緣ニ近ク一個ノ白點ヲ存ス。

下面ハ紫黑色或ハ赤銅色ヲナシ光線ニヨリ少シク綠色光澤ヲ表ハス。各腹節ニハ褐色毛ヲ列生シ其ノ兩側端ニハ一個ノ小白點斑アリ。

此種ニハ二變種ノ記サレタルモノアリ。

變種　つやあをはなむぐり(新稱)

Cetonia Roelofsi Har. var. **nitidula** Reitter.

Best.-Tab. (38) 1898, p. 37.

上面光澤ヲ有シ翅鞘ニ強キ點刻ヲ具ヘ之ニ小ナル刺毛ヲ存ス。白斑ハ之ヲ有セザルモノ多シ予等ノ標本ハ天鹽,旭川,石狩等皆北海道産ナリ。

C. Roelofsi Har. var. **villifrons** Reitter.

Best.-Tab. 38, 1898, p. 37.

上面光澤無ク綠黑色ヲナシ下面全綠色ヲナス。胸背板ニ紫色緣ナシ予等ハ此標本ヲ見ズ。

はなむぐり屬中予等ノ調査シ能ハザルモノ三種アリ。即チ次ノ如シ。

Cetonia hondana Arrow.

(*Protatia*) Ann. Mag, Nat. Hist. 1913, p. 404.

産地 Japan: Kobe, Tanegashima, Hiroshima.

記載ニ由ルトキハはなむぐりヨリハ著シク大形ナルモノヽ如シ。

Cetonia Bodemeyeri Cu:ti.

Ent. Mitteil, 1915, p. 20.

産地 Japan: Kobe.

Cetonia prasinata Bourg.

Bull. Soc. Ent. France, 1915, p. 104.

産地 Formosa.

あかまだらこがね屬

Anthracophora Burmeister.

體扁平ナル楕圓形脚長カラズ頭楯ハ幅廣ク前緣反張セズ又明カナル切込ミヲ有スルコトナシ。胸背板ハ幅廣ク中庸僅カニ矢筈形ヲナス。前緣ノ兩側ハ緣取ラル。稜狀板ハ稍ヤ長形ニシテ小ニ其先端尖ルコトナシ。翅鞘ハ腹背ノ全部ヲ被覆シ肩ノ後ニテ僅カニ淺キ彎曲セル切込ミヲ有ス。中胸突起ハ扁平ニシテ先端幅廣シ。脛節ハ稍ヤ短カクシテ前脚ノモノ二又ハ三ノ短歯ヲ有シ中後脚ニハ一個ノ先端鋭キ歯ヲ有ス。雄ハ腹面ニ溝

狀部ヲ有スルコトナシ。

本屬ハ印度及ビ東洋ニ產スルモノニシテ我國ニテ記載セラレタルモノ一種アリ。

あかまだらこがね

Anthracophora rusticola Burm.

Taf. V. fig. 1.

Hand. Ent. III. 1842, p. 624.

Harold, Deutsche Ent. Zeitschr. 1878, p. 72.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 199.

Kraatz (*Pœcilophilides*), Deutsche Ent. Zeitschr. 1898. p. 406.

Reitter, Best.-Tab. (33,) 1898, p. 78.

松村松年, 日本千蟲圖解第三. p. 96. pl. 48. fig. 13.♀

產地 Japan, Korea, Amurgebiet, Daurien bis zur Mongolei.

本州,九州,東京。

體長 18—20　幅 10,5—11 mm.

體黃褐色ニテ黑色ノ小斑紋ヲ密布ス。脚及ビ體ノ下面ハ黑シ。

頭部黑色ニシテ僅カニ黃褐部ヲ頭頂ニ存ス。點刻小ニシテ粗ナリ。頭楯短カクシテ幅廣ク前緣平カニシテ前緣角圓シ。

胸背板ハ滑カニシテ僅少ノ點刻ヲ存シ大小ノ黑色斑紋ヲ散布ス。中央ノ兩側ニアルモノ最大ナリ。後緣角ハ圓味ヲ帶ビ其前ニ於テ側緣少シク彎入ス。前緣ニ向テ幅狹シ。

稜狀板ハ長形ニシテ基部ニ近ク中央ニ稜形及ビ先端ニ黑色ヲ呈スル部アリ。

翅鞘ノ側緣ノ彎入部ハ甚緩ナリ。上面ニハ點列ヲ有シ中間帶稍隆起ス。黑色紋ハ小ニシテ不規則ナリ。尾節板ハ黑色ニシテ黃褐ノ斑紋ヲ存ス。

下面黑色ナルモ中胸突起ノミハ黃褐ニシテ光澤ヲ有シ略ボ圓形ヲナス。

しらほしはなむぐり屬

Liocola Thoms.

はなむぐり屬ニ似タル屬ニシテ前胸背ハ稜狀板ノ前ニテ矢箸形ヲナス.中胸部ノ突起ハ前端幅廣クシテ扁平ナリ.雄ハ其腹部ノ中央ニ縱ノ長キ窪ミヲ有ス.此屬中我國ニ產スル種類ハ既記五種アリ.此內予等ノ調査シ得タルハ四種ニシテ別ニ新種一ヲ加フ.

I$_1$　後脛節二毛列ヲ有ス.

II$_1$　體ニ著シキ光澤アリ.雄交尾器ハ先端ニ後方ニ向フ短刺アリ.

たいわんしらほしはなむぐり L. formosana.

II$_2$　體ノ光澤著シカラズ.

III$_1$　頭楯ノ前緣殆ンド直線的ナリ.雄交尾器ハ刺ヲ缺キ前方ニ細長ナリ.

しらほしはなむぐり L. brevitarsis.

III$_2$　頭楯ノ上反セル前緣ノ中央窪ミ二片狀ヲナス.

IV$_1$　大形黑靑銅色,雄交尾器幅廣ク先端ニ外方ニ向ケル短刺アリ.

みやこしらほしはなむぐり L. miyakoensis. n. sp.

IV$_2$　綠色長楕圓形,雄交尾器肥厚シ先端上方ニ向フ.

みどりしらほしはなむぐり L. speculifera.

I$_2$　後脛節二毛列ナク紫黑色ヲ呈ス.

むらさきおほはなむぐり L. insperata.

しらほしはなむぐり

Liocola brevitarsis Lewis.

Taf. VII. fig. 14.

(*Celonia*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1879, p, 463.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1883, p. 10.

Fairm, Rev. d'Ent. 1887, p. 320.

Reitter (*Pachnotoxia*), Best.-Tab. (38) 1898, p. 47.

Arrow (*Protaetia*), Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 406.

松村松年 (*Celonia*) 日本千蟲圖解第三 p, 85. pl. 47. f. 11.

産地 Ostsibirien, China, Japan : Jesso.

鹿兒島,熊本,京都,御殿場,東京,秋田,北海道(天鹽,札幌,漁)四國,臺灣。

體長 20—24　幅 11—14 mm.

體光澤アル黑銅色ニシテ體ノ幅廣ク翅鞘上ニ小ナル斑點ヲ散布ス。最モ普通ナル種類ニシテ其色澤ニハ綠紫ノ變化アリ。

頭部ハ大ナル點刻ヲ有ス。頭楯ハ長形ニシテ側緣ヨリ前緣上反シ前緣ノ中央僅カニ彎入ス。

胸背板ハ前方ニ幅著シク狹ク中央ニ近ク少シク隆起ス。側緣隆線ハ略ボ前緣ニ達ス。上面ノ中央ニハ縱ニ滑カナル部分ヲ殘シテ點刻ヲ有ス。點刻ハ上面ニ小形ニシテ散在シ兩側ニ至ルニ從ヒ大ニシテ圓形ヲナシ稍ヤ密ニ存在ス。稜狀板ニ近ク二個ノ窪ミアル白點ヲ有シ其他數個ノ白點アリ。

稜狀板ハ光澤アル長三角形ヲナシ先端尖ルコトナシ。

翅鞘ハ半圓形ノ大形ノ點刻ヲ有ス。點狀及ビ短線狀ノ十二三個ノ白斑ヲ有ス。中央會合線ニ近キ白斑部ハ凹陷ス。先端ニ近ク會合線ノ兩側窪ミ其兩側瘤狀ニ隆起ス。

尾節板ニハ密ナル皺刻アリ。又小白色斑點ヲ有ス。

下面ハ光澤アリ。胸節ニハ短カキ白色毛アリ。中胸突起ハ先端ノ幅著シク大ナリ。腹節ノ兩側ニハ短カキ帶狀ノ白斑アリ。雄ノ腹溝ハ著シカラズ。

前脛節ハ三齒ヲ有スルモ其第一ハ小ナリ。後跗節ハ前跗節ヨリ短カシ。脛節ノ上端ニハ膝狀白斑ヲ有ス。

本種ハ其色澤又斑紋ニ變化著シク斑紋ノ如キ全ク之ヲ認メ難キモノモアリ。此ノ如クシテ之ガ變種或ハ亞種トシテ學名ノ擧ゲラレタルモノ十三個ニ至レリ。

此內我國ニテ知ラレタルハ朝鮮產ノ一種ノミ。然レドモ予等ノ標本ニシテ既記ノ變種ニ當ルモノヲ求メテ之ヲ擧グレバ次ノ如シ。

變種　こしらほしはなむぐり(新稱)

Liocola brevitarsis. Lew. var. **crassa** Harold.

Bull. Soc. Ent. Belg. 1880, p. VI.

稍ヤ小形ニシテ上面強キ點刻ヲ密附ス。白色斑紋強シ。暗色ニシテ金屬光澤アリ。下面ハ青色又ハ菫色ヲナス。支那北部,北京産トシテ知ラル。

予等ハ京都産ニシテ此記載ニ當ル一個ノ標本ヲ有ス。但シ其形ハ基種ヨリ小ニシテ體長18,幅10 mm. ナリ。

變種　あをしらほしはなむぐり(新稱)

Liocola brevitarsis Lew. var. **viridis** Kraatz.

Deutsch. Ent. Zeitschr. 1883, p. 380.

體上下共ニ綠色ニシテ金屬光澤アリ。支那Kiukiang産ナリ。

予等ノ標本ハ鹿兒島,熊本,岡山,京都産ノモノ合計七個ニシテ之ヲ以テ見ルトキハ暖地ニ多キガ如シ。

變種　てうせんしらほしはなむぐり

Liocola brevitarsis Lew. var. **seulensis** Kolbe.

Taf. V. fig. 3 Taf. VII. fig. 15.

Arch. f. Naturg. 1886, p. 194. t. II. f. 20.

基種ヨリ少シク小形,上下面共ニ濃キ銅色ヲナス。朝鮮産ナリ。

予等ハ之ニ當ル朝鮮産標本二個ヲ有ス。共ニ光澤淡ク翅鞘上ノ一縱隆線基種ヨリ稍ヤ明カナリ。體面ノ白色斑紋ハ原圖ニハ明白ニシテ强キモ予等ノ標本ニテハ殆ンド不明ナリ。雄交尾器ノ形モ基種ヨリ著シク細キモ其構造相似ルヲ以テ産地ニ由ル變化ト見做スベキカ。

たいわんしろほしはなむぐり(新稱)

Liocola formosana Moser.

Taf. V. fig. 18 Taf. VII. fig. 16.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1910, p. 357.

産地 Formosa.

臺灣(補里社)

體長 19—22　幅 11—12,5 mm.

最モヨクしろほしはなむぐりニ似ル.體强キ光澤アリ色ハ變化多シ.全ク雄交尾器ノ形ヲ異ニス.

原記載ニ由ルトキハ上下面共ニ赤銅色ヲナシ光澤アリ細カキ白色ノ斑紋ヲ有ス.頭部,胸背板,翅鞘,尾節板等殆ンドしろほしはなむぐりト同ジ.然シ實物ニ於テ見ルトキハ一般ニ光澤强シ.色ハ予等ノ標本ニハ明カニ三種アリ.即チ赤銅色ノモノヲ基種(補里社産二個)

a. 全ク綠黑色ヲナスモノ(補里社産一個)

b. 黑藍色ヲ呈スルモノ(採取個所不明臺灣産二個)

何レモしらほしはなむぐりノ變種ヨリハ光澤著シク强シ.

最モ著シキ區別點ハ雄交尾器ニシテしらほしはなむぐりニテハ先端ニ向ツテ次第ニ細狹スルモ此種ニテハ急ニ其幅ヲ增シ且擴大部ノ兩側ハ後方ニ向テ鋭尖ス.

むらさきおほはなむぐり

Liocola insperata Lewis.

Taf. V. fig. 5.

(*Glonia*), Ann. Mag. Nat. Hist. 1879, p. 463.

Reitter, Best.-Tab. (38) 1898, p. 47.

Matsumura, Journ. Coll. Agric. Tohoku Imp. Univ. 1911, p. 119.

産地 Nagasaki, Sachalin.

石狩(漁)

體長 19—21, 幅 10,5—12 mm.

體しらほしはなむぐりニ似ル.形稍ヤ細長.上面紫又ハ赤銅色ヲナスヲ普通トスルモ亦種々ノ變化アリ.光澤ヲ有ス.

頭楯ノ前緣殆ンド直線的ニシテ僅カニ上反ス.點刻ハ頭楯密ニ頭頂ニ

強ク粗ナリ.

胸背板ノ側縁ハ基部ニ近ク彎入シ中央ニテ鈍キ角狀ヲナス.縁線ハ中央ヨリ少シク前方ニテ消失シ前縁ニ達セズ.上面ノ中央滑カニシテ點刻上部小ニ兩側ニ大ナリ.側縁ニ近ク網狀ヲナス.

翅鞘上ノ白斑ハ多カラズ.其先端ニ近ク凹陷部ヲ有スルモノ明カニシテ少シク長形ヲナス.

脚ハ體ト同色ナリ.

予等ノ標本ハ三個ニシテ何レモ石狩國產ノモノナリ.色ハ黑紫色ヲナス.記載ニヨルトキハ綠色ノモノ靑銅色ノモノアリ.

みどりはなむぐり(新稱)

Liocola speculifera Swartz.

Taf. V. fig. 6.

(*Cetonia*) Shönh. Syn. Ins. I. 3, 1817, Append. p. 53.
Burmeister, Handb. Ent. III, 1842, p, 474.
Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1883, p. 12.
Waterhouse, Trans, Ent. Soc. London, 1875, p. 114.
Reitter (*Pachnotosia*). Deutsche Ent. Zeitschr. 1891, p. 17.
Moser, Ann. Soc. Ent. Belg. 1910, p. 358.
Arrow (*Protaetia*), Ann. Mag Nat. Hist. 1913, p. 406.
(*Cetonia Orientalis*) Gory et Percb, Mon. Cét. 1833, p. 57, 193,
Kraatz, Deutsche. Ent. Zeitschr. 1883, p. 11.
Arrow (*Protaetia*), Fauna, Brit. India, Lamell. I, 1910, p. 143.

產地 Himaraya, Kaschmir, China, Formosa, Japan.

鹿兒島,大阪

體長 22—24　幅 12—14 mm.

最モヨクしらほしはなむぐりノ綠色種ニ似ルモ光澤アル綠黑色ヲナス.然シ黃色銅色又ハ紫色ヲ帶ブルモノアリ.

頭部ハ稍ヤ强キ點刻ヲ有シ頭楯ノ前緣上反シ中央窪ミ略ボ二片狀ヲナス.

胸背板ハしらほしはなむぐりト殆ンド區別ナク上面ノ各側ニ四乃至七個ノ小白點ヲ有ス。側緣ニモ亦白線アリ。

翅鞘ハ粗ナル點刻ヲ有シ多クノ白色小斑ヲ供フ。翅先ハ稍ヤ强キ角狀ヲナスモ刺狀ヲナスコトナシ。

中胸突起ハ前部ノ幅廣ク扇形ヲナス。

脚ハ稍ヤ短カク後脛節ニハ黃色毛ヲ列生ス。

本種ハ最モヨクしらほしはなむぐりニ似ルモ其雄交尾器ノ形狀全ク異ナリ。即チ著シク肥厚シテ先端上向ス。

本種ノ形狀大(24—26mm.)ニシテ支那產ノモノニ var. *Confuciusana* Thoms. ノ名アリ。又綠色ニシテ胸背板及ビ稜狀板ノ周圍ノ赤色ヲ帶ブルモノニ var. *Thyrsis* Reitt. ナル種アリ亦支那產ナリ。

みやこはなむぐり(新種)

Liocola miyakoensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 6. Taf. V. fig. 14. Taf. VII. fig. 17

產地　宮古島,土佐(宿毛)

體長 23,5—27　幅 13—14 mm.

しらほしはなむぐりニ最モヨク似僅カニ大ナリ。體色ハ銅綠色ヲ帶ビあをはなむぐり var. *viridis* Kraatz. ニ似ル。

頭部ハ殆ンドしらほしはなむぐりト同ジ唯宮古島產ノ雌ニテハ明カニ頭楯ニ細毛ヲ有スルヲ認ム。

胸背板ハ側緣ニ沿ヒテ細キ白線ヲ存シ上面ニ强キ點刻ヲ有ス。其側方ノモノハ搔傷狀ヲナス。

翅鞘ハ又しらほしはなむぐりト同ジキモ翅鞘面ノ縱隆線稍ヤ著シ。

中胸突起ハ前方ノ幅廣シ。

中後脛節ニハ長キ褐色毛ヲ列生ス。

雄ノ腹部縱溝ハ淺クシテ幅廣シ。

最モ異ナルハ其雄交尾器ノ構造ニシテ幅廣クシテ先端ニ外方ニ向ヘ

ル短棘狀突起ヲ有ス。しらほしはなむぐりハ細クシテ突起ヲ缺キたいわんはなむぐりニテハ突起後方ニ向フ。

本種ハ本學ノ標本中しらほしはなむぐりノ內ヨリ別チタルモノニシテ殆ンド一變種ノ如クナルモ其交尾器ノ構造全ク異ナルヲ以テ新種トセルモノナリ。

しらほしはなむぐり屬中予等ノ調査シ得ザリシモノハ次ノ一種ナリ。

Liocola Lenzi Har.

Abh. Nat. Ver. Brem. 1876, p. 128.

産地 Japan.

しろてんはなむぐり屬

Potosia Muls.

頭楯ハ通常二片狀ヲナサズ唯前緣僅カニ緣ヲ有セズ或ハ彎入スルモノアリ。前緣角圓味ヲ帶ブ。胸背板ハ後緣ニ近ク凹壓部ヲ存セズ前緣ハ緣リ取ラルヽコトナシ。前脛節ニハ雌雄共ニ三齒ヲ存ス。雄ハ腹部ニ縱溝部ヲ缺ク。中胸突起ハ稍ヤ扁平ニシテ前方ノ幅廣ク滑カニシテ毛ヲ有セザルカ或ハ點刻ヲ存ス。

本屬中予等ノ檢シ得タリシモノ五種アリ其內二ハ新種ナリ。

I_1 體ノ上面ニ光澤アリ。

II_1 尾節板先端ニ近ク强ク隆起ス。

III_1 體形大ナリ(22 mm 以上) しろてんはなむぐり P. aerata.

III_2 體形大ナラズ(20 mm 以下) いしがきはなむぐり P. ishigakia.

II_2 尾節板先端ニ近ク隆起セズ。上面紫黑色ヲ帶ブ。

からふとはなむぐり P. purpurea.

I_2 體ノ上面ニ光澤ナシ。

IV_1 體綠色ニシテ稜狀板ノミ光澤アリ。

きようとはなむぐり P. nitidiscutellata. n. sp.

IV_2 體黃褐ニシテ稜狀板光澤ナシ。かばいろはなむぐり P. grisea. n. sp.

しろてんはなむぐり(新稱)

Potosia (*Calopotosia*) **serrata** Erichson.

Taf. V. fig. 20.

(*Cetonia*) Nova Acta Halle XVI, 1834, p. 240.
Burmeister, Handb. Ent. III. 1842, p. 798.
Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1883, p. 11, 1889, p. 389.
Reitter, Best.-Tab. (38), 1893, p. 50.
Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 407.

産地 Japan, Korea, China.

鹿兒島,熊本,臺灣.

體長 22—25　幅 13—14 mm.

體ノ外形及ビ大サ最モヨクしろほしはなむぐりニ似ル.然モ其尾節板ノ此種ニ於テ著シク脹起スルコトニ由リ區別シ得ベシ.

頭部光澤アル綠黑色ニシテ大形ノ淺キ點刻ヲ密ニ存ス.唯中央部縱ニ滑カナル隆線アリ.頭楯ノ前緣ハ强ク上反シ二片狀ヲナス.

胸背板ハ光澤ヲ有シ後緣角圓味ヲ帶ブ.上面ノ中央ハ平滑ナルモ側緣ニ向テ强ク大ナル點刻ヲ存ス.凡ソ五双ノ白點ヲ有ス.

稜狀板ハ長形ニシテ平滑ナリ.

翅鞘ハ半圓狀ノ粗點刻ヲ有ス.中央ヨリ先方ノ會合線ノ兩側ニ淺ク幅廣キ溝狀部アリ.其上ニ各二個ノ白色斑紋ヲ存シ其側方兩斑ノ中央ノ位置ニ側緣ニ達スル長形ノ白斑アリ.

尾節板ハ細カキ點刻ト散在セル白斑ヲ存ス.雄ハ先端ニ近ク著シク圓ク隆起シ雌ハ兩側稍ヤ壓凹セラレ中央縱ニ光澤アル隆起ヲナス.

下面ハ光澤アル綠黑色ニシテ胸部ニ一網狀ノ缺刻ト細白毛ヲ具ヘ,三個ノ中央腹節ハ各側ニ二個ノ白斑ヲ有ス.

此種ニハ上下共ニ綠色ヲナセル者及ビ銅色ヲ帶ブルモノトアリ.

いしがきはなむぐり

Potosia (*Calopotosia*) **ishigakia** Fairm.

Taf. V. fig. 4.

(*Cetonia*) Bull. Soc. Ent. France, 1898, p. 14.
Schoch, Mitteil. Schweiz. Ent. Ges. X. 1898, p. 181.
Arrow (*Protaetia.*), Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 407.

産地 Ishigaki Is.

石垣島.

體長 17—18　幅 9—10 mm.

黒味アル青銅色ニシテ光澤アリ.翅鞘ノ白色斑紋部分ハ稍ヤ强ク窪ム.

頭楯ノ前緣少シク上反シ中央僅カニ彎入ス.兩側緣ノ外一樣ノ點刻ヲ有ス.前頭部ノ點刻ハ强大ニシテ後頭部ニ向テ中央ニ滑カナル縱隆線ヲ有ス.

胸背板ハ中央ニ近ク細キ滑カナル部分ヲ殘ス外稍ヤ大ナル粗ニ排置セル點刻ヲ有ス.中央ニ近ク一双稍ヤ後緣ニ近ク一双ノ白斑アリ.斑紋部ハ凹沒ス.其他後緣角ニ近キ不規則ナル斑紋及ビ側緣ニ沿ヘル白色ノ細帶ヲ具フ.

稜狀板ハ滑カニシテ光澤アリ.長形ナリ.

翅鞘ハ稜狀板ニ沿ヒテ窪ミ面上ニ粗大ナル點刻ヲ有ス.白斑ハ會合線ニ於テ二双アリ.其上方ノモノノ下ヨリ斜メニ外緣ニ細長紋アリ.其他側緣及ビ肩部ニ近ク散在セル小斑ヲ存ス.

尾節板ハ光澤アリ.先端ニ近ク强ク隆起シ二双ノ白斑ヲ供フ.

下面ハ黒味强ク稍ヤ綠色光澤アリ.胸部ニハ白斑アリ.

腹節ノ兩側ニモ亦小斑アリ.中胸突起ハ扁平ニシテ前部幅廣ク圓味ヲ帶ビ僅少ノ細點刻アリ.

からふとはなむぐり

Potosia purpureipes Matsumura.

(*Cetonia*), Journal Coll. Agric. Sapporo, IV, 1911, p.119.

産地 Sachlin: Shiraraka, Solowiyofka, Tonnaitcha.

樺太

體長 16—20　幅 9—10 mm.

上面綠黒ニシテ小白點ヲ有シしらほしはなむぐりニ似ルモ體著シク

小ナリ。

頭部ハ頭楯及ビ後頭部密ニ中央粗ナル點刻ヲ有ス。頭楯ノ前緣ハ上反シテ中央少シク窪ム。

胸背板ハしらほしはなむぐりニ似テ側緣及ビ後緣ニ稍ヤ紫色光澤アリ。

稜狀板ハ紫黑色ニシテ滑カニ光澤アリ唯基部ニ於テノミ僅カノ點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ會合線ニ沿ヒ光線ニ由リ紫色ヲ呈ス。半圓狀及ビ細點狀ノ刻點ヲ存ス。中央ヨリ先方ノ窪メル部分ニアリテハ刻斑相連合ス。

下面及脚ハ紫黑色ヲナシ中胸突起ノ前方ニ幅廣シ。

後胸節ニハ黃褐色或ハ淡色ノ毛孔アリ。

雄ノ腹部縱溝ハ全ク之ヲ缺ク。

和名ハ松村博士ニ由リテからふとおほはなむぐりトセラルヽモ形體大ナラザルヲ以テ「おほ」ノ二字ヲ除クコトヽセリ。

きようとあをはなむぐり(新種)

Potosia nitidiscutellata Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. V. fig. 2. Taf. VII. fig. 18.

産地　京都(花園,貴船)

體長 21—24　幅 12—13 mm.

體ノ上面綠色ニシテ光澤ナク唯稜狀板ノミ强キ光澤アリ。翅鞘ノ白斑ハ細キ曲線狀ヲナス。

頭部光澤アリ唯前頭部ノ兩側少シク溷濁ス。頭楯ノ前緣紫色ヲ帶ヒ其中央少シク彎入ス。不規則ニ稍ヤ細カキ點刻ヲ有ス。頭ノ中央ハ弱ク隆起ス。

胸背板ハ側緣弧線狀ヲナシテ前方ニ狹搾シ紫色ヲ帶ベル側邊ハ前緣マデ明カニ緣取ラル。點刻ハ上面小ニ側方ニ大ナリ。然シ掻傷狀ヲナスコトナシ。側緣ニ沿ヘル細キ白帶ト略ボ七双ノ小白斑ヲ存ス。

稜狀板ハ强キ光澤アリ。長形ニシテ中央ニ弱キ隆線ヲ有ス。

翅鞘ハ光澤ナキ綠色ニシテ點刻甚ダ弱ク細點列ヲナス外肩ニ近ク半圓狀ノ淺キ點刻ヲ認メ得ベシ。白色斑ハ會合線ノ先端ニ近キ部分ヨリ左右ニ略直角ニ屈曲セル線狀ヲナシテ翅端隆起部ノ方向ニ達スルモノ及ビ側緣ノ中央ヨリ少シク下ノ部分ヨリ發スル屈折狀ノ線ヲナスモノ最モ著シク形ヲ異ニセル小斑紋ヲ散在ス。

尾節板ハ光澤無ク幅廣クシテ隆起スルコトナク僅少ノ白斑ヲ存ス。

下面ハ脚ト共ニ光澤アル紫黑色ニシテ胸部ニハ黃褐ノ細長毛ヲ有シ白斑ヲ散布ス。腹節ノ兩側ニハ小白斑アリ。雄ハ腹溝ヲ缺ク。前脛節ノ外齒ハ雌雄共ニ三個ナリ。

雄交尾器ハ幅廣ク鞘部ノ先端ハ外方ニ向ヒテ少シク鈍齒ヲ有ス。

予等ハ京都附近ニ於テ採取セラレタル四個ノ標本ヲ有ス。

かばいろはなむぐり(新種)

Potosia grisea Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. V. fig. 7

產地　臺灣

體長 19－20　幅 11—12 mm.

黃褐色ニシテ光澤ナク體面ニ短刺毛ヲ有ス。下面及ビ脚ノ大部ハ光澤アル紫黑色ナリ。

頭楯ハ略四角形暗褐色前緣黑色ヲ帶ビ僅カニ上反シ中央淺ク彎入ス。點刻甚微細ニシテ略ホ認メ難シ。前頭ハ散在セル細點刻ヲ有シ眼ニ近ク黃褐毛ヲ存ス。

胸背板後緣角圓ク側緣細ク緣取ラル。中央滑カナル縱線アルモ前緣ニ達セズ。點刻ハ比較的小ニシテ各一個ノ黃褐色ノ短刺毛ヲ存ス。數個ノ淡色斑ヲ有ス。稜狀板ハ光澤無ク滑カナリ。

翅鞘ハ針搔狀ノ點刻アリ短刺毛ヲ生ス。翅鞘面ノ左右中央ヨリ翅端隆起ニ達スル細キ帶黑色隆線アリ。此黑色線ノ先端ニ近ク會合線ヨリ斜ニ翅鞘ノ側緣ニ達スル者ト黑線ノ上部ニテ側緣トノ間ニ連ナル淡色ノ斑

紋アリ.其他ニ散在セル多クノ斑點アリ.

尾節板ハ又密ナル掻傷狀ノ點刻ト短刺毛アリ.小ナル斑紋ヲ存ス.

下面ハ紫黑色ニシテ光澤アリ.胸部ノ兩側ニハ黃色ノ斑紋ト長黃色毛ヲ生ス.前中脚ノ基節ノ大部ヨリ腿節後基節ト腿節ノ前部ハ黃色斑ト長黃色毛ヲ存ス.腹節ノ兩側モ亦黃斑ト黃刺毛ヲ具フ.尾節ノ前節ノ斑紋殊ニ大ナリ.

本標本ハ主トシテ松村博士蒐收ノ本大學標本五個ニ由リタルモノニシテ予等ハ雌一個ヲ有ス.

本屬中記載アルモノニテ予等ノ檢シ得ザリシモノ次ノ如シ.

Potosia exasperata Fairm.

(*Cetonia*) Ann. Soc. Ent. France, 1898, p. 386.

産地 Liu-Kiu: Oshima.

Potosia formosana Moser.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1910, p. 357.

産地 Formosa.

Potosia famelica Jans. subsp. **Amurensis** Heyd.

Deutsche Ent. Zeischr. 1886, p. 285.

Reitter, Best.-Tab. (38) 1898, p. 58.

産地 Amur, Korea.

はいいろはなむぐり屬

Protaetia Burmeister.

頭楯單簡ニシテ前緣多少上反ス.胸背板ハ基部ノ兩側斜狀ヲナス.稜狀板ハ長形ニシテ先端尖ルコトナシ.翅鞘ノ中線刺狀突出スルカ或ハ銳角ヲナス.前脛節ハ二外齒ヲ有スルヲ常トス.中胸突起ハ短カクシテ幅廣シ.

予等ノ檢シ得タル本屬ノモノハ一新種ノミナリ.

はいいろはなむぐり

Protætia taiwana Niijima et Matsumura n. sp

Taf. II. fig. 4.

産地　臺灣

體長 14—15,5　幅 8—9 mm.

體色灰黑ニシテ光澤ナク光線ニヨリ小シク綠色又ハ銅色ヲ呈ス。胸背板及ビ翅鞘僅カニ細短ノ毛ヲ有ス。細カキ黃白色ノ斑紋アリ其翅鞘ノ兩側ニアル各二個ノモノ大ナリ。

頭部ハ光澤アル黑色ニシテ頭楯ハ略四角形ヲナシ小數ノ大ナル點刻ヲ有ス。唯其會線ニ近ク密ナリ。前頭部ハ中央ニ縱ノ光澤アル隆線ヲ有シ强キ點刻ヲ存ス。其他稍長キ白色ノ鱗毛アリ。

胸背板ハ前部ニ著シク狹搾セラレ上面圓味ヲ帶ブ。點刻ナシ。後緣角ハ又圓味ヲ帶ビ後緣ノ中央ハ强ク矢筈形ヲナス。中央縱線狀ノ部ヲ除キ小ナル多數ノ散點狀ノ黃白色斑紋ヲ有ス。後緣ノ兩側ニ線狀ノ黃白部アリ側緣ヨリ後緣ニ小數ノ鱗毛ヲ存ス。

稜狀板ハ稍ヤ長形ニシテ鈍ク尖リ點刻ナク基部ノ兩側ニ鱗毛ヲ有ス

翅鞘ハ會合線ノ先端棘狀ヲナシ鋭ク突出ス。黃白ノ斑紋ハ外側ニ沿ヒテ大ナル二個ト翅端ニ近ク群狀ヲナスモノヽ外小數ノ散點狀ヲナスモノアリ。點刻ハ小數ニシテ淺ク半圓形ヲナス。

尾節板ハ甚ダ微細ナル殆ンド注意シ難キ針掻樣ノ點刻ヲ有シ兩側ニ稍ヤ大ナル黃白斑ヲ具フ。其他ニ鱗毛ヲ散生ス。

下面ハ光澤アル黑色ニシテ胸部ニハ長キ白色鱗毛ヲ密生シ腹部ニハ兩側面ニ黃白色ノ斑紋アリ散在セル半圓形ノ强キ點刻上ニ白色鱗毛ヲ生ス。前脛節ノ外齒ハ二個ナリ。

此屬ニテ既ニ記載セラレタルモノ三種アルモ本種ハ形狀斑紋ニ於テ全ク異ナルモノアリ。予等ノ調査セル標本ハ田中芳男氏ノ補里祉ニテ採收セル一個ノ外五個ノ松村博士蒐收ノモノナリ。

我國產ニシテ既ニ記載セラレタルモノ三種ハ予等未ダ之ヲ見ル能ハザリキ即次ノ如シ。

Protætia orientalis Gory et Perch.

(*Cetonia*) Mon. Cet. 1833, p. 57, 193, t. 34. f. 6.

Burm, Handb. Ent. III. 1842, p. 474.

産地 Japan, Formosa, China, Kaschmir, Himalaya.

Protætia spinosa Moser.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1911, p. 122.

産地 Formosa.

Protætia culta Waterh.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1879, p. 247.

産地 Formosa: Kosenpo.

りうきうはなむぐり屬

Pyropotosia Reitter.

稜狀板ハ先端ニ於テ鋭尖セズ前脛節ハ雄二雌三ノ齒ヲ有シ。後脛節ハ二ノ端棘ヲ具フ。後跗節ハ簡單ナルモ平面ハ黃色ノ毛群ヲ有ス。中胸突起ハ扁平ニシテ前部幅廣シ。雄ハ腹溝ヲ缺ク。

此屬ニハ全體トシテ唯一種ノ記載セラレタルモノアルノミナルモはなむぐり屬中ニ加ヘラレタルおほりうきうはなむぐりモ性質上此屬ニ入ルベキモノナルヲ以テ玆ニ移スコトヽセリ。此兩種ハ形ノ大小ト胸背板ノ點刻ニ由リ區別シ得ベシ。

りうきうはなむぐり

Pyropotosia pryeri Jans.

Taf. V. fig. 17.

(*Cetonia*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1888, p. 195.
Schooh, Mitteil. Schweiz. Ent. Ges. IX, 1896, p. 387.
(*Potosia oschima*) Nonfr, Berl. Ent. Zeitschr. 1895, p. 293.
Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1896, p. 335.
Reitter (*Preyeri*), Best. -Tab. (38) 1898, p. 45.

産地 Liu-Kiu: Oshima.

琉球

體長 24—25　幅 13 mm.

體幅廣ク稍ヤ扁平ニシテ綠色光澤アリ。

頭楯ハ前緣上反シ中央少シク彎入シテ略ボ二片狀ヲナス。淺キ點刻ヲ有ス。前頭部ハ點刻少シク强シ。

胸背板ハ後緣角圓クシテ點刻中央ニ細カク兩側ニ强シ。中央ニ近キ兩側ニ群狀ノ點刻アリ。稜狀板ハ細長ニシテ滑カニ光澤强シ。

翅鞘ハ會合線ノ中央ノ兩側ヨリ先端ニ向テ凹入セル部アリ淺キ大形ノ點刻ヲ有ス。其他ノ點刻ハ略ボ一樣ナリ。

尾節板ハ先端ニ近ク稍ヤ圓ク隆起シ强キ綠色光澤アリ。

下面ハ又光澤アル綠色ニシテ脚ハ稍ヤ紫色ヲ帶ブ。前胸節ノ外齒ハ雄二雌三ナリ。

雄ノ交尾器ハ滑カニシテ先端ニ短齒ヲ有セズ。

おほりうきうはなむぐり(新稱)

Pyropotosia Lewisi Jans.

Taf. VI. fig. 12.

(*Cetonia*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1838, p. 194.

產地 Liu-Kiu.

沖繩石垣島

體長 27　幅 15 mm.

大形ニシテ綠色光澤アリ雌ハ少シク扁平ナルモ雄ハ圓味ヲ帶ブ。最モヨクりうきうはなむぐりニ似テ形大ナリ。

頭楯ハ前緣明カニ緣取ラレ中央ニテ弱ク彎入ス。點刻稍ヤ强シ。前頭ハ中央ニ於テ弱キ縱隆起ヲ有シ散點ヲ存ス。

胸背板ハ著シク光澤アリ。後緣角ハ圓味ヲ帶ブ。上面中央ニ甚ダ微小ニ側方ニ大形ナル點刻ヲ有ス。

稜狀板ハ長形ニシテ先端尖ラズ點刻ナシ。

翅鞘ハ又强キ光澤アリテ稜狀板ノ周圍殆ンド滑カニシテ肩ノ內部及ビ前部ニ圓形ノ大ナル點刻ヲ有ス。會合線ノ兩側中央以下ノ部ニ於テ帶狀ニ窪ミヲ有ス此上ニ淺キ馬蹄形ノ點刻ヲ有ス。翅鞘ノ先端ノ角度ハ銳

ナラズ。

尾節板ハ先端稍ヤ圓ク隆起ス。其兩側雌ニアリテ少シク窪ム。

下面ハ又濃綠色脚ハ銅紫色ヲ帶ブ中胸突起ハ扁平ニシテ前方ノ幅廣シ。前脛節ハ雄ニ二雌三齒ヲ具フ。後跗節ハ雌ニ於テ雄ヨリ短カシ跗節ノ下面ニ存スル毛ハ短カシ。後脛節ノ內面ニ黃褐ノ稍ヤ長キ毛アリ。

雄交尾器ハ先端圓味ヲ帶ビ黃褐毛ヲ密生ス。

本種ハ同地方ニ產スルりうきうはなむぐりニ似ルモ形ノ大ナルト點刻ノ翅鞘上殊ニ稜狀板ノ周圍ニ少ナキト交尾器ノ構造全然相異ナルトニ由リテ區別シ得ベシ。

くろはなむぐり屬

Glycyphana Burm.

體細長ニシテ脚ハ稍ヤ短カシ。頭楯二片狀,前緣上反セズ。胸背板ハ短カクシテ後緣角圓味ヲ帶ブ。後緣ノ中央矢筈形ヲナサズ。稜狀板ハ細長形ニシテ側線弧線狀ヲナシ先端尖ラズ。前脛節ノ外齒ハ雌雄共ニ三個ナリ。後脛節ハ先端ニ强キ刺棘ヲ有ス。跗節ハ一般ニ短カシ。中胸突起ハ扁平ナリ。雄ハ腹溝ヲ缺ク。

本屬ニテ我國ニ知ラレタル二種アリ。一種臺灣產ノモノハ其標本ヲ得ル能ザリキ。

くろはなむぐり

Glycyphana fulvistemma Mots.

Taf. V. fig. 10.

Mots., Schrenck Reis. 1860, p. 135.

Waterh., Trans. Ent. Soc Lond, 1875. p. 114.

(*Glycetonia*) Reitt, Best.-Tab. (38) 1898, p. 44.

Kolbe, Arch. f. Natg. 1886, p. 196.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, P. 237.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 199.

Fairm. Ann. Soc. Ent. Belg. 1887, p. 117.

松村松年, 日本千蟲圖解第三 p. 188. pl. 47. f 16

産地 Mongolia, Daurien, Japan, Korea.

京都,東京

體長 12—14　幅 7—8 mm.

黑色ニシテ上面絨毛狀下面光澤アリ。翅鞘ノ略ボ中央ニ白色ニ少シク淡褐ヲ帶ビタル橫條形ノ不規則ナル輪郭ノ斑紋アリ。

頭部ハ頭楯ト共ニ淺キ大ナル點刻ヲ有ス。頭楯ノ前緣ハ彎入シ僅カニ上反ス。

胸背板ハ兩側緣ヨリ前緣ニ圓味ヲ帶ブ。上面ノ點刻ハ中央ヨリ兩側ニ向テ大形ヲナシ半圓狀ニシテ甚密ナラズ。二個ノ白色點斑ヲ有ス。側緣又同色ヲ帶ブルモノアリ。

翅鞘ニハ會合線及ビ上面ニ二個ノ縱隆線アリ。略ボ中央ニ外方幅廣ク內部互ニ分離セル白色或ハ淡褐ノ斑紋アリ。之ヨリ先方ニ尙一個ノ小斑ヲ有ス。

尾節板ハ幅廣ク二個ノ淡褐斑アリ。先端ニ近ク灰白ノ短毛ヲ存ス。

下面光澤アル黑色ニシテ後胸部及ビ腹部ノ各節ノ兩側ニ小淡褐紋アリ。

之ニ次ノ一變種記載セラル。

Glycyphana fulvistemma Mots. var. (*Euryomia*) **Sieboldi** Snell.

Vollenh. Tijdschr. Ent. 1864, p. 158.

此他ニ次ノ一種アリ。

Glycyphana incongrua Jans.

Cist. Ent, II. 1878, p. 388.

産地 Formosa.

こあをはなむぐり屬

Oxycetonia Arrow.

頭楯長形ニシテ前方ニ幅狹ク前緣深ク凹入ス。緣ハ反張セズ。胸背板ハ

基部幅廣ク稜狀板ノ前部矢筈形ヲナス。稜狀部ハ短カク基部幅廣ク先端稍ヤ尖銳トナル。翅鞘ハ肩部ノ下ニテ明カナル切込ミヲ有シ先端ノ角度ハ銳キモ伸長セズ。中胸部ノ突起ハ短カク前端圓味ヲ帶ブ。前脛節ハ强キ三齒ヲ有ス。後脛節ハ手指狀ヲナスコトナク刺棘ハ短カシ。下顎ハ細クシテ先端ニ長毛ヲ有ス。

こあをはなむぐり

Oxycetonia jucunda Falderm.

Taf. V. fig. 9.

(*Glycyphana*) Faldermann, Mém. Acad. Petr. II. 1835, p. 50,
(*G. argyrostra*) Burm. Handb. III. 1842, p. 360.
Kraatz, (*Glycyphana*) Deutsch. Ent. Zeitschr, 1879, p. 235.
Heyden, Deutsch. Ent. Zeitschr. 1879. p. 347.
Kolbe, Arch. Naturg. 1886. p. 195.
Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887. p. 199.
Reitter, Best.-Tab. 38, 1898, p. 35.
Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 407.
松村松年 (*Glycyphana*), 日本千蟲圖解第三 p. 88. pl. XLVII. f. 15.
(*Glycyphana albosetosa*) Motschulsky, Etud. Ent. 1861, p. 9.
Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 114.

産地 Nepal, Bengalen, Sikkim, Assam, Sibirien, Korea, China, Californien, Japan; N. et S. Hiogo.

京都,栃木,岡山,仙臺,長崎,高知,別府.

體長 11—15　幅 6,5—9 mm.

上面光澤無キ綠色ニシテ毛ヲ生ズ。白色ノ斑紋ハ多カラズ。下面黑色ニシテ光澤ヲ有シ。多少黃毛ヲ密生ス。上面ノ毛ハ多キモノト殆ンド無キガ如キモノアリ。色モ甚變化多シ。

頭部ハ長形ニシテ小ナル點刻ヲ密ニ存ス。頭楯ノ前端ハ鈍ク二片狀ヲナス。

胸背板ハ强キ點刻ヲ稍不規則ニ散布シ短カキ褐色毛ヲ生ズ。側方ハ點刻縱ニ相聯ル側緣强ク彎曲ス。後緣ハ稍ヤ平カナルモ中央明カニ矢筈狀ヲナス。側緣ニ沿フテ白キ細帶ヲ存シ。上面ニ二個ノ細點ヲ具フ。

稜狀板ハ中庸ノ長サニテ先端尖ルモ鋭尖ナラズ。

翅鞘ハ强キ點刻アル線條ヲ有シ兩側ニ强キ切込ミヲ存ス。先端節ハ稍ヤ鋭シ又毛ヲ有ス。殊ニ先端ニ近ク多シ。多クハ小形ナル白色斑紋點アリ。其主ナルモノハ肩ニ一個外緣ヨリ先端ニ沿フテ四個其內中央ヨリ少シク前方ノモノ最大ニシテ短カキ一字形ヲナス。會合線ニ近ク先端ニ偏シテ一個其他細點狀ノモノ數個アリ。

尾節板ハ兩側ニ二個ヅツノ白斑ヲ有ス。

下面ハ黑色光澤アリ。胸節ニ淡黃色毛ヲ生ズ。中胸突起ハ先端圓形ヲナシ稍ヤ長形ナリ。

前脛節ノ三齒ハ鋭シ。後脛節ハ稍ヤ長形ニシテ其端棘ハ雄ニ於テ雌ヨリ短カシ。

此ノ種ハ最モ普通ナルモノノ一ニシテ我國ノミナラズ印度支那ニ產ス。其色及ビ斑紋ニ於テ多クノ變化アリ。予等ノ有スル標本ハ多數ナルモ胸背板ニ明カナル白色ノ帶緣ヲ有スルモノ甚少ナシ。斑紋ハ全ク之ヲ缺クモノ又毛ヲ有セザルモノアリ。斑紋ノ色モ稍ヤ黃色ヲナスモノアリ。本種ハ色澤斑紋ノ變化ニ由リ數種ノ變種ノ記載セラレタルモノアリ。其內我國ニ知ラレタルモノ次ノ如シ。

變種あかいろこはなむぐり(新稱)

Oxycetonia jucunda Fald. var. **ferruginosa** Reitt.

Reitter (*Gametis*), Best.-Tab. (38) 1898, p. 35,

基種ト斑紋ヲ同シクシ毛ヲ有ス。下面黑色ニシテ上面銅赤色ヲ帶ブ。朝鮮ニ產スルトシテ知ラレタルモノナルモ我國ニモ少ナカラズ。予等ノ有スル標本ハ長野縣產七個仙臺附近ノモノ一個ナリ。

本種ノ外こはなむぐり屬ニ屬スルモノ次ノ二種アリ共ニ予等ノ標本ヲ缺ク。

Oxycetonia costigera Bourgoin.

Bull. Soc. Ent. France 1915, p. 168.

産地 Japan.

Oxycetonia forticula Jans.

Cist. Ent. II. 1881, p. 638.

Schoch. Mitteil. Schweiz. Ent. Ges. 1896, p. 391.

産地 Japan, Formosa.

ほそはなむぐり區

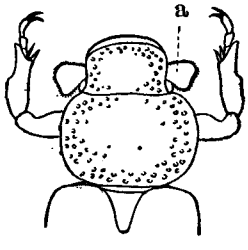
Cremastochilina

此内ニテ我國ニ記載セラレタル者唯一屬一種ノミ即チ次ノ如シ。

ほそはなむぐり屬

Callynomes Westwood

形著シク細長ニシテ口器ハ全ク下層基節 (mentum) ノ下ニ隱サル。觸角ノ基節著大ニシテ下層基節ト前脚基節ト前側板トノ間ノ位置ヲ占充シ靜止ノトキハ觸角ノ他ノ部分ヲ被覆ス(第十二圖a)。下層基節ハ甚大ニシテ扁平滑カナリ。頭部ノ腹面ヲ被ヒテ前脚基節ノ中間ニ及ブ。中胸突起ハ甚細ク明カニ基節ノ間ニ突出セズ。脚ハ稍ヤ長ク前脛節ハ二小齒ヲ有ス。跗節ハ四節ニシテ短カシ。體ノ最後ノ氣門ハ突出ス。



第十二圖
ほそはなむぐりノ頭及胸背板　a 觸角ノ基節

本屬中我國ニ記載セラレタルモノ一種アリ。即チ朝鮮產ノ一種ニシテ次記學名ヲ有スルモノナリ。予等ハ此屬ノ朝鮮產ノ標本一個ヲ松村博士蒐集ノ大學標本中ニ見出スヲ得タリ。然ルニ予等ハ此種ニ對スル原記載ヲ見ル能ハザルヲ以テ之ヲ確定シ得ザルモ元來甚稀ナル種類ナルヲ以テ暫ラク此學名ヲ標本ニ當ルモノトシテ記載ヲナサントス。

ほそはなむぐり

Callynomes obsoletus Fair. (?)

Ann. Soc. Ent. France, 1878 p. 108.

Kolbe, Arch. Naturg. 1886, p. 196.

産地 Korea.

朝鮮

體長 12　幅 5 mm.

黑色光澤アリ,翅鞘上ニ二双ノ小白斑ヲ有ス。

頭部ハ稍ヤ強キ不規則ナル點刻ヲ有ス。頭楯ハ幅廣クシテ側緣ヨリ前緣圓味ヲ帶ブ。下唇基節ハ心臟形ヲナシ光澤アリ。觸角ノ基節ハ三角形ヲナシテ眼ノ兩側ニ存ス。其緣ニ微細ナル短毛ヲ存ズ(第十二圖)。

胸背板ハ楕圓形ニシテ後緣角圓シ點刻稍ヤ強キモ密ナラズ。

稜狀板ハ先端甚鋭ク尖リ上面ニ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ上面平カニシテ粗大ナル點刻アリ略中央ノ會合線ノ兩側ニ長方形ノ小白斑ト其他ニ二双ノ小點斑ヲ有ス。

尾節板ハ光澤アリ少シク圓ク隆起ス。

下面ハ黑色ニシテ光澤强ク小數ノ多ク半圓狀ヲナセル點刻ヲ存ス。前脛節ハ二個ノ鈍キ外齒ヲ有スル外後方ニ向テ鈍キ一齒ヲ存ス。跗節ハ四節ニシテ短カシ。

以上記載セル標本ハ本學昆蟲學教室ニ屬シ水原產一個雌ナリ。

第七節　とらはなむぐり亞科

Trichiinæ.

此亞科ハ最モはなむぐり亞科ニ近ク或ハ其內ノ一類トセラル。體緊實ニシテ外部はなむぐり亞科ノモノヨリ柔軟ナリ。脚細長ニシテ活潑ニ動カシ得ベシ。中胸部ノ側板ハ翅鞘ノ肩ト胸背板トノ間ニ達スルコトナシ。胸背板ノ基部ハ翅鞘ト密ニ會合セズ。即チ翅鞘ノ前部ハ稜狀板ト共ニ隆線ヲナシ胸背板ハ之ニ對シ靜置シ得ルモノトス。故ニ其胸部ヲ伸バシテはなむぐりノ類ヨリハ自由ニ之ヲ動カスコトヲ得ル。翅鞘ノ側緣ハ肩ノ下ニテ彎入セズ。

本亞科中我國ニ產スル屬ハ四アリ。即チ次ノ如シ。

I_1　前脛節ノ外齒ハ三個ニシテ後脛節ハ後角ニ二齒ヲ有ス。

おほちやいろはなむぐり屬 Osmoderma.

I_2　前脛節ノ外齒ハ二個ナリ後脛節ハ後角ニ一齒狀突起ヲ有ス。

II_1　前跗節ノ第一ハ眞直簡單ニシテ脛節ノ端棘ヨリ短カシ。

III_1　前脛節ハ內側ノ先端ニ一可動ノ刺棘ヲ有ス。雄ノ中脛節ハ强ク曲ル。

あしながはなむぐり屬 Gnorimus.

III_2　前脛節ハ其內側ニ刺棘ヲ有セズ。雄ノ中脛節ハ眞直ナリ。

おほとらはなむぐり屬 Paratrichius.

II_2　前跗節ノ第一節ハ少シク彎曲シ脛節ノ端棘ニ比シ雄ニテ長ク雌ハ短カシ。上面多少ノ毛ヲ生ス。

とらはなむぐり屬 Trichius.

おほちやいろはなむぐり屬

Osmoderma Serville.

前脛節ニハ三個ノ外齒ヲ有シ後脛節ハ後角ニ二ノ齒狀突起ヲ存ス。稜狀板ハ長三角形ニシテ尖ル。跗節ハ脛節ヨリ短カシ。雄ハ前跗節太クシテ其前四節ハ內方ニ棘狀ニ突起ス。頭楯ハ觸角ノ附着部ニテ瘤狀ニ張出ス。大形ニシテ黑褐色ヲナス。

おほちやいろはなむぐり(新稱)

Osmoderma opica Lewis.

Taf. VI. fg. 6.

Wien. Ent. Zeit. 1887, p. 94.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 199.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

産地 Tokio, Nikko, Chiuzenji, Imaichi.

日光

體長 27　幅 13 mm.

體黑褐色ニシテ光澤アリ.胸背板上ニ二個ノ縱隆線ヲ有ス.

頭部黑色後頭部光澤アリ.頭楯長方形ニシテ表面疎ミ細微ナル皺刻アリ前緣ハ平カニシテ著シク上反ス.前頭ニハ稍强キ點刻アリ.

胸背板ハ中央ヨリ少シク前方幅廣ク略六角形ヲナス.强キ點刻ヲ不規則ニ散布ス.中央ニ太キ二ノ隆條アリ其前方殊ニ隆シ.前緣ニ近キ左右ニ又瘤起アリ之等ノ間ハ少シク凹入ス.

稜狀板ハ長三角形ニシテ稍ヤ尖ル.

翅鞘ハ光澤アリ.少シク赤褐色ヲ帶ブ.上面平カニシテ不規則ニ散布セル點刻ト横皺トヲ有ス.翅端ニ近キ兩側ノ瘤起ハ明カナリ.

尾節板ハ黑色ニシテ光澤アリ.凹味ヲ帶ビ小ナル長形ノ點刻ヲ有ス.基部ニ近ク兩側ニ綾ニ疎メル部アリ.

下面ニハ强キ光澤アリ.脚及ビ觸角ト共ニ黑褐色ヲナス.

予等ノ標本ハ日光産一個ナリ.

本屬中予等ノ調査シ得ザル他ノ一種アリ.

Osmoderma barnabita Motsch.

Schrenk, Reise. 1860, p. 134, t. 9, f. 6.

Harold, Deutsche Ent. Zeitschr. 1878, p. 72.

産地 Tokio.

松村博士ハ本種ヲ樺太ヨリノ採取ニ記シ(Journ. Tohoku Imp. Agr. Univ.

1911, p. 120)其和名ヲこあしながはなむぐりト稱セリ。然ルニ本種ハ其形著シク大ニシテ脚ハ長カラズ。故ニ此ノ和名ヲ有スル標本ハ本種ニアラザルカト思ハル。且ツ此標本本學昆蟲學教室ニ存セザルヲ以テ暫ク疑ヲ存ス。

あしながはなむぐり屬

Gnorimus Serv.

前脚脛節ノ外緣ニハ二齒ヲ有シ後脛節ハ後角ニ一個ノ齒狀ノ突起部ヲ有ス。稜狀板ハ短三角形ヲナシ先端圓シ。前跗節ノ第一ハ單簡ニシテ前脛節ハ一個ノ端棘ヲ有ス。上面ニ毛ヲ有セズ。雄ノ中脚ノ脛節ハ膝狀ニ曲リ前端ニ近ク幅少シク廣シ。跗節ハ先端ノモノヽ外ハ下面ノ先端ニ毛群ヲ有ス。尾節板ハ其傾ムケル部分ニ於テ二ノ瘤起ヲ有ス。雌ハ殊ニ大ナリ。

此屬ノ甲蟲ニシテ我國ニ記載セラレタルモノ二種アリ。予等ハ其一種ヲ有シ別ニ二新種ヲ得タリ。

I_1　翅鞘美黃色ヲナシ翅端ハ紫色ヲ呈ス。

たいわんとらはなむぐり G. formosanus n. sp.

I_2　翅鞘ニ黃色部ナシ。

II_1　翅鞘綠色ヲ帶ビ白點ヲ有ス。

あをあしながはなむぐり G. viridiopacus.

II_2　翅鞘黑色ニシテ中央ニ二對ノ橫線狀ノ斑紋アリ。

くろあしながはなむぐり G. Otsukae n. sp.

あをあしながはなむぐり

Gnorimus viridiopocus Lewis.

Taf. VI. fig. 2.

Wien. Ent. Zeit. 1887, p. 49.

Ann. Mag. Nst. Hist. 1887, p. 200.

Arrow, Ann, Mag. Nat. Hist. 1913, p. 200.

産地 Tsushima, Chiuzenji.

日光,飛彈,天龍,上川,樺太.

體長 18—21　幅 9—10,5 mm.

體濃綠色ニシテ光澤アリ。翅鞘上ニ六對ノ白點ヲ有ス。體色稍紫色ヲ帶ブルモノアリ。頭部ハ綠黑色ニシテ大ナル點刻ヲ密ニ存ス。頭楯ハ長形ニシテ前緣上反シ中央ニ於テエグラレタル如ク彎入ス。

胸背板ハ光澤ヲ有シ側邊ノ中央ニ於テ角狀ヲナシ略六角形ヲ成ス。點刻甚密ナリ。中央ニ稍ヤ强キ縱ノ凹溝線ヲ有ス。三對ノ白點ヲ存ス。

稜狀板ハ半圓形ヲナシ又密ニ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ綠色ニシテ少シク赤銅色ヲ帶ブ。上面ニ明ナル一個ノ縱隆線ヲ存ス。會合線縱隆線及ビ翅端ニ近キ瘤狀部ハ光澤ヲ呈シ他ハ溷濁ス六對ノ白色細點ヲ散布ス。

尾節板ハ綠黑色ニシテ黃褐毛ヲ有シ雄ハ圓味ヲ帶ビ雌ハ先端ニ於テ明ニ凹入ス。五個ノ白色斑紋ヲ存スルヲ常トス。

下面ハ綠色ヲナシ胸部ニ淡黃褐ノ毛ヲ生ジ腹節上ニモ同樣ノ毛ヲ散生ス。雄ハ腹部ノ中央ニ縱溝狀ノ窪ミヲ有シ脚ハ綠黑ニシテ光澤ヲ呈ス。觸角ハ基部ノミ綠黑ニシテ他ハ黑褐色ヲナス。

予等ノ調査セル標本中上川(神威古潭)產ノモノハ翅鞘著シク赤褐色ヲ帶ブ。

たいわんとらはなむぐり(新種)

Gnorimus formosanus Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 14.

產地　臺灣

體長 18　幅 8,5 mm.

甚ダ美麗ナル甲蟲ニシテ翅鞘黃色ニ黑色ノ斑紋ヲ有シ翅端ニ紫色ヲ帶ブ。胸背板ニ短黃毛アリ。

頭部黑色ニ紫色ヲ帶ビ光澤ヲ有シ中央ニ縱凹線ヲ具フ。頭楯ハ前緣明カニ彎入シ强ク上反スルコトナシ。前頭ヨリ頭楯ニ縱皺狀ノ點刻ヲ有シ

細短ノ臥生セル黄色毛ヲ散生ス。

胸背板ハ黒色ニシテ前縁平カナリ。後縁ハ弧線状ヲナシ明カニ縁取ラル。上面ハ密ニ微細ナル皺状ノ點ヲ有シ稍ヤ密ニ太キ短黄毛ヲ生ズ。

稜状板ハ甚ダ小形ニシテ黒色ヲナシ微細ナル僅少ノ短毛ヲ生ズ。

翅鞘ハ光澤ナク美ナル黄色ヲナシ肩及ビ中央部ニ黒色ノ大ナル斑紋ヲ有ス。先端部ノ會合線ヨリ外縁ニ瘤状部ヲ中心トシテ赤紫色ノ斑紋ヲ有ス。

尾節板ハ黒色ニシテ雌ハ先端ニ近ク二箇ノ強キ隆起ヲ有シ其中間溝状ニ凹入ス。上面ニ二箇ノ三角形ヲナセル黄色毛斑アリ。

下面ハ黒色ニシテ光澤アリ。胸部及ビ腹節ノ兩側面ニ黄色毛ヲ密生ス。脚ハ濃赤褐色ニシテ後脚ノ跗節ハ著シク長形ナリ。觸角ハ赤褐色ニシテ片状部ハ前六節ト略ボ同形ナリ。

本種ハ松村松年氏ガ臺灣ニ於テ採收シタルモノニシテ只雌一箇ナリ。中脛節ハ甚シク彎曲セザルモ恐ラク本標本ガ雌ナルガ爲ナルベシ。

くろあしながはなむぐり(新種)

Gnorimus Otsukae Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. VI. fig. 4.

產地　高知,信濃,大台ケ原

體長 13—16　幅 8—9 mm.

光澤ナク黒色ニシテ翅鞘上ニ四個ノ稍長形ヲ成セル黄白色ノ斑紋アリ。尾節板ノ基部ハ細縁状黄白色ヲナス。

頭楯ハ前縁角圓ミヲ帶ビ前縁ノ中央彎入ス。前頭ヨリ後頭ニ細點刻ヲ有ス。

胸背板ハ略ボ六角形ヲナシ上面圓味ヲ帶ブ。點刻ハ不規則ニシテ散在ス。中央ハ縦線状ニ凹ミ黄白色ノ線状紋ヲ有ス。兩側縁ノ中央ヨリ後縁ニ沿ヒ黄白色ノ縁状黄白部アリ。後縁ハ稜状板ノ前部ニテ厚ク縁取ラル。標本ニヨリ全ク白色斑紋ヲ缺クモノアリ。

稜狀板ハ略半圓形ニシテ中央縱線狀ノ滑カナル部分ヲ除キ細キ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ黑色ニシテ各側ニ二個ノ不明ナル縱隆線ヲ認メ得ベシ。點刻ハ淺クシテ線狀ニ排列スルモノト外細小ナルモノヲ散在シ甚ダ細短ニシテ全ク注意シガタキ細毛ヲ生ズ。翅鞘ノ中央ニ近ク二對ノ橫線狀ヲナセル黃白色ノ斑紋アリ。

尾節板ハ上面ニ圓ク隆起セズ。細小ナル網狀ノ點刻アリ。後緣ニ沿ヒテ黃白色ノ緣狀ノ斑紋アリ。

下面ハ光澤アル黑色ニシテ淺キ半圓形ノ點刻ト細カキ褐色毛ヲ存ス。後基節ニハ黃白色ノ斑紋ヲ有シ腹節ノ第一,二,三節ハ兩側ニ小ナル黃白色ノ斑紋ヲ有ス。

予等ノ調査シタル標本ハ皆雌蟲ノミニテ五個中三個(大塚鐵夫氏採集)ハ本學ノ昆蟲學教室ニ屬スルモノナリ。

予等ノ檢シ得ザリシ既記載ノ一種次ノ如シ。

Gnorimus subopacus Motsch.

Schrenk, Reise. 1860, p. 135, t. 9, f. 5.
Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond, 1875, p. 115.
Lewis, Ann, Mag. Nat. Hist. 1887, p. 200.

産地 Chousan, Tsushima, Sapporo.

とらはなむぐり屬

Trichius Fabricius.

前脛節ハ外側ニ二齒ヲ有ス。前跗節ノ第一節ハ其形狀雄ハ脛節先端ノ刺棘ヨリ長ク雌ハ短カシ。少シク彎曲シ先端稍ヤ外方ニ伸長ス。全體又ハ翅鞘ノ外ノ部分ニ長キ毛ヲ具フ。

本屬中調査シ得タル種類ハ次ノ如シ。

I_1 翅鞘黃色ニ黑色ノ橫帶ヲ虎斑狀ニ存ス。

II_1 翅鞘ノ黑斑明カナル輪劃ヲ有ス。

III_1 翅鞘ノ黑斑大ニシテ其中央ノモノ會線ニ向テ尖ル。

とらはなむぐり Tr. japonicus.

III$_2$ 翅鞘ノ黒斑大ナラズ中央ノモノ尖ラズ。

ことらはなむぐり Tr. fasciatus.

II$_2$ 翅鞘ノ黒斑ハ輪劃不明ナリ。

IV$_1$ 翅鞘ノ黄條明カニ會合線ニ直角ニ存ス。先端ノ黒斑大ニシテ會合線ニ達ス。 ひめとらはなむぐり Tr. abdominalis.

IV$_2$ 翅鞘ノ黄條線明カニ會合線ニ直角ヲナサズ先端ノ黒斑ハ著シク大ナラズ。 てうせんひめとらはなむぐり Tr. succinctus.

I$_2$ 翅鞘黒色ニシテ十二ノ白斑ヲ有ス。

十七ほしはなむぐり Tr. 17-punctatus.

とらはなむぐり

Trichius japonicus Janson.

Taf. VI. fig. 8.

Cist. Ent. Pars. XXIX. III, 1885, p. 139.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 200.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist, 1903, p. 392.

松村松年, 日本千蟲圖解第三 p. 95. pl. 48. 10. 合

Matsumura, Journ. Coll, Agr. Tohoku. Imp. Univ. 1911, p. 120.

産地 Nikko, Sapporo.

札幌,定山渓,樺太

體長 14—15 幅 7,5—9 mm.

體黒色翅鞘黄色ニシテ三個ノ黒紋ヲ有ス。胸背板ニハ黄色ノ毛ヲ密生ス。

頭部ハ黒色ニシテ淡黄色ノ長毛ヲ有ス。頭楯長クシテ前方ニ幅狭ク前縁ハ稍ヤ彎入ス。上面ニ淺キ小點刻ヲ密布ス。眼ハ大形ニシテ突出ス。

胸背板ハ上面圓味ヲ帶ビ細點刻ヲ散布シ長キ黄色毛ヲ密生ス。

稜狀板ハ小ニシテ又黄色毛ヲ有ス。

翅鞘ハ黄色ニシテ標本ニ由リ光澤ヲ有ス。僅少ノ短毛ヲ有ス。外縁ニ近ク三個ノ黒紋アリ。其先端ニ近ク翅鞘瘤起部ヲ中心トシテ存スルモノ橢

圓形ニシテ大ナリ。條線ハ五個アルモ判然セズ。

尾節板ハ先端ニ近ク著シク隆起シ黃色ノ毛ヲ密生ス。其前節ニハ殊ニ長キ毛ヲ存ス。

下面ハ黑色ニシテ又淡黃色ノ長毛ヲ存ス。腹ノ第四節ニハ兩側面ニ淡黃ノ斑紋ヲ有スルモノアリ。脚及ビ觸角又黑色ヲナス。

予等ノ標本ハ最多ク江崎,今田,田畑三氏ニ由リテ樺太ニテ採取セラレタルモノナリ。

ことらはなむぐり

Trichius fasciatus Lin.

Taf. VI. fig. 1.

Waterh, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 115.

Reitt., Best.-Tab. (38) 1878, p. 84.

産地 Yesso, Europa, Kaukasus.

東京,京都,天鹽,北見,根室

體長 12—14　幅 7—8 mm.

最モヨクとらはなむぐりニ似ル。唯形少シク小ニシテ翅鞘上ノ黑斑又小ナリ。

頭部ヨリ胸背板ハ殆ントとらはなむぐりト異ルコトナシ。唯頭上ノ黃色毛ハ標本ニヨリ著シク密ナル者アリ。

翅鞘ハ幅少シク狹クシテ光澤ナク黃色ニシテ三個ノ黑色斑紋ヲ有ス其中央及前方ノ二個ハ著シク前種ヨリ小ナルヲ常トス。

尾節板ノ隆起ハ前種ノ如ク著シカラズ。

本種ハ歐洲ヨリ我國ニ產スル普通種ナリ。

ひめとらはなむぐり

Trichius abdominalis Ménétr.

Taf. VI. fig. 20.

Cat. rais. 189. 825.

Lewis. Cat. Col. Jap. No. 10, 26.

Reitt, Best.—Tab. (38), 1898, p. 84.

松村松年, 日本千蟲圖説第三 p. 98. pl. 43 f. 98 우

産地 Japan, Umgebung des Kapischen Meeres.

東京,京都,札幌,定山渓

體長 10—12　幅 5—6 mm.

體黒色ニシテ翅鞘上ノ虎斑淡シ.尾節前ニ存スル毛ハ灰白ナリ。

頭部ハ黒色ニシテ黒褐ノ刺毛ヲ多ク存ス.頭楯ノ前縁ハ彎入シ前縁角ハ圓シ點刻細小ナリ。

胸背板ハ稍ヤ散布セル點刻ヲ存シ,黒色ノ刺毛ニ黄色細毛ヲ交ユ.中央ニ淺キ縦溝ヲ存ス。

稜狀板ハ長形ニシテ黄白色ノ毛ヲ密生ス。

翅鞘ハ黒色光澤ヲ有シ.二條ノ淡黄横帶ヲ存シ底部モ亦同色ナリ。

尾節板ハ光澤アル黒色ニシテ細點刻ト黒色刺毛ヲ多ク生ズ.其ノ前節ノ後緣ニ近ク灰色又ハ淡黄ノ長毛ヲ群生ス。

下面ハ黒色ニシテ後胸及ビ脚ノ腿節ニ淡黄ノ長毛ヲ密生ス.脚ハ黒色ニシテ觸角ハ濃褐色ナリ。

てうせんひめとらはなむぐり(新稱)

Trichius succinctus Pallas.

Taf. VI, fig. 23.

Iconogr. Ins. p. 18, 19. t. A. f. 19.

Burmeister, Handb, Ent. III 1842, p. 758.

Kolbe, Archiv, f. Naturg. 1896, p. 196.

Arrow, Ann. Mag Nat. Hist. 1913, p. 396.

産地 Korea, Ostsibirien, Daurien, Amur, Ins. Askold.

朝鮮(五防)

體長 10—11　幅 6—6,5 mm.

光澤アル黒色ニシテ頭及ビ胸背板ハ毛ヲ有ス.ひめとらはなむぐりニ

似テ更ニ小形ナリ。

頭部光澤アル黑色ニシテ細點刻ヲ有ス。頭楯ハ側緣圓味ヲ帶ビ前緣彎入ス。前頭ハ强キ黑色刺毛ヲ有シ灰白毛ヲ交ユ。

胸背板ハ殆ンド半球狀ヲナシ又細點刻ヲ稍ヤ密ニ存ス。黑色刺毛ト灰白毛ヲ密生ス。白色毛ハ後緣ニ近ク長クシテ密ナリ。

稜狀板ハ黑色ニシテ稍ヤ長形ナリ。長キ灰白毛ヲ存ス。

翅鞘ハ光澤アル淡黃褐ニシテ黑褐ノ三橫斑ヲ有ス。ブルマイスターノ記載ニハ地色ハ黑クシテ稜狀板ノ側邊會合線及ビ二ノ外緣ニ達スル橫條ハ淡黃褐ヲナストアルモ此ノ種ニ近キ他ノモノノ斑紋ヨリ考フレバ黃色ヲ基調トスルヲ至當トナスガ如シ。之等ノ斑紋ハ輪劃不明ナリ。上面細點刻ヲ散布シ黑色部ニハ黑毛、淡黃部ニハ白毛ヲ生ズ。

尾節板ハ黑色ニシテ長毛ヲ生ジ細點刻ヲ有ス。其前節ノ後緣ハ白色ヲナス。

下面及ビ脚ハ又細點刻ヲ存シテ毛ヲ具フ。

予等ハ內田氏採取ノ標本四個ヲ檢スルヲ得タリ。

十七ほしはなむぐり(新稱)

Trichius septemdecimpunctatus Snellen, s. Voll enhoven.

Taf. VI, fig. 25.

Tijdsch. Ent. Nederl. 1864, p. 159.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. London, 1875, p. 115. pl.III f. 8

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 200.

産地 Tomatsu near Nagasaki.

日向,豐後,熊本

體長 14　幅 6,5 mm.

體黑色ニシテ胸背板ニ三個,翅鞘上ニ十二個,尾節板ニ二個ノ白色斑紋アリ。

頭部黑色ニシテ長形,細カクシテ淺キ點刻ヲ密ニ存ス。頭楯ノ前緣ハ厚クシテ少シク彎入シ上反ス。

胸背板ハ側縁ノ中央ヨリ後縁半圓形ヲナシ後縁ハ縁取ラル上面ニ小字形ニ排列セル黄白斑アリ後縁角ニ沿ヒ又縁狀ニ同色ノ部分アリ。

稜狀板ハ半圓形ニシテ光澤ヲ有シ明カナル細點刻ヲ存ス。

翅鞘黒色ニシテ光澤無ク大小十二個ノ白色又ハ黄白ノ點斑アリ即チ稜狀板ノ兩側ノモノノ外ハ各側ニ一ノ位置ニ排列ス。

尾節板ハ瘤狀ニ隆起シ大ナル黒白色ノ斑紋ヲ兩側ニ存ス。

下面ハ長キ脚ト共ニ黒色ヲナシ細毛ヲ有ス側方ニ列狀ヲナシ胸部ノ後脚ノ基節及ビ腹節ニ白色斑紋アリ觸角ノ片狀節ハ黒褐色ニシテ著シク長シ。

ウォーターハウスハ雌雄ノ關係ナク赤色ヲ呈スルモノアルヲ記載セルガ予等ノ調査セル標本ニモ又著シク美赤色ノモノ一個アリ但シ予等ノ調査セルハ八個ニシテ皆本學昆蟲學教室所屬ノモノナリ。

おほとらふこがね屬

Paratrichius Janson.

前脛節ノ内側ニ刺棘ヲ存セズ外縁ニ二歯ヲ有ス後脚ハ外角小歯狀ニ突出ス前脚ノ第一跗節ハ簡單ナリ頭楯ハ雄ニ於テ前縁著シク上反ス觸角十節片狀節四個ニシテ雄ノモノ著シク長シ美ナル甲蟲ニシテ上面ニ毛ナク色斑ヲ具フ。

本屬ニハ本邦産二種ヲ有ス予等ハ其内一種ヲ得タリ。

おほとらふこがね

Paratrichus Doenitzi Harold.

Taf. VI, fig. 3.

(*Gnorimus*) Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 366.

Lewis, Ann. Ent. Zeit. 1887, p. 49.

(*P. longicornis*) Janson, Cist. Ent. 1881, II. p. 611. pl. XI, f. 1.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 406.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

松村松年, 日本千蟲圖解第三 p. 93. pl. XI. VIII. 18 우

産地 Yumoto, Oyayama, Ontake, Niohozan, Wadatōge, Jesso.

高知,信濃

體長 14　幅 7 mm.

體黒色ヲナシ翅鞘上ノ周緣赤色ニシテ中央ニ二個ノ黃白色ノ橫線紋アリ.

頭楯ハ全部又ハ周邊黃褐色ニシテ前緣著シク上反シ表面凹陷ス.頭ノ上面ハ黑色ニシテ細毛ヲ具ヘ.四個ノ小黃白色ノ斑紋アリ.

胸背板ハ黑色ニシテ散布セル細毛ト點刻ヲ有ス.周緣,中央縱線,及ビ兩側面ノ屈線狀斑ハ黃白色ナリ.

稜狀板ハ小ニシテ略半圓形ヲナシ赤褐色ナリ.

翅鞘ハ明カナル條線ヲ有シ黑色ニシテ周緣及ビ會合線ニ沿ヒ赤色ヲナシ中央ニ二ノ黃白色ノ橫紋アリ下方ノモノハ屈線狀ヲナス.

尾節板ハ中央ニ小形ノ黑色部ヲ殘スノミニシテ殆ント全部黃白色ヲナス.褐色ノ細毛ヲ有ス.

下面ハ大部黃白色ニシテ毛ヲ有ス.尾節ハ黑色ニシテ兩側面ニ二個ノ小斑ヲ有ス.

脚及ビ觸角ハ黃褐色ナリ.雄ノ觸角片狀節ハ長クシテ柄部ノ略二倍ナリ.

本屬中ニ予等ノ調査シ得ザリシ次ノ一種アリ

Paratrichius duplicatus Lewis.

Ann, Mag. Nat Hist. 1815, p. 406.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 393.

産地 Oshima.

第八節　ひらたはなむぐり亞科

Valginæ.

體小形ニシテ稍ヤ扁平ナルヲ常トス。體面ニ鱗毛ヲ有ス。鱗毛ハ幅廣クシテ密着スル者アリ或ハ長形ニシテ上向スルモノアリ。頭部細長ニシテ下面ニ屈曲スルコトヲ得上面ヨリハ胸背板ノ前部ニ隱サレテ見ル能ハス。胸背板ハ翅鞘ヨリ幅狹ク後緣ハ中央ニ於テ矢筈形ヲナスコトナク後緣角ハ圓味ヲ帶ブ腹部ノ環節ハ相合着セズ脚ノ爪ハ簡單ニシテ同長ナリ。翅鞘ハ外緣ニ彎入セル部ヲ有セズ。腹部ノ尾端ノ二節ハ背面ニ於テ翅鞘ノ外ニ現ハル。尾節ノ側方ニハ膜狀ヲナシテ突出セル氣孔ヲ具フ。後脚部基節ハ中央ニ於テ廣ク相離ル後跗節ノ第一ハ次ノ二或三節ヲ合セタルモノト同長ナリ。

我國ニ產スルモノニシテ此ノ亞科ニ屬スルモノ四屬アリ即チ次ノ如シ。

I_1　前脛節ニ三個ノ外齒ヲ有ス雌ノ尾節板ノ先端ニ棘狀ヲナセル突起ヲ有ス。　とげひらたはなむぐり屬 Valgus.

I_2　尾節板ノ先端ニ突起ナシ。

II_1　脚ノ中基節ノ間ニ突起ナシ。

III_1　頭楯ハ前緣ニ向テ狹搾ス。　おほひらたはなむぐり屬 Chromovalgus.

III_2　頭楯ハ前部狹搾セズ。　ひらたはなむぐり屬 Dasyvalgus.

II_2　脚ノ中基節ノ間ニ突起ヲ有ス。　はいぼばるがす屬 Hypovalgus.

ひらたはなむぐり屬

Dasyvalgus Kolbe.

前脚ノ脛節ハ五個ノ外齒アリ其第一及ビ第三(先端ヨリ數フ)ハ大形ニシテ第四ハ甚小ナリ。跗節ノ第一ハ第二ヨリ長シ。胸背板ハ翅鞘ヨリ幅狹クシテ背面ニ二ノ隆條ヲ存ス。尾節ノ前節ノ氣孔ハ後緣ニ近ク管狀ヲナス。尾節板ハ球面狀ニ隆起シ幅廣シ。雌ハ尾節ノ棘狀突起ヲ有セズ。

我國ニ產スルモノ二種アリ其內一種ハ之ヲ缺ク.

ひらたはなむぐり

Dasyvulgus angusticollis Waterh.

(*Valgus*) Trans. Ent. Soc. London, 1875, p. 115.

Arrow, Ann. Soc. Nat. Hist. 1913, p. 396.

松村松年(*Valgus*) 千蟲圖解第三 p, 81, pl. 47. f. 4.

產地 Japan, All the islands, including Tsu-shima.

東京,京都,大阪,仙臺

體長 5,5　幅 3 mm.

黑色小形ヲナシ翅鞘ノ上面平カニシテ光澤アリ.

頭黑色ニシテ少シク褐色ヲ帶ブ頭楯ハ前緣平カニシテ點刻上ニ甚ダ短細ナル黃褐毛ヲ有ス.

胸背板ハ稍ヤ長形ニシテ中央ニ縱ノ銳キ二隆線アリ.之ト側緣トノ間ニモ亦一小隆線アリ.點刻ハ稍ヤ大ナリ.灰白ノ鱗毛ヲ存ス.

稜狀板ハ細長ニシテ先端尖ル.

翅鞘ハ長サ僅カニ幅ヨリ大ニテ兩側略ボ並行ス.第二間室ノ稜狀板ニ近キ位置ニ於テ黑色ノ鱗毛ヨリ成レル點斑アリ.第三間室ニハ先端ニ近ク同樣ノ斑紋ヲ存ス.先端ニハ白斑アリ.或ハ翅鞘基部ト先端ニ近ク黑色鱗毛ノ帶狀ヲナスモノアリテ其間ニ僅少ノ白色鱗毛ヲ存ス.

尾節板ハ黑色ニシテ幅廣ク兩側ニ白色鱗斑ヲ具フ.

跗節ノ第一ハ長ク第二ハ其半ナリ.

予等ノ研究シ得ザリシ他ノ一種ハ次ノ如シ.

Dasyvalgus formosanus Moser.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1915, p. 518.

產地 Formosa.

とげひらたはなむぐり屬

Valgus Scriba.

雌ハ其尾節板ニ眞直ニシテ尖リタル長形ノ突起ヲ有ス。其上部ハ重鋸齒狀ヲナス。前脚ノ脛節ハ五個ノ外齒ヲ有シ。其第一三及ビ五ハ大形ナリ。

此屬ニ加フベキ我國ノ種類ハ唯次ノ一種アルノミナリ。

とげひらたはなむぐり(新稱)

Valgus tuberculatus Lewis.

Taf. I. fig. 17.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 201.

Arrow, (*Dasyvulgus*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

產地 Fukushima, Usuitoge.

秩父,高野山

體長 7,5—8　幅 4 mm.

體赤褐色ヲナシ少シク光澤ヲ帶ビ黃色ノ鱗毛ヨリ成レル小斑アリ胸背板及ビ尾節板前緣ニ鈍キ棘狀ニ突起スル鱗毛群アリ。

頭楯赤褐色ニシテ前緣ノ兩側少シク突出シ上面ニ細鱗毛アリ。前頭ハ稍ヤ黑色ヲ帶ビ大形ノ黃色鱗毛ヲ生ズ。

胸背板ハ長形ニシテ黃色ノ鱗毛ヲ存ス。中央ノ二個ノ縱隆線ハ著シクシテ其中央ヨリ少シク後部ニ上立セル黑色鱗毛ノ一双ノ棘狀ヲナスモノアリ。之ト側緣ノ間ニ又低キ一鱗毛群ヲ存ス。後緣ニ近ク四個大ナル棘狀鱗毛群アリ。

稜狀板ハ細長ニシテ黑色ヲナシ黃色鱗毛ヲ具フ。

翅鞘ハ略四角形ヲナシ赤褐色ニシテ大ナル點刻ヲ密布ス。中央及ビ稜狀板ノ兩側ニ橫條ヲナセル黃色鱗毛斑ヲ存シ其間及ビ後方ニ黑色鱗毛ヲ具フ。

尾節板ハ黃鱗毛ヲ散生シ兩側ニ黃斑ヲ存シ先端ニ短棘狀ニ突出セル鱗毛群ヲ有ス其前節ニハ中央ニ二個ノ黃鱗毛ノ棘狀突起アリ。兩側ニ近

ク後緣上ニ二個ノ太キ鱗毛ヲ存セザル短棘ヲ有ス。

前脛節ノ外齒ハ明カニ第一第三第五ノ三齒ヲ存ス。下面ハ黑色ニシテ灰黃色ノ鱗毛ヲ存ス。

おほひらたはなむぐり屬

Chromovalgus Kolbe.

前脚ノ脛節ハ五個ノ外齒ヲ有シ其第三及ビ第五大形ナリ。頭楯ハ前端甚狹ク圓錐形ヲナス。雌ノ尾節板ニ棘狀突起ヲ有セズ。

我國ニ二種ノ記載セラレタルモノアリ。予等ハ其內一種ヲ檢スルヲ得タリ。

おほひらたはなむぐり

Chromovalgus fumosus Lew.

(*Valgus*) Ann. Mag. Nat. Hist, 1887, p. 201.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

產地 Junsai, Fukushima, Ontake, Chiuzenji.

岩手,米澤,青森

體長 8,5　幅 4 mm.

體黑色翅鞘ノ基部ニ x 形ノ黃褐紋アリ尾節板ノ前節ニモ又同色ノ橫紋アリ。

頭部黑褐深キ點刻ヲ有ス。頭楯ノ前緣ハ明カニ彎入ス。

胸背板ノ縱隆線ハ强ク銳クシテ點刻粗大ナリ。縱隆線ノ中間及ビ基部ニ近ク白色細鱗毛ヲ有ス。

稜狀板ハ小ニシテ僅少ノ褐色鱗毛アリ。

翅鞘ハ黑色上面平カニシテ平面ノ側方少シク隆起ス。稜狀板ノ兩側ヨリ會合線ヲ圍ミテ x 形ノ黃褐斑紋アリ。點刻ハ粗大ニシテ密ナリ。

尾節板ハ先端ヤヽ尖リ中央ニ褐色鱗毛ノ一隆條ヲ有ス。尾節板ノ前節ハ後緣ニ沿ヒテ黃褐鱗毛ヨリ成レル帶狀斑アリ。

前脚ノ脛節ノ外歯ハ下方ノモノト中央ノモノ最大ナリ.下面及ビ脚ニハ灰色ノ鱗毛ヲ有ス.

予等ノ調査シ得ザリシ他ノ一種ハ次ノ如シ.

Chromovalgus lætus Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist 1913, p. 408.

産地 Loo Choo Is: Oshima.

はいぼばるがす屬

Hypovalgus Kolbe.

小形ニシテ(10 mm. 以下)中胸部ニ於テ基節ノ間ニ突起ヲ有ス.本屬ノ種類ハ唯一個我國ヨリ記載セラレタルモノアリ.予等ハ此標本ヲ得ル能ハザリキ.

Hypovalgus thoracicus Moser.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1911, p. 121.

産地 Formosa.

第九節　かぶとむし亞科

Dynastinæ.

胸背板ノ前緣ハ瘤狀ニ隆起シ長キ立毛ヲ存ス。上顎ハ片狀ヲナシ往々鋸齒狀ヲ呈シ上部ヨリ見ルヲ得ベシ。觸角ノ片狀節ハ雌雄形ヲ同ジクシ靜止ノトキ楕圓形ヲナス。

本亞科ニテ我國ニ知ラレタルモノ次ノ四屬アリ。

I$_1$　頭部ニ長大ナル枝角狀ノ突起ヲ有ス。後脚跗節ノ第一節ハ次節ト同形ナリ。　かぶとむし屬 Xylotrupes.

I$_2$　頭部ニ枝角狀突起ナシ後脚ノ跗節ノ第一節多少三角形ヲナス。

II$_1$　前胸ノ腹片ハ前基節ノ後部ニテ高キ突起ヲナサズ。

III$_1$　中後脛節ハ次第ニ幅少シク增シ先端掌狀又ハ齒狀ヲナス。　たいわんかぶとむし屬 Oryctes.

III$_2$　中後脛節ハ先端ニ急ニ太サヲ加ヘ冠狀ノ刺棘ヲ有ス。　こかぶとむし屬 Phileurus.

II$_2$　前胸ノ腹片ハ前基節ノ後部ニテ突起ヲナス。後脛節ハ狹搾セズ。　くろまるこがね屬 Alissonotum.

かぶとむし

異名　さいかちむし

Xylotrupes dichotomus Lin.

Burmeister, Handb. Ent. V. p. 265.

Harold, Abh. Brem. 1875, p. 292.

Waterh. Trans. Ent. Soc. London. 1875, p. 113.

Heyden, Deutsch Ent. Zeitschr. 1879, p. 316.

Schönfeld, Ent. Nachr. 1884, p 49. tab. f. 5

Arrow, Ann. Soc. Nat. Hist. 1913, p. 396

松村松年，日本千蟲圖解第三 p. 76. pl. 46, f. 5

產地 China, Darjeeling, Japan; Hiogo etc.

東京,熊本

體長 38—53(角狀突起ヲ除ク) 幅 19—27 mm.

最モ普通ニ知ラレタル甲蟲ニシテ雄ハ頭部ニ於テ大形ナル角狀ノ突起ヲ有シ,胸背板ニ是レヨリ小ナル前向セル角狀突起ヲ有ス。

頭部ハ雄ニ於テ大ナル角狀突起ヲ有ス。其ノ先端ハ二重ニ分岐ス。雌ハ之ヲ缺キ前頭ニ三箇ノ短棘狀突起ヲ具フ。頭楯ノ兩側ニモ各一突起アリ。

胸背板ハ雄ハ前緣ニ近ク枝狀ノ突起ヲ有シ上面ニ微細ナル顆粒ヲ存ス。雌ハ前緣ニ近ク窪ミヲ存シ,强キ點刻ヲ密附ス。

翅鞘ハ縱隆線ナク雄ハ光澤アリ。雌ハ點刻ト細キ淡褐色毛ヲ密附ス。

下面ハ光澤アリ胸部ニ細褐毛ト細點刻トヲ存ス。前胸部ノ基節後方ニ存スル突起ハ雄ハ前端平カニシテ雌ハ分叉ス。

本種ハ其ノ大サニ於テ著シキ變化アリ。

こかぶとむし

Phileurus chinensis Falderm.

Taf. VI, fig. 7.

Mém. Ac. Petr. ii. 1835, p. 370.

Waterh. Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 113.

Arrow, Ann. Soc. Nat. Hist. 1913, p. 396.

松村松年, 日本千蟲圖解第三 p. 75. pl. 46. f. 4.

產地 China, Japan.

東京

體長 20—22 幅 10—11 mm.

體黑色ニシテ光澤アリ。雄頭部ニ上向セル短カキ角狀突起ヲ存ス。

頭部光澤ヲ有シ雄ハ頭楯ノ中央ニ於テ上向セル稍ヤ平タキ分岐セザル角狀突起ヲ有ス。雌ハ同ジ位置ニ短カキ突起ヲ存ス。

胸背板ハ中央ニ大ナル楕圓形ノ窪ミヲ有シ其ノ內部ニ大形ノ點刻ヲ具フ。雌ハ此ノ凹陷部小ナリ。

翅鞘ハ大約十二箇ノ淺キ縱溝狀ノ點線ヲ有ス。中間帶ハ殆ンド點刻ヲ

缺ク。

下面ハ光澤ヲ有シ僅少ノ褐色毛ヲ生ズ。前基節ノ後方ニ存スル突起ハ甚ダ小ナリ。

たいわんかぶとむし

Oryctes rhinoceros Lin.

(*Scarabæus*) Syst. Nat. I. 1758, p. 346.

Burmeister, Handb. Ent. V. 1847, p. 202.

Arrow, Fauna of British India, I. 1910, p. 278.

松村松年　臺灣甘蔗害蟲編明治四十三年 p. 64. f. 26. 1.

産地 Ceylon, Sumatra, Philippine Is., Formosa, Korea, etc.

臺灣(臺南)琉球(石垣島)

體長 39—47　幅 18—22 mm.

體黑褐色ニシテかぶとむしニ似ル。頭部ノ角狀突起ハ長カラズ。胸背板ニハ突起ナシ。

頭楯ニハ雄ニ大約一分五厘ノ長サヲ有スル角狀突起ヲ有ス。其先端ハ分岐スルコトナク圓味ヲ帶ブ。雌ノ突起ハ少シク短小ナリ。

胸背板ハ長サ其ノ幅ト略ボ同ジクシテ周圍强ク緣ドラル。前緣ヨリ中央部ノ後方ニ略ボ楕圓形ヲナセル凹陷部ヲ存ス。其內部ハ粗糙ナリ。凹陷部ノ後方ハ二箇ノ短カキ突起狀ヲナス尙ホ前緣角ニ接シ左右ニ長形凹陷部ヲ存ス。陷沒部ノ外ハ滑カニシテ光澤ヲ有シ只微細ナル點刻ヲ存ス

稜狀板ハ粗糙ニシテ外緣ノミ滑カナリ。

翅鞘ハ密ニ强キ點刻ヲ有シ三對ノ縱隆線ヲ具フ。

前脚ノ脛節ハ四箇ノ外齒ヲ有ス。其ノ中先端ノ一箇ハ小ナリ。中脛節ハ後脚ノモノヨリ短シ。

本種ハ印度ノ各地ニ普通ニシテ又朝鮮ニ產ス。予等ハ臺灣產ノ外新タニ琉球石垣島ノ標本二個ヲ得タリ。

くろまるこがね屬

Alissonotum Arrow.

頭部前頭ノ會線中央ニ二齒狀ヲナス.頭楯ハ前端狹搾シ少シク二片狀ヲナス.上顎ハ強キ鋸齒狀ヲ外方ニ呈ス.前脛節ニハ三ノ外齒ヲ有シ其他ニ二ノ小齒ヲ具フ.尾節板ノ前節ニハ長形ノ鳴鏡ヲ具フ(第十三圖).雌雄ハ外形ニ差ナシ.

本屬ノ種類ハ我國ニ三種アリ皆臺灣產ナリ.

I_1　胸背板滑カニシテ殆ド點刻ナシ.　くろまるこがね A. pauper.

I_2　胸背板ニ明カナル點刻ヲ有ス.

II_1　胸背板ノ點刻稍ヤ大ニシテ密ナリ.

いんどくろまるこがね A. crussum.

II_2　胸背板ノ點刻小ニシテ散在ス.

ほりしやくろまるこがね A. impressicolle.

ほりしやくろまるこがね(新稱)

Alissonotum impressicolle Arrow.

Trans. Ent, Soc. London, 1908, p. 323.

Arrow, Fauna of Brit. India, I. 1910, p. 301.

產地 Burma, Tonkin.

臺灣(補里社)

體長 14—16　幅 8—9 mm.

黑色ニシテ光澤ヲ有ス.下面ハ少シク赤褐色ヲ帶ブ.

頭部ハ密ナル網狀刻ヲ有ス.頭楯ノ前緣上反シ二片狀ヲナス.會線上ニ存スル二小瘤ハ少シク相分離ス.

胸背板ハ上面微細ニシテ側方ニ稍ヤ大ナル點刻ヲ散布ス.前緣ノ中央ニ接シテ小ナル瘤起アリ其ノ後方弱ク凹入ス.

稜狀板ハ幅廣クシテ尖リ上面ニ殆ンド點刻ヲ缺ク.

翅鞘ニハ深クシテ明カニ點刻ヲ存セザル會合線ノ側線ト強キ點刻ヲ

有スル四對ノ條線ヲ有ス。第一及第七ノ中間帶ハ不規則ナル點刻ヲ存ス。第三及ビ第五ニハ不完全ナル點列ヲ存ス。外緣ヨリ先端ニ稍ヤ强キ點刻ヲ具フ。

尾節板ハ圓味ヲ帶ビ兩側及ビ中央ニ弱キ凹ミヲ存ス。稍ヤ粗ナル點刻アリ。其ノ前節ニハ小形ニシテ少シク幅廣キ鳴鑢ヲ有ス。

本種ハ臺灣補里社產ノ標本ニシテ本學昆蟲學敎室所藏ノモノニヨリテ記載セリ。

いんどくろまるこがね(新稱)

Alissonotum crussum Arrow.

Trans. Ent. Soc. London, 1908, p. 323.

Fauna of Brit. India, I. 1910, p. 302. f. 70.

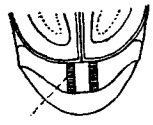
產地 Raimahal, Assam: Silhet, Burma: Bhamo, Tenesserim.

臺灣

體長 18　幅 10 mm.

黑色ニシクくろまるこがねニ似ル體形稍ヤ大ナリ。

頭部粗網狀刻ヲ有ス會線ノ二瘤起ハ强カラズ。



第十三圖
いんどくろまる
こがねノ鳴鑢

胸背板ハ上面ノ中央點刻少シク小ナルモ兩側面ニ大ニシテ密ナリ。前緣ニ近キ瘤起ハ低クシテ其後方ノ凹壓部ハ甚淺シ。側緣ハ圓味ヲ帶ブ。

稜狀板ハ幅廣クシテ平滑ナリ。

翅鞘ハ强キ條線ヲ有ス。其會合線ニ接スルモノハ點刻不明ナルモ他ノ線上ニハ强キ點刻アリ。第一ノ中間帶ハ幅廣クシテ不規則ナル細點刻アリ。第三及ビ第五ハ不判明ナル點刻線アリ。外緣ニハ細カキ先端ニハ大ナル點刻アリ。

尾節板ノ前節ハ後緣ノ中央少シク突出シ長形ノ細線ヨリ成ル鳴鑢ヲ有ス。尾節板ハ中央粗ニ兩側ニ稍密ニ點刻ヲ存ス。

くろまるこがね

Alissonotum pauper Burm.

(*Heteronyclus*), Handb. Ent. V, 1847, p. 94.

Arrow, Trans. Ent. Soc. London, 1908, p. 323.

産地 Philippin.

臺灣(嘉義,補里社)

體長 15　幅 9 mm.

光澤アル黑色ナリ頭楯ノ幅廣ク胸背板ハ殆ンド滑カナリ。

頭部ハ前頭ヨリ頭楯ニ網狀ノ點刻ヲ有シ後頭ハ滑カナリ。頭楯ハ幅廣クシテ會線上ノ隆起ハ廣ク分離セズ。

胸背板ハ上面滑カニシテ殆ンド點刻ナク唯兩側邊ニ近ク微細ナル點刻ヲ認メ得ベシ。前緣ノ中央ニ近キ隆起ハ殆ド不明ナリ。

稜狀板ハ幅廣クシテ上面又滑カナリ。

翅鞘ハ其ノ上面ニ三對ノ明ナル縱隆線ヲ存シ其ノ兩側ニ線狀ノ點刻ヲ有ス。中間帶ノ點刻ハ甚少ナク會合線ニ近キ中間帶ノ幅最モ廣ク僅少ノ細點刻ヲ略ボ一列ニ存ス。

尾節板ハ先端ニ近ク圓ク隆起シ其前節中央少シク後方ニ突出ス。鳴鑢ハ細長ニシテ先端ニ於テ相接近ス。

前脚脛節ハ三個ノ大ナル外齒ト二ノ小齒ヲ有ス。

第十節　ひげぶとはなむぐり亞科

Glaphyrinae.

後脚脛節ノ端棘ハ先端ニ存スルコトナク少シク前方ニ生ズ。後脛節ノ先端ノ緣ハ後方ニ溝狀ノ切込ヲ有ス。後脚ノ跗節ハ細長ナリ。前胸部腹片ノ前緣ハ簡單ナリ。觸角ハ十節ニシテ片狀節ハ三箇ヨリ成リ各片狀節ノ先端ハ肥厚シ相接著セズ。前脛節ノ外齒ハ三箇或ハ二箇ナリ。而シテ跗節ノ附著セル後部ニ端棘ヲ有ス。

此ノ亞科ニ屬スル本邦產甲蟲ハ只一屬アルノミ。

ひげぶとはなむぐり屬

Anthypna Latr.

前脛節ハ二或ハ三ノ外齒ヲ有ス。觸角ノ片狀節ハ厚クシテ相分離ス。前跗節ノ基部ノ四節ハ雄ニ於テ內方ニ鱗片狀ヲナシテ突出ス。雄ノ中脛節ハ先端ノ前部ニ殆ンド幅ノ全部ニ達スル斜狀ノ切込ヲ有ス。

本屬ノ種類ハ甚ダ多カラズ本邦ニ於テハ只一種ノ知ラレタルモノアルノミナリ。

ひげぶとはなむぐり(新稱)

Anthypna pectinata Lewis.

Taf. VI. fig. 5. Taf. II. fig. 14. 15.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 388.

產地　Tokio.

東京

體長 8　幅 4 mm.

體黑色ニシテ小シク綠色ノ光澤ヲ帶ブ。體面ニ強キ刺毛ヲ有ス。

頭部ハ長形ニシテ頭楯ハ前部紫黑色ヲ帶ブ。點刻粗大ニシテ前頭部ト共ニ濃褐色ノ強キ上向セル刺毛ヲ生ズ。眼前ニ突出セル部ハ幅廣キ片狀

ヲナス。

胸背板ハ上面圓味ヲ帶ビ强キ點刻ヲ散布ス。其上ニ細キ刺毛ヲ生ズ。刺毛ハ上面ニ少ク側緣ニ多シ。

稜狀板ハ小ニシテ綠色半圓形ヲナシ細點刻ト白色毛ヲ生ズ。

翅鞘ハ先端ニ向ツテ狹細シ。左右ノ先端部圓味ヲ帶ビ其ノ內緣ヨリ外緣ニ向ツテ强キ刺毛ヲ生ズ。肩部ニ近キ外緣ニ又强キ刺毛ヲ有ス。上面ノ點刻ハ胸背板ヨリ密ニシテ細白色毛ヲ具フ。

尾節板ハ光澤アル黑綠色ニシテ先端ハ尖リ上面ニ白色毛ヲ生ズ。

下面ハ又綠黑色ニシテ長キ白色毛ヲ生ズ。雄前脚ノ跗節ハ基部ノ四節甚ダ短ク內方ニ濃褐色ノ鱗片狀ヲナシテ延長ス。前脛節ノ外齒ハ二齒ニシテ銳シ,後脛節ノ端棘ハ二箇ニシテ銳ク赤褐色ヲナス。

予等ノ調査シタル標本ハ東京產雄二箇ナリ。

第十一節　結　論

本報告ヲ終ルニ當リ我國ノこがねむし類ノ分布ノ狀態ニ就テ一言セントス。後揭各種ノ分布表ニ於テ其詳細ヲ知ルヲ得ベキモ今之ヲ總括シテ我國所產ノ種類ノ分布ヲ各亞科ニ於テ表示スルトキハ第一表ノ如シ

但シ括弧內ニ記セル數ハ予等ノ今回調査シ得ザリシモノナリ。

第　一　表

		Sachalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshiu. 本州	Shikoku. 四國	Kiushiu. 九州	Liukiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Koren. 朝鮮
Sericinae. びらうどこがね亞科	36	2	5	21.(7)	3	8.(2)	1	9.(4)	11.(6)
Melolonthinae. こふきこがね亞科	37	1.(1)	4	14.(4)	6	13.(3)	3.(1)	12.(1)	12.(5)
Hoplinae. あしながこがね亞科	8	1	—	2	1	5.(3)	1.(1)	—	2.(2)
Rutelinae すじこがね亞科	75	2	16.(1)	35.(7)	14	21.(5)	5.(3)	23.(15)	23.(7)
Cetoniinae. はなむぐり亞科	59	2.(1)	5	17.(6)	3	10.(2)	6.(2)	37.(25)	9.(7)
Trichiinae. とらはなむぐり亞科	13	3.(1)	4.(1)	7.(1)	2	3.(2)	1.(1)	1	2.(1)
Valginae. ひらたはなむぐり亞科	6	—	1.(1)	3.(1)	—	1	1.(1)	2.(2)	—
Glaphyrinae. ひげぶとはなむぐり亞科	1	—	—	1	—	—	—	—	—
Dynastinae. かぶとむし亞科	6	—	—	2	—	1	1	4	1.(1)
	211	11	35	102	29	62	19	88	60

一十四百二ハ類種タルレラセ載記テジ通ヲ科亞九記上於ケル國ニ我
類種テシ而リナノモルセ表發ヲ之回今テシト種新ハ三十二内其テシ
ニ於テ最モ多キハすじこがね亞科ニシテ之ニ次グヲはなむぐり亞科ト
ス。びらうどこがね及ビこふきこがね亞科ノモノハ同數ニシテ略すじ
こがね亞科ノモノノ半ナリ。各地方ノ種類ヲ見ルトキハ樺太ニ於ケル最小
ナルハ實際ニ於テ其地方ノ寒氣ハ此種ノ繁殖ニ不適當ナルコトノ大原
因ヲナスハ勿論ナルモ亦昆蟲上ノ探檢甚ダ不足ナルニ由ルモノアリ。故
ニ同地ニ於ケルこがねむし類ノ研究ニ更ニ深キヲ加フルノ要アルモノ
トス。最多數ノ種類ヲ產スルハ本州ニシテ是レ其地積ノ大ナルト探究ノ
至レルトニ由ルモノナリ。之ニ次グヲ臺灣トス同地ハ熱帶系ノ昆蟲ニ富
ムガ爲メニシテ他地方ニ於テハ多シトセザルはなむぐり亞科ノモノヲ
甚多ク產スルヲ見ル。然レドモ予等ノ檢シ得ザル標本ノ同地方ニ多カリ
シハ最モ遺憾トスル處ナリ。更ニ各亞科ノモノニシテ一地方ニ特在シ或
ハ二以上ノ地方ニ通ジテ存在スルモノヲ擧グレバ第二表ノ如シ。

此表ヲ檢スルトキ我等ハ先ヅ四國ニ於テ一ノ特有種ノ存セザルコト
ヲ見ルベシ。即チ四國產ノこがねむし類ニハ全ク同地ニノミ產スルモノ
ナク皆九州本州等ト共通種ナラザルハナシ。之レ其地理上ノ關係ノ然ラ
シムル處ナルモ四國ノ内部ニ於ケル交通ノ不便ハ尚學界ニ未開ノ餘地
ヲ存スルニアラザルカ。元來四國ハ有名ナル甲蟲採集家レウキスノ足ヲ
入レザルノ地ニシテ亦專門家ノ探索ノ深ク及バザル山地尚多シトス。北
海道ニハすじこがね亞科ノ唯一種樺太ニハびらうどこがね及ビはなむ
ぐり亞科ノ各一種アルノミ。最モ多ク特有種ニ富ムハ臺灣ニシテ殊ニはな
むぐり及ビすじこがね亞科ニ多シトス。共通種ニ於テハ樺太產ノモノ
ハ北海道本州ヨリ九州ニ及ブモノニシテ中間ノ地ニ產セズシテ九州及
ビ朝鮮ニ各一種ヲ產スルハ甚奇ト云フベシ。北海道ノモノハ殆ンド皆本
州ト共通シ其ヨリ四國及ビ九州ニ及ブ。北海道九州朝鮮ニ通スルモノと
らはなむぐり亞科ニ一種アリ。本州ノ各地ニ共通スルモノこふきこがね
及ビはなむぐりノ亞科ヲ最モ多シトス。殊ニ本州及ビ朝鮮ニノミ共通ス

ルこふきこがねノ六種ヲ算スルハ奇ト云フベシ。

今外國ト共通スルモノニ就テ見ルトキハとらはなむぐり亞科ハ唯朝鮮ニテシベリヤニ共通スルモノ一個アルノミニテひらたはなむぐり及ビひげぶとはなむぐり亞科ニハ共通ノモノナクかぶとむし亞科ハ皆印度或ハ支那ニ共通スルモノナリ。之等ヲ除キテ他ノ五亞科ニ就テ見ルトキハ第三表ノ如シ。

樺太ニハシベリヤ及ビ支那ニ共通スルモノ三個アルノミナルガ既知ノ全數僅カニ九ナルヲ以テ恐ラク同地ノモノハ比較的多ク亞細亞大陸ト共通スルモノナランカ。北海道ハ唯すじこがね及ビはなむぐりノ二亞科ニテ之ヲ有シ本州ハ支那ニ對スル共通種ヲ有スルコト多シ四國及ビ九州ハ其共通種ノ數相似最モ支那ノ交渉ヲ有スルガ如シ。殊ニ九州ハはなむぐりニ於テ五個ノ共通種ヲ支那ニ有スルモノヲ見ル。琉球ノ外國ニ對シ全ク共通種ヲ有セザルハ奇ト稱ス可シ。臺灣ハ南部支那トノ共通種ヲ最モ多ク有シ本表ニ擧ゲザルモ又南洋ニ共通ノ傾向ヲ有スルモノナリ。朝鮮ハ其陸地ヲ接續スル關係上最モ多ク支那及ビシベリアニ共通ス其他唯一種朝鮮產はなむぐり亞科ノモノニシテカリホルニアニ產スルモノアリ。要スルニ我國ノこがねむし類ハ最モ多ク支那大陸ニ關係ヲ有スルモノト云フベシ。

以上略述セルこがねむし類ノ分布ハ林業上有害種ヲ研究スル前提トシテ甚タ必要ナルモノニシテ最モ被害ノ著シキすじこがね,こふきこがね,びらうどこがねノモノハ我全土ニ及ンデ分布セラレ臺灣ニ於テハ更ニ他地方ニテ著シカラザルはなむぐり亞科ノ林業ニ關スルモノ少カラザルヲ見ル。予等ハ進ンデ更ニ被害關係ノ研究ヲ公ニスルノ時期アランコトヲ期ス。

第　二　表

					Sericinae. びろうどこがね亞科	Melolonthinae. こふきこがね亞科	Hoplinae. あしなが こがね亞科	Rutelinae. すじこがね亞科	Cetoniinae はなむぐり亞科	Trichiinae. とらはなむぐり亞科	Valginae. ひらたはなむぐり亞科	Glaphyrinae. ひげぶとはなむぐり亞科	Dynastinae. かぶとむし亞科
樺太					1				1				
北海道								1					
本州					12	3		7	5	2		1	1
四國													
九州					1	3				1			
琉球						1	1	4	4	1	1		
臺灣					3	10		23	28	1	2		3
朝鮮					6	7		11	3	1			
樺太	北海道	本州			1			1					
樺太	北海道	本州	九州							1			
樺太	北海道	九州							1				
樺太	本州	四國	九州	琉球		1							
樺太	九州									1			
樺太	朝鮮						1						
北海道	本州				1			4	1	1	1		
北海道	本州	四國				1		6					
北海道	本州	四國	九州		1				1				
北海道	本州	四國	九州	臺灣		1							
北海道	本州	四國	九州	琉球	1								
北海道	本州	四國	九州	朝鮮	1	2			2				
北海道	本州	九州						2					
北海道	本州	朝鮮								1			
本州	四國									2			1
本州	四國	九州				1	1		1				
本州	四國	九州	臺灣			1							
本州	四國	九州	臺灣	朝鮮	1								
本州	九州				2	1	1		1		1		
本州	九州	琉球	朝鮮		1								
本州	九州	臺灣							1				
本州	九州	朝鮮							2				
本州	臺灣								1				
本州	臺灣	朝鮮				3							
本州	琉球					1							
本州	朝鮮					6							
四國	九州	臺灣				1							
四國	琉球								1				
九州	朝鮮					1							
琉球	臺灣							1					
臺灣	朝鮮				2			1					1

第　三　表

	Sericinae. びろうどこがね亜科	Melolonthinae. こふきこがね亜科	Hoplinae. あしなが こがね亜科	Rutelinae. すじこがね亜科	Cetoniinae. はなむぐり亜科
Sachalin 樺太	Siberia. 1 (西伯利亜)	China. 1 (支那)		Siberia. 1 (西伯利亜)	
Hokkaido 北海道				Siberia. 2 (西伯利亜) Mands. 1 (満州) China. 1 (支那)	China. 2 (支那) Siberia. 2 (西伯利亜)
Honshiu 本州	China. 1 (支那)	China. 4 (支那) Siberia. 1 (西伯利亜)		Siberia. 4 (西伯利亜) Mands. 1 (満州) China. 3 (支那)	Siberia. 4 (西伯利亜) China. 9 (支那)
Shikoku 四國		China. 4 (支那)		Siberia. 1 (西伯利亜) China. 1 (支那)	Siberia. 2 (西伯利亜) China. 1 (支那)
Kiushiu 九州		China. 5 (支那)		Siberia. 1 (西伯利亜) Mands. 1 (満洲) China. 1 (支那)	Siberia. 3 (西伯利亜) China. 5 (支那)
Formosa 臺灣		China. 3 (支那)	China. 4 (支那) Siberia. 1 (西伯利亜)		China. 7 (西伯利亜) Siberia. 4 (支那)
Korea 朝鮮		China. 4 (支那) Siberia. 3 (西伯利亜) Mands. 1 (満州)	Siberia. 1 (西伯利亜)	Siberia. 8 (西比利亜) China. 10 (支那) Mands. 1 (満州)	China. 10 (支那) Siberia. 7 (西伯利亜) Calif. 1 (カリホルニア)

Beschreibung der neuen Arten.

Der erste Teil unserer Arbeit erschien 1917 in Nr. 5 dieser Beiträge und ist nur auf Japanisch geschrieben. Das Thema lautete „Untersuchungen über Schädlichkeit der Melolonthiden und deren Vertilgung," bearbeitet von Y. Niijima, K. Kusunoki und Y. Tomimoto. Diese Arbeit handelt von der Verbreitung unserer japanischen forstschädlichen Melolonthidenarten, sodann über Lebensweise, Schaden und Vertilgungsmethode der *Heptophylla picea* Mots. Diese letzte Art ist in Sapporo und verschiedenen Teilen Hokkaidos stark vertreten, und es wurden mit ihr viele Versuche angestellt. Die Untersuchungen haben wir ununterbrochen fortgesetzt und so sind uns Lebensweise, Schaden und Naturfeinde vieler Melolonthidenarten bekannt geworden. Die Erfolge sollen später in nachfolgenden Teilen dieser Arbeit veröffentlicht werden.

Das für unsere erste Arbeit gelieferte Material war so ungenau benannt, dass wir es für unbedingte Notwendigkeit hielten, unsere japanischen Melolonthiden genau zu bestimmen. Die Melolonthidenarten hat bis jetzt kein japanischer Entomologe oder Forstmann gründlich studiert, und sie besassen daher keine genügenden Kenntnisse, um zum Beispiel die *Anomala*-Arten, welche doch in der Forstwirtschaft so ungeheuren Schaden anrichten, von einander zu unterscheiden.

Aus obigen Gründen erschien uns als erste Notwendigkeit, eine genaue Bestimmungstabelle aufzustellen und eine ausführliche systematische Beschreibung hauptsächlich für forstliche Zwecke zu geben. Im Herbste 1920 liessen wir in Japan, einschliesslich Sachalin, Korea und Formosa ein Rundschreiben ergehen, worin wir um alle vorkommenden Melolonthidenarten baten. Daraufhin erhielten wir von Entomologen, Forstämtern, forstlichen Schulen und Versuchsanstalten reichhaltiges Material, worauf sich unsere jetzige Arbeit grösstenteils aufbaut.

Als erste Schwierigkeit unserer systematischen Arbeit käme in Betracht das Nichtvorhandensein von typischem Material, da sämtliche japanischen Arten in Europa beschrieben wurden und keine Typen hier blieben, so sind wir gezwungen die Arten nur nach Beschreibungen zu bestimmen. Nach eifrigem Bemühen gelang es uns, verschiedene Arbeiten über japanische Arten zu bekommen.

Bei den Untersuchungen haben wir die peinlichste Genauigkeit walten lassen; jedoch ist leider noch nicht alles vollkommen geworden. Wir hoffen, dass in Bälde noch reichhaltigeres Material kommen wird, damit das noch Fehlende und Lückenhafte ergänzt werden kann. Die neuen Arten, welche wir noch als unbeschrieben halten, sollen hier in deutscher Sprache veröffentlicht werden; gleichzeitig wollen wir dabei einige Bemerkungen

über unsere Arten anknüpfen. Die unter Niijima und Matsumura beschriebenen Arten sind schon früher von Herrn Prof. Matsumura gesammelt und von ihm benannt worden, jedoch bis jetzt unbearbeitet geblieben. Die am Schlusse beigefügten Tabellen weisen die Verbreitung unserer japanischen Arten nach.

Zu grossem Danke sind wir Herrn Prof. Dr. Matsumura verpflichtet, der uns die entomologische Bibliothek der hiesigen Universität, sowie seine wertvolle Privatliteratur benutzen liess und uns ferner noch reichhaltiges Material zur Verfügung stellte. Weiter möchten wir an dieser Stelle allen Forstleuten, Forstbeamten und Entomologen, die durch ihr wertvolles Versuchsmaterial zur Förderung der Arbeit beigetragen haben, unsern innigsten Dank aussprechen.

Sericania hidana Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II, fig. 9, 9a.

Fundort, Hida.

Länge 11, Breite 4 – 5,5 mm.

Diese Art ist schmal und lang, glänzend schwärzlich braun, die Längsstreifen der Flügeldecken sind stark vertieft. Der Clypeus ist nach vorne verschmälert, ziemlich stark punktiert und hat abgerundete Ecken und gebogene Seiten; der Vorderrand ist schwach gebuchtet, die Stirnnaht ist undeutlich. Die Stirn ist stark punktiert, in der Mitte mit einem glänzenden Längskiel. Der Scheitel ist glatt ohne Punktierung. Die Augen sind gross und etwas vortretend. Das Halsschild ist kurz, breiter als die doppelte Länge, glänzend, schwärzlichbraun, zu beiden Seiten gelbbraun, in der Mitte länglich schwach gedrückt, stark punktiert, am Seitenrande spärlich behaart. Das Schildchen ist langgestreckt, fein punktiert, in der Mitte länglich seicht eingedrückt. Die Flügeldecken sind sehr schmal, die Längsstreifen sind schmal und gefurcht, wenig gelblichbraun; die Zwischenräume sind schwärzlich braun und gewölbt, der zweite Zwischenraum ist nach dem Apex zu breiter, in den Furchen dicht unregelmässig punktiert. Das Pygidium ist glänzend schwarzbraun, stark gewölbt, fein punktiert und am Apex gelblich behaart. Die Unterseite ist glänzend; die Hinterbrust ist gelblichbraun, zerstreut punktiert, fein spärlich behaart; das Abdomen ist an beiden Seiten stärker punktiert ohne Borstenpunkte. Die Hinterhüften sind vor dem Quereindruck dunkelbraun, hinter demselben gelblich matt. Die Enddornen der Hinterschienen sind kürzer als das erste Tarsenglied; die Hintertarsen sind besonders schlank. Die Fühler sind gelbbraun, die männliche Fahne ist sehr lang, das vor der Fahne stehende Glied ist kurz blattartig verlängert und beträgt fast 1/3 der Fahnenlänge.

Diese Art hat viele Ähnlichkeit mit *Serica fuscoliniata* Mots., unterscheidet sich aber von letzterer durch ihren schlanken Körperbau und die stark vertieften Flügeldecken-

streifen.

Wir besitzen 3 Exemplare, die alle in Hida gesammelt wurden.

Serica karafutoensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. III, fig. 5.

Fundort, Sachalin.

Länge 8 – 9,5, Breite 5 – 6 mm.

Körper schwärzlich braun mit unregelmässig zerstreuten schwarzen Flecken; die Augen hervortretend. Der Kopf ist schwarz, der Clypeus ist vorne unverschmälert; Vorderrand aufgebogen; runzelig punktiert mit hellbraunen Härchen. Der Nahtstreifen ist genau sichtbar, die Stirn ist glänzend, dagegen ist der Scheitel matt. Das Halsschild ist schwarz, an beiden Seiten und der Basis gelbbräunlich gefärbt, viel breiter als lang, fein punktiert und sehr kurz behaart; der Rand ist spärlich einreihig gelblich behaart. Das Schildchen ist länglich dreieckig, stumpf zugespitzt, fein punktiert und behaart. Die Flügeldecken sind dunkelgelb-bräunlich; die Punktstreifen sind einreihig punktiert; die Zwischenräume spärlich punktiert, zerstreut kurz behaart, mit schwarzen Flecken, die oft unregelmässig ineinander verlaufen, auf dem Seitenrande dicht mit braunen Haaren besetzt. Das Pygidium ist bräunlichschwarz mit langen hellen Haaren. Der Fühler hat 9 Glieder; die Fahne beim ♂ ist sehr lang, fast doppelt so lang wie der Stiel, beim ♀ kürzer als der Stiel. Der Hinterschenkel ist glänzend und mit gelben Haaren spärlich besetzt; die Borstengruppe der Hinterschienen ist sehr klein, die Enddornen sind länger als die Hälfte des ersten Tarsalgliedes.

Diese Art steht der *Serica boops* Waterh. sehr nahe, jedoch unterscheidet sie sich sehr von ihr durch glanzlosen Scheitel, unbeschupptes Halsschild und dichtere schwarze Flecken auf den Flügeldeckenzwischenräumen, und von *Serica nigroguttata* Br. aus Honkong durch das unbeschuppte Halsschild.

Diese Art kommt nur in Sachalin vor: in Südsachalin fand sie Herr Ezaki, im Norden wurden von Herrn Konda viele Exemplare gesammelt.

Sericania shinanoensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II, fig. 7.

Fundort, Shinano: Yarigatake-Berg, Echigo: Ehiko-Berg.

Länge 10,5 – 11, Breite 6 mm.

Diese Art ist bräunlich, mattschwarz, bisweilen schillernd, der Clypeus ist ohne Querkiel. Der Kopf ist schwarz, glänzend; der Clypeus ist unregelmässig stark punktiert, mit quer verlaufenden einreihigen bräunlichen Borsten besetzt; nach vorne verschmälert, Vorderrand schwach ausgeschweift und aufgebogen; die Stirnnaht ist un-

deutlich. Die Stirn ist vorne stark, hinten fein punktiert. Die Augen sind nicht stark vortretend. Das Halsschild ist doppelt so breit als lang, bräunlich schwarz, sehr fein punktiert, die Seitenränder sind nach vorne gebogen, der Vorderrand nach der Mitte allmählich vortretend, die Vorderecken sind vorgezogen, die Hinterecken etwas abgerundet. Das Schildchen ist länglich schildförmig zugespitzt, sehr fein punktiert. Die Flügeldecken sind viel-und ziemlich tiefgestreift; die Furchen sind einreihig fein punktiert, die Zwischenräume sind schwach gewölbt, zerstreut fein punktiert, spärlich kurz behaart, am Seitenrande mit bräunlichen Borstenreihen versehen. Das Pygidium ist stark gewölbt, glänzend, fein punktiert, nach dem Apex zu bräunlich beborstet. Die Fühler sind 9 gliederig; die Fahne des ♀ ist kürzer als der Stiel. Die Vorderhüften tragen am äusseren Rande lange Borstenhaare. Die Hinterhüften sind vor dem Quereindruck dunkelbraun gefärbt; die Hinterschienen sind schlank, mit zwei Borstengruppen auf dem Aussenrande, die Enddornen sind kürzer als das erste Fussglied.

Wir haben drei ♀ Exemplare, zwei sind in Yarigatake und eins in Ehikosan gesammelt worden.

Gastroserica bicolor Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. II, fig. 8.

Fundort, Formosa

Länge 7, Breite 3 mm.

Körper länglich oval, schwarz, mit gelblichbraunen Längslinien; matt, schwach gereift. Der Clypeus ist gelblichbraun, der Vorderrand ist schwach abgerundet und etwas aufgebogen, fein unregelmässig punktiert, mit wenigen bräunlichen Haaren. Die Stirn ist schwarz, die Vorderecken treten etwas spitz vor, sind stark punktiert und behaart; schwach erhöhte Mittellinie. Die Augen sind schwarzbraun, vortretend. Das Halsschild ist an der Basis am breitesten, nach dem Vorderrande zu verschmälert und abgerundet; in der Mitte schwarz, an beiden Seiten bräunlichgelb gefärbt, fein punktiert mit feinen kurzen Härchen, ohne vertiefte Mittellinie; an beiden Seitenrändern nach dem Vorderrande hin bräunlich behaart. Das Schildchen ist länglich, bräunlich, zugespitzt, die Mitte ist glatt, die Seiten sind punktiert und kurz behaart. Die Flügeldecken sind schwarz und mit einer gelben Längslinie versehen; die Punktstreifen sind einreihig punktiert; die Zwischenräume jedoch unpunktiert, auf dem 1. 3. und 5. Zwischenraum nach dem Apex zu mit einreihigen, bräunlichen, starken Borsten besetzt, besonders auf dem ersten befinden sich viele Borsten, die der Naht zu gerichtet stehen. Das Pygidium ist gross, gelblichbraun gefärbt, fein punktiert und ziemlich lang behaart. Die Bauchsegmente sind schwarz, mit einreihig querlaufenden bräunlichen Borsten. Die Fühler sind zehngliedrig; die vierblätterige Fahne des Männchens ist viel länger als der gelbbräunliche Stiel. Die

Hinterhüften sind sehr gross, hellgelblich braun gefärbt, gleichmässig fein punktiert, dünn behaart, ohne Borsten. Der Enddorn der Hinterschienen ist kurz.

Der Beschreibung nach steht diese Art der *Gastroserica Herzi* nahe; jedoch ist die Fahne des Fühlers bei unserer Art sehr lang, dann fehlt die länglich vertiefte Mittellinie des Halsschilds, und auf den Flügeldecken stehen bräunliche Borsten. Diese 2 ♂ Exemplare sind in dem entomologischen Institut unserer Universität.

Miridiva koreana Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II, fig. 16, Taf. IV, fig. 15.

Fundort, Korea; Suigen.

Länge 13 – 14,5 Breite 6,5 – 7,5 mm.

Kopf schwarz, Körper gelblich glänzend, länglich oval, Oberseite ohne Haare; Tarsen lang; äusserlich ähnelt diese Art der *Heptophylla picea* Mots. Der Kopf ist verhältnismässig gross; der Clypeus ist bräunlich schwarz, die Vorderecken sind abgerundet, der Vorderrand ist aufgebogen, fein aber nicht dicht punktiert. Der Nahtstreifen ist deutlich bemerkbar, fast gerade. Die Stirne ist unregelmässig länglich gedrückt und fein punktiert. Das Halsschild ist bräunlichgelb, etwas zerstreut punktiert, die Vorderecken kaum vorspringend, fein zugespitzt; die Hinterecken sind fast rechtwinkelig, etwas abgerundet; die Basis ist an beiden Seiten schwach gerandet. Das Schildchen ist gleichmässig punktiert. Die Flügeldecken sind gewöhnlich hellgelblich gefärbt, nur bei einem Exemplar ist es wie das Halsschild gefärbt, die Punktierung ist feiner und tiefer als wie beim Halsschild. Die Nahtstreifen sind ziemlich hoch gewölbt, nach dem Apex zu breiter. Der erste Längskiel ist fast glatt, breit und kaum merklich gewölbt, die übrigen sind unbemerkbar. Das Pygidium ist dicht und fein punktiert; am Spitzenrande spärlich gelbbehaart. Die Unterseite ist gelblich, an der Brust mit langen, weichen gelblichen Haaren versehen. Das Abdomen ist glänzend, sehr fein punktiert und spärlich mit dünnen Haaren besetzt. Der Fühler ist 9 gliedrig; drei Fahnenglieder sind beim ♂ fast so lang wie der Stiel. Die Vorderschienen tragen 3 Zähne, der Sporn steht zwischen dem ersten und dem mittleren Zahne gegenüber.

Wir besitzen 9 aus Korea stammende, männliche Exemplare, sie stimmen nicht mit der bis jetzt einzig beschriebenen Art *M. trichophorus* Fairm. aus China überein; denn bei unseren Exemplaren fehlen die Haare an den Oberseiten; da sie aber andere gleichartige Gattungsmerkmale besitzen, haben wir sie diesem Genus eingereiht.

Holotrichia pruinosa Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. IV, fig. 4. 10.

Fundort, Formosa: Horisha, Taihoku.

Länge 21♂ – 27♀, Breite 10,5 – 13 mm.

Diese Art ist schwarzbraun oder rotbraun, matt, oben stark gereift; das Weibchen hat einen grossen Bauch. Der Kopf ist schwach glänzend; der Clypeus ist kurz und breit, dicht stark punktiert, vorne abgerundet, am Vorderrand aufgebogen und beim Weibchen in der Mitte stärker gebuchtet; die Stirnnaht ist in der Mitte nach innen gebogen. Die Stirn ist schwach dünn punktiert, mit einem schwachen Querkiel zwischen den Augen. Das Halsschild ist breit, etwas zerstreut fein punktiert, in der Mitte ist eine glatte Linie; die Seitenränder sind vor der Mitte fein gesägt und bräunlich beborstet. Das Schildchen ist flach, ausser der Mittellinie fein punktiert. Die Flügeldecken sind rotbräunlich, fein punktiert; der Längskiel ist sehr schwach vortretend und spärlich punktiert. Das Pygidium ist flach, etwas weitläufig runzelig punktiert; beim Weibchen vor dem Apex etwas buckelig feiner punktiert. An der Unterseite ist die Mittelbrust lang hellgelb dicht behaart. Der Bauch ist schwarzbraun oder rotbraun, matt, fein punktiert, beim Weibchen ist der Bauch sehr gross; auf der Oberseite befindet sich das vorletzte Bauchglied ausserhalb der Flügeldecken. Beim Weibchen sind die drei äusseren Zähne der Vorderschienen gross, beim Männchen dagegen ist der hinterste klein; die Hinterhüften sind lang behaart. Das Fahnenglied des Weibchens ist sehr klein, beim Männchen ist es etwas länger.

Diese Art ist *H. morosa* sehr ähnlich, aber die hier beschriebene hat eine stärkere Bereifung, und das Weibchen zeichnet sich durch den auffallend grossen Bauch aus. Wir besitzen 4 aus Taihoku und Horisha stammende Exemplare; es scheint, als ob diese Art in Formosa nicht selten vorkomme.

Holotrichia horishana Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II, fig. 3.

Fundort; Formosa: Horisha.

Länge 16 – 17 ♂, 19 ♀ Breite 8 – 8,5 ♂, 9,5 ♀ mm.

Diese Art steht der *H. kiotoensis* Brenske nahe, ist jedoch viel kleiner. Schwarz glänzend, Unterseite, ausser dem letzten Bauchglied, gereift. Kopf gleichmässig stark punktiert; der Clypeus am Vorderrand aufgebogen und in der Mitte ausgebuchtet. Das Halsschild ist fast doppelt so breit als lang, kleiner und zerstreuter als der Kopf punktiert. Das Schildchen ist flach dreieckig, etwas bräunlich, an beiden Seiten punktiert, mit glatter Mittellinie. Die Flügeldecken sind grösser, weitläufiger und unregelmässiger als das Halsschild punktiert. Das Pygidium ist schwach gewölbt, seicht punktiert, am Spitzenrande gelbbräunlich behaart. Hinterrand des Pygidiums und vorletztes Glied matt und gereift; vorderer Teil des vorletzten Gliedes kurz gelblich behaart. Unterseite ist wie das Pygidium punktiert und ausser dem letzten Bauchglied stark gereift, das vorletzte Glied ist ziemlich breit eingedrückt und trägt vereinzelte gelbe Haare. Die Beine sind dunkelbräunlich;

die Vorderschienen tragen 3 Zähne am äusseren Rande. Die Tarsen stehen auf der Innenseite der Ausrandung des ersten und mittleren Zahnes, und der Sporn liegt dem ersten gegenüber. Die Fahne des Fühlers ist bei beiden Geschlechtern gleich.

Wir besitzen 3 Exemplare dieser Art, von denen 2 ♂ aus Horisha stammen. 1 ♀ erhielten wir ohne Ortsbeschreibung von Herrn M. Ishida aus Dainan; wir nehmen an, dass es dort gesammelt wurde.

Melolontha satsumaensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II, fig. 5, Taf. IV, fig. 19, Taf. VII, fig. 13.

Fundort, Kagoshima, Miyazaki, Kochi.

Länge 27 – 33, Breite 13 – 15 mm.

Diese Art ähnelt sehr der *Melolontha japonica* Burm., jedoch ist diese etwas grösser; Kopf, Halsschild, Schildchen und Beine sind schwarz, bei wenigen Exemplaren etwas bräunlich; der Episternalfortsatz ist klein. Der Kopf ist fein dicht punktiert und viel dicker als bei *M. japonica* gelblich behaart. Der Clypeus des Männchens gleicht dem *M. japonica*, dagegen ist er beim Weibchen nach vorne verschmälert und in der Mitte des Vorderrandes gebuchtet. Das Halsschild ist in der Mitte des Hinterrandes beim Weibchen stärker vortretend. Die Längsstreifen der Flügeldecken sind viel höher als bei *M. japonica*. Das Pygidium ist lang gestreckt und stumpf zugespitzt. Der Mesosternalfortsatz ist länglich schmal und unbehaart. Die Unterseite ist schwarz; die weissen Flecken der Bauchseite sind länglich und bilden gewissermassen eine Längslinie. Die Gestalt der männlichen Genitalien ist eine ganz andere als wie bei der *M. japonica*, und dann befindet sich vor der Spitze ein nach oben gerichteter scharfer Zahn; ein aus Motoyama (Kochi) stammendes Exemplar ist etwas anders geformt, vielleicht ist es eine Ortsvarietät.

Diese Art haben wir zuerst der *M. japonica* zugesellt, aber nach Untersuchung der Genitalien als eine neue Art aufgestellt, auch der Mesosternalfortsatz ist ein ganz anderer.

Wir besitzen 4 ♂ und 8 ♀, alle stammen aus wärmeren Gegenden.

Gymnogaster Ezakii Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II, fig. 1.

Fundort, Formosa: Urai.

Länge 9,5, Breite 4,5 mm.

Diese Art ist länglich zylindrisch gestaltet, dunkelbraun, glänzend; die Fühlerfahne ist sehr lang, 6 gliedrig. Der Kopf ist breit und kurz, gross und tief punktiert, das Kopfschild ist nach vorne verschmälert, die Vorderecken sind abgerundet, der Vorderrand ist aufgebogen, deutlich gebuchtet. Die Fühler sind zehngliedrig, die Fahne ist beim

Männchen sechsgliedrig, sehr lang und schmal; das innere dritte Fahnenglied ist sehr klein, kürzer als die Hälfte der anderen Glieder. Das Halsschild ist breit und kurz, mässig gewölbt, etwas runzelig gross punktiert, in der Mitte mit einer schwachen Vertiefung versehen, die Seitenränder sind in der Mitte bogenförmig erweitert. Das Schildchen ist klein, stark glänzend, glatt, ohne Punktierung. Die Flügeldecken sind dunkelbraun, zwischen dem Schildchen und der Schulter rötlich gefärbt, die beiden Nahtstreifen sind etwas breit und erhöht, zwei Längskiele sind auf der Scheibe deutlich bemerkbar; die Zwischenräume sind breit und flach, etwas runzelig gross punktiert. Der Innenrand der Naht ist nach dem Apex zu einreihig und besonders kurz beborstet. Das Pygidium ist glänzend grob punktiert, mit langen gelbbraunen Borsten am Apex. An der Unterseite sind Brust und Beine rotbräunlich, der Bauch ist hell gelbbraun; der Brustteil ist grob punktiert, die Hinterhüften sind matt und haben hellgelblich, dünn und kurz behaarte Punkte; die Bauchsegmente sind spärlich fein punktiert, die Vorderschienen tragen drei Randzähne, der hinterste davon ist sehr klein.

Die beschriebene Art ist ein männliches Exemplar, das Herr Ezaki in Formosa gesammelt hat; an den Vorderschienen befinden sich drei Randzähne, wogegen bei der Gattungsbeschreibung nur zwei erwähnt sind, alle andern Eigenschaften stimmen mit der genannten Gattung überein.

Lepidota cratacea Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 16, Taf. II. fig. 12, fig. 13.

Fundort, Formosa: Horisha.

Länge 21, Breite 11 mm.

Die ganze Oberseite ist dicht mit weissen Schuppen bedeckt, daher ist die Grundfarbe nicht erkennbar; die Unterseite ist schwarzbraun, ebenso fein aber nicht so dicht wie die Oberseite beschuppt. Die Oberlippe ist unsymmetrisch, die rechte Seite ist sehr gross, wogegen die linke kleiner ist. Die Fühler sind gelblichbraun, die Fahne ist klein. Der Kopf ist verhältnismässig gross; der Clypeus ist breit und kurz, an der Seite nach vorne abgerundet. Die Stirn ist in der Mitte vor der Naht vertieft; am Scheitel stehen die weissen Schüppchen wirbelartig erhöht. Das Halsschild ist breiter als lang, die Vorderecken sind wenig aber lang behaart, die an den Hinterecken vorhandenen Schuppenhaare bedecken leicht die Flügeldeckenbasis, die Seitenränder sind in der Mitte fast eckig gebogen. Die Flügeldecken sind dicht mit gelblich weissen Schuppen bedeckt; drei deutliche Längskiele sind auf beiden Decken vorhanden, an beiden Seiten nach dem Apex zu breit grubenartig vertieft, der vertiefte Teil ist ganz weiss beschuppt. Das Pygidium ist fast flach, länglich dünn beschuppt. Die Unterseite ist bräunlich schwarz, die Brust ist weiss lang behaart, dazwischen spärlich beschuppt. Die Bauchsegmente haben an den

Seiten dieselbe Beschuppung wie das Pygidium, aber in der Mitte sind sie fast kahl. Die Beine sind gelblich rot; die Schenkel sind weiss beschuppt. An den Vorderschienen befinden sich drei Randzähne.

Der Beschreibung nach ist unsere Art *L. stigma* Fabr. ähnlich, aber bei letzterer fehlen die Seitengruben der Flügeldecken, wogegen die zwei höckerigen Erhöhungen der *L. stigma* bei dieser Art nicht vorhanden sind. Unser Material ist ein von Herrn Prof. Matsumura gesammeltes Exemplar.

Anomala tokioensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 8. Taf. VII. fig. 21.

Fundort, Tokio: Komaba, Meguro.

Länge 15 – 16, Breite 7 – 7,5 mm.

Diese Art ist länglich oval, gelbbräunlich, hellgrünlich erzglänzend; der Kopf und das Halsschild sind fein dicht punktiert; die Punktierung der Flügeldecken ist noch feiner. Der Kopf ist verhältnismässig gross, der Clypeus ist vorne verschmälert, dicht netzartig schwach punktiert; der Vorderrand ist stark aufgebogen. Die Stirn ist bei der Naht dicht und stark punktiert, auf dem Scheitel feiner und weitläufiger. Das Halsschild ist anderthalbmal so breit als lang, am Seitenrande ist es ganz spärlich behaart und noch dichter wie der Scheitel punktiert, in der Mitte ist eine dünne vertiefte Linie; auf beiden Seiten der Scheibe und nahe am Basalrande sind schwache Eindrücke. Die Flügeldecken sind etwas feiner punktiert als das Halsschild, der innere Teil der Schulter ist etwas eingedrückt; die Epipleurakiele an den Seiten der Flügeldecken sind hinter der Mitte verkürzt, drei Längskiele sind auf jeder Seite bemerkbar; der Zwischenraum bei der Naht ist breit und flach, die anderen sind schmäler und etwas gewölbt. Das Pygidium ist netzartig fein punktiert, an dem Apex mit bräunlichen Borstenhaaren. Die Unterseite ist gelblichbraun, die Behaarung auf der Brust ist kurz und spärlich; die Bauchsegmente haben spärlich zerstreute Borsten. An der männlichen Genitalie sind die beiden Parameren des Forceps sehr schmal, aber an der Spitze verbreitern sie sich und greifen an der Innenseite übereinander.

Diese Art besitzt eine gewisse Ähnlichkeit mit *A. multistriata* Motsch, doch ist sie viel schmäler und die Halsschildpunktierung ist eine viel feinere; die männliche Genitalienbildung ist auch eine ganz andere.

Phyllopertha tanbaensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. VI. fig. 21.

Fundort, Tanba.

Länge 9 – 10, Breite 5,5 – 6 mm.

Diese kleine Art hat eine gewölbte, unbehaarte Oberseite, ist glänzend schwarz, Kopf und Halsschild sind grünlich. Der Clypeus ist grünlich schwarz, sehr dicht punktiert; der Vorderrand ist aufgebogen, die Vorderecken sind gerundet; die Stirn ist zerstreuter und feiner punktiert als der Scheitel. Das Halsschild ist glänzend, grünlich schwarz, gleichmässig deutlich punktiert, unbehaart, mit einer glatten Längslinie vor dem Schildchen; die Seitenränder und der Basalrand sind gerandet. Das Schildchen ist halbkreisförmig fein punktiert. Die Flügeldecken sind schwarz, die Punktstreifen sind schmal furchenartig; die Zwischenräume sind gewölbt und fein punktiert. Das Pygidium ist netzartig punktiert; am Apex bräunlich lang behaart. Die Unterseite ist schwarzbraun, auf der Brust weiss fein behaart, auch die Bauchsegmente sind zerstreut lang behaart. Zwei Randzähne befinden sich an der Vorderschiene, der hintere davon ist besonders klein. Die Fühlerfahne ist beim Männchen so lang wie der Stiel, beim Weibchen ein wenig kürzer.

Diese Art stimmt nicht mit den schon beschriebenen Arten überein, sie unterscheidet sich von jenen durch ihren schwarzen, unbehaarten Körper. Wir sind im Besitz von 5 Exemplaren, 3 wurden in Tanba und 2 in Kochi gesammelt.

Phyllopertha kiotoensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. VI. fig. 17.

Fundort, Kioto.

Länge 9 – 10,5, Breite 5 – 6 mm.

Die Oberseite ist schwarz behaart; die Flügeldecken sind schwärzlichbraun. Das Kopfschild ist sehr dicht punktiert, die Seitenränder sind bedeutend stärker aufgebogen als der Vorderrand. Die Stirnnaht ist deutlich. Die Stirn ist wie der Clypeus dicht punktiert; der Scheitel ist glänzend, zerstreut punktiert. Das Halsschild ist doppelt so breit als lang, an der Basis gerandet, der Basalwinkel ist beim Männchen etwas vortretend, beim Weibchen abgerundet; die Scheibe ist glänzend schwarz, grünmetallisch schimmernd, stark unregelmässig punktiert, hellgelblich aufstehend behaart. Das Schildchen ist halbkreisförmig, glänzend schwarz, spärlich punktiert. Die Flügeldecken sind abgeflacht, glänzend schwarzbraun, deutlich gestreift, fast unerkennbar, kurz bräunlich behaart, dem Seitenrande entlang läuft eine furchenartige Vertiefung. Der erste Zwischenraum ist an der Basis bis zur Mitte unregelmässig stark punktiert. Das Pygidium ist schwarz metallisch glänzend, hellbräunlich behaart. Die Bauchseite und Beine sind schwarz glänzend, lang weissbehaart. Die Fahne der Fühler ist beim Männchen länger als der Stiel, beim Weibchen ist dieselbe kürzer; der am Aussenrande der Vorderschiene befindliche Apikalzahn ist beim Weibchen viel länger und schärfer als beim Männchen.

Diese Art ähnelt der *Ph. conspurcata* Har., aber sie unterscheidet sich von

dieser durch schwarze Färbung der Flügeldecken und tiefere Punktierung daselbst. Unsere Exemplare sind ein männliches und drei weibliche, sie wurden alle in Kioto gesammelt.

Phyllopertha fuscata Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. VI. fig. 22.

Fundort, Hokkaido: Tomakomai.

Länge 10 – 11, Breite 5,5 – 6 mm.

Diese Art ist länglich schwarz, oben abgeflacht, fein weissbehaart; das Halsschild ist grünlich glänzend. Der Clypeus ist dicht fein punktiert, nach vorne verschmälert; der Vorderrand ist gerade, die Vorderecken erscheinen abgerundet. Die Stirn ist etwas weitläufig punktiert, fein spärlich mit langen Haaren besetzt. Das Halsschild ist grünlich, stark glänzend, wie *Ph. tanbaensis,* fein lang weissbehaart und ohne glatte Mittellinie. Das Schildchen hat die Färbung des Halsschilds, ist aber dichter fein punktiert. Die Flügeldecken sind schwarz, schwach glänzend, kurz fein behaart; die Punktstreifen sind dagegen seichter, aber stärker punktiert als bei *Ph. tanbaensis.* Das Pygidium ist schwarz, etwas grünlich, dicht weissbehaart. Die Bauchseite ist schwarz mit einem grünlichen Schimmer, stark glänzend; auf der Brust weissbehaart, die Haare der Bauchsegmente sind feiner. Zwei äussere Zähne sind an den Vorderschienen vorhanden; die Fühlerfahne ist bei beiden Geschlechtern fast gleich und kürzer als der Stiel.

Diese Art steht *Ph. tanbaensis* nahe, aber sie unterscheidet sich durch ihren länglichen flacheren Körperbau und die Behaarung der Oberseiten. In unserer Sammlung sind zahlreiche Exemplare vorhanden, sie kommen aus dem Universitätswald Tomakomai.

Popillia Uchidai Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. III. fig. 36.

Fundort, Korea.

Länge 9, Breite 5 mm.

Die Art ist klein, schwarz grünlich erzglänzend; die Flügeldecken sind hell gelbbraun; die weissen Haarflecke des Pygidiums sind klein. Der Kopf ist schwärzlich purpurn gefärbt. Der Clypeus ist nach vorne verschmälert, dicht fein runzelig punktiert; der Vorderrand ist gerade und etwas aufgebogen, die Stirnnaht ist undeutlich. Die Stirn ist vorne dicht, nach dem Scheitel weitläufiger punktiert. Das Halsschild ist gewölbt, glänzend; die Seitenränder sind stark gebogen; die Vorderecken sind vortretend, und der Basalrand ist an beiden Seiten gerandet, nach dem Schildchen zu schief

geneigt. Das Schildchen ist glänzend, stumpf zugespitzt, an der Basis fein punktiert, auf der Mitte mit einer glatten Linie. Die Flügeldecken sind hell gelblichbraun; die vertieften Streifen sind einreihig punktiert; die Zwischenräume sind sehr fein punktiert und fast glatt, nur der zweite Zwischenraum ist breit und von der Basis bis zur Mitte stark punktiert. Das Pygidium ist schwärzlich purpurn gefärbt, zerstreut punktiert; die weissbehaarten Flecken sind klein und dünn. Die Unterseite ist auch schwärzlich purpurn gefärbt, auf der Brust weissbehaart, an beiden Seiten der Bauchsegmente stehen einreihig weisse Haare. Der Mesosternalfortsatz ist ziemlich gross, konisch, stumpf zugespitzt. Die Beine und Fühler sind schwarzbraun.

Diese Art steht *P. lewisi* Arrow nahe, aber die letztgenannte Art hat einen kleineren Mesosternalfortsatz und zweireihige Behaarung auf den Bauchsegmenten im Unterschied zur hierbeschriebenen Art. Wir besitzen zwei aus Suigen (bei Seoul) stammende Exemplare.

Popillia comma Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 9.

Fundort, Formosa.

Länge 10 – 12, Breite 6 – 7 mm.

Die Färbung dieser Art ist schwarzgrün oder etwas kupferrötlich schwarz, auf den Flügeldecken mit einem halbkreisförmigen gelbbraunen Flecken. Der Kopf ist grünlichschwarz oder etwas kupferfarbig; der Clypeus ist grob punktiert. Die Stirnnaht ist undeutlich; die Stirn ist ziemlich dicht, am Scheitel zerstreut punktiert. Das Halsschild ist stark glänzend, oben gewölbt; der Basalrand ist vor dem Schildchen nicht gerandet. Die Punktierung ist am Vorderrand und an den Seiten stärker. Das Schildchen ist flach und stumpf zugespitzt. Die Flügeldecken sind wie der Körper grünlich gefärbt, die Punktstreifen sind stark vertieft, einreihig punktiert; der 1. und 3. Zwischenraum ist bis über die Mitte hin stark einreihig punktiert und hat scharfe Quervertiefungen hinter dem Schildchen. Die Nahtstreifen sind schwach purpurn glänzend, unterhalb des Schildchens befindet sich ein halbkreisförmiger bräunlichgelber Fleck. Das Pygidium ist leicht gewölbt, fein punktiert, an dem Apex zerstreut behaart; die zwei weissen oder hellbräunlichen Haarflecken sind klein. Die Unterseite ist schwarzgrün, mit kupferrotem Schimmer. Der Mesosternalfortsatz ist kurz und spitz. Die Bauchsegmente sind einreihig hell bräunlich behaart.

Diese Art ähnelt sehr der *Popillia indigonacea* Motsch, ist aber durch die grünliche Färbung und den halbkreisförmigen Fleck der Flügeldecken zu unterscheiden. Zehn Exemplare sind von Herrn Prof. Matsumura gesammelt worden.

Polyphylla formosana Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. II. fig. 2, Taf. IV. fig. 22.

Fundort, Formosa.

Länge 41, Breite 20 mm.

Diese sehr grosse dunkelbraune Art ist dichter weisslich marmoriert als *P. laticollis*, ohne aufstehende Haare auf der Stirn. Der Clypeus ist kurz und breit, fast viereckig; der aufgeworfene Vorderrand ist schwach wellenförmig gebogen, an beiden Seiten mit gelblichen Schuppen besetzt, vor der Stirnnaht glatt. Die Stirn ist stark punktiert, zu beiden Seiten gelblich geschuppt. Das Halsschild ist an der Basis deutlich gerandet, die Seitenränder sind in der Mitte eckig gebogen, auf der Scheibe dicht punktiert, in der Mitte und an beiden Seiten hellgelblich lang bandartig gestreift, die seitlichen Bänder sind in der Mitte unterbrochen, unweit der Seitenränder befindet sich ein glänzender Fleck. Das Schildchen ist von der Mitte nach dem Apex zu glatt glänzend, auf beiden Seiten der Basis hellgelblich gefleckt. Die Flügeldecken sind seicht punktiert, unregelmässig mit weissen Schuppen marmoriert. Das Pygidium ist glänzend, mit dichten kurzen Börstchen besetzt, der Apex ist abgeschnitten und bräunlich lang behaart. Die Unterseite ist glänzend braun, die Brust und die Hinterhüften sind lang dünn weisslich behaart, die Bauchsegmente sind runzelig punktiert, sehr kurz behaart, die Vorderschienen sind am Aussenrande mit nur einem Zahn (♂) versehen. Die Fahnen der Fühler sind bedeutend länger, im Ruhezustande bilden die äusseren Ecken einen etwas scharfen Winkel.

Diese Art ähnelt der *P. laticollis*, doch unterscheidet sie sich von dieser durch eine viel grössere Form, dichter marmorierte Flecken der Flügeldecken und unbehaarte Stirn.

Wir besitzen ein in Horisha gesammeltes Exemplar, auch ist eins im entomologischen Institut unserer Universität, beide sind männlich.

Macronota fuscomaculata Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 2.

Fundort, Formosa; Kagi.

Länge 23, Breite 10 mm.

Der Körper ist pechbraun, glänzend, mit 4 bräunlichen Bändern auf dem Halsschilde; auf den Flügeldecken sind elliptische und rundliche, braune Flecken. Der Kopf ist stark punktiert, in der Mitte gekielt; zu beiden Seiten des Mittelkiels bis zur Mitte des Clypeus sind bräunliche, lange Flecken. Das Kopfschild ist am Vorderrand stark ausgebuchtet und zweilappig. Das Halsschild ist stark punktiert, an den Seiten nach dem Vorder-

rande abgerundet; auf der Scheibe sind 4 bräunliche Streifen, wovon die seitlichen schmal sind, die beiden mittleren sind breiter und stehen dichter beieinander; die Streifen sind dicht kurz behaart. Das Schildchen ist länglich zugespitzt, beide Seitenlinien sind gebogen; die ganze Fläche ist gelblich angehaucht und kurz behaart. Die Flügeldecken sind glänzend; elliptische und rundliche braune Flecken ziehen sich von der Mitte bis zum Apex hin, zwischen den beiden Flecken befindet sich am Seitenrande je ein kleiner Fleck, sämtliche Flecken sind dicht bräunlich behaart. Das Pygidium ist auch bräunlich behaart. Die Bauchseite und die Beine sind schwarz glänzend; beide Seiten des Bauchsegments sind gekielt. Jedes Bauchglied ist an der Seite bräunlich gefleckt und behaart. Die äusseren drei Zähne der Vorderschienen und eine Zahn der Mittelschiene sind zugespitzt.

Unser Versuchsmaterial sind drei aus Formosa stammende Käfer.

Eins unserer Exemplare wurde in Kagi gesammelt, zwei aus dem entomologischen Institut unserer Universität stammende, sind ohne genaue Ortsangabe.

Macronota formosana Nüjima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 13.

Fundort, Formosa: Tappan.

Länge 21, Breite 9,5 mm.

Diese Art steht der *Macronota quadrivittata* Schaum nahe, unterscheidet sich aber von dieser durch ihre grössere und schmälere Gestalt und andere Fleckenform; auf dem Halsschild sind 4 gelbe Längsbinden; die Flügeldecken sind rot, mit schwarzen Flecken und gelben Punkten besetzt; die Bauchringe sind auf der Rückseite nur wenig sichtbar. Der Kopf ist schwarz und hat zwei gelbe Binden, welche bis zur Mitte des Clypeus reichen. Der Clypeus ist rötlich gefärbt, ziemlich stark punktiert und gelb behaart, der Vorderrand ist deutlich zweilappig. Das Halsschild ist etwas länglich geformt, vor der Mitte nach dem Vorderrande stark verschmälert, schwarz, seicht halbkreisförmig punktiert, an beiden Seitenrändern rötlich gefärbt, mit 4 gelben Längsbinden, die etwas eingedrückt sind, die 2 mittleren sind vorne verbreitert. Die Seitenränder sind fein gesägt. Das Schildchen ist schwarz, länglich, stumpf zugespitzt, beide Seitenlinien sind schmal gelblich gesäumt. Die Flügeldecken sind rot mit schwarzen Streifen; zwei derselben bilden, von der Naht ausgehend, einen rechten Winkel und reichen bis zur Schulter hin, einer steht unweit des Apex; ausserdem gibt es noch 5 gelbe punktartige Flecken. Das Pygidium ist am Seitenrande schwarz, nach dem Apex zu rötlich gefärbt, mit einem gelben Fleck in der Mitte. Die Unterseite ist schwarzglänzend; der Hinterrand der Epimeren ist gelb gefärbt, auch sind auf demselben zwei gelbe Flecken; an beiden Seiten der Bauchsegmente, ausser dem letzten und vorletzten, sind ein oder zwei gelbe Flecken vorhanden. Die Bauchseiten sind schwach gekielt. Die Vorderschienen haben drei Randzähne, die

beiden vorderen Zähne sind gross, wogegen der hintere klein ist. Der äussere Zahn der Mittelschiene ist scharf zugespitzt.

Nur ein einziges Exemplar dieser Art ist vorhanden; es wurde von Herrn Prof. Matsumura in Formosa gesammelt und gehört dem entomologischen Institut der hiesigen Universität. Wir sind im Besitz eines sehr ähnlichen aus China stammenden Exemplares, es ist aber kleiner von Gestalt und die Fleckung ist eine andere, auch mit der *M. quadrivittata* ist es nicht übereinstimmend.

Macronota kagiensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 15.

Fundort, Formosa: Kagi.

Länge 13, Breite 6 mm.

Diese kleine Art ist schwarz, auf der Oberseite hat sie schöne rote Längslinien, ausserdem sind zwei gelbbräunliche Querbinden auf den Flügeldecken. Der Kopf ist glänzend bräunlichschwarz, dicht punktiert, kurz gelbbräunlich behaart. Der Clypeus ist vorne abgerundet, der Vorderrand ist in der Mitte stark gebuchtet und zweilappig; die Scheitelmitte ist glänzend, kurz gekielt. Das etwas längliche Halsschild ist in der Mitte am breitesten; es ist dicht punktiert, kurz gelbbehaart; die Vorderecken sind abgerundet, die Hinterecken sind fast rechtwinkelig; die Basis tritt in der Mitte hinter dem Schildchen hervor und ist mit einer Längslinie von gelbbräunlichen Schuppenhaaren versehen. Das Schildchen ist schwarz, die Mittellinie desselben und der Apex sind gelbbräunlich geschuppt. Die Flügeldecken sind länglich runzelig punktiert, fein bräunlich behaart; nahe beim Schildchen ist eine kurze glatte unbehaarte Anschwellung, eine ebensolche längliche Erhebung ist auf der Scheibe vorhanden; die Grundfarbe ist schwarz, rechts und links vom Schildchen läuft eine rote Linie, die erst einen Ring bildet und dann an der Erhöhung entlang sich bis zur Mitte zieht und hier quer gehend in der Naht endigt, auch den Seitenrändern entlang geht ein roter Streifen nach dem Apex hin, welcher in der Naht zusammentrifft. Ferner sind zwei gelbbraun beschuppte Querbinden vorhanden, eine befindet sich in der Mitte, die andere zwischen der Mitte und den Schultern. Das Pygidium ist schwarz stark punktiert, dem Hinterrand entlang und von der Mitte nach dem Apex zu kurz streifenartig gelbgeschuppt. Die Behaarung ist beim letzten und vorletzten Segment länger. Die Bauchsegmente sind halbkreisförmig zerstreut punktiert, an beiden Seiten sind die drei mittleren Segmente länglich gefleckt und haben gelbbräunliche Schüppchen. Die Beine sind rotbraun. An den Vorderschienen sind drei Randzähne, der vorderste ist gross, die andern sind sehr klein.

Wir besitzen nur ein in Kagi gesammeltes Exemplar. Diese Art ist der *M. quadrivittata* ziemlich ähnlich, aber die hier beschriebene Art ist viel kleiner und die roten Streifen

der Flügeldecken sind anders.

Macronota viridula Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 6.

Fundort, Formosa : Taihei.

Länge 16, Breite 8 mm.

Die Oberseite ist dunkelgrün, matt, auf der Mitte der Flügeldecken sind kleine weisse Flecken; die von den Flügeldecken unbedeckte Rückenseite der Bauchsegmente ist auch kurz linienartig weiss gefleckt. Der Kopf ist glänzend grünlich schwarz und purpurn schimmernd, zwischen den Augen länglich gekielt, auf der Stirn stark punktiert weiss behaart. Der Clypeus ist am Vorderrande zweilappig, nicht aufgebogen; fein weiss behaart. Das siebeneckige Halsschild ist vor der Mitte des Seitenrandes eckig, die Scheibe ist gleichmässig fein punktiert, dünn weissbehaart Das Schildchen ist länglich, nicht scharf zugespitzt, mit weissen Härchen am Apex versehen. Die Flügeldecken sind schmal, dunkelgrün, schwach schillernd, nicht stark punktiert, bei den Nahtstreifen furchenartig vertieft, hinter der Mitte 4 kleine weisse Flecken in der Furche, die länglichen Erhebungen der beiden Furchenseiten sind parallel und an den Schultern gegabelt. Vom Schildchen aus läuft zu beiden Seiten dem Nahtstreifen entlang eine ganz feine, scharfe Linie, und ferner erscheinen hinter der Mitte bis zum Apex auf der Furche noch drei feine Linien. Am Apex sind die Nahtstreifen und die Ränder weiss behaart. Das Pygidium ist vor dem Apex gebuchtet, runzelig, dünn weissbehaart. Die von den Flügeldecken unbedeckte Oberseite des breiten Bauches trägt auf dem Hinterrande der Glieder längliche, weisse Fleckchen. Die Bauchseite ist purpurschwarz glänzend; auf der Brust lang weissbehaart; der Mesosternalfortsatz ist kurz und fast kugelig. Die Bauchsegmente haben keine Seitenkiele und sind in der Mitte furchenartig vertieft. Das an die Hinterhüfte anstossende Bauchsegment ist beiderseits mit weissen Flecken versehen. Die inneren Seiten der Schenkelglieder sind lang behaart; drei äussere Zähne der Vorderschienen sind sehr spitz; der einzige mittlere Zahn der Mittelschiene ist dornartig zugespitzt.

Diese nur in einem Exemplar vertretene Art wurde von Prof. Matsumura gesammelt und ist in dem entomologischen Institut der hiesigen Universität.

Macronota hopponus Niijima et Matsumura. n. sp.

Taf. I. fig. 12.

Fundort, Formosa : Hoppo.

Länge 22 - 24 mm., Breite 11 - 12 mm.

Diese schöne Art ist stark glänzend schwarz, fast das ganze Halsschild und die

Flügeldecken sind gelb oder rötlichgelb. Der Kopf ist schwarz und etwas purpurn schimmernd mit einem Längskiel auf der Stirnmitte, zu beiden Seiten des Längskiels ist ein dicht gelbbehaarter länglicher Fleck. Der Clypeus ist unregelmässig punktiert und dünn behaart, vor den Augen verschmälert; der Vorderrand ist ausgebuchtet und fast zweilappig. Das Halsschild ist vor der Mitte des Seitenrandes eckig, dann nach vorne abgerundet; die Hinterecken sind rechtwinklig. Auf der Scheibe gibt es eine ∧förmige Erhebung, welche in der Mitte ziemlich stark vertieft und an beiden Seiten gelblich gefleckt und stark behaart ist. Der übrige schwarze Teil ist glatt, unpunktiert und vor der Mitte des Basalrandes vertieft. Das Schildchen ist klein mit vertiefter Mittellinie, zugespitzt, spärlich gelbbehaart. Die Flügeldecken sind breit, von den Schultern nach dem Apex zu erhöht, nach der Naht geneigt und vertieft; hinter der Mitte elliptisch und dann bis zum Apex gross Xförmig gelbgefleckt und behaart, ausserdem gibt es noch zwischen den obigen Flecken am Seitenrande und nach den Schultern hin kleinere rundliche Flecken. Das Pygidium ist grösstenteils gelbgefleckt und behaart, nur die beiden Seitenränder sind schwarz; beim Männchen ist die Behaarung viel stärker. Die Unterseite ist glänzend schwarz, die beiden Seiten der Bauchglieder sind gelblich gefleckt und behaart. Bei beiden Geschlechtern sind an den Vorderschienen drei scharfe Zähne; alle Schenkel sind am inneren Rande lang gelblich behaart, dagegen sind die Schienen nur wenig behaart; die äusseren Ecken der Hüften sind dornartig nach hinten ausgezogen.

Unsere Exemplare umfassen 3 ♀ und 1 ♂, sie befinden sich in der entomologischen Abteilung der hiesigen Universität.

Liocola miyakoensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 6, Taf. VII. fig. 17.

Fundort, Miyako-Insel, Tosa.

Länge 23,5–27, Breite 13–14 mm.

Diese Art steht der *Liocola brevitarsis* Lew. sehr nahe, nur ist sie grösser gestaltet, die Färbung ist grün kupferig und ähnelt der *L. brevitarsis* var. *viridis* Kraatz. Der Kopf ist gleich wie bei *L. brevitarsis*, aber das Weibchen unserer Art hat auf dem Clypeus eine feine Behaarung. Das Halsschild ist stark punktiert, an beiden Seiten gerunzelt, den Seitenrändern entlang schmal weiss gesäumt. Die Flügeldecken haben deutlichere Längskiele als *L. brevitarsis*. Der Mesosternalfortsatz ist nach vorne abgeflacht. Auf den Mittel- und Hinterschienen sind bräunliche, lange Haarreihen vorhanden. Die Längsfurche des männlichen Bauches ist breit und seicht. Die männliche Genitalia ist breit und hat am spitzen Apex nach aussen gerichtete Dornfortsätze, aber bei *L. brevitarsis* fehlen dieselben, dagegen hat *L. formosana* Moser nach hinten gerichtete Dornfortsätze.

Wir haben diese Art von den mit *L. brevitarsis* zusammengestellten Exemplaren getrennt und sie zuerst als eine Varietät behandelt; jedoch nach genauer Untersuchung hielten wir es für besser, sie als eine neue Art zu bestimmen, da die Gestalt grösser und die männliche Genitalienbildung eine ganz andere ist.

Potosia grisea Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. V. fig. 7.

Fundort, Formosa.

Länge 19 – 20, Breite 11 – 12 mm.

Diese Art ist gelblichbraun, glanzlos, die Oberseite ist kurz behaart, die Unterseite und Beine sind glänzend purpurschwarz. Der Clypeus ist fast quadratisch, dunkelbraun, der Vorderrand ist leicht aufgebogen und in der Mitte seicht gebuchtet; die Punktierung ist sehr schwach, fast unbemerkbar. Die Stirn ist zerstreut fein punktiert, bei den Augen gelbbräunlich behaart. Das Halsschild ist gewölbt; hellgelblich punktartig gefleckt, fein punktiert, und daselbst kurz gelbbräunlich beborstet, in der Mitte mit einer glatten Linie, die nicht an den Vorderrand reicht. Die Basalecken sind rundlich. Das Schildchen ist länglich, matt, unpunktiert. Die Flügeldecken sind gelblichbraun, nadelrissig, ∧förmig punktiert, auf der Punktierung kurz beborstet, von der Mitte bis auf den Spitzenbuckel ist ein dunkle erhöhte Längslinie vorhanden, die Zwischenteile der Linien und die Nahtstreifen sind vertieft. Auf der Vertiefung ziehen sich über den Spitzenbuckel schräglaufende Flecken und etwas vor der Mitte, zwischen der erhöhten Linie und dem Aussenrande ist ein Querfleck, ausserdem sind viele zerstreute kleine Fleckchen vorhanden. Das Pygidium ist fein bogenartig punktiert, kurz beborstet, mit kleinen hellgefärbten Fleckchen. Die Unterseite ist purpurschwarz, glänzend. Die Brust ist an beiden Seiten gelbgefleckt und gelblich lang behaart. Die Hüften und Schenkel der Vorder-und Mittelbeine und die ganze Hinterhüfte, sowie der vordere Teil der Hinterschenkel sind durchwegs gelb gefärbt und gelblich lang behaart, die Flecken des vorletzten Gliedes sind besonders gross.

Wie haben sechs aus Formosa stammende Exemplare, wovon fünf der entomologischen Abteilung unserer Universität gehören.

Potosia nitidiscutellata Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. V, fig. 2. Taf. VII, fig. 18.

Fundort, Kioto; Hanazono, Kibune.

Länge 21–24, Breite 12–13 mm.

Die Oberseite dieser Art ist grün, matt, nur das Halsschild ist stark glänzend; die weissen Fleckchen der Flügeldecken haben kurze bogenförmige, weissliche Linien. Der

Kopf ist glänzend, die beiden Seiten der Stirne sind glanzlos und in der Mitte schwach gekielt; der Clypeus ist am Vorderrande purpurn gefärbt und gebuchtet, oben unregelmässig ziemlich fein punktiert. Das Halsschild ist auf der Mitte fein, an beiden Seiten gröber punktiert, aber nicht gerunzelt, die Seitenränder sind purpurn gefärbt, bogenförmig, deutlich gerandet, dabei weisslich schmal gesäumt, auf der Oberseite sind ungefähr sieben Paar weissliche Fleckchen. Das Schildchen ist länglich, sehr stark glänzend, in der Mitte ist eine schwach erhöhte Längslinie. Die Flügeldecken sind matt grün, fein punktiert; die Punktierung der Punktstreifen ist etwas stärker und bei den Schultern sind halbkreisförmige seichte Punkte erkennbar. Vor dem Apex zieht sich, von der Naht ausgehend, ein weisser Fleckstreifen rechtwinkelig über den Buckel; ungefähr in der Mitte des Aussenrandes geht nach innen ein winkeliger Fleck, ausserdem sind noch zerstreute weisse Punktflecken da. Das Pygidium ist matt, etwas breit und flach, mit weissen Flecken. Die Unterseite und die Beine sind schwarz purpurn leuchtend; die Brust ist gelbbräunlich lang behaart, weissgefleckt, beim Männchen ohne Mittelfurche. Die Vorderschienen haben bei beiden Geschlechtern drei Randzähne. Die männliche Genitalie ist breit und hat am Apex nach aussen gerichtete Dörnchen.

Wir besitzen vier in Kioto gesammelte Exemplare.

Protaetia taiwana Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. II. fig. 4.

Fundort, Formosa.

Länge 14 - 15,5, Breite 8 - 9 mm.

Diese Art ist grauschwarz, etwas grünlich oder kupferfarbig, glänzend; die Flügeldecken sind kaum erkennbar fein behaart, die Flecken der Oberseite sind klein, nur zwei der Flügeldeckenränder sind grösser. Der Kopf ist schwarz, glänzend; der Clypeus ist fast quadratisch, zerstreut gross punktiert. Die Stirn ist stark punktiert, lang, weiss beschuppt, in der Mitte mit einem Längskiel versehen. Das Halsschild ist gewölbt, vorne stark verschmälert; die Basalecken sind gerundet, an den Seiten nach hinten spärlich weiss beschuppt. Auf dem Halsschild befinden sich viele kleine gelblichweisse Fleckchen, dagegen bleibt der mittlere Teil unbefleckt; der Basalrand ist an beiden Seiten gelblichweiss gesäumt. Das Schildchen ist länglich, stumpf zugespitzt, unpunktiert, an den Basalseiten weisslich beschuppt. Die Punkte der Flügeldecken sind seicht halbkreisförmig, die Nahtwinkel sind lang, dornartig ausgezogen, ferner sind am Seitenrande zwei grosse, gelblichweisse Flecken. Die am Apex befindlichen Flecken setzen sich aus kleinen Gruppen zusammen, ausserdem sind noch vereinzelte kleine punktartige Flecken vorhanden. Das Pygidium ist sehr fein nadelrissig punktiert, zerstreut weiss beschuppt, an beiden Seiten ziemlich gross gefleckt. Die Unterseite ist schwarz, glänzend; die Brust

dicht mit weissen langen Schuppenhaaren besetzt. Die Bauchsegmente sind an beiden Seiten gelblichweiss gefleckt, zerstreut halbkreisförmig punktiert und auf der Punktierung weissbeschuppt. Die Vorderschienen haben zwei Randzähne.

In Japan sind drei Arten dieser Gattung beschrieben worden; unsere Art stimmt nicht mit ihnen überein, da Gestalt und Färbung eine andere ist. Ein Exemplar sammelte Herr Baron Y. Tanaka und fünf Herr Prof. Matsumura.

Gnorimus formosanus Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 14.

Fundort, Formosa.

Länge 18, Breite 8,5 mm.

Diese besonders prächtig gefärbte Art hat schwarz gefleckte und am Apex violettgelbe Flügeldecken; das Halsschild ist mit kurzen gelben Haaren bedeckt. Der Kopf ist glänzend schwarz, etwas purpurn schimmernd, in der Mitte mit einer länglichen Vertiefung. Der Clypeus ist am Vorderrande gebuchtet. Die Stirn ist gerunzelt, nach dem Clypeus mit zerstreuten, kurzliegenden gelben Härchen versehen. Das Halsschild ist schwarz fein gerunzelt, ziemlich dicht kurz gelb behaart; der Vorderrand ist gerade, der Basalrand ist gebogen und sehr schmal gerandet. Das Schildchen ist klein halbkreisförmig schwarz und hat spärliche feine Härchen. Die Flügeldecken sind matt, von schöner gelber Farbe; die Schulter und mittleren Querflecken sind schwarz, der Apikalteil ist rotviolett gefärbt. Das Pygidium ist schwarz, beim Weibchen sind nach dem Apex zu starke längliche Erhöhungen vorhanden, die Zwischenteile sind furchenartig vertieft; auf der Oberseite sind zwei dreieckige gelbe Haarflecken vorhanden. Die Unterseite ist schwarz glänzend; die Brust und Bauchseiten sind dicht gelblich behaart. Die Beine sind dunkel rotbraun, stark glänzend; die Hintertarsen sind lang. Der Fühler ist rötlichbraun, das Fahnenglied ist so lang wie die vorhergehenden sechs Glieder zusammen.

Von dieser neuen Art gibt es nur ein weibliches Exemplar, das von Herrn Prof. Matsumura in Formosa gesammelt wurde. Die Mittelschiene dieser Art ist nicht stark gebogen, es ist jedoch nicht ausgeschlossen, dass dieses nur bei weiblichen Exemplaren vorkommt, denn bei dem *G. viridiopacus* Lew. haben wir denselben Fall.

Gnorimus Otsukae Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. VI. fig. 4.

Fundort, Kochi, Shinano, Odaigahara.

Länge 13 - 16, Breite 8 - mm.

Diese Art ist schwarz, auf den Flügeldecken sind vier gelblichweisse Flecken; das Pygidium ist gelbweiss dünn gesäumt. Der Clypeus ist am Vorderrande gerandet, die

Vorderecken sind rundlich. Die Stirn und der Scheitel sind fein punktiert. Das Halsschild ist fast sechseckig, oben gewölbt, unregelmässig zerstreut punktiert. Die mittlere Längslinie ist vertieft, gelblichweiss, von der Mitte aus an beiden Seiten nach dem Basalrande gelblichweiss gesäumt, der Basalrand ist in der Mitte gerandet. Die gelblichweissen Flecken fehlen bei einigen Exemplaren. Das Halsschild ist halbkreisförmig, die mittlere Linie ist glatt, der übrige Teil fein punktiert. Die Flügeldecken sind schwarz mit zwei undeutlichen Längskielen; schwach, fein und zerstreut punktiert, fast unmerkbar fein behaart, die Streifen sind einreihig punktiert; auf der Mitte sind zwei gelblichweisse Querlinien vorhanden. Das Pygidium ist nicht gewölbt, fein netzartig punktiert; der Spitzenrand ist gelblichweiss gesäumt. Die Unterseite ist schwarz glänzend, punktiert, die Punkte sind halbkreisförmig fein bräunlich behaart. Die Hinterhüften sind gross, erstes und drittes Bauchsegment sind klein gelbweisslich gefleckt.

Unsere Exemplare sind fünf weibliche, davon gehören zwei dem entomologischen Institut unserer Universität.

本邦こがねむし類分布表
SERICINAE.
びらうどこがね亞科

		Sachalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Houshu. 本州	Shikoku. 四國	Kiushiu. 九州	Liukiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
Serica grisea Motsch.	ひめちやいろこがね		—	—		—				
S. boops Waterh.	ひげちやいろこがね			—						
S. karafutoensis N. et K.	からふとひげちやいろこがね	—								
S. similis Lew.	かばいろこがね			—		—				
S. nigrovariata Lew.	くろほしびろうどこがね			—						
S. salebrosa Brensk.	ひめびろうどこがね		—	—	—	—		—		
S. orientalis Motsch.	びろうどこがね		—	—	—	—			—	
S. Motschulskyi Brensk.	てうせんびらうどこがね								—	
S. spissigrada Brensk.	おほびろうどこがね			—		—	—		—	
S. famelica Brensk.								..		
S. formosana Mos.								..	..	
Autoserica seçreta Brensk.	まるがたびろうどこがね			—		..				
A. japonica Motsch.	あかびろうどこがね			—	—	—		—	—	
A. formosae Brensk.	たいわんびろうどこがね							—	—	
A. Sauteri Mos.	ざうてるびろうどこがね							—		
A. koreana Mos.									..	
A. invenusta Mos.								..		
A. infuscata Mos.									..	
A. cariniceps Mos.									..	
A. opaciventris Mos.									..	
A. castanea Arrow.				..						China
Sericania mimica Lew.	なへどこちやいろこがね		—	—						
S. sachalinensis Matsu.	からふとちやいろこがね	—	—	—						Ost-sibirien Wladiwostock Mandschurei
S. hidana N. et K.	ひだちやいろこがね			—						
S. lewisi Arrow.	れうるすちやいろこがね			—						
S. shinanoensis N. et K.	ちやいろこがね			—						
S. fuscolineata Motsch.	くろちやいろこがね			..						
Microserica nikkoensis Brensk.				..						
M. brevicornis Lew.				..						
M. higonia Lew.						..				
M. Brenskei Reitt.				..						
Gastroserica Herzi Heyd.									..	
G. bicolor N. et M.	しまびろうどこがね							—		
Neoserica angulata Lew.				..						
N. quadrifoliata Lew.				..						
N. macrophthalma Mos.								..		

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

MELOLONTHINAE.

こふきこがね亞科

		Sachalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshu. 本州	Shikoku. 四國	Kiushiu. 九州	Liukiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
Miridiva koreana N. et K.	てうせんきこがね								—	
Pollaplonyx fravidus Waterh.	きこがね					—				
Holotrichia castanea Waterh.	くりいろこがね			—					..	
H. sinensis Hope.	たいわんくろこがね							—		China
H. formosana Mos.	たいわんくりいろこがね							—		
H. kiotoensis Brensk.	くろこがね			—	—	—		..		China
H. picea Waterh.	こくろこがね		—	—		—				
H. Sauteri Mos.	ざうてるくろこがね							—		
H. morosa Waterh.	おほくろこがね	..		—	—	—			—	China
H. diomphalia Bates.	てうせんくろこがね			..					—	Ostsibirien Mongolei
H. pruinosa N. et K.	たいわんおほくろこがね							—		
H. convexopyga Mos.	まるをくろこがね			—		—				China
H. horishana N. et K.	ほりしやくろこがね							—		
H. niponensis Lew.						..			..	
Microtrichia formosana Mos.	ひめくろこがね							—		
Heptophylla picea Motsch.	ながちやこがね		—	—	—	—			·	
Hilyotrogus bicoloreus Heyd.	てうせんかばいろこがね								—	Sibirien Mand-schurei
Melolontha japonica Burm.	こふきこがね		—	—	—	—				
var. gotenbaensis N. et K.	ごてんばこふきこがね			—						
M. satsumaensis N. et K.	さつまこふきこがね					—				
M. incana Motsch.	てうせんこふきこがね								—	China
M. insulana Motsch.	たいわんこふきこがね							—		
var. taihokuensis N. et K.	たいほくこふきこがね							—		
M. fuliginator Arrow.	おほこふきこがね			—	—	—				China
Granida albolineata Mots.	しろすじこがね		—	—		..	—			
Polyphylla laticollis Lew.	ひげこがね			—					—	
P. formosana N. et M.	たいわんひげこがね							—		
Gymnogaster Ezakii N. et K.	ほそこがね							—		
Brahmina crenicollis Motsch.									..	China
Br. intermedia Mannerh.									..	Ostsibirien
Br. excisiceps Mos.									..	
Rhizotrogus niponicus Lew.				..						
Apogonia amida Lew.	ひめかんしよこがね				—	—		—		Hongkong
A. cupreoviridis Kolbe.	てうせんかんしよこがね								—	
var. fusana Kolbe.	ふざんかんしよこがね								—	
A. bicavata Arrow.	りうきうかんしよこがね						—			

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

こふきこがね亞科(承前)		Sachalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshin. 本州	Shikoku. 四國	Kinshiu. 九州	Liukiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Koren. 朝鮮	
A. major Waterh.						..				
A. bicarinata Lew.				..			..			
A. niponica Lew.				..						
Lepidota cratucea N. et M.	しろこがね							—		

HOPLINAE.

あしながこがね亞科

Hoplina communis Waterh.	あしながこがね			—		—				
H. moerens Waterh.						..				
H. Reinii Heyden.						..				
H. gracilipes Lew.							..			
H. maculata Bates.						..				
H. koreana Mos.									..	
Ectinohoplia rufipes Mots.	かばいろあしながこがね	—							..	Sibirien
E. obducta Mots.	ひめはなむぐり			—	—	—				

RUTELINAE.

すじこがね亞科

Anomala holosericea Fabr.	きんすじこがね	—	—	—					—	Sibirien
A. testaceipes Mots.	すじこがね		—	—	—	--				Ostsibirien
var. ochroptera Ohaus.	すじちやいろこがね		—	—		—			—	Mandschurei
var. anocypria Ohaus.	あいいろすじこがね		—	—	—	—				
A. costata Hope.	おほすじこがね		—	—	—	—				
var. flavipenis Ohaus.	ちやいろおほすじこがね		—	—						
A. octiescostata Burm.	ひらたあをこがね			—	—	—			—	
A. Sieversi Heyd.	てうせんひらたあをこがね			..					—	
A. Jonasi Ohaus.	じよなすひめこがね							—		
A. auracoides Ohaus.	ほそすじこがね							—		
A. costifera Reitt.	てうせんひめすじこがね								—	Wladiwostock
A. corpulenta Mots.	ちやいろすじこがね			—					—	Nordchina Mongolei
A. daimiana Har.	さくらこがね		—	—	—	..				
A. pleurimargo Reitt.	てうせんひめこがね					—			—	China
A. limbifera Ohaus.	たいわんひめすじこがね							—		
A. luculenta Er.	てうせんはんのきこがね								—	Wladiwostock China
var. purpurea N. et K.	むらさきてうせんはんのきがこね								—	
A. Lenzi Ohaus.	れんちこがね			—						

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

すじこがね亞科(承前)

		Sachalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshiu. 本州	Shikoku. 四國	Kinshiu. 九州	Liukiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
A. rufocuprea Mots.	ひめこがね			—	—					
var. viridicuprea Ohaus.	みどりひめこがね	—	—	—	—					
var. violacea Ohaus.	あをいろひめこがね		—	—	—	—				
var. castanipennis Ohaus.	くりいろひめこがね		—	—	—	—				
A. geniculata Mots.	ひめさくらこがね		—	—		—				
A. tokioensis N. et K.	とうきようこがね			—						
A. lucens Ballion.	つやこがね		—	—	—	—				
A. Motschulskyi Har.	はんのきこがね		—	—	—	—			—	
var. viridicuprea Ohaus.	あをいろはんのきこがね			—	—				—	
var. aptena Ohaus.	ちやばねはんのきこがね		—	—						
var. violacea Ohaus.	あいいろはんのきこがね		—	—		—				
var. rufoviolacea Ohaus.	あをちやはんのきこがね		—	—	—	—				
A. multistriata Mots.	はんのひめこがね		—	—		..				
A. albopilosa Hope.	あをどうがね			—	—	—				
A. viridana Kolbe.	ひめどうがね			..					—	
A. cuprea Hope.	どうがねぶいぶい		—	—	—	—				
A. expansa Bats.	たいわんあをどうがね							—		China
A. Schönteldti Ohaus.				..		..				
A. ignicolor Reitt.									..	
A. corrugata Bats.									..	
A. incomcinua Bats.								..		
A. difficilis Waterh.				..						
A. chamaeleon Fairm.									..	Nordchina Amur
A. triangularis Schönf.				..						
A. poecilochalcea Ohaus.								..		
A. streptopyga Ohaus.								..		
A. libidinosa Ohaus.								..		
A. polianor Ohaus.								..		
A. sagax Ohaus.								..		
A. Sauteri Ohaus.								..		
A. siniopyga Ohaus.								..		
A. chloroderma Arrow.							..			
A. xanthopleura Arrow.							..			
A. castaneoventris Bats.								..		
A. cupripes Hope.								..		Südchina
A. trachypyga Bats.								..		

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

すじこがね亞科(承前)

		Sachalin 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshiu. 本州	Shikoku. 四國	Kiushiu. 九州	Liukiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
A. plagiicollis Fairm.									..	Ostsibirien China
Mimela lucidula Hope.	こがねむし			—		—			—	
M. flavilabris Waterh.	ひめすじこがね		—	—	—					
M. testaceoviridis Blanch.				..						China
M. fusania Ba's.									..	
M. splendens Gylle.										
var. cyanicollis Ohaus.									..	
Phyllopertha conspurcata Har.	かたもんこがね		—	—					—	Usuri Peking
Ph. pubicollis Waterh.	ならのちやいろこがね			—		—				
Ph. diversa Waterh.	うすちやこがね			—		—				
Ph. intermixta Arrow.	あをうすちやこがね		..	—						
Ph. irregularis Waterh.	きすじこがね			—		..				
Ph. orientalis Waterh.	せまだらこがね		—	—	—	..				
Ph. kiotoensis N. et K.	あかちやこがね			—						
Ph. pallidipennis Reitt.	うすきいろこがね			—	—	—			..	Wladiwostock Usuri
Ph. tanbaensis N. et K.	たんばひめこがね			—						
Ph. fuscata N. et K.	くろひめこがね		—							
Ph. maculicollis Reitt.				..						
Popillia japonica New.	まめこがね		—	—		—				
P. lewisi Arrow.	おきなはまめこがね						—			
P. atrocoerulea Bats.	てうせんまめこがね								—	China
P. indigonacea Mots.	るりまめこがね							—	—	China Amur
P. taiwana Arrows.	たいわんまめこがね							—		
P. quadriguttata Fabr.	きばねまめこがね							—		China
P. histeroidea Gyll.	ちやばねまめこがね							—		Ostindien
P. Uchidai N. et K.	うちだまめこがね								—	
P. comma N. et M.	つきがたまめこがね						—			
P. formosana Arrow.								..		
P. insularis Lew.							..			
P. chlorion Newm.								..		
P. mongolica Arrow.								..		
P. Sauteri Ohaus.								..		
Adoretus tenuimaculatus Waterh.	ちやいろこがね			—	—	—			—	

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

CETONIINAE.

はなむぐり亞科

		Sachalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshiu. 本州	Shikoku. 四國	Kiushiu. 九州	Liukiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
Dicranocephalus Adamsi Pasc.									..	
D. Bourgoini Pouillande.								..		
D. Bowringi Pasc.								..		Nordchina
Macronota formosana N. et M.	よつすじふぐりこがね							—		
M. fuscomaculata N. et K.	ちやいろふぐりこがね							—		
M. kagiensis N. et K.	かぎふぐりこがね							—		
M. viridula N. et M.	あをふぐりこがね							—		
M. hopponus N. et M.	ほつぽふぐりこがね							—		
M. proxima Bourg.								..		
M. lata Bourg.								..		
M. procera Bourg.								..		
M. flavofasciata Mos.								..		
Clinteria aeneofusca Bourg.								..		
Coelodera nigroscutellaris Mos. subsp. formosana Mos.								..		Tonkin
Ingrisma paralleliceps Bourg.								..		
In. insulana Mos.								..		
Trigonophorus dilutus Bourg.	つのかなぶん							—		
Tr. varians Bourg.								..		
Cosmiomorpha similis Fair.								..		
Rhomborrhina japonica Hope.	かなぶん			—		—			..	China
Rh. unicolor Motsch.	あをかなぶん		—	—		—				
Rh. formosana Mos.	たいわんあをかなぶん							—		
Rh. polita Waterh.	くろかなぶん			—		—				
Rh. insularis Mos.								..		
Rh. splendida Mos.								..		
Rh. aurora Bourg.								..		
Rh. pilifera Mos.								..		
Cetonia pilifera Mos.	はなむぐり		—	—		..				
C. Roelofsi Harold.	あをはなむぐり		—	—						
var. nitidula Reitt.	つやあをはなむぐり		—							
var. villifrons Reitt.			..							
C. hondana Arrow.				..			..			
C. Bohdemeyeri Curti.				..						
C. prasinata Bourg.								..		
Anthracophora rusticola Burm.	あかまだらこがね			—		—			..	Amur Mongolei
Liocola brevitarsis Lew.	しらほしはなむぐり		—	—	—	—		—		China Ostsibirien
var. crassa Harold.	おほしらほしはなむぐり									China
var. viridis Kraatz.	あをしらほしはなむぐり			—		—				China

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

はなむぐり亞科(承前)

		Saohalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshiu. 本州	Shikoku. 四國	Kiushiu. 九州	Liukiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
var. seulensis Kolbe.	てうせんしらほしはなむぐり								—	
Liocola formosana Mos.	たいわんしらほしはなむぐり							—		
L. insperata Lew.	むらさきおほはなむぐり	..	—			..				
L. speculifera Swartz.	みどりはなむぐり			—		—		..		Himaraya China
L. miyakoensis N. et K.	みやこはなむぐり				—		—			
L. Lenzi Har.				..						
Potosia aerata Erichson.	しろてんはなむぐり			..		—		—	..	China
P. ishigakia Fairm.	いしがきはなむぐり						—			
P. purpureipes Matsu.	からふとはなむぐり	—								
P. nitidiscutellata N. et K.	きようとあをはなむぐり			—						
P. grisea N. et M.	かばいろはなむぐり							—		
P. exasperata Fairm.							..			
P. formosana Mos.								..		
P. famelica Jans.									..	Amur
Protaetia taiwana N. et M.	はいいろはなむぐり							—		
P. orientalis G. et P.				..				..		Himaraya China
P. spinosa Mos.								..		
P. culta Waterh.								..		
Pyropotosia pryeri Jans.	りうきうはなむぐり						—			
P. Lewisi Jans.	おほりうきうはなむぐり						—			
Glycyphana fulvistemma Mots.	くろはなむぐり			—					..	Mongolia
var. Sieboldi Snell.								..		
G. incongrua Jans.								..		
Oxycetonia juncunda Fald.	こあをはなむぐり			—	—	—			..	Nepalete. Sibirien China Californien
var. ferruginosa Reitt.	あかいろはなむぐり			—					..	
O. castigera Bourg.				..						
O. forticula Jans.								..		
Callynomes obsoletus Fair.	ほそはなむぐり								—	

TRICHIINAE.

とらはなむぐり亞科

Osmoderma barnabita Mots.		..		..						
O. opica Lew.	おほちやいろはなむぐり			—						
Gnorimus viridiopacus Lew.	あをあしながはなむぐり	—	—	—		..				
G. formosanus N. et M.	たいわんとらはなむぐり							—		

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

とらはなむぐり亞科(承前)

		Sachalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshiu. 本州	Shikoku. 四國	Kiushiu. 九州	Liukiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
Gnorimus Otsukae N. et M.	くろあしとらはなむぐり			—	—					
G. subopacus Mots.			..			..			..	
Trichius abdominalis Ménétr.	ひめとらはなむぐり			—						
T. fassiatus L.	ことらはなむぐり		—	—						Europe Kaukasus
T. japonicus Jans.	とらはなむぐり	—	—							
T. 17-guttatus Voll.	十七ほしはなむぐり					—				
T. succinctus Pall.	てうせんひめとらはなむぐり								—	Sibirien
Paratrichius Doenitzi Har.	おほとらはなむぐり			—	—					
P. duplicatus Lew.							..			

VALGINAE.

ひらたはなむぐり亞科

Dasyvalgus angusticollis Waterh.	ひらたはなむぐり			..		—				
D. formosanus Moser.								..		
Valgus tuberculatus Lew.	とげひらたはなむぐり			—						
Chromovalgus fumosus Lew.	おほひらたはなむぐり		..	—						
C. laetus Arrow.							..			
Hypovalgus thoracicus Moser.								..		

DYNASTINAE.

かぶとむし亞科

Xylotrupes dichotomus L.	かぶとむし			—		—				China
Phileurus chinensis Fald.	こかぶとむし			—						China
Oryctes rhinoceros L.	たいわんかぶとむし						—	—	..	Ceylon Sumatra Philippinen etc.
Alissonotum impressicolle Arrow.	ほりしやくろまるこがね							—		Burma
Alissonotum crussum Arrow.	いんどくろまるこがね							—		Burma
Alissonotum pauper Burm.	くろまるこがね							—		Philippinen

GRAPHYRINAE.

ひげぶとはなむぐり亞科

Anthypna pectinata Lew.	ひげぶとはなむぐり			—						

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

和名索引

あ

頁

あいいろすじこがね……89
あいいろはんのきこがね……109
あをあしながはなむぐり……188
あをいろはんのきこがね……108
あをいろひめこがね……103
あをうすちやごがね……119,123
あをゑぐりこがね……146,149
あをかなぶん……155,157
あをしらほしはなむぐり……167
あをちやはんのきこがね……109
あをどうがね……84,110
あをはなむぐり……16',162
あかいろこはなむぐり……183
あかちやこがね……119,126
あかびろうどこがね……25.26
あかびろうどこがね屬……13,24
あかまだらこがね……164
あかまだらこがね屬……163,159
あしながこがね……77
あしながこがね亜科……11,77
あしながこがね屬……77
あしながはなむぐり……186
あしながはなむぐり屬……186,188

い

いしがきはなむぐり……171.172
いんどくろまるこがね……206,207
いんぐりすま屬……153,154

う

うすきいろこがね……120,127
うすちやいろこがね屬……83
うすちやこがね……119,121
うすちやこがね屬……119
うちだまめこがね……131,133

お

おきなはまめこがね……131,132
おほくろこがね……44,49
おほこふきこがね……60,65
おほすぎむし……60
おほすじこがね……84,89
おほちやいろはなむぐり……187
おほちやいろはなむぐり屬……183
おほとらふこがね……196
おほとらふこがね屬……196
おほひらたはなむぐり……201
おほひらたはなむぐり屬……193,201
おほびろうどこがね……15,23,49
おほりうきうはなむぐり……179

か

かぎゑぐりこがね……146.148
かきこがね……60
かたもんこがね……120
かなぶん……155
かなぶん屬……153,155
かなぶん類……144,153
かばいろあしながこがね……80
かばいろこがね……14,18
かばいろこがね屬……57,58
かばいろはなむぐり……171
かぶとむし……203
かぶとむし亜科……12,203
からふとはなむぐり……171,173
からふとちやいろこがね……30,31
からふとひげちやいろこがね……14,17
かんしよこがね屬……71
かんしよこがね類……71

き

きこがね……42
きこがね屬……40,41
きすじこがね……119,124
きばねまめこがね……131,136
きようとはなむぐり……171,174
きんすじこがね……84.86

く

くはがたむし科……10
くりいろこがね……43,44
くりいろひめこがね……103

くりんてりあ屬 145,152
くろあしながはなむぐり 188,190
くろかなぶん 155,158
くろこがね類 39
くろこがね屬 40,42
くろこがね 43,47
くろちやいろこがね 34
くろはなむぐり 180
くろはなむぐり屬 160,180
くろひめこがね 120,129
くろほしびろうどこがね 15,19
くろまるこがね蜀 206
くろまるこがね 206,208

こ

こあをはなむぐり 182
こあをはなむぐり屬 160,181
こいちやこがね屬 83
こえろうでら屬 145,152
こかぶとむし 204
こがねむし科 10
こがねむし類 10
こがねむし屬 83,116
こがねむし 117
こくろこがね 43,48
こしらほしはなむぐり 166
こすみをもるふあ屬 153
どてんばこふきこがね 62
ことらはなむぐり 192,193
こびろうどこがね屬 14,35
こふきこがね 60
こふきこがね亜科 11,39
こふきこがね屬 57,59
こふきこがね類 55

さ

さいかちむし 203
ざうてるびろうどこがね 25,28
ざうてるくろこがね 44,48
さくらこがね 85,93
さつまこふきこがね 60,62

し

十七ほしはなむぐり 192,195
しまこびろうどこがね 36
しまこびろうどこがね屬 13,36
じよなすひめこがね 84,93
しらほしはなむぐり 165
しらほしはなむぐり屬 160,165
しろこがね類 75
しろこがね 75
しろすじこがね 66
しろすじこがね屬 57,66
しろちやいろこがね 31
しろてんはなむぐり 160,171,172
しろてんはなむぐり屬 171

す

すぎこがね 89
すぎむし 89
すじこがね 84,87
すじこがね亜科 11,82
すじこがね屬 83
すじこがね類 82
すじちやいろこがね 88

せ

せまだらこがね 120,125

た

だいこくこがね類 10
たいほくこふきこがね 65
たいわんあをかなぶん 155,157
たいわんあをどうがね 84,113
たいわんおほくろこがね 44,51
たいわんかぶとむし 205
たいわんくりいろこがね 43,46
たいわんくろこがね 43,45
たいわんこふきこがね 60,64
たいわんしらほしはなむぐり 165,167
たいわんとらはなむぐり 188,189
たいわんひげこがね 69
たいわんひめびろうどこがね 25,27
たいわんひめすじこがね 85,98
たいわんびろうどこがね 27
たいわんまめこがね 131,135
たいわんくろこがね 43
たんばひめこがね 120,128

ち

ちやいろおほすじこがね……91
ちやいろこがね……141
ちやいろこがね屬……13,29,141
ちやいろこがね類……140
ちやいろすじこがね……85,95
ちやいろゑぐりこがね……146,147
ちやばねはんのきこがね……109
ちやばねまめこがね……131,137

つ

つきがたまめこがね……131,139
つしますじこがね……92
つのこがね屬……144
つのこがね類……144
つのかなぶん……154
つのかなぶん屬……153
つやあをはなむぐり……161,162
つやこがね……85,106

て

てうせんかばいろこがね……59
てうせんかんしよこがね……72,73
てうせんきこがね……40
てうせんきこがね屬……40,57
てうせんくろこがね……44,50
てうせんこふきこがね……60,63
てうせんしらほしはなむぐり……167
てうせんはんのきこがね……85,99
てうせんひめこがね……85,97
てうせんひめとらはなむぐり……192,194
てうせんひめすじこがね……84,94
てうせんひらたあをこがね……83
てうせんびろうどこがね……15,23
てうせんまめこがね……131,133

と

どうがねぶいぶい……84,112
とうきようこがね……85,105
どげひらたはなむぐり……200
とげひらたはなむぐり屬……198,200
とらはなむぐり……192
とらはなむぐり亞科……11,186
とらはなむぐり屬……186,191
とびいろびろうどこがね……26

な

ながちやこがね……57
ながちやこがね屬……57
なへどこあかこがね……30
なへどこちやいろこがね……30
ならのちやいろこがね……120,121
ならのちやいろこがね亞屬……83

ね

ねをせりか屬……14,37

は

はいいろはなむぐり……176
はいいろはなむぐり屬……160,176
はいいろびらうどこがね……15
はいぼばるがす屬……198,202
はなむぐり……160,161
はなむぐり亞科……11,143
はなむぐり區……144
はなむぐり屬……100
はなむぐり類……144,159
はんのきこがね……85,107
はんのひめこがね……84,109

ひ

ひげこがね……68
ひげこがね屬……67
ひげちやいろこがね……14,16
ひげながこがね屬……57
ひげながちやいろこがね……16
ひげぶとはなむぐり……209
ひげぶとはなむぐり亞科……12,209
ひげぶとはなむぐり屬……209
ひだちやいろこがね……30,32
ひめかんしよこがね……72
ひめくろこがね……54
ひめくろこがね屬……54
ひめこがね……85,101
ひめさくらこがね……85,104
ひめすじこがね……118

ひめちやいろこがね 14,15
ひめどうがね 84,111
ひめとらはなむぐり 192,193
ひめはなむぐり 79
ひめはなむぐり亜科 12
ひめはなむぐり屬 77,79
ひめびろうどこがね 15,20
ひらたあをこがね 83,91
ひらたはなむぐり 199
ひらたはなむぐり亜科 11,198
ひらたはなむぐり屬 198
びろうどこがね 15,21
びろうどこがね亜科 11,13
びらうどこがね屬 13,14

ふ

ぶらあみな屬 40,55

へ

片角類 10

ほ

ほそこがね 70
ほそこがね屬 55,70
ほそすじこがね 84 94
ほそはなむぐり 185
ほそはなむぐり區 141,184
ほそはなむぐり屬 184
ほつぼゑぐりこがね 146,150
ほりしやくろこがね 44,52
ほりしやくろまるこがね 206

ま

まめこがね 131
まめこがね屬 82,130
まるがたびらうどこがね 25
まるをくろこがね 44,52

み

みどりしらほしはなむぐり 165
みどりはなむぐり 169
めどりひめこがね 102
みやこしらほしはなむぐり 165
みやこはなむぐり 170

む

むらさきおほはなむぐり 168,165
むらさきてうせんはんのきこがね 100

よ

よつすじゑぐりこがね 146

り

りうきうかんしよこがね 72,73
りうきうはなむぐり 178
りうきうはなむぐり屬 160,178
りぞとらうぐす屬 49,56

る

るりまめこがね 130,134

れ

れうゐすちやいろこがね 30,33
れんちこがね 85,100

ゑ

ゑぐりこがね屬 145
ゑぐりこがね類 144,145

學 名 索 引

A

Adoretina. 82, 140
Adoretus Laporte. 141
Adoretus tenuimaculatus Waterh. 141
Alissonotum Arrow. 203, 206
Alissonotum crassum Arrow. 206, 207
A. impressicolle Arrow. 206
A. pauper Burm. 206, 208
Anomala Samouelle. 83,
A. albopilosa Hope. 81, 110
A. albopilosa immarginata Reitt. 111
A. auracoides Ohaus. 84, 94
A. castaneoventris Bats. 115
A. chamaeleon Fairm. 114
A. chloroderma Arrow. 115
A. corpulenta Mots. 85, 95
A. corrugata Bats. 114
A. costata Hope. 81, 89
var. flavipennis Ohaus. 91
var. incuprata Ohaus. 90
A. costifera Reitt. 84, 94
A. cuprea Hope. 84, 112
A. cupripes Hope. 116
A. daimiana Har. 85, 96
A. difficilis Waterh. 114
A. expansa Bats. 84, 113
A. geniculata Mots. 85, 101
A. holosericea Fabr. 84, 86
var. holocypria Ohaus. 86
var. carbonaria Ohaus. 87
A. ignicolor Reitt. 114
A. inconcinua Bats. 114
A. Jonasi Ohaus. 84, 93
A. Lenzi Ohaus. 85, 100
A. libidinosa Ohaus. 115
A. limbifera Ohaus. 85, 98
A. lucens Ballion. 85, 106
A. luculenta Er. 85, 99
var. purpurea N et K. 100
var. rufofemorata Reitt. 100
A. Mongolica Motsch. 99
A. Motschulskyi Har. 85, 107
var. aptena Ohaus. 109
var. rufoviolacea Ohaus. 100
var. violacea Ohaus. 100
var. viridiaenea Ohaus. 102
var. viridicuprea Ohaus. 108
A. multistriata Mots. 84, 109
A. octocostata Burm. 91, 92
A. octiescostata Burm. 83, 91
A. plagiicollis Fairm. 116
A. pleurimargo Reitt. 85, 97
A. poecilochalcea Ohaus. 115
A. polianor Ohaus. 115
A. puncticollis Harold. 110
A. rufocuprea Mots. 85, 101
var. castanipennis Ohaus. 103
var. violacea Ohaus. 103
var. viridiaenea Ohaus. 102
var. viridicuprea Ohaus. 102
A. sagax Ohaus. 115
A. Schönfeldti Ohaus. 114
A. Sieversi Heyd. 83, 92
var. subpurpurea Reitt. 93
var. atrocoerulea Reitt. 93
A. siniopyga Ohaus. 115
A. streptopyga Ohaus. 115
A. Sauteri Ohaus. 115
A. testaceipes Mots. 84, 87
var. anocypria Ohaus. 89
var. cyprioptera Ohaus. 89
var. ochrochalcea Ohaus. 88
var. ochroptera Ohaus. 88
A. tokioensis N. et K. 85, 105, 225
A. trachypyga Bats. 116
A. triangularis Schönf. 114
A. viridana Kolbe. 84, 111
A. xanthopleura Arrow. 115
Anthracophora Burmeister. 159, 163
A. rusticola Burm. 164
Anthypna Latr. 209
A. pectinata Lew. 209
Apogonia Kirby. 71
A. amida Lew. 72
A. bicarinata Lew. 74
A. bicavata Arrow. 72, 73
A. cupreoviridis Kolbe. 72, 74
var. fusana Kolbe. 74
A. major Waterh. 74
A. niponica Lew. 75
A. splendida Bohem. 72
Autoserica Brenske. 13, 24
Autoserica cariniceps Mos. 29
A. castanea Arrow. 29
A. formosae Brensk. 25, 27
A. infuscata Mos. 29
A. invenusta Mos. 29
A. japonica Mots. 25, 29
A. koreana Mos. 29

A. opaciventris Mos. 20
A. Sauteri Mos. 25, 28
A. secreta Brensk. 25

B

Brahmina Blanch. 40, 55
B. crenicollis Mots. 55
B. excisiceps Mos. 56
B. intermedia Mannerh. 55

C

Callynomes Westwood. 184
C. obsoletus Fairm. 185
Calopotosia aerata Erichson. 172
Calop. ishigakia Fairm. 172
Castanea Waterh. 44
Cetoninae. 11, 143
Cetoniina. 144
Cetoniides. 144, 159
Cetonia Fabricius. 160
C. Bodemeyeri Curti. 163
C. hondana Arrow. 163
C. orientalis Gory et Perch. 169
C. pilifera Mots. 160, 161
C. prasinata Bourg. 163
C. Roelofsi Harold. 161, 162
var. nitidula Reitt. 161, 163
var. villifrons Reitt. 163
Chromovalgus Kolbe. 198, 201
C. fumosus Lew. 201
C. laetus Arrow. 202
Clinteria Burmeister. 145, 152
Clinteria aeneofusca Bourg. 152
Coelodera Hope. 145, 152
C. nigroscutellaris Moser subsp. formosana Moser. 153
Coprophagides. 10
Cosmiomorpha Saund. 153, 155
C. similis Fairm. 155
Cremastochilina. 144, 184

D

Dasyvalgus Kolbe. 198
Dasyvalgus angusticollis Waterh. 199
D. formosanus Moser. 199
Dicranocephalus Westwood. 144
D. Adamsi Pasc. 145
D. Bourgoini Pouillande. 145
D. Bowringi Pasc. 145
Diprotaxida. 39, 71
Dynastinae. 12, 203

E

Ectinohoplia Redtenbacher. 77, 79
E. rufipes Mots. 79, 80
E. obducta Mots. 79
Euchlora albopilosa Hope. 110
E. chloroderma Arrow. 115
E. expansa Bates. 1
Eucetonia pilifera Mots. 161

G

Gastroserica Brenske. 13, 33
Gastroserica bicolor N. et M. 36, 220
G. Herzi Heyd. 36
Glaphyrinae. 12, 203
Glycetonia fulvistemma Mots. 180
Glycyphana Burm. 160, 180
G. albosetosa Mots. 182
G. argyrostra Burm. 182
G. fulvistemma Mots. 180
var. Sieboldi Snell. 181
G. incongrua Jans. 181
Gnorimus Serv. 186, 188
G. subopacus Mots. 191
G. formosanus N. et M. 188, 189, 236
G. Otsukae N. et M. 188, 190, 236
G. viridiopacus Lew. 188
Goliathides. 144
Granida Motsch. 57, 66
G. albolineata Mots. 66
Gymnogaster Blanch. 56, 70
Gymnogaster Ezakii N. et K. 70, 223

H

Heptophylla Motsch. 57
H. picea Mots. 57
Heterorrhides. 144, 153
Hilyotrogus Fairm. 57, 58
H. bicoloreus Heyd. 59
Holotrichia Hope. 40, 42
H. castanea Waterh. 43, 44
H. convexopyga Mos. 44, 52
H. diomphalia Bats. 44, 50
H. formosana Mos. 43, 43
H. horishana N. et K. 44, 52, 222
H. kiotoensis Brensk. 43, 47
H. morosa Waterh. 44, 49
H. niponensis Lew. 54
H. picea Waterh. 43, 48
H. pruinosa N. et K. 44, 51, 221
H. Sauteri Mos. 44, 48
H. sinensis Hope. 43, 45
H. transversa Mots. 53
Hoplinae. 11, 77
Hoplia Illiger. 77
H. communis Waterh. 77
H. gracilipes Lew. 79

H. koreana Moser.....79
H. maculata Bats.....78
H. moerens Waterh.....78
H. Reinii Heyd.....78
Hoplosternus japonicus Harold.....61, 66
Hypovalgus Kolbe.....198, 202
Hypovalgus thoracicus Mos.....202

I

Ingrisma Fairm.....153, 154
I. insulana Mos.....155
I. paralleliceps Bourg.....155

L

Lachnosterna niponensis Lew.....54
Lamellicornia.....10
Lepidota cratacea N. et M.....75, 224
Leucopholida.....39, 75
Liocola Thoms.....160, 165
L. brevitarsis Lew.....165
var. crassa Harold.....167
var. seulensis Kolbe.....167
var. viridis Kraatz.....167
L. formosana Mos.....165, 167
L. insperata Lew.....165, 168
L. Lenzi Har.....171
L. miyakoensis N. et K.....165, 170, 233
L. speculifera Swartz.....165, 169
Lucanidae.....10

M

Macronotides.....144, 145
Macronota Hoffmannsegg.....145
M. flavofasciata Mos. subsp. formosana Mos.....152
M. formosana N. et M.....146, 230
M. fuscomaculata N. et K.....146, 147, 229
M. hopponus N. et M.....146, 150, 232
M. kagiensis N. et K.....146, 148, 231
M. lata Bourg.....151
M. procera Bourg.....152
M. proxima Bourg.....151
M. viridula N. et M.....146, 149, 232
Maladera japonica Mots.....26
M. orientalis Mots.....21
Melolonthinae.....11, 39
Melolonthides.....10
Melolonthina.....39, 56
Melolontha Fabr.....57, 59
M. frater Arrow.....60, 65
M. incana Mots.....60, 63
M. insulana Moser.....60, 64
var. taihokuensis N. et K.....65
M. japonica Burm.....60
var. gotenbaensis N. et K.....62
M. satsumaensis N. et K.....60, 62, 223
Microserica Brenske.....14, 35
M. Brenskei Reitt.....35, 36
M. brevicornis Lew.....35
M. higonia Lew.....35
M. nikkoensis Brensk.....35
Microtrichia Brenske.....54
M. formosana Mos.....54
Mimela Kirby.....83, 116
M. Gaschkewitchi Motsch.....117
M. flavilabris Waterh.....116, 118
M. fusania Bats.....119
M. lucidula Hope.....116, 117
var. corsca Heyd.....117
var. splendens Gyll.....117
M. splendens Gyll. var. cyanicollis Ohaus.....119
M. testaceoviridis Blanch.....118
Miridiva Reitter.....40
M. koreana N. et K.....40, 221
M. trichophorus Fairm.....40

N

Neoserica Brenske.....14, 37
N. angulata Lew.....38
N. macrophthalma Mos.....38
N. quadrifoliata Lew.....38

O

Ophthalmoserica boops Waterh.....16
Oryctes rhinoceros L.....205
Osmoderma Serville.....186
O. barnabita Mots.....187
O. opica Lew.....187
Oxycetonia Arrow.....160, 181
O. costigera Bourg.....184
O. forticula Jans.....184
O. jucunda Fald.....182
var. ferruginosa Reitt.....183

P

Pachnotosia brevitarsis Lewis.....165
Paratrichius Janson.....186, 196
P. Doenitzi Har.....196
P. duplicatus Lew.....197
P. longicornis Janson.....196
Phileurus chinensis Fald.....204
Phyllopertha Stephen.....119
Ph. arenaria Waterh.....120
Ph. conspurcata Har.....120
Ph. diversa Waterh.....119, 122
Ph. fuscata N. et K.....120, 122, 227
Ph. intermixta Arrow.....119, 123
Ph. irregularis Waterh.....119, 124

Ph. kiotoensis N. et K. 119, 126, 225
Ph. horticola Waterh. 123
Ph. maculicollis Reitt. 130
Ph. orientalis Waterh. 120, 125
Ph. pallidipennis Reitt. 120, 127
Ph. pubicollis Waterh. 120, 121
Ph. tanbaensis N. et K. 120, 128, 225
Poecilophilides rusticola Burm. 164
Pollaplonyx Waterh. 40, 41
P. fravidus Waterh. 42
Polyphylla Harris. 57, 67
P. formosana N. et M. 67, 69, 220
P. laticollis. 68
P. Schönfeldti Brenske. 67
Popillia Serville. 82, 130
P. atrocoerulea Bats. 131, 133
P. castanoptera Hope. 136
P. chlorion Newm. 140
P. comma N. et M. 131, 139, 223
P. formosana Arrow. 140
P. histeroidea Gyll. 131, 137
P. indigonacea Mots. 130, 134
P. insularis Lew. 140
P. japonica Newm. 131
P. lewisi Arrow. 131, 132
P. mongolica Arrow. 140
P. quadriguttata Fabr. 131, 136
P. Sauteri Ohaus. 140
P. taiwana Arrow. 131, 135
P. Uchidai N. et K. 131, 138, 227
Potosia Muls. 160, 171
P. aerata Erichson. 171, 172
P. exasperata Fairm. 176
P. famelica Jans. subsp. Amurensis Heyd. 176
P. formosana Mos. 176
P. grisea N. et M. 171, 175, 234
P. ishigakia Fairm. 171, 172
P. nitidiscutellata N. et K. 171, 174, 234
P. oschimana Nonfr. 178
P. purpureipes Matsumura. 171, 173
Protaetia Burmeister. 160, 176
P. culta Waterh. 178
P. orientalis G. et P. 177
P spinosa Mos. 177
P. taiwana N. et M. 176, 235
Pyropotosia Reitter. 160, 178
Pyropotosia Lewisi Jans. 179
P. Pryeri Jans. 178

R

Rhizotrogina. 39
Rhizotrogus Latr. 40, 56
R. niponicus Lew. 56
Rhomborrhina Hope. 153, 155
Rhomborrhina aurora Bourg. 159
R. japonica Hope. 155
var. clypeata Burm. 156
R. formosana Mos. 155, 157
R. insularis Mos. 159
R. glauca J. Thomson. 156
R. pilifera Mos. 159
R. polita Waterh. 155, 158
R, squamuligera J. Thomson. 156
R. splendida Mos. 159
R. unicolor Mots. 155, 157
Rutelinae. 11, 82
Rutelina. 82

S

Scarabaeidae. 10
Sericinae. 11, 13
Serica M. 'Leay. 13, 14
S. boops Waterh. 14, 16
S. grisea Mots. 14, 15
var. formosana Shiraki. 28
S. famelica Brensk. 24
S. formosana Mos. 24
S. karafutoensis N. et K. 14, 17, 219
S. Motschulskyi Brensk. 15, 22
S. nigrovariata Lew. 15, 19
S. orientalis Mots. 15, 21
S. salebrosa Brensk. 15, 20
S. similis Lew. 14, 18
S. spissigrada Brensk. 15, 23
Sericania Reitter. 13, 29
S. hidana N. et K. 30, 32, 218
S. lewisi Arrow. 30, 33
S. mimica Lew. 30
S. sachalinensis Matsumura. 30, 31
S. shinanoensis N. et K. 30, 34, 219
Spilota plagiicollis Fairm. 116

T

Torynorrhina japonica Hope. 156
Trichiinae. 11, 183
Trichius Fabricius. 186, 191
T. abdominalis Ménétr. 192, 193
T. bidentata Fabr. 136
T. fasciatus L. 192, 193
T. 17-guttatus Voll. 192, 195
T. japonicus Jans. 192
T. succinctus Pall. 192, 194
Trigonophorus Westwood. 153
Trigonophorus dilutus Bourg. 154
Trig. varians Bourg. 154

V

Valginae. 11, 198
Valgus Scriba. 198, 200
V. tuberculatus Lew. 200

X

Xylotrupes dichotomus. L. 203

圖　版　說　明

第　一　圖　版　(Taf. I)

Fig. 1.	おほすじこがね	Anomala costata Hope.	89
	1. a 1. b おほすじこがね ノ變種	〃 〃 (Farbenvariationen.)	91
2.	すじこがね	Anomala testaceipes Mots.	87
	2. a 2. b すじこがね ノ變種	〃 〃 (Farbenvariationen)	88
3.	さくらこがね	A. daimiana Har.	96
	3 a. さくらこがね ノ變種	〃 〃 (Farbenvariation.)	96
4.	せまだらこがね	Phyllopertha orientalis Waterh.	125
5.	ひらたあをこがね	Anomala octiescostata Burm.	91
6.	あをえぐりこがね	Macronota viridula N. et M.	149,238
7.	はんのきこがね	Anomala Motschulskyi Har.	107
8.	とうきようこがね	A. tokiensis N. et K.	105,225
9.	つきがたまめこがね	Popillia comma N. et M.	139,228
10.	ひめさくらこがね	Anomala geniculata Mots.	104
11.	はんのひめこがね	A. multistriata Mots.	109
12.	ほつぽえぐりこがね	Macronota hopponus N. et M.	150,232
13.	よつすじえぐりこがね	Macro. formosana N. et M.	146,230
14.	たいわんとらはなむぐり	Gnorimus formosanus N. et M.	189,236
15.	かぎえぐりこがね	Macronota kagiensis N. et K.	148,231
16.	しろこがね	Lepidota cratacea N. et M.	75,224
17.	とげひらたはなむぐり	Valgus tuberculatus Lew.	200
18.	きすじこがね	Phyllopertha irregularis Waterh.	124

第　二　圖　版　(Taf. II)

Fig. 1. ほそこがね — Gymnogaster Ezakii N. et K. 70,223
2. ちやいろえぐりこがね — Macronota fuscomaculata N. et K. 147,229
3. ほりしやくろこがね — Holotrichia horishana N, et K. 52,222
4. はいいろはなむぐり — Protaetia taiwana N. et K. 176,235
5. さつまこふきこがね — Melolontha satsumaensis N. et K. 62,223
6. みやこはなむぐり — Liocola miyakoensis N. et K. 170,233
7. くろちやいろこがね — Sericania shimanoensis N. et K. 34,219
8. しまびらうどこがね — Gastroserica bicolor N. et M. 36,220
9. 9a. ひだちやいろこがね — Sericania hidana N. et K. 32,218
10. きんすじこがね — Anomala holosericea Fabr. 86
11. ほそこがねノ觸角 — Gymnogaster Ezakii N. et K. (Fühler) 70,223
12. しろこがねノ上唇 — Lepidota cratacea N. et M. (Oberlippe) 75,224
13. しろこがねノ觸角 — Lepidota cratacea N. et M. (Fühler) 75,224
14. ひげぶとはなむぐりノ觸角 — Anthypna pectinata Lew. (Fühler) 209
15. ひげぶとはなむぐりノ前脚跗節 — Anthypna pectinata Lew. (Vorderfuss) 209
16. てうせんきこがねノ觸角 — Miridiva koreana N. et K. (Fühler) 40,221

第 三 圖 版 (Taf. III)

尺度ハ粍 mm.

Fig. 1. ひめちやいろこがね — Serica grisea Motsch. 15
2. かばいろこがね — S. similis Lew. 18
3. くろほしびらうどこがね — S. nigrovariata Lew. 19
4. ひげちやいろこがね — S. boops Waterh. 16
5. からふとひげちやいろこがね — S. karafutoensis N. et K. 17,219

6.	ひめびらうどこがね	S. salebrosa Brenske.	20
7.	あほびろうどこがね	S. spissigrada Brenske	23
8.	びろうどこがね	S. orientalis Mots.	21
9.	てうせんびらうどこがね	S. Motschulskyi Brenske	22
10.	あかびらうどこがね	Autoserica japonica Mots.	26
11.	ざうてるびらうどこがね	Aut. Sauteri Mos.	28
12.	まるがたびらうどこがね	Aut. secreta Brenske.	25
13.	れうぬすちやいろこがね	Sericania Lewisi Arrow.	33
14.	からふとちやいろこがね	Sericania achalinensis Mats.	31
15.	なへどこちやいろこがね	Sericania mimica Lew.	30
16.	たいわんひめびろうどこがね	Autoserica formosae Brenske.	27
17.	りゆうきゆうかんしよこがね	Apogonia bicavata Arrow	73
18.	ひめかんしよこがね	Apogonia amida Bohem.	72
19.	てうせんかんしよこがね	Apogonia cupreoviridis Kolbe.	73
20.	ちやいろこがね	Adoretus tenuimaculatus Waterh.	141
21.	同　上	〃　〃	
22.	をきなはまめこがね	Popillia Lewisi Arrow	182
23.	てうせんまめこがね	P. atrocoerulea Bates.	132
24.	るりまめこがね	P. indigonacea Mots.	134
25.	ならのちやいろこがね	Phyllopertha pubicollis Waterh.	121
26.	まめこがね	Popillia japonica New.	131
27.	きばねまめこがね	Popillia quadriguttata Fabr.	138
28.	かたもんちやいろこがね	Phyllopertha conspurcata Har.	120
29.	きすじこがね	Ph. irregularis Waterh.	124
30.	うすちやこがね	Ph. diversa Waterh.	122
31.	あをうすちやこがね	Ph. intermixta Arrow.	123
32.	同　上	〃	
33.	うすきいろこがね	Ph. pallidipennis Reitter.	127

34.	くろひめこがね	Ph. fuscata N. et K.	129
35.	ならのちやいろこがね	Ph. pubicollis Waterh.	121
36.	うちだまめこがね	Popillia Uchidai N. et K.	138,227

第 四 圖 版 (Taf. IV)

Fig, 1.	くりいろこがね	Holotrichia castanea Waterh.	44
2.	たいわんくろこがね	H. sinensis Hope.	45
3.	たいわんくりいろこがね	H. formosana Mos.	46
4.	たいわんあほくろこがねさ	H. pruinosa N. et K.	51,221
5.	まるをくろこがね	H. convexopyga Mos.	52
6.	くろこがね	H. kiotoensis Brenske.	47
7.	ざうてるくろこがね	H. Sauteri Mos.	48
8.	あほくろこがね	H. morosa Waterh.	49
9.	ほりしやくろこがね	H. horishana N. et K.	52
10.	たいわんあほくろこがねさ	H. pruinosa N. et K.	51,221
11.	こくろこがね	H. picea Waterh.	48
12.	てうせんくろこがね	H. diomphalia Bates.	50
13.	ひめくろこがね	Microtrichia formosana Mos.	54
14.	ながちやこがね	Heptophylla picea Motsch.	57
15.	てうせんきこがね	Miridiva koreana N. et K.	40,221
16.	てうせんかばいろこがね	Hilyotrogus bicoloreus Heyd.	59
17.	あほこふきこがね	Melolontha frater Arrow.	65
18.	こふきこがね	M. japonica Burm.	61
19.	さつまこふきこがね	M. satsumaensis N. et K.	62,223
20.	てうせんこふきこがね	M. incana Mots.	63
21.	ひげこがね	Polyphylla laticollis Lew.	68
22.	たいわんひげこがね	P. formosana N. et M.	69,229
23.	たいわんこふきんこがね	Melolontha insulana N. et K.	69,229

24.	たいわんあをだうがね	Anomala expansa Bates.	118
25.	あをどうがね	A. albopilosa Hope.	110
26.	どうがねぶいぶい	A. cuprea Hope.	112
27.	しろすじこがね	Graniada albolineata Mots.	66

第 五 圖 版 (Taf. V.)

Fig. 1.	あかまだらこがね	Anthracophora rusticola Burm.	164
2.	きようとあをはなむぐり	Potosia nitidiscutellata N. et K.	174,234
3.	てうせんしらほしはなむぐり	Liocola brevitarsis Lew. var seulensis Kolbe.	167
4.	いしがきはなむぐり	Potosia ishigakia Fairm.	172
5.	むらさきつほはなむぐり	Liocola insperata Lew.	168
6.	みどりはなむぐり	L. speculifera Swartz.	169
7.	かばいろはなむぐり	Potosia grisea N. et M.	175,234
8.	はなむぐり	Cetonia pilifera Mos.	161
9.	こあをはなむぐり	Oxycetonia jukunda Falderm.	182
10.	くろはなむぐり	Glycyphana fulvistemma Mots.	180
11.	あをはなむぐり	Cetonia Roelofsi Harold.	162
12.	たいわんあをかなぶん	Rhmborrhina formosana Mos.	157
13.	つのかなぶん	Trigonophorus dilutus Bourg.	154
14.	みやこはなむぐり	Liocola miyakoensis N. et K.	170
15.	あをかなぶん	Rhomborrhina unicolor Mots.	157
16.	かなぶん	Rh. japonica Hope.	156
17.	りゆうきゆうはなむぐり	Pyropotosia pryeri Jans.	178
18.	たいわんしろほしはなむぐり	Liocola formosana Mos.	167
19.	くろかなぶん	Rhomborrhina polita Waterh.	158
20.	しろてんはなむぐり	Potosia aerata Er.	172

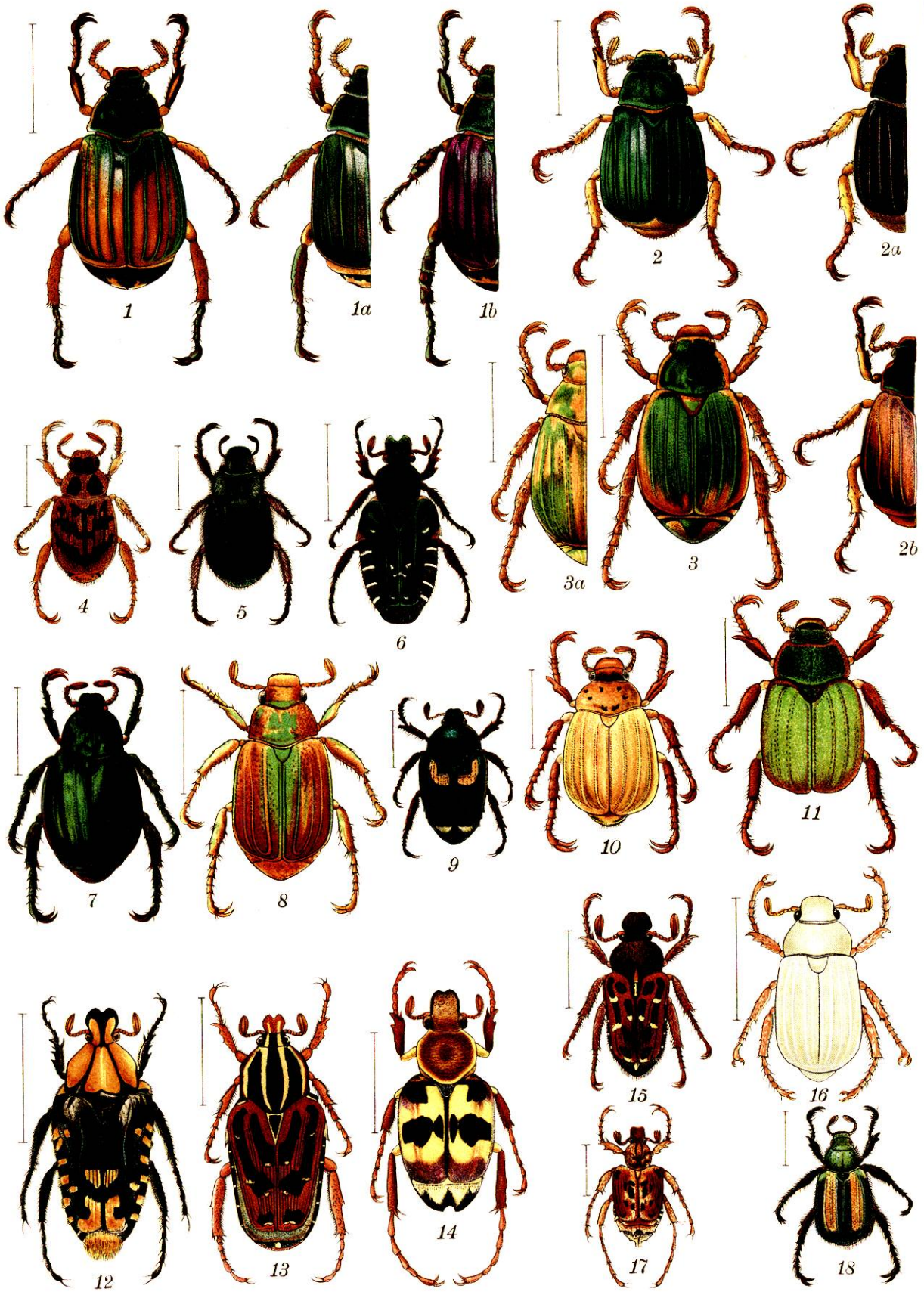
第 六 圖 版 (Taf. VI)

Fig. 1.	ことらはなむぐり	Trichius fasiatus L.	193
2.	あをあしながはなむぐり	Gnorimus viridiopacus Lew.	188
3.	おほとらふこがね	Paratrichius Doenitzi Har.	196
4.	くろあしながはなむぐり	Gnorimus Otsukae N. et M.	190.236
5.	ひげぶとはなむぐり	Anthypna pectinata Lew.	209
6.	おほちやいろはなむぐり	Osmoderma opica Lew.	187
7.	こかぶとむし	Phileurus chinensis Fald.	204
8.	とらはなむぐり	Trichius japonicus Jans.	192
9.	ほそすじこがね	Anomala auracoides Ohaus.	94
10.	てうせんひめこがね	Anomala pleurimargo Reitt.	97
11.	れんちこがね	Anomala Lenzi Ohaus.	100
12.	おほりゆうきゆうはなむぐり	Pyropotosia Lewisi Jans.	179
13.	てうせんひめすじこがね	Anomala costifera Reitt.	94
14.	じよなすひめこがね	Anomala Jonasi Ohaus.	93
15.	てうせんはんのきこがね	Anomala luculenta Er.	99
16.	たいわんひめすじこがね	Anomala limbifera Ohaus.	98
17.	あかちやこがね	Phyllopertha kiotoensis N. et K.	126,225
18.	ひめはなむぐり	Ectinohoplia obducta Mots.	79,
19.	かばいろあしながこがね	Ectinohoplia rufipes Mots.	80
20.	ひめとらはなむぐり	Trichius abdominalis Ménétr.	193
21.	たんばひめこがね	Phyllopertha tanbaensis N. et K.	128,225
22.	くろひめこがね	Phyllopertha fuscata N. et K.	129,227
23.	てうせんひめとらはなむぐり	Trichius succinctus Pall.	194
24.	あしながこがね	Hoplia communis Waterh.	77
25.	十七ほしはなむぐり	Trichius 17-guttatus Voll.	195

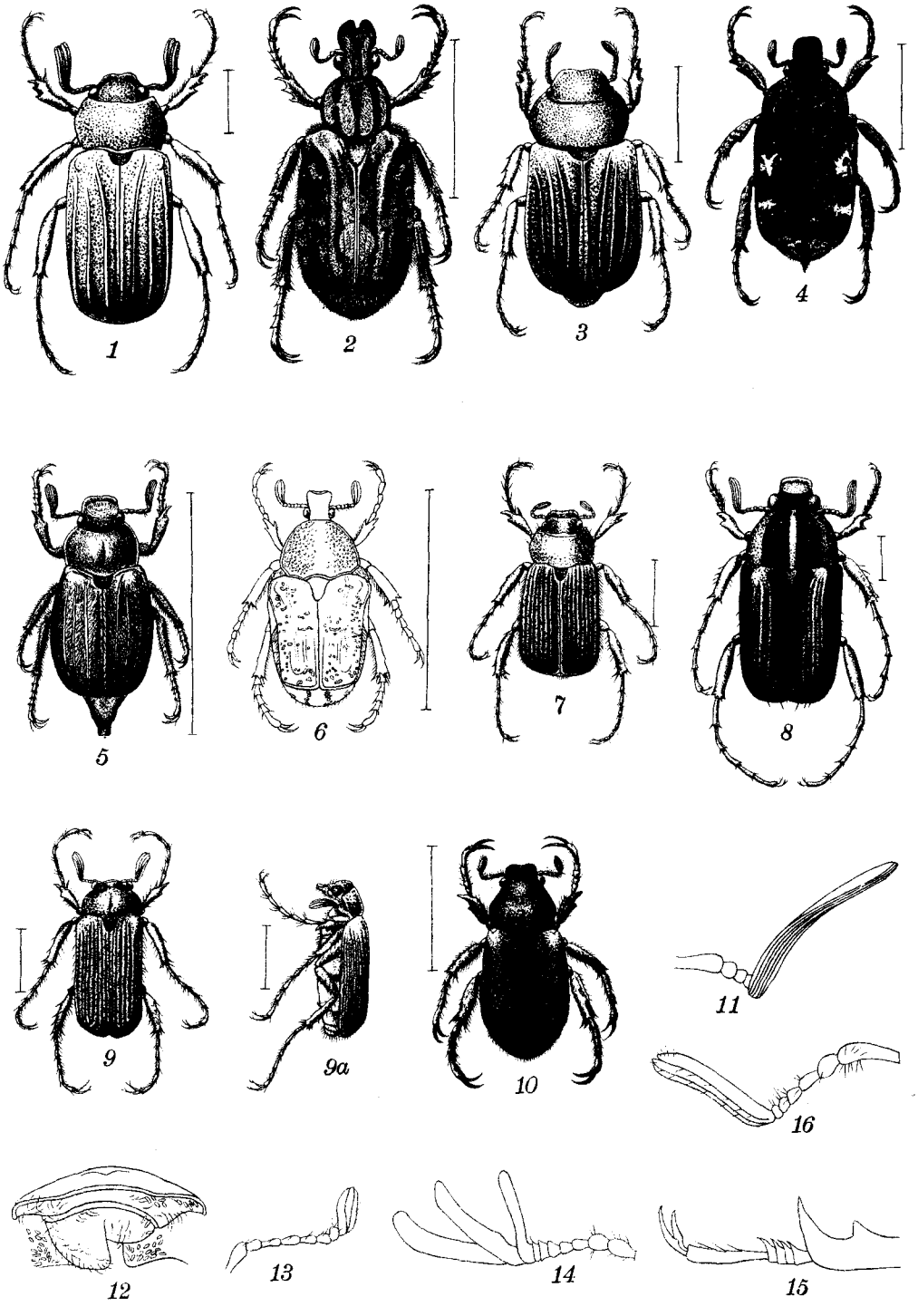
第 七 圖 版 (Taf. VII)

金龜子類ノ雄交尾器 Genitalia

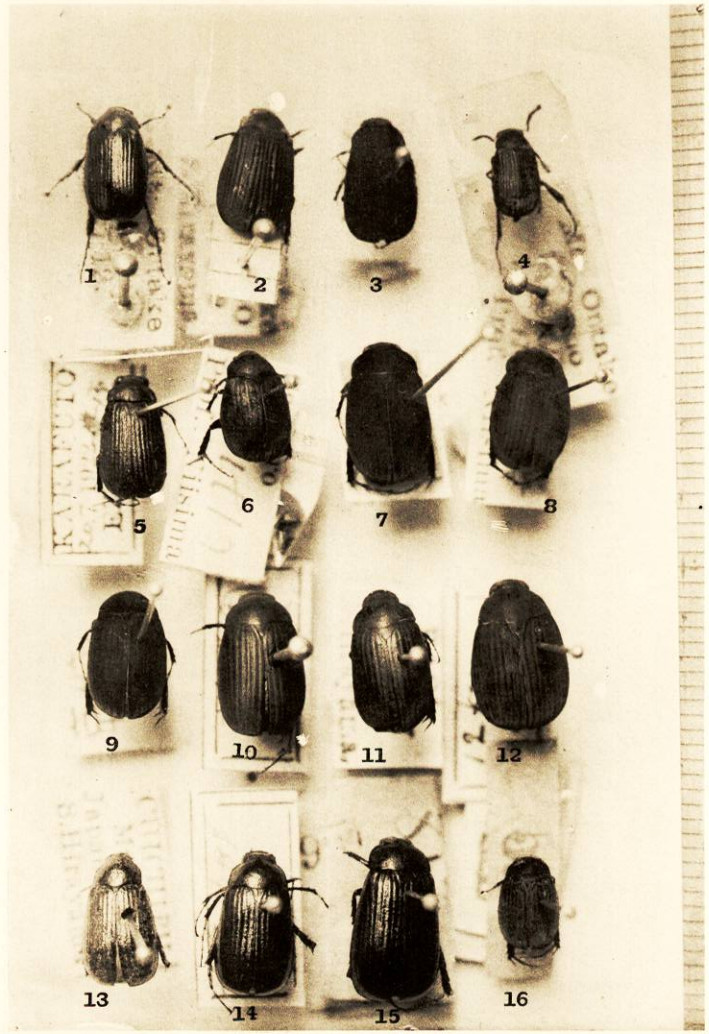
1.	きんすじこがね	Anomala holosericea Fabr.	86
2.	すじこがね	A. testaceipes Mots.	87
3.	おほすじこがね	A. costata Hope.	89
4.	てうせんひめこがね	A. pleurimargo Reitt.	97
5.	ほそすじこがね	A. auracoides Ohaus.	94
6.	れんちこがね	A. Lenzi Ohaus.	100
7.	ひめこがね	A. rufocuprea Mots.	101
8.	はんのひめこがね	A. multistriata Mots.	109
9.	つやこがね	A. lucens Ballion.	106
10.	はんのきこがね	A. Motschulskyi Har.	107
11.	とうきようこがね	A. tokicensis N. et K.	106,225
12.	こふきこがね	Melolontha japonica Burm.	61
13.	さつまこふきこがね	M. satsumaensis N. et K.	62,223
14.	しらほしはなむぐり	Liocola brevitarsis Lew.	165,
15.	てうせんしらほしはなむぐり	L. brevitarsis L. var. seulensis Kolbe.	167
16.	たいわんしらほしはなむぐり	L. formosana Mos.	167
17.	みやこはなむぐり	L. miyakoensis N. et K.	170,241
18.	きようとあをはなむぐり	Potosia nitidiscutellata N. et K.	174,234



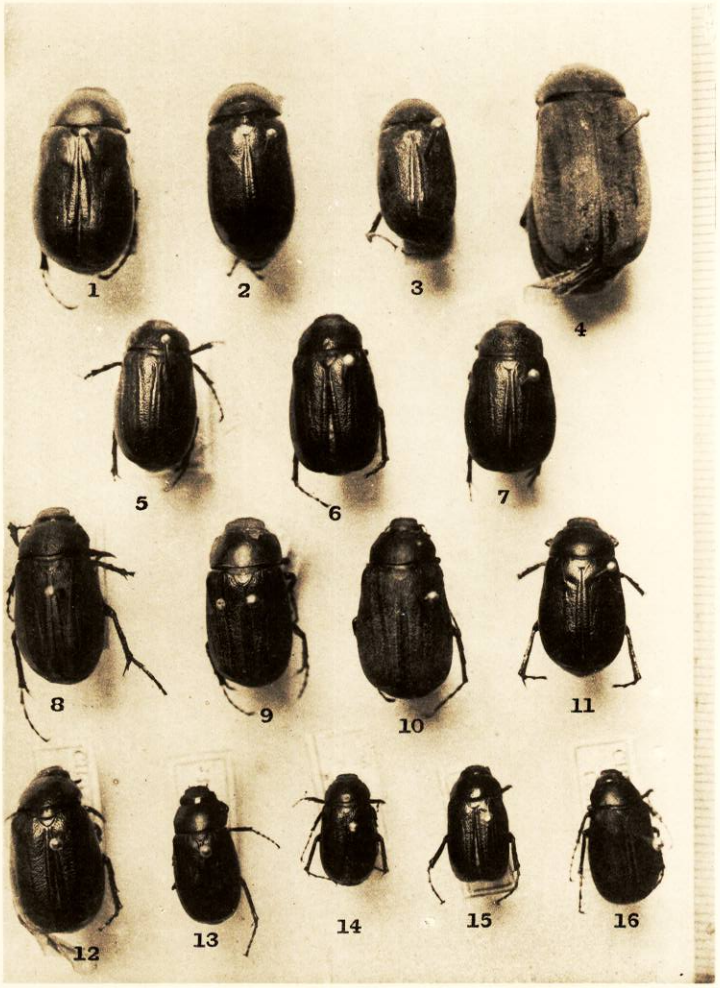
C. Suzaki del.

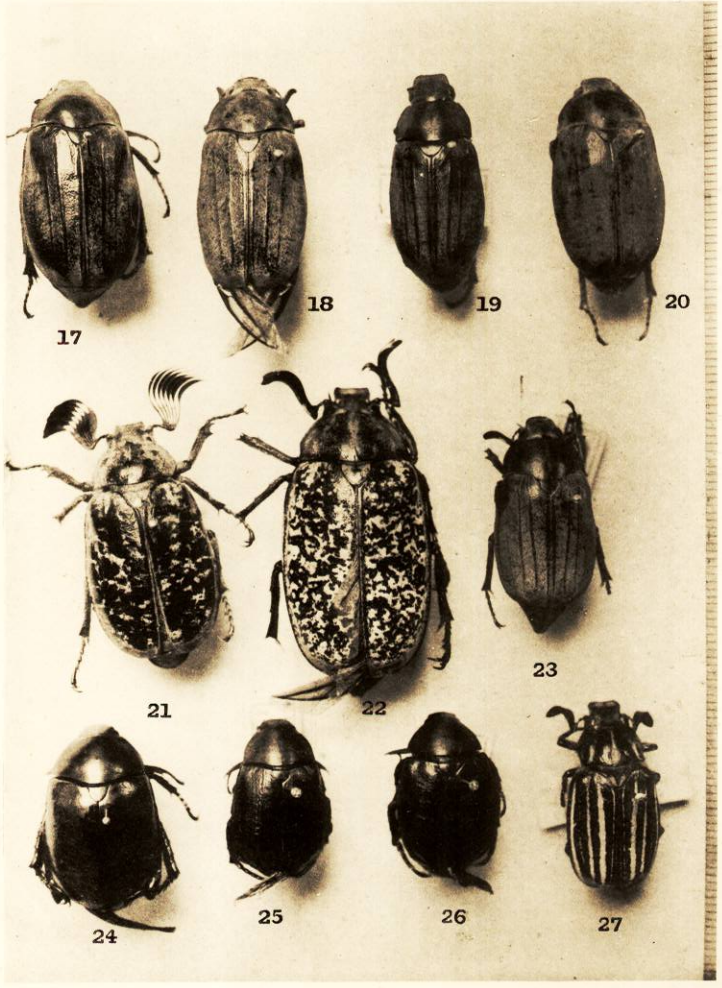


C. Suzaki del.

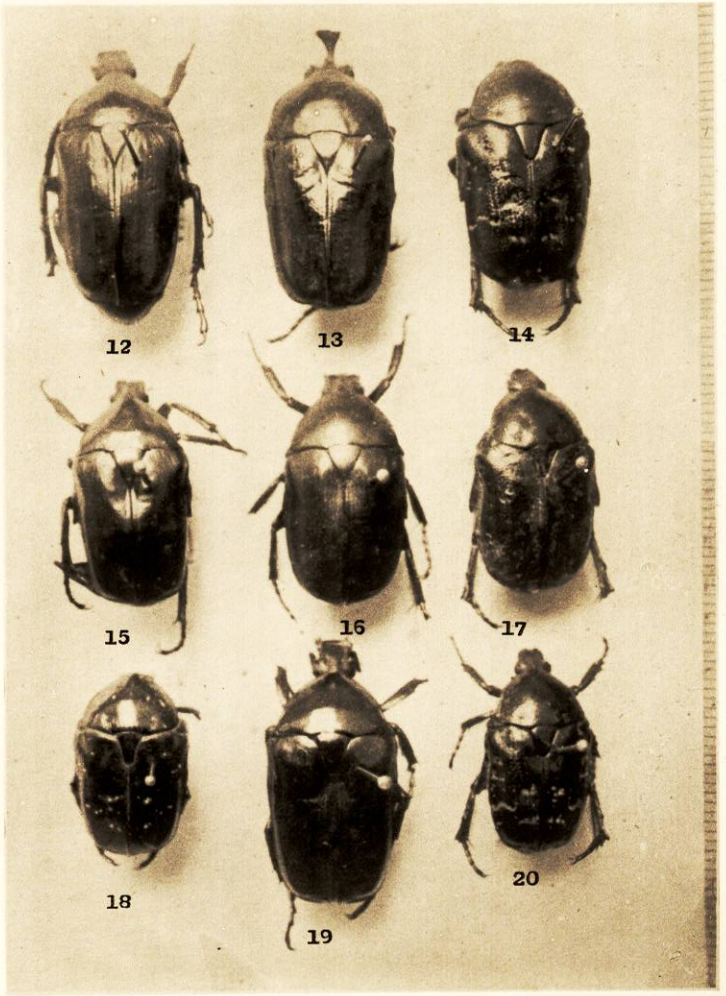

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16

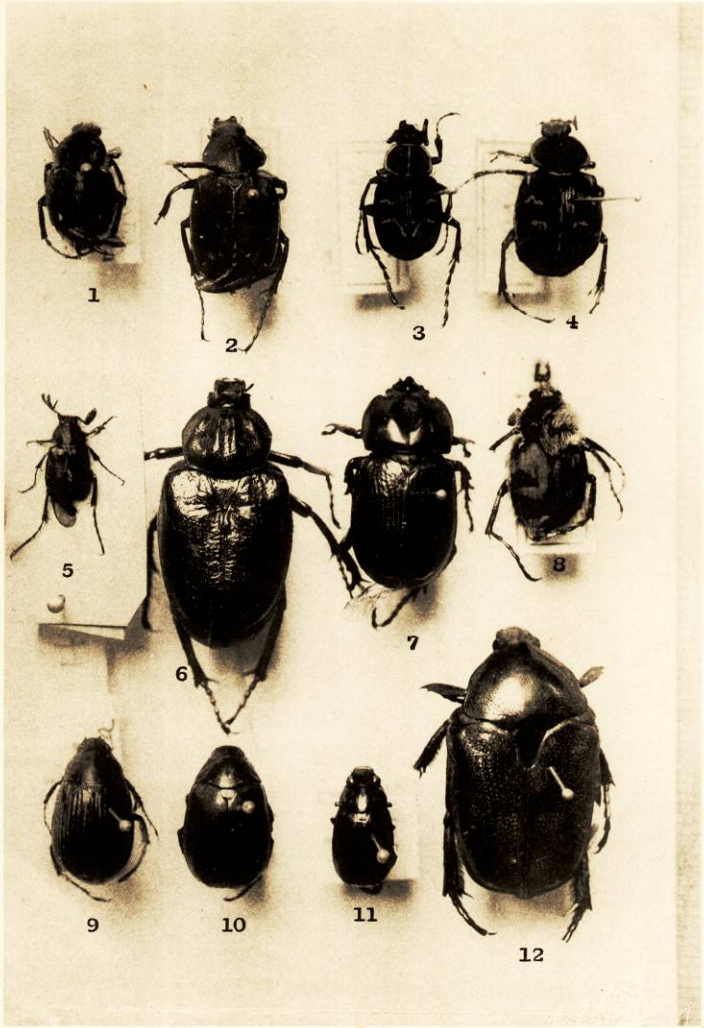
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36

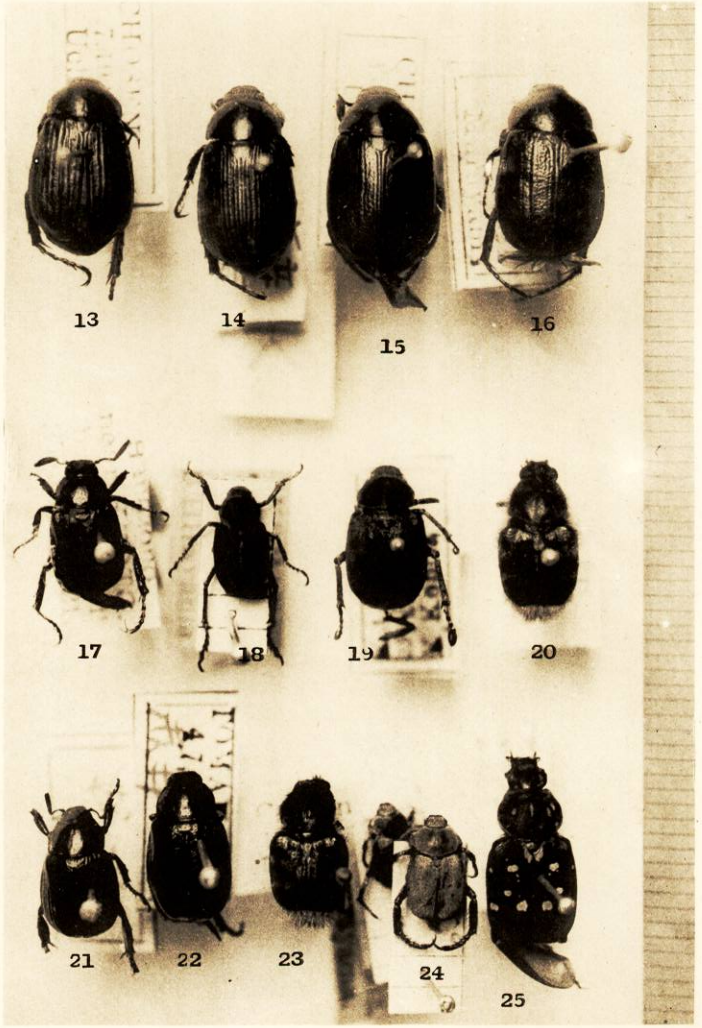

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16

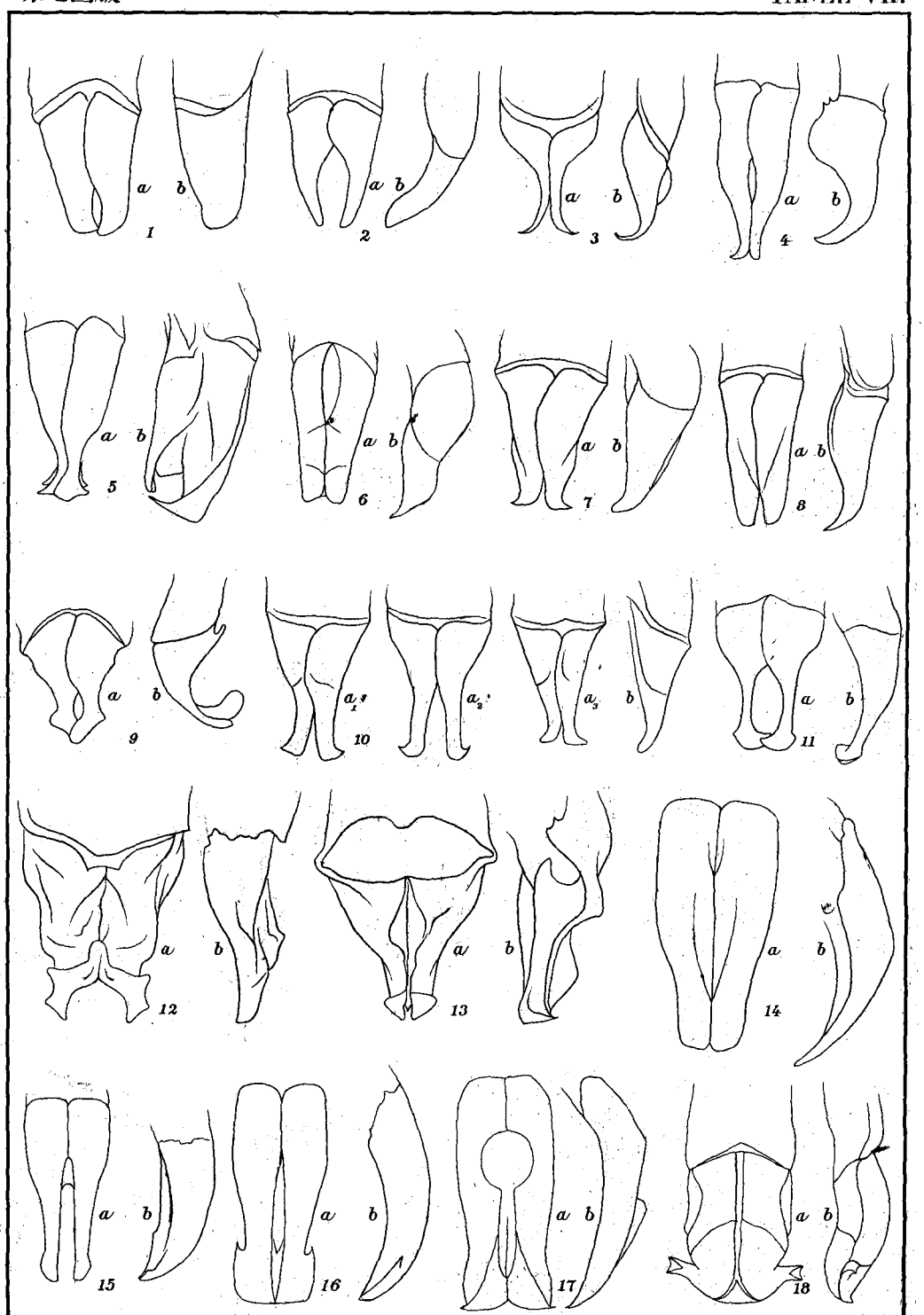

17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11


12
13
14
15
16
17
18
19
20


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12


13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25


a b 1
a b 2
a b 3
a b 4
a b 5
a b 6
a b 7
a b 8
a b 9
a1 a2 a3 b 10
a b 11
a b 12
a b 13
a b 14
a b 15
a b 16
a b 17
a b 18